

青森市埋蔵文化財調査報告書 第74集

市内遺跡

発掘調査報告書12

平成15年度

青森市教育委員会

青森市埋蔵文化財調査報告書 第74集

市内遺跡

発掘調査報告書 12

平成 15 年度

青森市教育委員会

序

昨今の厳しい経済状況にもかかわらず、青森市内では私たちが営む様々な経済活動に伴って開発行為が行われております。

そのような開発行為に対し、祖先からの貴重な財産である埋蔵文化財が破壊や消滅の危機にさらされることもしばしば見受けられます。

市内遺跡発掘調査事業は、このように破壊や消滅の危機にさらされている周知の埋蔵文化財包蔵地や未発見の埋蔵文化財包蔵地の調査を目的として、当委員会において平成4年度から実施しております。

本年度の調査については、6遺跡に対する試掘・確認調査並びに1遺跡に対する本発掘調査を実施し、埋蔵文化財の保護と開発行為との調整に役立つことができました。

最後に、調査の実施にあたりご協力をいただきました文化庁、県文化財保護課をはじめ関係者の方々に対し深く感謝の意を表します。

平成16年3月

青森市教育委員会

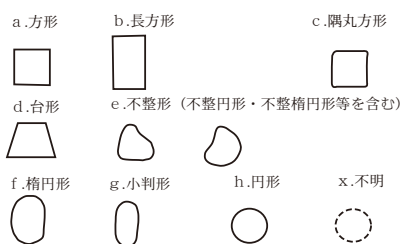
教育長 角田 詮二郎

例 言

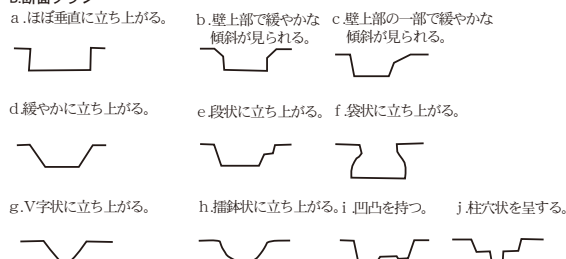
1. 本書は、国と県の補助金交付を受けて、平成15年度に実施した青森市内遺跡発掘調査事業の調査報告書であり、分布調査ならびに試掘・確認調査および本調査の調査成果を収録してある。
2. 本書の執筆・編集は青森市教育委員会が行い、木村淳一、児玉大成、設楽政健、松橋智佳子（青森市埋蔵文化財調査員）、内田祐子（青森市埋蔵文化財調査補助員）が担当した。
執筆・作成分担について第Ⅱ章は児玉が担当し、第Ⅲ章については児玉・木村・設楽が担当し文責を末尾に記した。また第Ⅳ章については木村・松橋・内田が担当し、文責を末尾に記した。それ以外の部分ならびに編集は木村が担当した。
3. 挿図の縮尺は、位置図のみ「青森市遺跡地図(数値地図)」の2万5千分の1の地図を等倍で利用し、真北を上辺に統一した。それ以外の図についてはスケールによって示し、方位は磁北で示した。また、掲載遺物についての縮尺は1/3を基本に一部の図版で異なる縮尺で取扱っており、スケールで表現した。なお、写真図版の縮尺は統一を図っていない。
4. 土色の注記については、「新版標準土色帖」(小山正忠・竹原秀雄1993)に準拠した。
5. 図版・写真図版及び表番号は、章毎に種別毎の通し番号とした。図版は第○図、写真図版は写真○、表は第○表と記した。
6. 出土遺物及び記録図面・写真関係資料は、現在、青森市教育委員会で保管している。
7. 第Ⅳ章宮田館遺跡遺構観察表中で使用した平面形・断面形の類型および遺物図版中で使用した表現方法は以下のとおりである。また、下記の表現と異なる表現方法等が用いられる場合、図中に別途凡例を設けている。

遺構平面形・断面形凡例

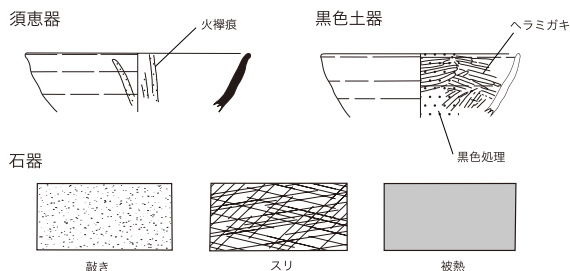
A. 平面プラン



B. 断面プラン



遺物凡例



8. 本書で報告した宮田館遺跡の発掘調査では、次の諸機関・諸氏よりご協力・ご助言をいただいた。
(五十音順・敬称略)

青森県埋蔵文化財調査センター、小笠原雅行、木村高、茅野嘉雄

目 次

序
例言
目次

第 I 章 事業実施の概要

第 1 節 調査目的	1
第 2 節 調査要項	1
第 3 節 事業照会の概要	2

第 II 章 新規登録・範囲変更遺跡

第 1 節 新規登録遺跡	
三内丸山（8）遺跡	15
第 2 節 範囲変更遺跡	
岡町（9）遺跡	15

第 III 章 試掘・確認調査

第 1 節 江渡遺跡	16
第 2 節 野木和（11）遺跡	17
第 3 節 三内丸山地区	24
第 4 節 岡町地区	25
第 5 節 赤坂遺跡	26
第 6 節 三内丸山（8）遺跡	28

第 IV 章 発掘調査

宮田館遺跡（青市教委第 2 次調査）	30
--------------------	----

まとめ 98

報告書抄録 99

既刊埋蔵文化財報告書一覧

第 I 章 事業実施の概要

第 1 節 調査目的

近年、市内の各所において、道路網の整備事業や大規模施設の建設などの大規模開発事業が増加しており、併せて宅地開発や下水道整備事業等市民の身近な生活のなかで必要とされる各種開発行為が継続しており、破壊・消滅の危機に瀕している遺跡も増加している。貴重な埋蔵文化財を保護し、各種開発行為との円滑な調整を図るためには、周知の遺跡の現況・範囲・数の把握や今後開発が予想される地域における未発見の遺跡の新規登録などにより、市内に所在する遺跡に関する詳細な基礎資料を整備する必要がある。

以上の点を踏まえ、市内に所在する周知の遺跡について現況調査ならびに今後開発が予想される地域の分布調査、開発行為に先立つ確認調査、さらには個人敷地造成予定地の本発掘調査を実施するものである。

よって、この事業を標記の事業名で国と県の補助金の交付を受け、実施するものである。

第 2 節 調査要項

1. 対象地域

①分布調査

対象：市内全域

今年度は市内において、各種開発事業が予定されている地域を重点地域とし、遺跡の分布状況を確認する。

②試掘・確認調査

対象：石江地区（江渡遺跡）、安田地区（三内丸山（6）遺跡隣接地）、野木和地区（野木和（11）遺跡、岡町地区（岡町（5）遺跡隣接地）、三内地区（三内丸山（3）・（5）遺跡隣接地）等事業照会等による周知の遺跡の範囲内容確認及び遺跡未発見地域における有無確認調査。

③発掘調査

対象：宮田館遺跡

個人敷地造成に係る本発掘調査。

2. 事業実施期間

平成15年4月1日～平成16年3月31日

3. 調査担当機関

青森市教育委員会事務局文化財課

4. 調査体制

調査事務局

青森市教育委員会

教育長 角田 詮二郎

教育部長 大柴 正文

教育次長 竹内 徹

事務局参事

文化財課長事務取扱 遠藤 正夫

文化財課長補佐 多田 弘仁

主 査 木浪 貴子

文化財主事 木村 淳一（調査担当）

ゝ 児玉 大成（"）

ゝ 設楽 政健（"）

主 事 足澤 愛子（庶務担当）

5. 調査指導機関

文化庁記念物課
青森県教育庁文化財保護課

6. 調査方法

①分布調査

市内全域を対象とし、特に開発が予想される地域を重点的に踏査することによって、周知の遺跡の現況・範囲・数などの把握、開発によって消滅・破壊の危機に瀕している周知の遺跡のリストアップ、新発見の遺跡の登録などを行い、市内に所在する遺跡に関する基礎資料を整備する。また、開発申請のあった地区の現地立ち会いや周辺の踏査、一般市民からの情報提供をもとに分布調査を行う。踏査の結果、新たに発見された遺跡は青森市遺跡台帳ならびに青森県遺跡台帳に登録する。また、現況・範囲などに変更があった遺跡は、その都度、台帳を訂正する。

②試掘・確認調査

事業照会があった開発予定地内に埋蔵文化財包蔵地が所在もしくは所在するおそれのある場合、試掘調査を実施し、遺跡の範囲・性格・密

度等の内容を調査する。未発見遺跡の場合新たに台帳登録を行い、周知の遺跡についても範囲に変更があった場合には台帳を訂正する。

③発掘調査

当委員会と協議のあった個人敷地造成予定地について掘削される範囲を対象に記録保存のための発掘調査を実施する。

第3節 事業照会の概要

青森市教育委員会文化財課では、公共事業に関する土木工事等の開発行為や民間の各種開発行為に対して事前の遺跡地図による確認を実施し、必要に応じて分布調査を実施しており、平成12年度から本格的に試掘・確認調査を実施するようになった。

遺跡の確認は基本的に当課に直接来課し、開発予定地に遺跡が所在するか確認するケースと、都市計画法第32条関連の協議・青森県景観条例・農振除外申請に基づく関係課からの照会のケースがほとんどで、昨年度報告（青森市埋蔵文化財調査報告書第69集）以降の平成14年度の後半は12月～3月末日までで69件（来課59件・関係課4件・庁内関係開発6件）、平成15年度の4月～11月末日までで231件（来課146件・関係課26件・庁内関係開発59件）の照会があった。

昨年度から実施している庁内開発の照会作業によって周知の遺跡もしくは遺跡所在の可能性を有する地点での公共事業の計画の事前把握について増加傾向にあり、未発見の遺跡の新たな確認がなされるケースが増加している傾向にある。

また、来課による照会については昨年度同期に比べ140%増の増加傾向にある。これは平成15年1月から施行された不動産鑑定法の法改正による埋蔵文化財文化財の有無の事前確認についての件数が大幅に増加したことによるもので、具体的な開発計画の伴わない照会が相次いでいる。

その一方、民間開発等も含めた関係課経由の遺跡照会件数については昨年度の同期に比べ70%の3割減で景気の影響によるものなのか落ち込んでいる状況にある。

平成15年度前期来課各種開発事業照会 (H15.4～H15.12)

回答 A:周知の遺跡内、B:隣接地、C:該当なし

番号	月日	対象地	面積(m ²)	開発行為	回答	備考
1	H15.4.2	岩渡熊沢 156-17 他 8 筆	119,874	砂利採取	C	岩石採取・砂利採取。
2	H15.4.8	浜田玉川 240-25		不動産調査	C	
3	H15.4.10	浜田玉川 243-14	約 200	不動産取引	C	
4	H15.4.10	戸山赤坂 78-331 小柳 5-13-22、13-24		敷地調査	C	
5	H15.4.11	浅虫地区		工作物の新築 (携帯電話用無線基地局)	C	トンネル山手を工事。
6	H15.4.11	三内稲元 42-14		不動産取引	C	
7	H15.4.11	桜川 9-11-7 浦町奥野 83-14		不動産取引	C	
8	H15.4.14	羽白沢田 537-1		物件調査	C	
9	H15.4.15	富田 3-17 内		物件調査	C	
10	H15.4.16	油川岡田 174	227	不動産鑑定	C	
11	H15.4.16	合子沢松森 356-123、 356-124、356-102、 356-103、356-82		不動産鑑定	A	野木(1)遺跡に該当。
12	H15.4.22	戸山蛭沢 40-5	約 500	建築物の新築	C	
13	H15.4.22	三内沢部 204-2	約 400	建築物の新築	C	
14	H15.4.24	栄町 1-4-1		不動産鑑定	C	
15	H15.4.24	浜館 1-5-40		共同住宅新築	C	
16	H15.4.25	北金沢 1-181-7		物件調査	C	
17	H15.4.25	里見 1-12-70		物件調査	C	
18	H15.4.28	平新田森越 15-19		物件調査	C	
19	H15.5.2	三内沢部	4,500	不動産調査	B	三内沢部(2)遺跡隣接地。
20	H15.5.2	造道 1-237-41		物件調査	C	
21	H15.5.2	新城山田 235-296		物件調査	B	新城山田(3)遺跡隣接地。
22	H15.5.12	新城平岡 160-239		不動産鑑定	B	新城平岡(3)遺跡隣接地。
23	H15.5.12	浅虫地区		不動産鑑定	C	
24	H15.5.13	石江高間 133-19		不動産鑑定	A	高間(6)遺跡に該当、 石江土地区画整理事業地内。
25	H15.5.15	妙見 3-2-27	4,313	不動産取引	C	
26	H15.5.15	石江江渡 106-33	1,698.9	宅地分譲	C	
27	H15.5.30	浜田玉川 57-1 他		建物建築計画	C	
28	H15.6.3	大野鳴滝 89-3 他 10 箇所		不動産鑑定	C	
29	H15.6.3	三内地区		不動産取引	B	三内丸山(5)・(6)遺跡隣接地、 H15 試掘調査実施。
30	H15.6.5	沖館 5-3-1、5-6-3 他		宅地分譲	C	
31	H15.6.6	小柳 6-6-10		物件調査	B	小柳遺跡隣接地。
32	H15.6.9	北金沢 2-112-33 原別上海原		物件調査	C	
33	H15.6.10	富田 4-193-37、 石江江渡 105-423、 奥内川合 33-1		不動産鑑定	C	
34	H15.6.10	問屋町 1 丁目 338		集合住宅新築	C	
35	H15.6.11	六枚橋地内		鶏舎	A	後潟(3)遺跡に該当、計画中止。
36	H15.6.16	油川大浜 228-1		敷地調査	C	
37	H15.6.19	新城平岡 875		物件調査	C	
38	H15.6.20	虹ヶ丘 1-3-3		物件調査	C	
39	H15.6.23	金沢 5-14-15		不動産鑑定	C	
40	H15.6.23	八重田露草 39-4	1,601	宅地分譲	C	都市計画法第 32 条における事前協議。

番号	月日	対象地	面積(㎡)	開発行為	回答	備考
41	H15.6.24	平新田森越 12-47、 23-1、23-2、12-47 の先、23-2 の先		宅地分譲	C	都市計画法第 32 条における事前 協議。
42	H15.6.24	油川地区、新田 3 丁目		物件調査	C	
43	H15.6.25	新城山田 他		物件調査 (携帯電話用無線基地局)	A	新城山田(3) 遺跡に該当。
44	H15.6.25	戸山赤坂地内		物件調査 (携帯電話用無線基地局)	C	
45	H15.6.26	戸山赤坂地内		物件調査 (携帯電話用無線基地局)	C	
46	H15.6.26	戸山赤坂地内		物件調査 (携帯電話用無線基地局)	B	戸山遺跡隣接地。
47	H15.6.26	後潟地区		物件調査 (携帯電話用無線基地局)	C	
48	H15.6.27	浜田玉川		建築物の新築	C	
49	H15.7.3	野内鈴森		菜園分譲	A	鈴森(2) 遺跡に該当。
50	H15.7.4	石江岡部 157-23		不動産鑑定	A	岡部遺跡に該当。
51	H15.7.9	合浦 1-10-9	178.1	物件調査	C	
52	H15.7.9	本町 5-3-9		物件調査	C	
53	H15.7.9	羽白沢田		不動産鑑定	C	
54	H15.7.9	松原 3 丁目、沖館 4 丁目、花園 1 丁目、 浪打 2 丁目 他		物件調査	C	
55	H15.7.14	新城山田 222-166		敷地調査	C	
56	H15.7.14	岡造道 2 丁目 22		物件調査	B	小柳遺跡隣接地、61 と H14 年度 27 と同じ。
57	H15.7.14	本町 2-6-18		敷地調査	C	
58	H15.7.16	造道 3-11-17、 3-11-31		不動産鑑定	C	
59	H15.7.16	原別神崎 1-18		物件調査	C	
60	H15.7.17	大野山下	300	建物建築計画 (携帯電話用無線基地局)	C	
61	H15.7.18	岡造道 2 丁目 22		物件調査	B	小柳遺跡隣接地、56 と H14 年度 27 と同じ。
62	H15.7.22	第二間屋町地区		不動産鑑定	C	
63	H15.7.22	上野山辺 55-6		物件調査	C	
64	H15.7.23	細越栄山 770-1		不動産鑑定	A	栄山(4) 遺跡に該当。
65	H15.7.23	細越栄山 1020-34		不動産鑑定	B	栄山(4) 遺跡に該当。
66	H15.7.23	三内丸山 381-291、 381-15		不動産鑑定	A	三内丸山(5)・(6) 遺跡に該当。
67	H15.7.24	駒込蛭沢 12-9		不動産鑑定	C	
68	H15.7.24	長島 2-2-17		不動産鑑定	C	
69	H15.7.28	新町 1-12-2		不動産鑑定	C	
70	H15.7.28	野尻野田		不動産鑑定	B	野尻野田遺跡隣接地。
71	H15.7.29	安田近野		不動産鑑定	A	近野遺跡と三内丸山遺跡に該当。
72	H15.8.1	油川千刈 60-1	5,169	不動産鑑定	C	
73	H15.8.4	浜田土地区画整理事業地内	229	建築物の新築	C	
74	H15.8.5	石江三好 177-4		物件調査	C	
75	H15.8.5	桑原稲葉 20-1		物件調査	C	
76	H15.8.5	三内丸山 150-4		物件調査	B	浪館(1) 遺跡隣接地。
77	H15.8.7	古川 2-20-6		物件調査	C	

番号	月日	対象地	面積(m ²)	開発行為	回答	備考
78	H15.8.8	戸門山部 122 他 7 筆、 新城山田	35,094	岩石採取・砂利採取	C	
79	H15.8.11	古川 1-9-4		不動産取引	C	
80	H15.8.11	新城福田		宅地分譲	C	
81	H15.8.12	大矢沢里見 198-33		物件調査	C	
82	H15.8.20	駒込深沢 287-6		物件調査	A	深沢(2)遺跡に該当。
83	H15.8.27	筒井八ツ橋 49-15		不動産鑑定	C	
84	H15.9.1	桂木 2-1-13		不動産鑑定	C	
85	H15.9.3	合子沢松森		物件調査	B	新町野遺跡隣接地、新幹線関連。
86	H15.9.3	橋本 2-13-6		物件調査	C	92と同じ。
87	H15.9.8	三内丸山		不動産鑑定	A	三内丸山(6)遺跡に該当。
88	H15.9.8	羽白沢田 33-2 他	2,800	宅地分譲	C	
89	H15.9.16	前田中野 7-4-9		敷地調査	C	
90	H15.9.17	新城山田 300-130 他		建築物の新築	C	
91	H15.9.17	沖館 3-249-2 他 3 筆、油川大浜 180-98、小橋田川 82-8 他 1 筆		物件調査	C	
92	H15.9.17	橋本 2-13-6		物件調査	C	86と同じ。
93	H15.9.18	大野笹崎 1-1 付近	約 1,000	物件調査 (携帯電話用無線基地局)	C	
94	H15.9.19	三内丸山 381-3、 安田近野 151-2		物件調査	B	三内丸山(6)遺跡隣接地。
95	H15.9.23	沖館 3-2-56		物件調査	C	
96	H15.9.25	富田 2-194-1 他	2,700	宅地分譲	C	
97	H15.9.25	八重田 3-43-1 他	7,000	宅地分譲	C	
98	H15.9.25	油川大浜 180-98		物件調査	C	
99	H15.9.25	小橋田川 45-2		物件調査	C	
100	H15.9.25	野内地区		不動産鑑定	A	鈴森(1)・(2)遺跡に隣接・ 一部該当、市用地課関連。
101	H15.9.26	岡造道 1 丁目、2 丁 目、3 丁目		物件調査	A 他	一部小柳遺跡に該当、 その他は隣接地。
102	H15.9.26	古川 1 丁目、 本町 2 丁目、5 丁目、 橋本 2 丁目、安方 1 丁目		物件調査	C	
103	H15.9.26	久須志 2-2-16		不動産取引	C	
104	H15.9.26	石江江渡 13-3、9-11		物件調査	C	
105	H15.9.29	里見 1-13-26、27	2,291.09	不動産鑑定	C	
106	H15.9.30	新田 2 丁目 17		物件調査	C	
107	H15.10.1	野木野尻、新町野菅谷		不動産鑑定	A	新町野遺跡に該当、 新幹線関連。
108	H15.10.1	原別 7 丁目 7～1		物件調査	C	
109	H15.10.1	大野鳴滝 10 他		不動産鑑定	C	
110	H15.10.8	新城平岡 109-350		物件調査	B	新城跡隣接地。
111	H15.10.14	三内沢部		宅地分譲	A	三内沢部(3)遺跡に該当、 要試掘。計画中断中。
112	H15.10.15	石江江渡 97-1	約 5,000	宅地分譲	C	
113	H15.10.17	野木山口 82-1 他		不動産鑑定	A	野木山口遺跡に一部該当。
114	H15.10.20	堤町 2-7-13		不動産取引	C	

番号	月日	対象地	面積(㎡)	開発行為	回答	備考
115	H15.10.21	駒込深沢 287-2		物件調査	A	深沢(2)遺跡に該当。
116	H15.10.22	駒込深沢		敷地調査	A	深沢(1)遺跡に該当。
117	H15.10.22	小橋地区	6,600	宅地分譲、温泉掘削	A	小橋(6)遺跡隣接地、温泉法。
118	H15.10.24	戸門地区		物件調査	C	
119	H15.10.24	大野片岡 11-39		物件調査	C	
120	H15.10.24	西滝 3-72-10 他		物件調査	C	
121	H15.10.24	三内丸山		不動産鑑定	B	三内丸山遺跡隣接地。
122	H15.10.27	戸山赤坂	2,500	集合住宅新築	A	赤坂遺跡に該当、H15 試掘調査実施。
123	H15.10.29	浪打 2-3-3、橋本 1 丁目		物件調査	C	浪打 2-3-3 H14 年度 6 と同じ。
124	H15.10.30	桜川 7-412-3		物件調査	C	
125	H15.10.31	羽白富田 44-34		不動産鑑定	C	
126	H15.10.31	駒込蛭沢 59-68		不動産鑑定	C	
127	H15.10.31	新城平岡 151-416		不動産鑑定	C	
128	H15.10.31	高田、細越、岩渡、鶴ヶ坂、孫内地区		工作物の新築(電気供給鉄塔)	A	朝日山(1)・(3)遺跡、二股(1)遺跡に該当。朝日山(2)・(4)遺跡、二股(2)遺跡隣接地。送電線新設計画の事前協議。
129	H15.11.4	三内丸山 381-220、浪館近野 4-1、浪館前田 1-70-12		敷地調査	A 他	三内丸山 381-220 が三内丸山(6)遺跡に該当。
130	H15.11.5	安田近野		宅地分譲	B	安田近野(2)遺跡隣接地。
131	H15.11.5	三内丸山	6,600	物件調査	A	三内丸山(5)遺跡に該当。
132	H15.11.7	本町 2-6-5		不動産鑑定	C	
133	H15.11.7	新城山田		不動産鑑定	C	
134	H15.11.10	駒込月見野		物件調査	A	月見野(5)遺跡に該当、要試掘。
135	H15.11.10	新城平岡 677-676		物件調査	C	
136	H15.11.10	沖館 5 丁目、筒井桜川 他		工作物の新築(アンテナ工事)	C	
137	H15.11.12	羽白沢田 418、419	1,582	宅地分譲	C	
138	H15.11.21	駒込深沢		物件調査	A	深沢(2)遺跡に該当。
139	H15.11.21	奥野 3 丁目		物件調査	C	
140	H15.11.21	三内丸山 27	約 6,000	宅地分譲	A	三内丸山(3)遺跡に該当、計画中止。
141	H15.11.25	中央 1-25-9		不動産鑑定	C	
142	H15.11.25	三内沢部 349-14～16		建築物の新築	C	
143	H15.11.26	古川 2-3-2、2-3-23		物件調査	C	
144	H15.11.27	浅虫地区		不動産鑑定	C	
145	H15.11.28	安田近野 39-21、39-23、47、54-6		不動産鑑定	A	安田近野(1)遺跡に該当。
146	H15.12.1	矢田下野尻 52-2、53、64-1、野木山口 181-1 他		物件調査	B	上野尻遺跡、野木山口遺跡隣接地。

平成 15 年度前期市内関係開発事業照会 (H15.7～H15.11)

意見 A：周知の遺跡内、B：隣接地、C：該当なし

番号	月日	場所	遺跡名	開発内容	意見	備考
1	H15.7.7	新城山田地内(平和台団地)		配水管埋設〔上下水道工事〕	C	水道部工務課
2	H15.7.7	三内丸山	三内遺跡	配水管埋設〔上下水道工事〕	B	水道部工務課 慎重工事

番号	月日	場所	遺跡名	開発内容	意見	備考	
3	H15.7.8	四戸橋磯部地内		四戸橋1号線道路改良事業〔道路建設〕	C	道路建設課	
4	H15.7.8	油川柳川・新城福田地内		油川新城線道路整備事業〔道路建設〕	C	道路建設課 要立会工事	
5	H15.7.8	桑原稲葉・小柳朽葉・戸山宮崎地内		桑原29号線道路整備事業〔道路建設〕	C	道路建設課	
6	H15.7.8	高田朝日山・野沢沢辺地内		高田野沢線道路整備事業〔道路建設〕	C	道路建設課	
7	H15.7.8	大別内葛野地内	葛野(1)～(3)遺跡	金浜小畑沢線道路改良整備事業〔道路建設〕	A 他	道路建設課 要試掘調査	
8	H15.7.8	合子沢松森地内	新町野遺跡	新町野野木線道路整備事業〔道路建設〕	A	道路建設課 要試掘調査	
9	H15.7.8	牛館地内	新町野遺跡	牛館川都市基盤河川改修事業〔河川改修〕	B	港湾河川課 慎重工事	
10	H15.7.14	大矢沢里見 86-1、86-2、87-1、87-2	大矢沢野田(1)遺跡	大矢沢墓地造成工事〔墓地の収容移転〕	A	用地課 要試掘調査	
11	H15.7.17	大別内地内		県営大別内地区用排水路施設整備事業〔河川改修〕	C	農地林務課	
12	H15.7.17	駒込桐ノ沢地内	駒込館遺跡	県営駒込地区用排水路施設整備事業〔河川改修〕	A	農地林務課 立会工事	
13	H15.7	久栗坂地区	久栗坂浜田(1)遺跡	青森市公共下水道事業	A	下水道部 管理課	
		野内地区	野内遺跡				
		宮田地区	玉水(1)・(3)・(4)遺跡				
		造道地区	沢田遺跡				
		八重田地区	露草遺跡				
		三内地区	三内丸山(6)遺跡、浪館(1)遺跡、三内沢部(2)・(3)遺跡、三内霊園遺跡				
		浪館地区	浪館(2)遺跡				
		安田地区	近野遺跡、安田近野(2)遺跡				
		石江地区	石江遺跡、江渡遺跡、高間(1)・(6)遺跡、岡部遺跡				
		新城地区	西高校遺跡、新城平岡(4)遺跡				
		大矢沢地区	大矢沢野田(1)遺跡				
野尻地区	野尻野田遺跡、野尻館遺跡						
横内地区	横内(3)遺跡、横内城跡						

番号	月日	場所	遺跡名	開発内容	意見	備考
14	H15.8	清水幾多 101、 瀬戸子神田 243-1		奥内地区地下水源調査 (テストボーリング) 業務〔水源調査〕	B 他	水道部工務課 慎重工事
15	H15.11.17	三内丸山 41～124-3、 三内丸山 117-1～122-2	三内丸山 (3) 遺跡	浪館污水管第 17 工区 工事〔上下水道工事〕	B	下水道推進課
16	H15.11.17	三内丸山 148-30～152-20 付近	浪館(1) 遺跡	浪館污水管第 19 工区 工事〔上下水道工事〕	A	下水道推進課
17	H15.11.17	三内丸山 152-22～180-2、 安田近野 269-10～263-8	浪館(1) 遺跡、 近野遺跡	浪館污水管第 21 工区 工事〔上下水道工事〕	A	下水道推進課

平成 15 年度前期関係課事業照会 (H15.4～H15.11)

意見 A：周知の遺跡内、B：隣接地、C：該当なし

番号	月日	場所	遺跡名	開発内容	意見	備考
1	H15.4.11	岩渡熊沢 22-8		土地取引	C	
2	H15.4.28	久栗坂 665 他	大浦遺跡	岩石採取・砂利採取	A	
3	H15.4.28	諏訪沢丸山 66-1、 66-2		建築物の増築	C	地域総合整備資金貸付事業
4	H15.5.20	諏訪沢岩田 54-1		資材置場	C	農業振興地域整備計画変更
5	H15.5.20	諏訪沢桜川 137-2、 137-3、137-4、156		住宅建築	C	農業振興地域整備計画変更
6	H15.5.20	駒込蛭沢 81-2、82		資材置場	C	農業振興地域整備計画変更
7	H15.5.20	合子沢山崎 17-1		資材置場及び重機保管所	C	農業振興地域整備計画変更
8	H15.5.20	大野鳴滝、笹崎、今 井、安田若松 地内		市街化区域編入	C	農業振興地域整備計画変更 要試掘調査
9	H15.5.26	四ツ石下川原 25-9		温泉掘削	C	鉱業権設定・温泉掘削許可
10	H15.6.11	鶴ヶ坂山本 54-132、 54-135		岩石採取・砂利採取	C	
11	H15.6.23	新城平岡 160-7	新城平岡 (3) 遺跡	温泉動力装置	A	温泉法。掘削中止。
12	H15.6.24	三内丸山 278-1	近野遺跡、 三内丸山(5) 遺跡	土地取引	B	要試掘調査
13	H15.7.18	岩渡熊沢 156-17 他		岩石採取・砂利採取	C	緑化計画
14	H15.8.8	鶴ヶ坂田川 71-237 他		岩石採取・砂利採取	C	緑化計画
15	H15.8.15	六枚橋山越 292-67、 292-68、292-202		鴨肥育舎建設	A	後潟(3) 遺跡に該当及び周辺の遺 跡に隣接。農業振興地域整備計画 変更
16	H15.8.15	安田稲森 345-2		住宅建築	C	農業振興地域整備計画変更
17	H15.8.15	荒川成瀬 37-1 他 6 筆		給油取扱所及び灯油 販売所建設	C	農業振興地域整備計画変更
18	H15.8.15	牛館松枝 25-3、26、 27、28、30-1		耐雪型パイプハウス建設	C	農業振興地域整備計画変更
19	H15.8.15	新町野岡部 14 他 10 筆		市民農園施設整備	C	農業振興地域整備計画変更
20	H15.8.15	戸山安原 3-1		駐車場及び資材置場の 造成	C	農業振興地域整備計画変更
21	H15.8.15	久栗坂浜田 939-3、 939-5		魚函置場造成	C	農業振興地域整備計画変更
22	H15.8.26	内真部山下 88-42 他		岩石採取・砂利採取	C	緑化計画

番号	月日	場所	遺跡名	開発内容	意見	備考
23	H15.8.29	小畑沢小杉 44 他 3 筆	野木の遺跡、山の遺跡	土地取引	B	
24	H15.10.27	鶴ヶ坂田川 88-1 他		岩石採取・砂利採取	C	岩石採取計画の変更、県景観条例。
25	H15.10.27	横内神田 95-2	横内(3)遺跡	温泉掘削	B	鉱業権設定・温泉掘削許可 H14 試掘調査済。申請者の変更により再度照会。工事着工にあたり要協議
26	H15.11.26	鶴ヶ坂田川 71-225		温泉動力装置	C	温泉法。

平成 14 年度後期来課各種開発事業照会 (H14.12～H15.3)

番号	月日	対象地	面積 (㎡)	開発行為	回答	備考
1	H14.12.4	蛭沢 48-57	279	不動産取引	A	蛭沢遺跡に該当。個人住宅の販売による土地の状況調査。中古住宅として販売するため、工事予定なし。
2	H14.12.10	三内沢部 31-1、31-2	3,300	生コン製造工場	B	三内遺跡隣接地。
3	H14.12.16	中央 1-10-4		不動産取引	C	
4	H14.12.24	四ツ石里見	440	不動産取引	B	野尻館遺跡隣接地。
5	H15.1.8	奥野 2-20-1	約 9,800	不動産鑑定	C	
6	H15.1.9	浪打 2-3-3	496	物件調査	C	H15 年度 123 と同じ。
7	H15.1.16	新町 1-11-15		不動産鑑定	C	
8	H15.1.16	三内丸山 278-1	4,455	物件調査	B	H15 年度関係課事業照会 12 と同じ。H15 試掘調査済。
9	H15.1.22	茶屋町地区、合浦 1 丁目		物件調査	C	
10	H15.1.23	鶴ヶ坂早稲田 130-1	64,561	岩石採取・砂利採取	C	H14 年度後期関係課開発事業照会の 8 と同じ。
11	H15.1.27	柳川 2-4-10、2-4-16		不動産鑑定	C	
12	H15.1.27	石江江渡 104-2、104-3	5,668	宅地分譲	A	江渡遺跡に該当、H15 試掘調査、本調査済 16、26 と同じ。
13	H15.2.3	八幡林品川		不動産鑑定	C	
14	H15.2.3	新田 2 丁目		不動産鑑定	C	
15	H15.2.3	石江江渡 104-2		不動産鑑定	A	江渡遺跡に該当、H15 試掘調査、本調査済 12、26 と同じ。
16	H15.2.5	奥野 3-26-8～10、卸町 2-17		不動産鑑定	C	
17	H15.2.5	新城 170-1 他		不動産鑑定	C	
18	H15.2.6	浜館間瀬 92-42	4,826	不動産鑑定	C	
19	H15.2.7	筒井八ツ橋 112-11		不動産取引	C	
20	H15.2.7	造道地区		不動産鑑定	C	
21	H15.2.10	堤町 1-1-1、橋本 1-9-4		不動産鑑定	C	
22	H15.2.14	新城平岡 381-1、381-7、382-1、385-1、新城福田 273-2、274-2		不動産鑑定	A	新城平岡(4)遺跡に一部該当、要試掘調査。
23	H15.2.17	諏訪沢松代		不動産鑑定	C	
24	H15.2.18	安田近野 431-10		不動産鑑定	B	安田近野(2)遺跡隣接地。
25	H15.2.19	石江江渡 104-2		建築物の新築	A	江渡遺跡に該当、H15 試掘調査、本調査済 12、16 と同じ。
26	H15.2.19	岡造道 2 丁目 22		敷地調査	B	小柳遺跡隣接地、H15 年度 56 と 61 と同じ。
27	H15.2.20	合浦 2-14-33、中央 4-57-15、新町 2-5-20		不動産鑑定	C	

番号	月日	対象地	面積(㎡)	開発行為	回答	備考
28	H15.2.20	松森 1-94-12、松原 1丁目 10、花園 1丁目 136-12、橋本 2-18-12、造道磯野 4-2、東造道 2-50-3、東造道 2-38-3		不動産鑑定	C	
29	H15.2	堤町 2-1-7		不動産調査	C	
30	H15.2.24	佃 1丁目		共同住宅建設	B	佃遺跡隣接地。
31	H15.2.24	古川 2-3-8		共同住宅建設	C	
32	H15.2.25	八重田 2-3-10		不動産調査	C	
33	H15.2.25	沖館 3-272-2	89	不動産鑑定	C	
34	H15.2.25	長島 1-6-9	1,455.73	土地取引	C	
35	H15.2.26	幸畑地区		不動産鑑定	C	
36	H15.2.27	新町 1-9-9～11、安方 1-10-29		不動産鑑定	C	
37	H15.2.27	野木野尻 81-6～8、168-2		不動産鑑定	C	
38	H15.2.28	栄町 1-6-5		不動産鑑定	C	
39	H15.3.3	野内浦島 196 のうち 5 筆	1,299.31	工場建設	C	
40	H15.3.4	勝田 1-11-1		共同住宅建設	C	
41	H15.3.5	駒込深沢 5-245、246、大野山下 127-10、12、13、三内稲元 75-2、75-4		建築物の新築	B 他	駒込が深沢(2)遺跡隣接地。大野、三内 C ランク。
42	H15.3.6	筒井八ツ橋 31-205、古川 1-9-9		物件調査	C	
43	H15.3.7	三内沢部 338-9、341-2		不動産鑑定	B	三内沢部(3)遺跡隣接地。
44	H15.3.10	石江平山 2-233、三内沢部 359-27、336-13		不動産鑑定	A 他	石江遺跡に該当。
45	H15.3.12	新城山田 339-159、新町野薄井 28-1		不動産鑑定	C	
46	H15.3.12	大野若宮		敷地調査	C	
47	H15.3.12	本町 5-3-27、浅虫蛭谷 70-23		敷地調査	C	
48	H15.3.13	駒込深沢 1185-179、180、181、191、203	43,436	造成	B	梨の木平牧場遺跡隣接地、県土整備事務所からの書類持参。H15 年度中に着手予定。
49	H15.3.13	浅虫山下 231-14、231-19	257	不動産鑑定	C	
50	H15.3.17	新町 1-9-28 他		不動産調査	C	
51	H15.3.17	堤町 2-1-7		不動産取引	C	
52	H15.3.18	緑 2-19-9、19-10、大野鳴滝 26-2		不動産鑑定	C	
53	H15.3.18	松森 1-14-13		不動産鑑定	C	
54	H15.3.18	浅虫内野 55-5		不動産取引	C	
55	H15.3.20	沖館 3-250-2、250-10		不動産鑑定	C	
56	H15.3.24	三内沢部 214-16		不動産調査	C	
57	H15.3.26	佃 2-260-73、栄町 1-8-25		物件調査	C	
58	H15.3.27	浪館前田 2-18-18		不動産調査	C	
59	H15.3.31	筒井 2丁目		不動産取引	C	

平成 14 年度後期関係課事業照会 (H14.12 ~ H15.3)

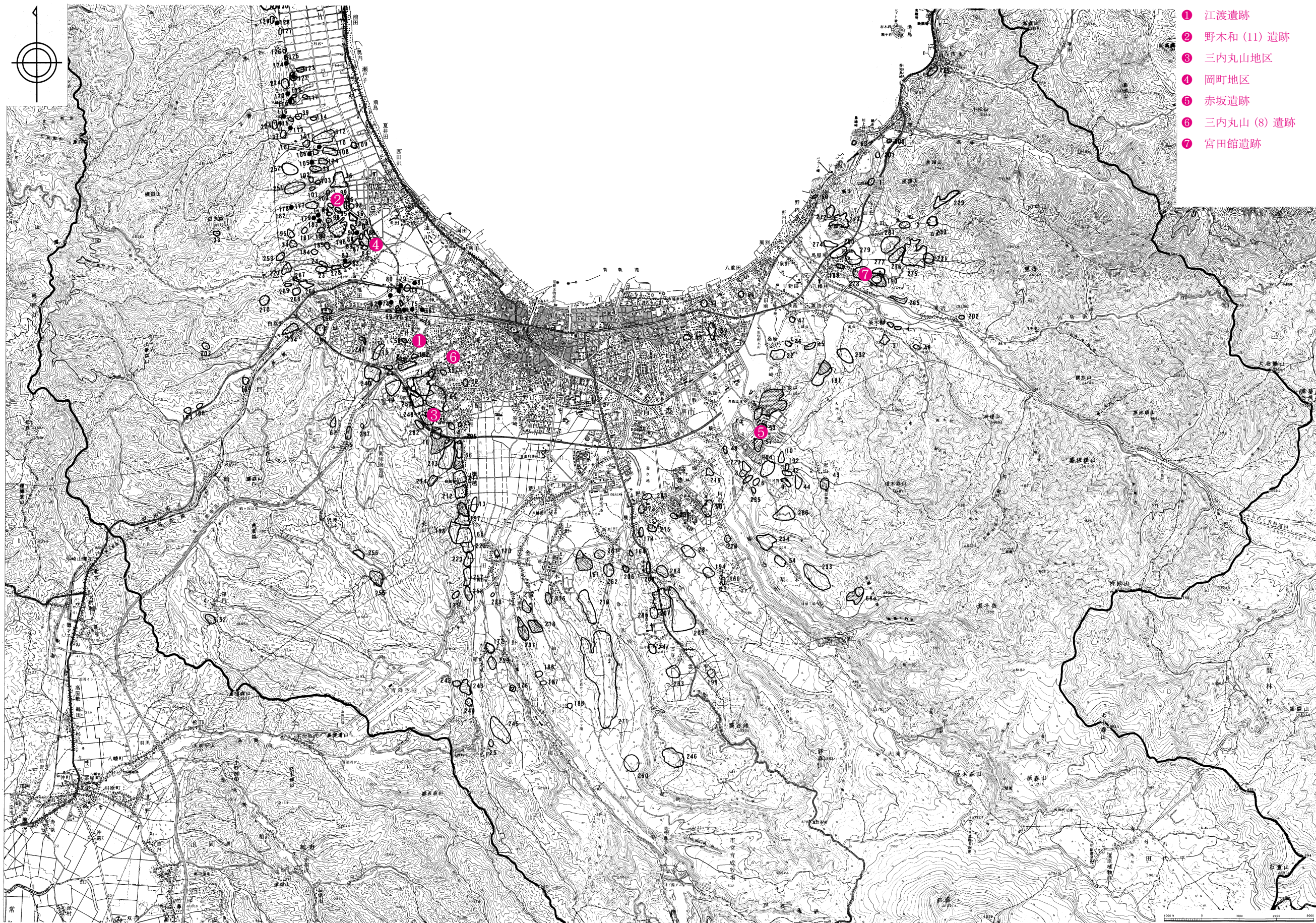
番号	月日	場所	遺跡名	開発内容	意見	備考	関係課
1	H14.12.2	浅虫蛭谷 202-3		土地取引	C		
2	H14.12.10	大野地区		土地区画整理事業	C	県土地利用基本計画の変更、青森農業振興地域の変更、青森都市区域の変更、要試掘。	道路建設課
3	H14.12.18	諏訪沢松代 121-16		建築物の新築	C	農業振興地域整備計画変更	道路建設課
4	H15.2.17	油川・千刈地内		都市計画道路 3・4・16 号油川岡町線〔道路建設〕	C	県景観条例	道路建設課

平成 14 年度後期庁内関係開発事業照会 (H15.2 ~ H15.3)

番号	月日	場所	遺跡名	開発内容	意見	備考
1	H15.2.17	平新田森越地内		都市計画道路 3・2・3 号外環状線〔道路建設〕	C	県景観条例
2	H15.2.17	三内丸山地内	三内丸山遺跡、浪館(1)遺跡	都市計画道路 3・4・15 号里見丸山線〔道路建設〕	B	県景観条例、要試掘
3	H15.3.7	久栗坂久栗坂山 1-418 他	山野峠遺跡	岩石採取・砂利採取	A	
4	H15.3.11	鶴ヶ坂早稲田 130-1		岩石採取・砂利採取	C	H14 年度後期来課各種開発事業照会 10 と同じ。
5	H15.3.17	鶴ヶ坂山本 54-128、43-1		岩石採取・砂利採取	C	
6	H15.3.20	野沢川部 79-11 他 1 筆		土地取引	C	

平成 15 年度工事立会い

番号	月日	工事場所	遺跡名	工事内容	問題等	備考
1	H15.7.18	西田沢山辺 225-27 他	西田沢(6)遺跡	菜園分譲予定地の道路部分の砂利敷設の為の掘削	無	慎重工事。H14 試掘調査実施。



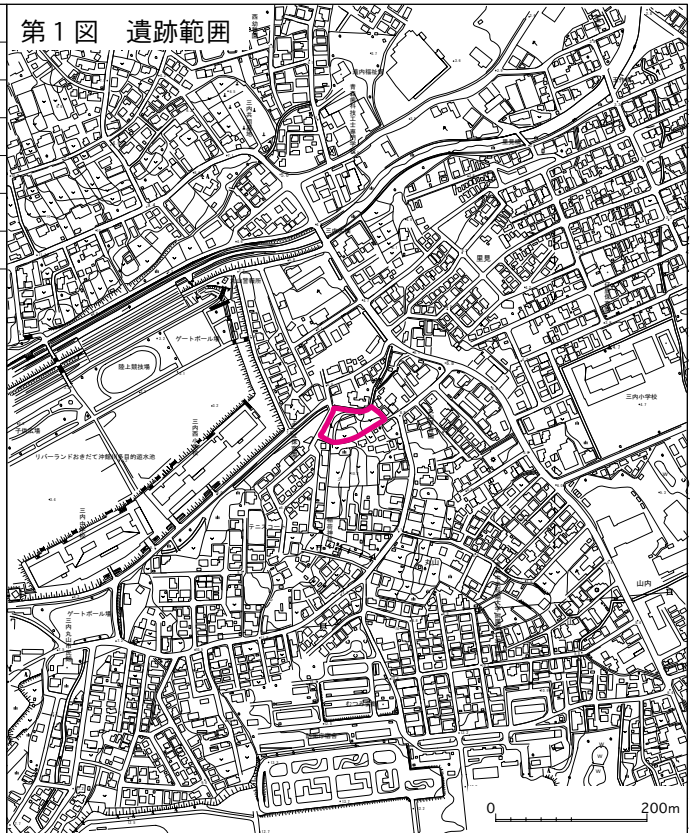
- ① 江渡遺跡
- ② 野木和(11)遺跡
- ③ 三内丸山地区
- ④ 岡町地区
- ⑤ 赤坂遺跡
- ⑥ 三内丸山(8)遺跡
- ⑦ 宮田館遺跡

第1図 平成15年度調査対象遺跡一覧

第Ⅱ章 新規登録・範囲変更遺跡

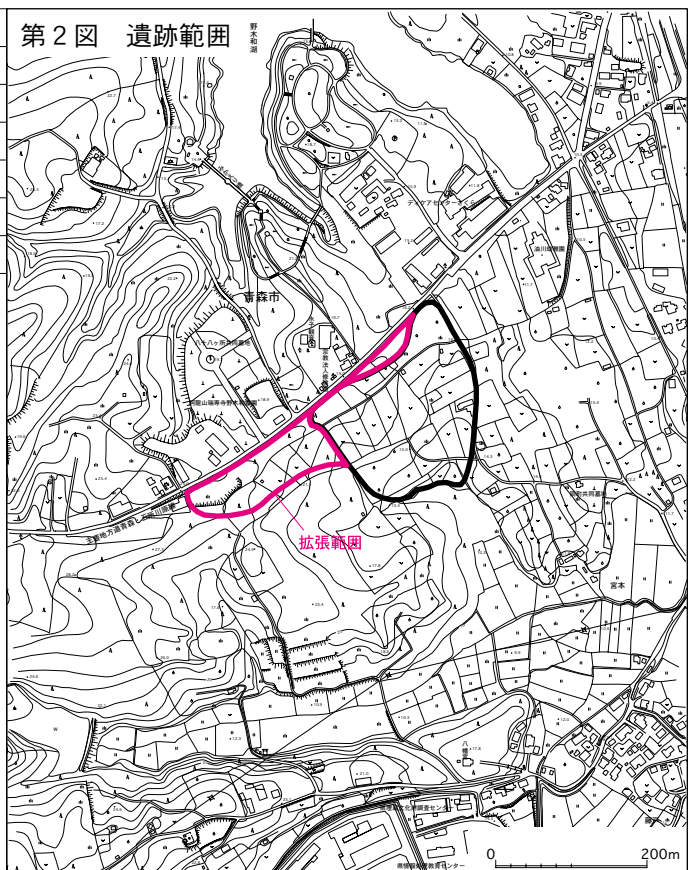
第1節 新規登録遺跡

遺跡名	三内丸山(8)遺跡
遺跡番号	01315
所在地	青森市大字三内字丸山45-13
立地	丘陵
現況	原野
時代	縄文時代、平安時代
遺物	縄文土器・土師器片
備考	<p>平成15年12月22日に都市計画道路3・4・15号里見丸山線建設事業に伴う試掘調査を実施した。</p> <p>結果、平安時代の竪穴住居跡、土師器をはじめ縄文土器片などが出土した。</p> <p>詳細は第Ⅲ章第6節のとおりである。</p>



第2節 範囲変更遺跡

遺跡名	岡町(9)遺跡
遺跡番号	01089
所在地	青森市大字岡町字宮本
立地	丘陵
現況	畑・山林
時代	縄文時代、平安時代
遺物	縄文土器片
備考	<p>平成15年12月19日に県道青森・五所川原線改良工事に伴う県教育庁文化財保護課の試掘調査により範囲の拡大を確認。土坑3基、縄文土器片などが出土した。</p>
 <p>写真1 試掘調査の状況 (青森県教育庁文化財保護課 提供)</p>	



第三章 試掘・確認調査

第1節 江渡遺跡

調査対象等

1. 調査地：青森市大字石江字江渡104-2・3・5・9
2. 開発内容：分譲宅地造成
3. 調査期間：平成15年4月16日～18日

調査に至る経緯

分譲宅地造成に関して都市計画法32条関連の事前協議に関連した照会によって工事予定部分は周知の埋蔵文化財包蔵地である江渡遺跡（青森県遺跡台帳番号01163）に該当していた。工事予定地内の埋蔵文化財の有無について確認を得るため確認調査を実施する必要性が生じた。

調査方法

重機によるトレンチ掘りで対象地内を21地点掘削調査した。

調査結果

調査対象地の現況は畑地で、地表面の観察では耕作による影響以外目立った破壊が認められなかった。掘削の結果、表土（現耕作土）が約10～20cm前後堆積を示す部分と、縄文時代から平安時代にかけての遺物包含層が20cm～30cm程度堆積している箇所が確認された。また、調査区中央部には緩やかな沢地状の地形が残存しており、その箇所については自然堆積層が最大40cm程度の厚さで堆積している。そのため、表土以下の堆積層の厚さは斜面の高い部分が15～20cm前後、堆積層の厚い部分は、60～70cm程度の土層堆積が認められた。

トレンチ毎の遺構・遺物の有無については以下に記す。

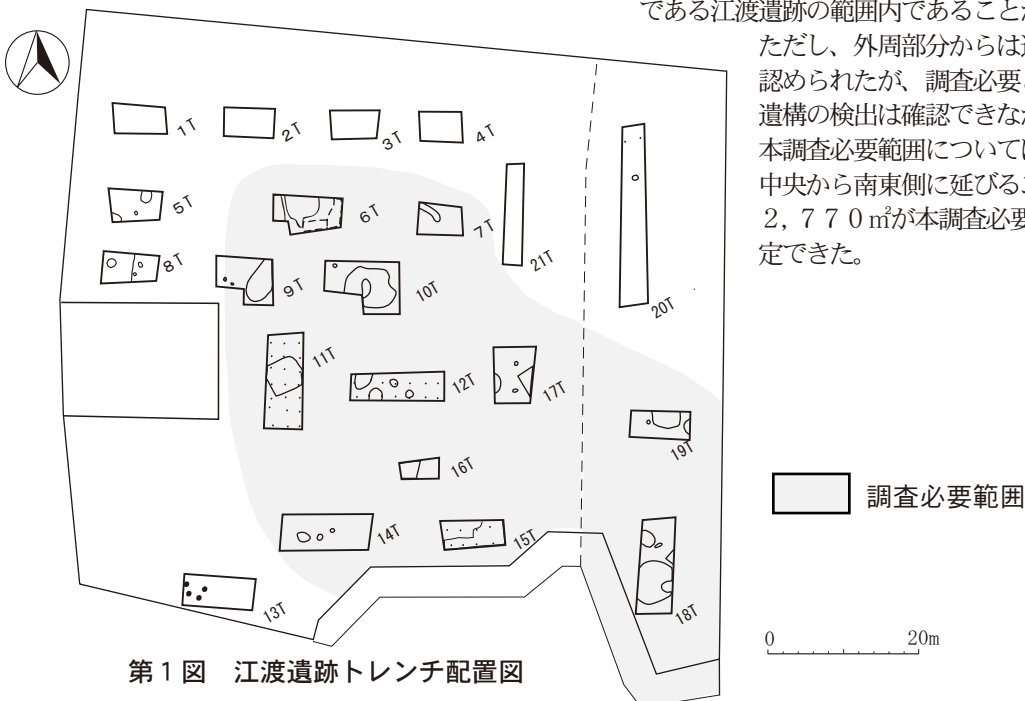
トレンチ1＝遺構・遺物無、トレンチ2＝遺構・遺物無、トレンチ3＝遺構・遺物無、トレンチ4＝遺構・遺物：近代の陶器、トレンチ5＝遺構：近代以降の

穴、風倒木・遺物：縄文土器・陶磁器出土、トレンチ6＝遺構：平安時代の住居跡2軒、文化層確認・遺物：土師器、鉄製品出土、トレンチ7＝遺構：溝跡（平安時代の外周溝の可能性有）・遺物無、トレンチ8＝遺構：近代以降の火災？被熱面検出・遺物：銅製スプーン、トレンチ9＝遺構：縄文時代の住居跡1軒、ピット2基・遺物無、トレンチ10＝遺構：平安時代の焼土状遺構、文化層確認・遺物：縄文土器出土、トレンチ11＝遺構：平安時代の住居跡1軒、近代以降の小ピット多数、風倒木・遺物無、トレンチ12＝遺構：土坑4基、近代以降の小ピット多数・遺物無、トレンチ13＝遺構：近代以降の小ピット4基・遺物：縄文土器出土、トレンチ14＝遺構：土坑2基、ピット1基・遺物：土師器、羽口出土、トレンチ15＝遺構：近代以降の小ピット多数、文化層確認・遺物無、トレンチ16＝遺構：平安時代の住居跡1軒・遺物無、トレンチ17＝平安時代の住居跡1軒、土坑1基、ピット2基、堆積層2面確認、遺物：無、トレンチ18＝縄文時代の住居跡2軒、平安時代の住居跡1軒（焼失住居）、土坑1基、ピット1基、遺物：縄文土器、石器、土師器、陶磁器、トレンチ19＝縄文時代の土坑1基、平安時代の住居跡1軒、ピット1基、遺物：縄文土器出土、トレンチ20＝約半分が現代の攪乱により破壊を受けている。近代以降の小ピット3基、遺物：無、トレンチ21＝遺構：近代以降の小ピット多数、遺物：無

調査の結果、今回の調査対象区域は周知の遺跡である江渡遺跡の範囲内であることが認められた。

ただし、外周部分からは遺物の出土が認められたが、調査必要と判断される遺構の検出は確認できなかったため、本調査必要範囲については調査対象区中央から南東側に延びるエリアとなり、2,770㎡が本調査必要であると認定できた。

（木村）



第2節 野木和(11)遺跡

調査対象等

1. 調査地：青森市羽白字野木和
2. 開発行為：畑地造成
3. 調査期間：平成15年7月28日・8月4日

調査に至る経緯

平成14年12月、青森県文化財保護指導員のパトロールの状況報告で、周知の遺跡である野木和(11)遺跡(青森県遺跡台帳番号01099)の掘削を確認した。工事主体者は、発掘に関する届出書(文化財保護法第57条の2)を提出することなく造成工事を行い、遺跡の一部を損壊していたことが明らかとなった。当委員会では事業者に対し遺憾の意を示し、埋蔵文化財の取扱いについて指導した。その後、工事主体者との協議により、工事を中止することとし、平成15年7月に遺構の残存状況を確認するための調査を実施することとなった。

調査方法

前述のように、調査前の時点で、調査区全体が黄褐色ローム層まで掘削されていたため、全体にジョレンがけを行い、個々の遺構の残存状況を確認した。グリッドについては基準となる箇所がなかったため、設定せず、トータルステーションで調査区の範囲と遺構の形、位置を把握した。遺構の実測・遺物の取り上げは簡易遣り方測量で行った。

調査結果

調査対象面積2,607㎡に対し、57㎡調査を実施した。確認調査の結果、遺構については、平安時代の竪穴住居跡2軒、土坑2基の残存を確認し、遺物については、土師器・須恵器・擦文土器、土製支脚・鉄器が出土した。

A. 竪穴住居跡

S I - 0 1

本遺構は、貼床が露出するほど削平を受けており、長軸673×短軸592cmで、不整形を呈し、深さは最大で10cmである。壁溝や、住居内の土坑・柱穴はないが、炭化物の集中範囲が2箇所検出されている。また、住居の中央部は攪乱を受けている。カマドは、南西側の壁に造られており、構造は半地下式である。カマドについても袖部の芯材と考えられる礫と火床面のみ確認された。煙道部は中央がやや落ち込んでいる。出土遺物は、土師器甕を中心に、把手付土器、羽釜、小壺、土製支脚(棒状)、鉄器が出土しており、特に小壺は、外面にヘラ書きがなされている。

S I - 0 2

本遺構は、東側と南側が削平されており、残存する部分での規模は、長軸394×短軸290cmで、深さは、最大で30cmである。住居内からは、土坑2基・ピット6基が確認されている。ピット6基のうち、ピット1～5は壁柱穴である。カマドは大

部分が削平されており、火床面の一部が残存していた。遺物は、覆土を中心に土師器甕、把手付土器、土製支脚(輪積み)、須恵器が出土している。

B. 土坑

S K - 0 1

本遺構は、平面形が楕円形を呈し、長軸94×短軸70×深さ34cmを測る。壁はほぼ垂直に立ち上がるが、底面は起伏がある。

S K - 0 2

本遺構は、平面形は不整形を呈し、46×20×7cmの断面形が浅い鍋底状の土坑と、48×44×22cmの断面形が碗状の土坑がくっついた形状である。浅い土坑の底面には、焼土が広がっていた。出土遺物には、土師器、土製支脚、鉄器があるが、土師器は小片のため、図化できなかった。

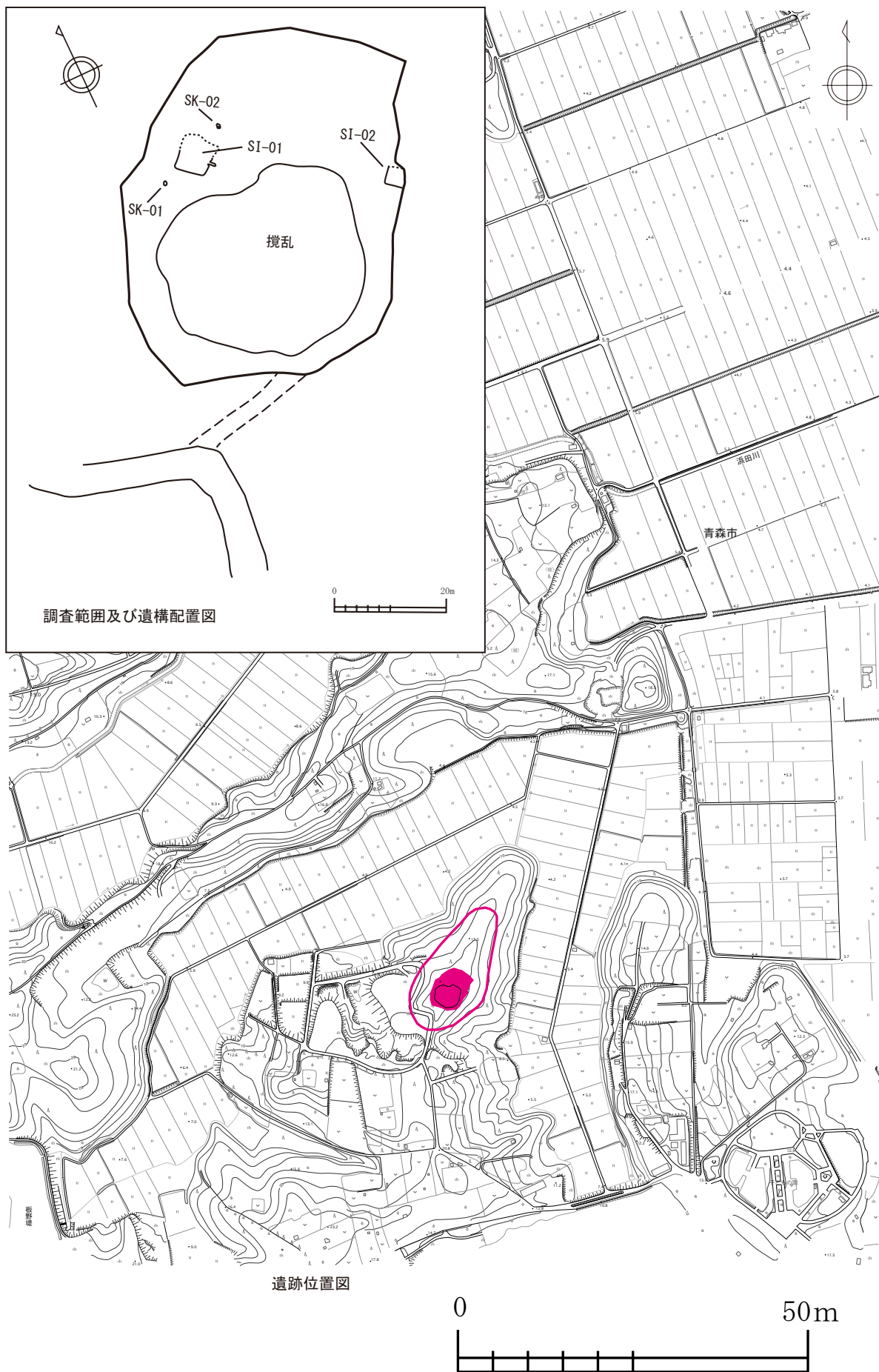
C. 遺構外出土遺物

ビニール袋で1袋ほどの土器を採集したが、摩耗しているものが多く、図化可能な遺物は第6図12の擦文土器1点であった。

まとめ

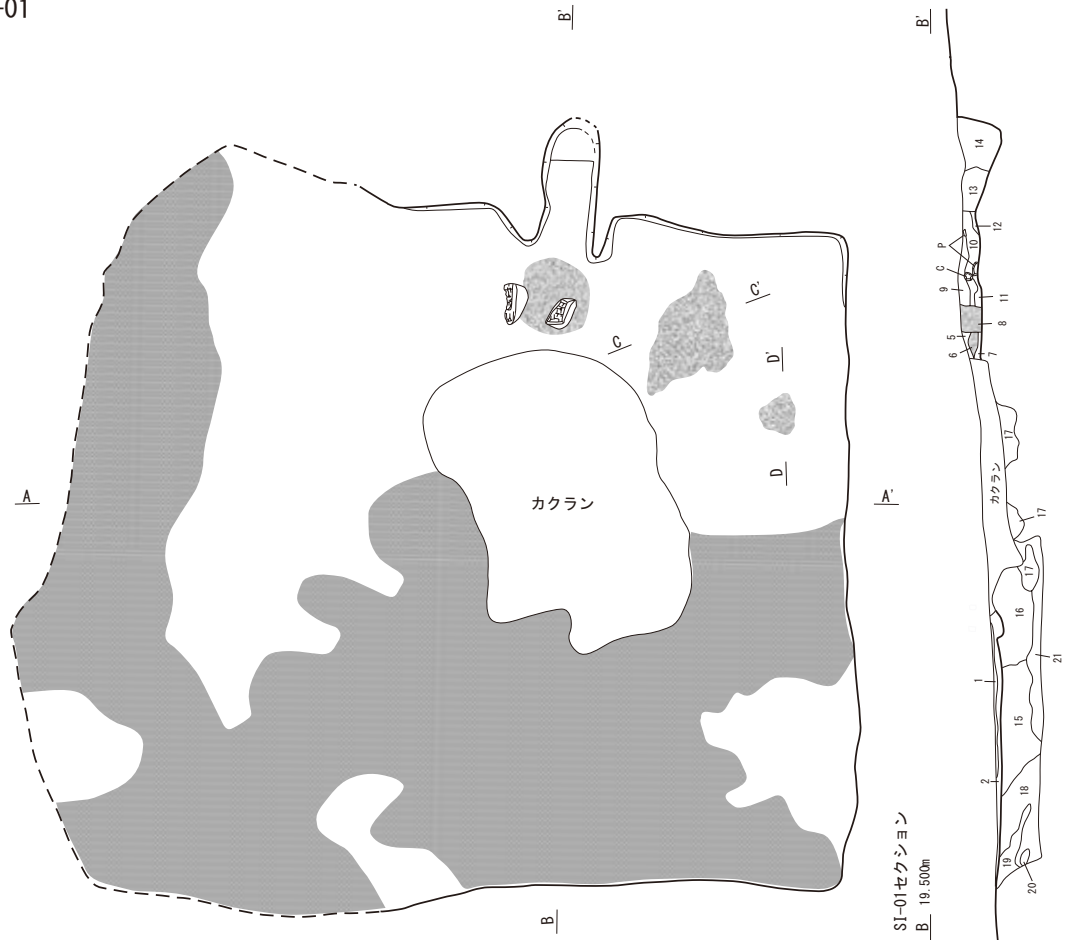
今回の調査は、削平された場所を極めて短い期間で行ったものである。調査区中央部の攪乱部分をはじめ、調査区全体が月見野火山灰層まで削平を受けており、残存状況は決して良くはなかったが、平安時代の竪穴住居跡2軒、土坑2基を確認することができた。

(設 楽)

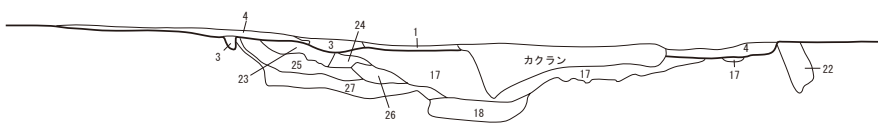


第2図 遺跡位置図及び遺構配置図

SI-01



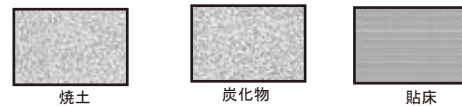
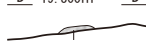
SI-01セクション
A. 19.500m



SI-01炭①セクション
C. 19.300m



SI-01炭②セクション
D. 19.300m



SI-01

第1層	10YR3/3	暗褐色土	LB(5mm~3cm大)多量
第2層	10YR2/2	黒褐色土	焼土粒、炭化物中量、貼床
第3層	10YR1.7/1	黒色土	炭化物、焼土粒少量
第4層	10YR2/2	黒褐色土	焼土粒、炭化物中量
第5層	10YR2/1	黒色土	炭化物、焼土粒少量
第6層	7.5YR4/4	褐色土	炭化物、焼土粒少量
第7層	7.5YR1.7/1	黒色土	炭化物少量
第8層	5YR4/6	赤褐色土	焼土
第9層	7.5YR3/3	暗褐色土	焼土粒中量
第10層	7.5YR3/3	暗褐色土	焼土粒微量
第11層	7.5YR3/4	暗褐色土	焼土ブロック微量
第12層	7.5YR3/2	黒褐色土	焼土ブロック炭化物ごく微量
第13層	10YR7/6	明黄褐色土	
第14層	10YR6/6	明黄褐色土	
第15層	10YR2/1	黒色土	LB(5cm大)多量
第16層	10YR6/6	明黄褐色土	

*5~14層はカマドの層

第17層	10YR2/1	黒色土	LB多量
第18層	10YR4/6	褐色土	ローム質土が多量混じる
第19層	10YR6/1	明黄褐色土	褐色土少量混じる
第20層	10YR6/6	明黄褐色土	
第21層	10YR7/8	黄褐色土	
第22層	10YR4/6	褐色土	ロームが多量混じる
第23層	10YR4/6	褐色土	焼土粒、ローム粒少量、炭化粒少量
第24層	10YR4/6	褐色土	炭化粒、焼土ブロック少量
第25層	10YR6/6	明黄褐色土	焼土粒、炭化粒少量
第26層	10YR4/6	褐色土	焼土粒多量
第27層	10YR3/4	暗褐色土	ローム粒、炭化粒多量
第28層	7.5YR3/3	暗褐色土	焼土ブロック(5~6cm大) 焼土粒多量、炭化粒少量

SI-01内炭①

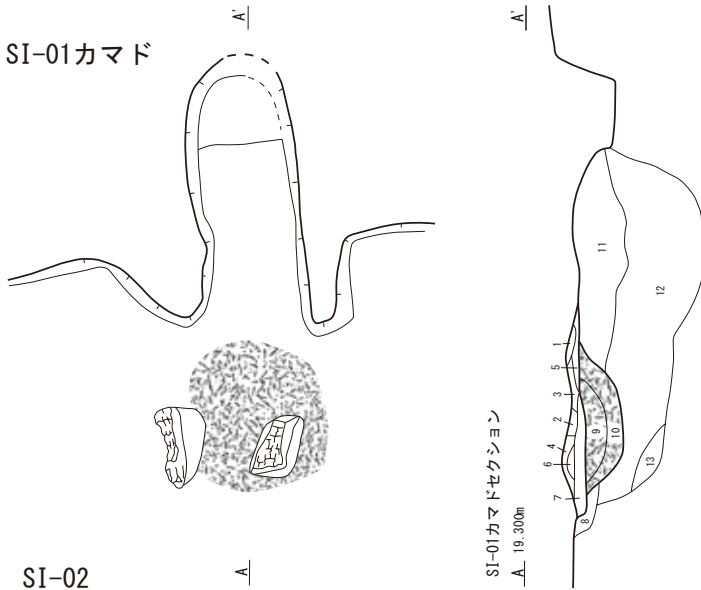
第1層	10YR1.7/1	黒色土	炭化物多量、焼土ブロック微量
-----	-----------	-----	----------------

SI-01内炭②

第1層	10YR3/2	黒褐色土	炭化物中量、ローム粒やや多量、焼土粒微量
-----	---------	------	----------------------

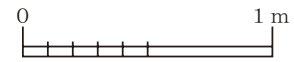
第3図 SI-01①

SI-01カマド

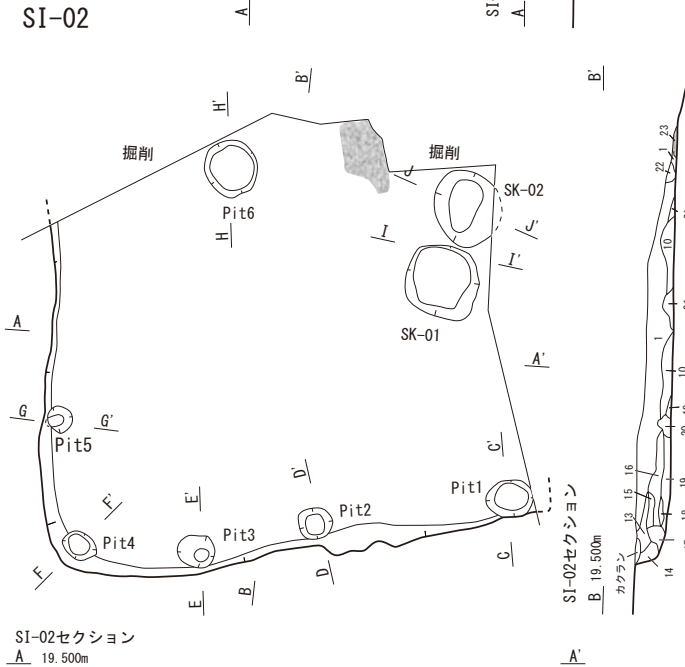


SI-01カマド

第1層	7.5YR2/2	黒褐色土	焼土粒、炭化物少量
第2層	10YR1.7/1	黒色土	焼土粒少量、焼土ブロック (1cm大) 少量
第3層	7.5YR5/6	明褐色土	焼土
第4層	7.5YR4/4	褐色土	焼土ごく微量、炭化物ごく微量
第5層	5YR3/2	暗赤褐色土	焼土粒中量、焼土ブロック (1cm大) 少量、炭化物ごく微量
第6層	5YR4/4	にぶい赤褐色土	炭化物微量
第7層	7.5YR6/6	橙色土	焼土粒微量、黒褐色土少量まじる
第8層	10YR2/1	黒色土	焼土粒、ローム粒、炭化粒多量
第9層	5YR5/8	明赤褐色土	焼土、火床面
第10層	7.5YR4/6	褐色土	浮石少量、炭化物少量
第11層	7.5YR4/4	褐色土	焼土ブロック (7.5YR5/8) 炭化物少量
第12層	7.5YR3/4	暗褐色土	焼土ブロック (2.5YR5/8) 炭化物散在
第13層	7.5YR5/4	にぶい褐色土	炭化物ごく微量



SI-02

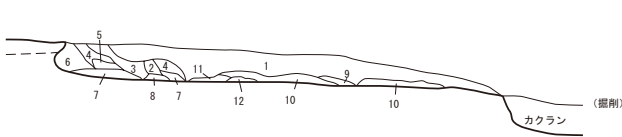


SI-02

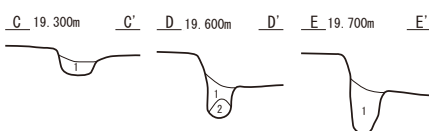
第1層	10YR2/1	黒色土	ローム粒・焼土粒中量
第2層	10YR6/6	明黄褐色土	ローム、黒色土が混じる
第3層	10YR3/4	暗褐色土	ローム粒少量
第4層	10YR4/4	褐色土	ローム粒少量
第5層	10YR3/4	暗褐色土	LB (5cm大) 微量
第6層	10YR4/6	褐色土	
第7層	10YR5/6	黄褐色土	暗黄褐色土が混じる
第8層	5YR4/8	赤褐色土	焼土ブロック
第9層	10YR2/1	黒色土	焼土粒中量
第10層	10YR4/6	褐色土	黒色土が混じる、焼土ブロック微量
第11層	10YR4/4	褐色土	焼土粒少量
第12層	5YR4/8	赤褐色土	焼土ブロック
第13層	10YR3/2	黒褐色土	ローム粒少量
第14層	10YR5/6	黄褐色土	ローム粒少量、黒色土が混じる
第15層	10YR4/4	褐色土	ローム粒少量
第16層	10YR3/3	暗褐色土	炭化物粒少量、黄褐色土が混じる
第17層	10YR2/3	黒褐色土	
第18層	10YR6/6	明黄褐色土	ローム、炭化物を (5cm) 含む
第19層	10YR2/3	黒褐色土	ローム粒少量、炭化物を上層に含む
第20層	10YR2/3	黒色土	焼土ブロック微量、炭化物粒多量
第21層	10YR4/6	褐色土	ローム粒・焼土粒少量
第22層	10YR3/4	暗褐色土	焼土粒中量
第23層	7.5YR4/6	赤色土	

Pit1	第1層	10YR3/3	暗褐色土	ローム粒少量
Pit2	第1層	10YR3/3	暗褐色土	
	第2層	10YR2/3	黒褐色土	ローム粒中量、炭化物粒少量
Pit3	第1層	10YR2/2	黒褐色土	ローム粒・炭化物粒少量
Pit4	第1層	10YR6/6	明黄褐色土	炭化物 (2cm) 微量
	第2層	10YR2/2	黒褐色土	ローム粒多量
Pit5	第1層	10YR4/4	褐色土	炭化物粒少量
Pit6	第1層	10YR3/3	暗褐色土	炭化物粒少量

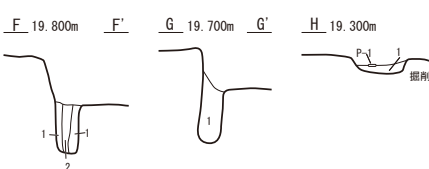
SI-02セクション



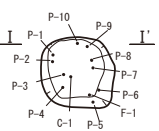
Pit1セクション Pit2セクション Pit3セクション



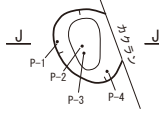
Pit4セクション Pit5セクション Pit6セクション



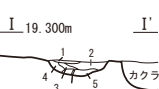
SK-01



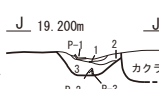
SK-02



SK-01セクション



SK-02セクション



SI-02内SK-01

第1層	10YR2/1	黒色土	焼土粒・炭化粒・ローム粒多量混入
第2層	10YR2/1	黒色土	
第3層	10YR4/4	褐色土	焼土粒少量、焼土ブロック含む
第4層	10YR4/4	褐色土	
第5層	10YR3/3	暗褐色土	焼土粒中量

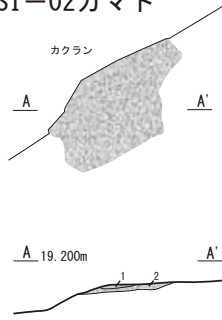
SI-02内SK-02

第1層	10YR3/4	暗褐色土	焼土ブロック・焼土粒多量
第2層	10YR4/4	褐色土	焼土粒中量
第3層	10YR2/1	黒色土	焼土粒多量



第4図 SI-01カマド・SI-02②

SI-02カマド

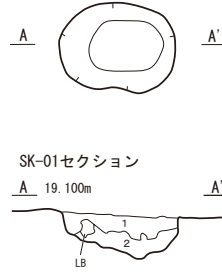


SI-02カマド

第1層 2.5YR6/6 橙色土 火床面
第2層 5YR4/6 赤褐色土 黒色土が少量混じる



SK-01



SK-01

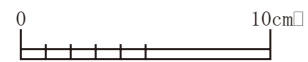
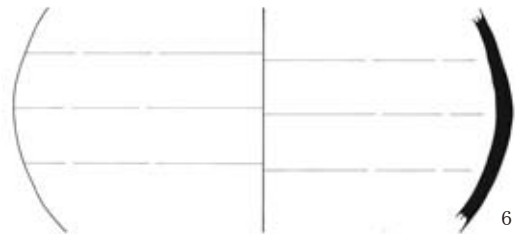
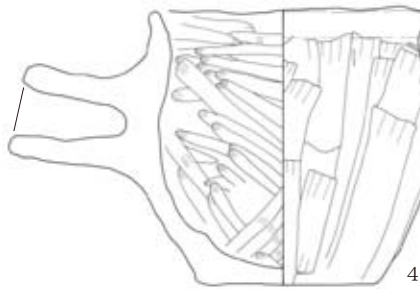
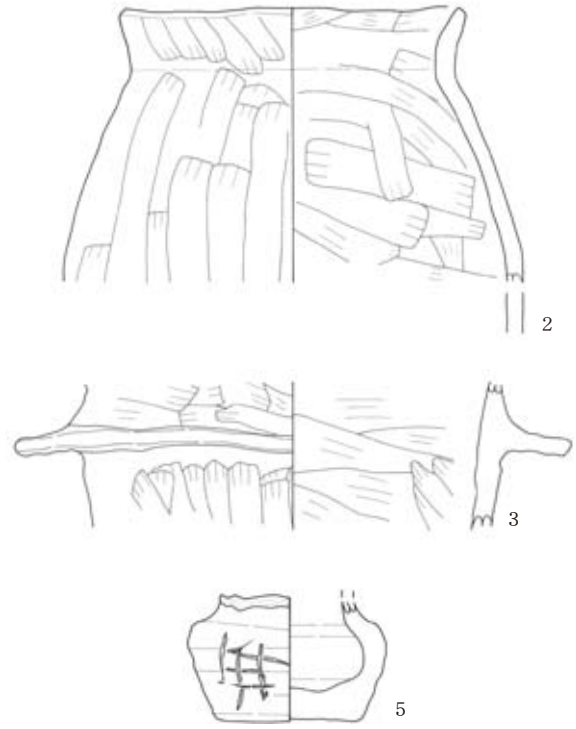
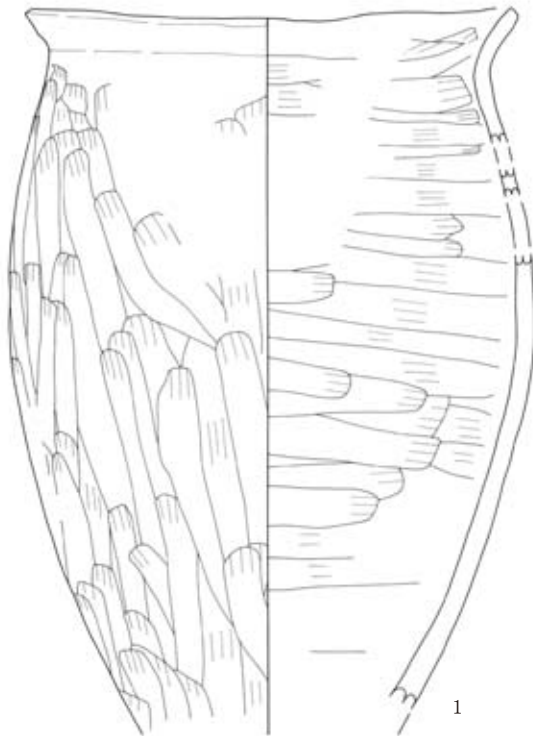
第1層 10YR4/4 褐色土 LB (2cm~6cm大) 中量、
焼土ブロック (1cm~2cm大) 少量
第2層 10YR3/2 黒褐色土 焼土ブロック (2cm~10cm大) 少量、
炭化物少量、ローム粒中量

SK-02

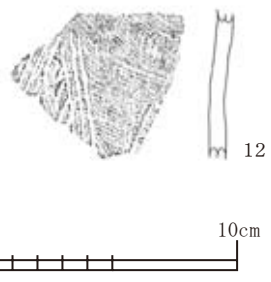
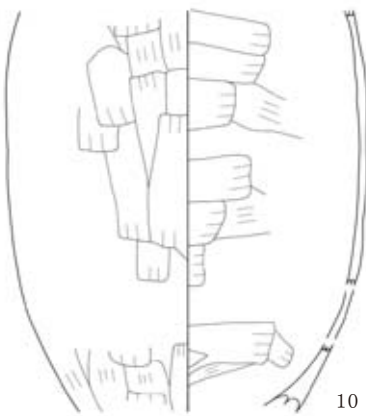
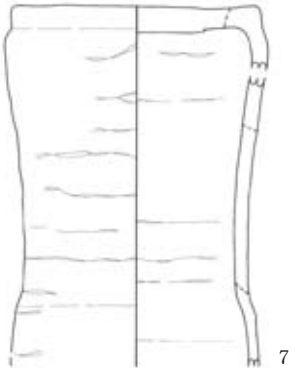
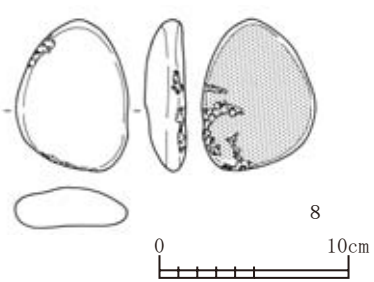
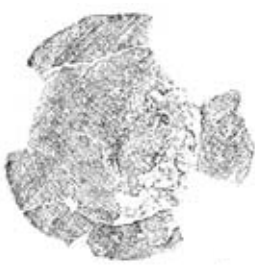
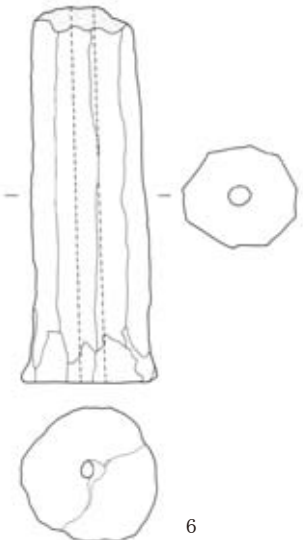
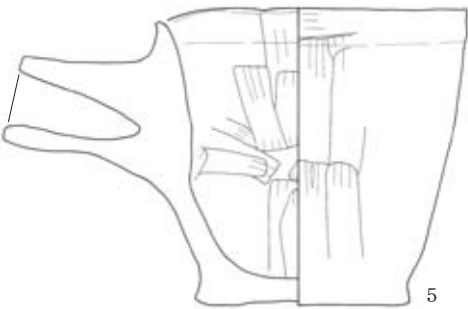
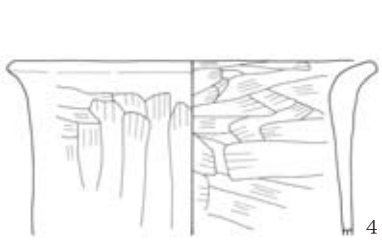
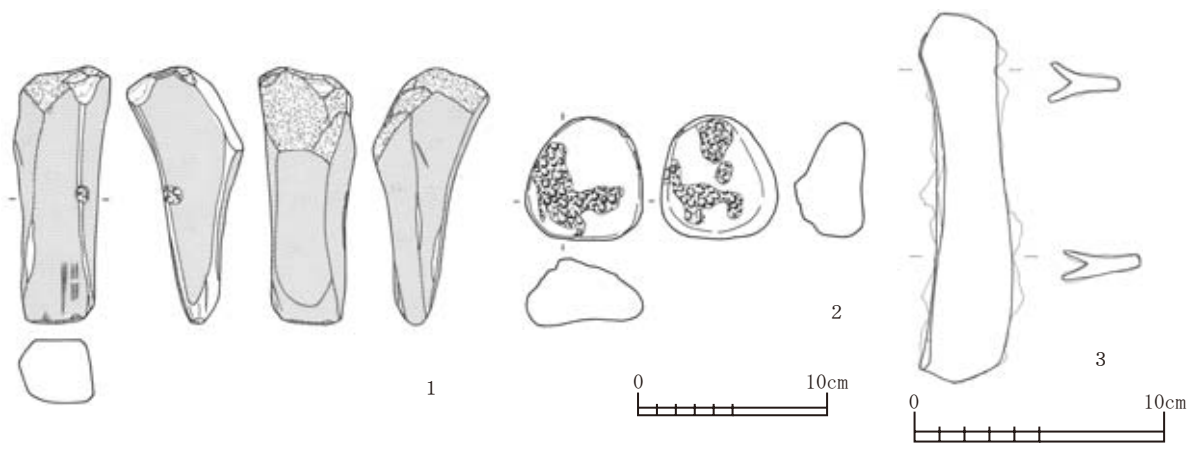


SK-02

第1層 10YR4/2 灰黄褐色土 ローム粒多量、焼土粒少量
ロームブロック (5mm~3cm大) 多量
第2層 10YR3/1 黒褐色土 焼土ブロック (1cm~5cm大) 中量
炭化物少量
第3層 10YR2/1 黒色土 炭化物少量
第4層 10YR2/1 黒色土 焼土粒・ローム粒多量



第5図 SI-02カマド・SK-01・02・SI-01出土遺物



第6図 SI-01・SI-02出土遺物

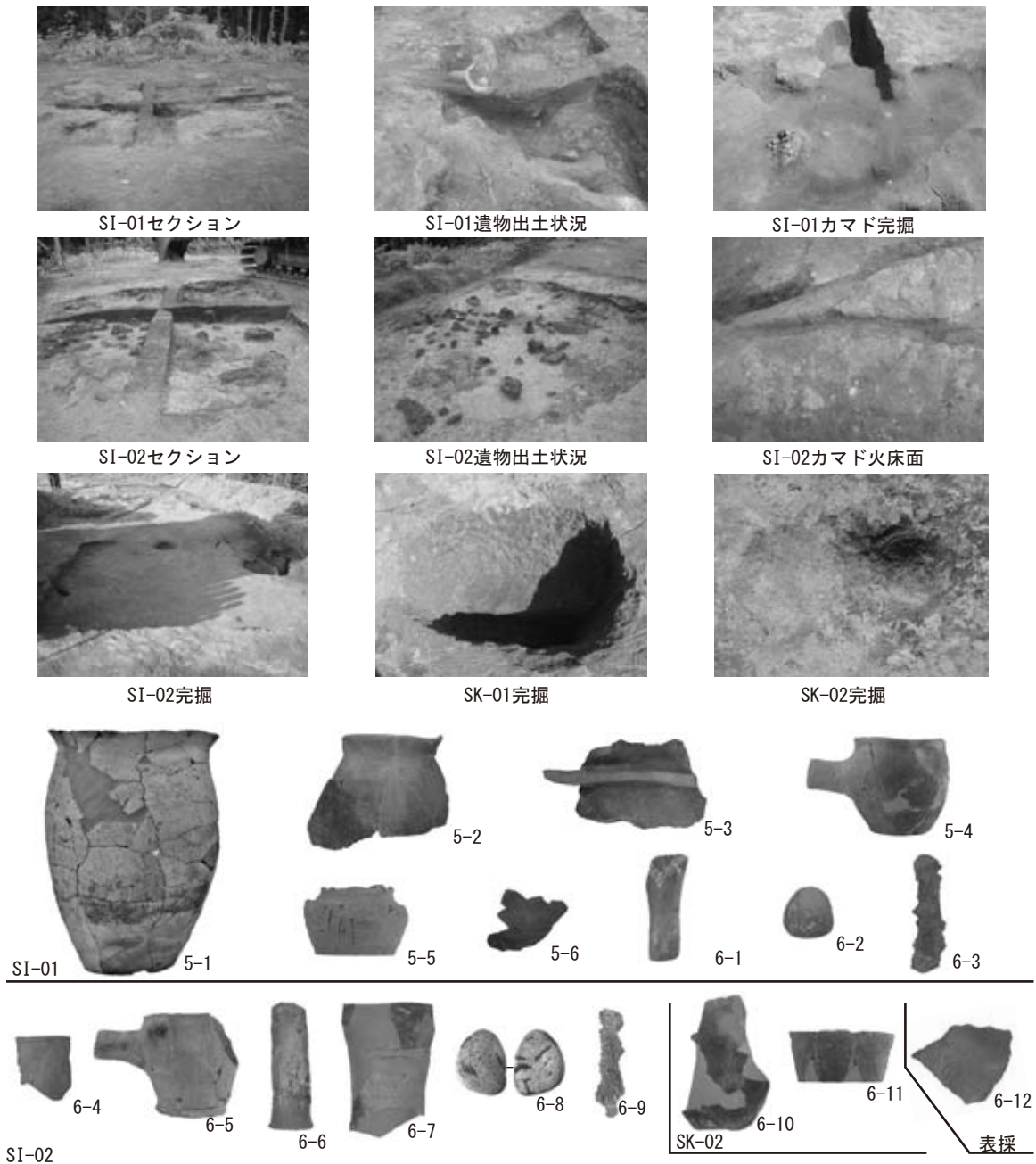


写真1. 遺構・遺物

野木和(11)遺跡出土土器観察表

図版番号	出土位置	層位	種別	器種	口径	器高	底径	焼成	外面調整	内面調整	底面調整	色調外面	色調内面	備考
5 1	SI-01SN	フク9、フク11、火床面直上、フク7、フク1	土師器	壺	196			並	ヘラ	ヘラ		10YR8/3 浅黄橙	10YR7/3 に近い黄橙	
5 2	SI-01SN	フクP-X・火床面直上・フク1	土師器	壺	140			並	ヘラ	ヘラ		7.5YR7/6 橙	5YR7/6 橙	
5 3	SI-01	フク2	土師器	羽釜	147			並	ヘラ	ヘラ		5YR6/6 橙	7.5YR7/6 橙	
5 4	SI-01	床面	土師器	把手付土器				良好	ヘラ	ヘラ	回転糸切	7.5YR6/4 に近い橙	10YR6/4 に近い黄橙	
5 5	SI-01	床面	土師器	小壺	(50)	57		良好	ロクロナデ	ロクロナデ	回転糸切	5YR7/6 橙	5YR6/6 橙	ヘラ記号、口頭部に一部油痕
5 6	SI-01	床面	須恵器	壺	106	110	73	良好	ロクロナデ	ロクロナデ		5YR6/6 橙	2.5YR6/8 橙	
6 4	SI-02内SK	フク3	土師器	壺	(148)			並	ヘラ	ヘラ		7.5YR7/4 に近い橙	7.5YR8/6 浅黄橙	
6 5	SI-02内SK	フク1	土師器	把手付土器	(125)	119	86	並				5YR7/6 橙	5YR6/6 橙	
6 6	SI-02内SK	フク1		土製支脚	(41)		(150)	並			ヘラナデ	2.5YR6/8 橙	2.5YR6/8 橙	棒状
6 7	SI-02	フク1		土製支脚			(145)	並				2.5YR6/8 橙	2.5YR6/8 橙	粘土巻上げ
6 10	SK-02	フク1	土師器	壺				良好	ヘラ	ヘラ		5YR5/6 明赤褐	5YR6/6 橙	
6 11	SK-02	フク2	土師器	壺	80							7.5YR6/6 浅黄橙	10YR3/1 黒褐	
6 12	表採	表採	隈文土器	壺					綾杉文・ハケメ	ナデ		10YR7/4 に近い黄橙	10YR6/1 褐灰	

野木和(11)遺跡出土土器観察表

図版番号	出土位置	層位	種別	器種	備考
6 1	SI-01	床下S-X	石器	砥石	鉄付着
6 2	SI-01	フク4S-3	石器	スリ石	鉄付着
6 3	SI-01	床下F-X	鉄器	不明	挟り有り
6 8	SI-02	フクS-X	石器	スリ石	鉄付着

第3節 三内丸山地区

調査対象等

1. 調査地：青森市大字三内字丸山278-1
2. 開発内容：駐車場建設
3. 調査期間：平成15年8月2～3日

調査に至る経緯

駐車場建設に伴う埋蔵文化財包蔵地の照会があり、開発予定地が周知の遺跡である近野遺跡と三内丸山(5)遺跡に近接していたため、遺跡の有無確認を目的に試掘調査を実施した。

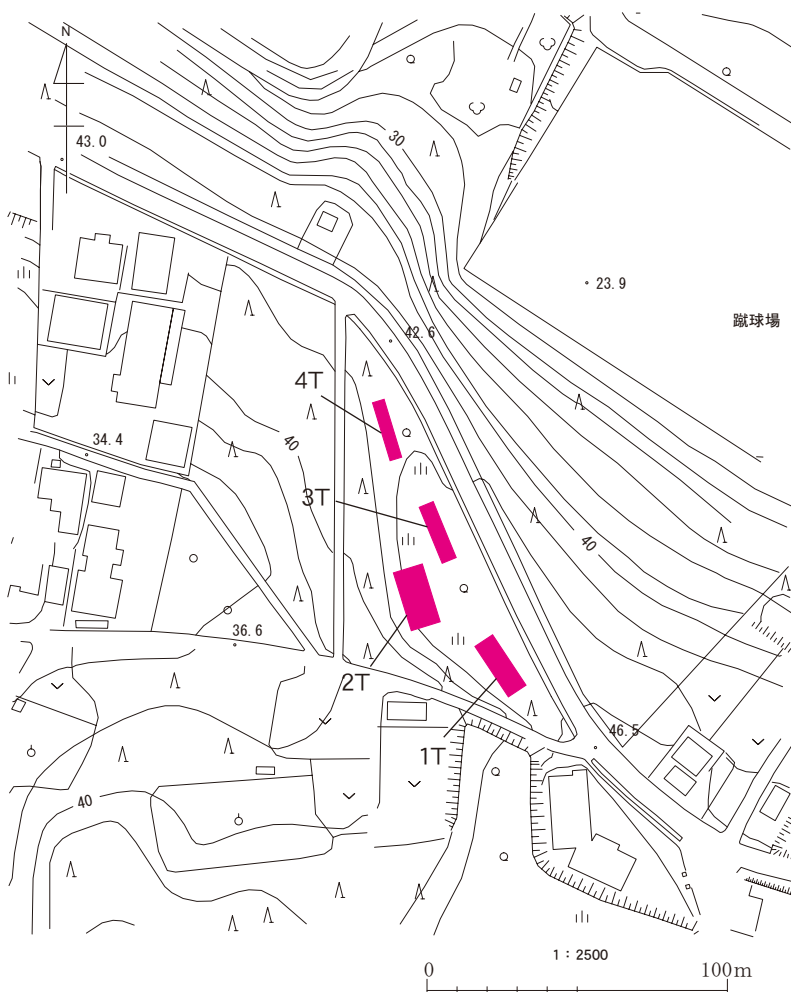
調査方法

開発予定地(4,540㎡)に任意のトレンチを4地点設定し、重機による掘削及び必要に応じて鋤簾がけを行った。調査面積は520㎡である。

調査結果

調査した4地点は、いずれも削平されており、さらにその上に1m～3m以上の盛土が認められ、開発地全体が既に造成されていることが判明した。このため、遺構や遺物は出土せず、現状では埋蔵文化財包蔵地として認めることができなかった。工事については、試掘調査後に開発者側が実施しており、現在は駐車場となっている。

(児玉)



第7図 調査区位置図



写真2 調査区近景

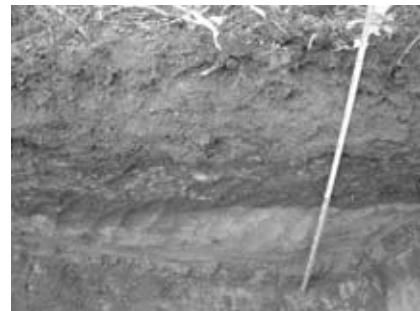


写真3 1T 土層断面



写真4 1T 完掘状況

第4節 岡町地区

調査対象等

- 1.調査地：青森市大字羽白字富田190-4ほか
- 2.開発内容：施設建設
- 3.調査期間：平成15年8月11日

調査に至る経緯

工事予定部分は周知の埋蔵文化財包蔵地である岡町(5)遺跡(青森県遺跡台帳番号01085)の隣接地に該当していた。工事予定地内の埋蔵文化財の有無について確認を得るため試掘調査を実施する必要性が生じた。

調査方法

開発予定地に重機によるトレンチ掘りで対象地内を10地点掘削調査した。

調査結果

調査対象地の現況は水田が主体であり、地表面の観察では耕作による影響以外目立った破壊が認められなかった。

掘削の結果、1Tが約30cm前後の盛土面が確認され、その盛土層から土師器の碎片1片が出土したが、その直下には約70~80cmの黒色有機物腐植土層が堆積しており、沢地状の地形を有していることが確認できたが、遺構や遺物等本調査が必要とされる資料が認められなかった。

2Tは上面に廃材が混入する攪乱土の堆積が認められたが、直下は有機物層の堆積が認められ、地表から約1m下の部分からB-Tm火山灰の二次堆積層とその直下約15cm下からは青灰色の砂層が確認された。ただし、人工的な遺物等の出土は認められなかった。

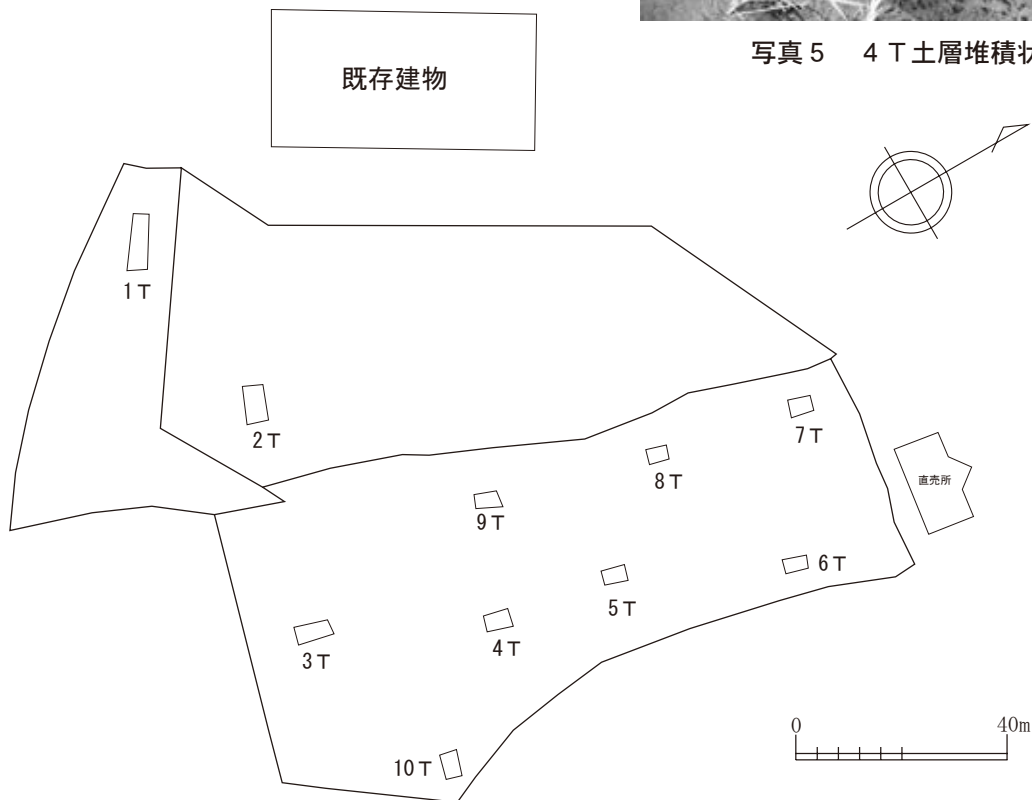
3T~10Tについても現況の水田面から約1~2m前後の土層堆積が認められたが、自然流木等を伴う腐植土層の堆積と下層から海砂を含む土層の堆積が認められ、縄文海進期の海岸面等の状況は想定されるが、人的な影響が認められないことから遺跡とは認定できない。

よって、以上の結果から開発予定地に関しては本調査の必要性なしと判断した。

(木村)



写真5 4T土層堆積状況



第8図 調査区及びトレンチ配置図

第5節 赤坂遺跡

調査対象等

1. 調査地：青森市大字戸山字赤坂482-1、48-1
2. 開発内容：宅地分譲造成
3. 調査期間：平成15年11月26日

調査に至る経緯

宅地分譲造成に伴う埋蔵文化財包蔵地の照会があり、開発予定地が周知の遺跡である赤坂遺跡（青森県遺跡台帳番号01053）に該当したため、発掘調査の要否の検討を目的に試掘調査を実施した。

調査方法

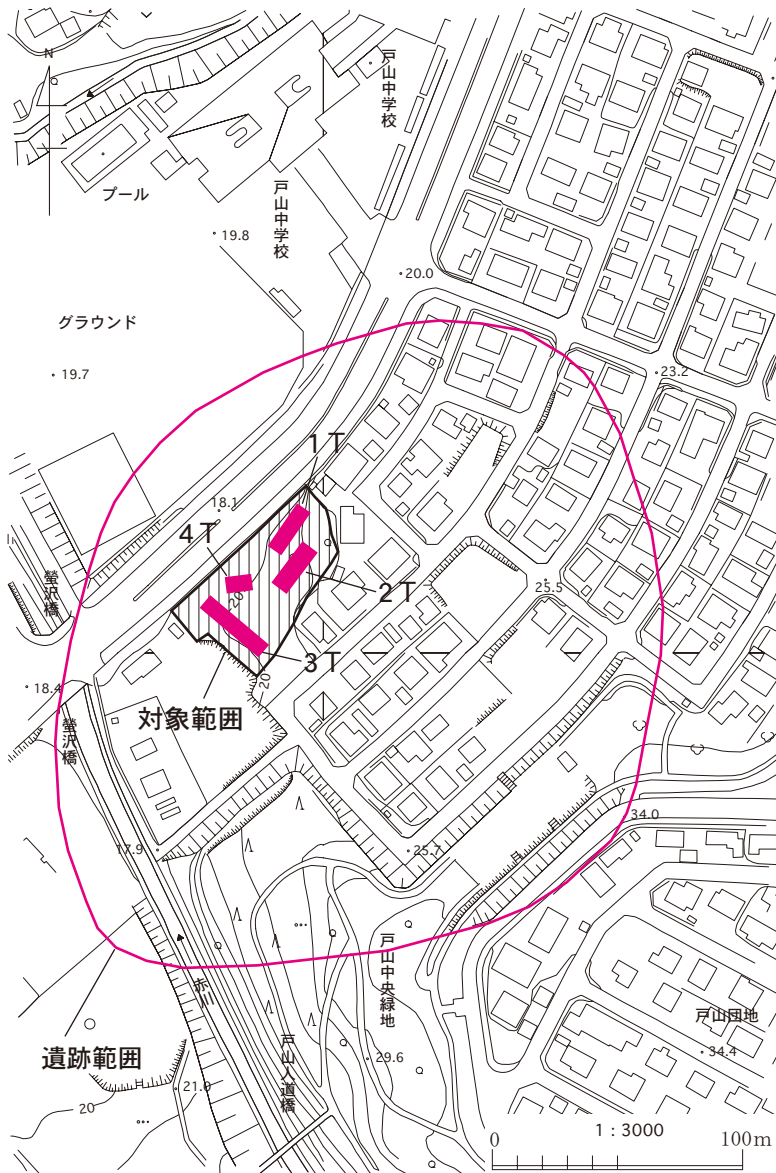
開発予定地（2,496㎡）に任意にトレンチを4地点設定し、重機による掘削及び必要に応じて鋤簾がけを行った。調査面積は500㎡である。

調査結果

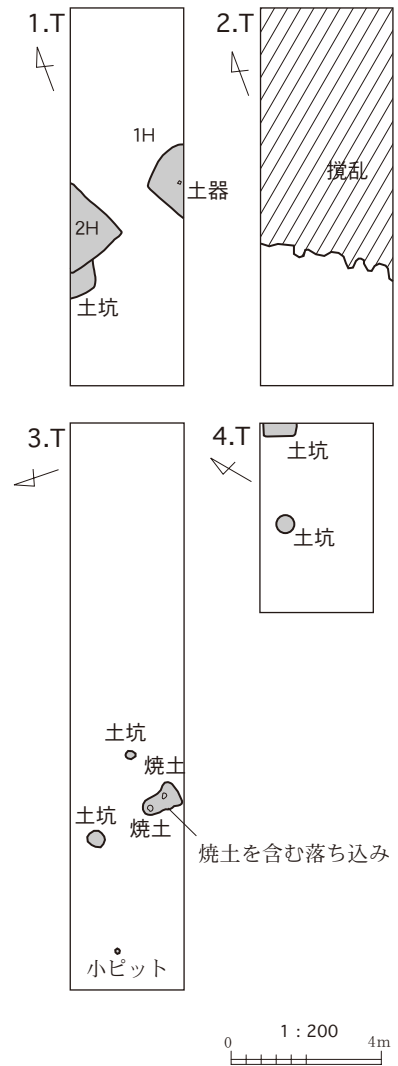
調査した4地点の地山までの深さは、1T=30cm、2T=60cm、3T=100cm、4T=90cmで、開発地の北東側約3分の1が削平されていた。遺構は地山残存部より検出し、平安時代の竪穴住居跡2軒（1～2H）及び時期不明の土坑5基、小ピット1基、焼土1基を検出した。遺物は、竪穴住居跡の覆土上面や遺構外から平安時代の土師器や須恵器片、縄文土器片が出土した。

以上の結果、今回の開発予定地が遺構・遺物を包含する部分と重複したため、工事の際には事前に発掘調査を必要とすることが判明した。工事の施工及び発掘調査の実施については、現在開発者側と調整中である。

（児 玉）



第9図 調査区位置図



第10図 遺構確認状況



写真6 1T 竪穴住居跡 (1H)



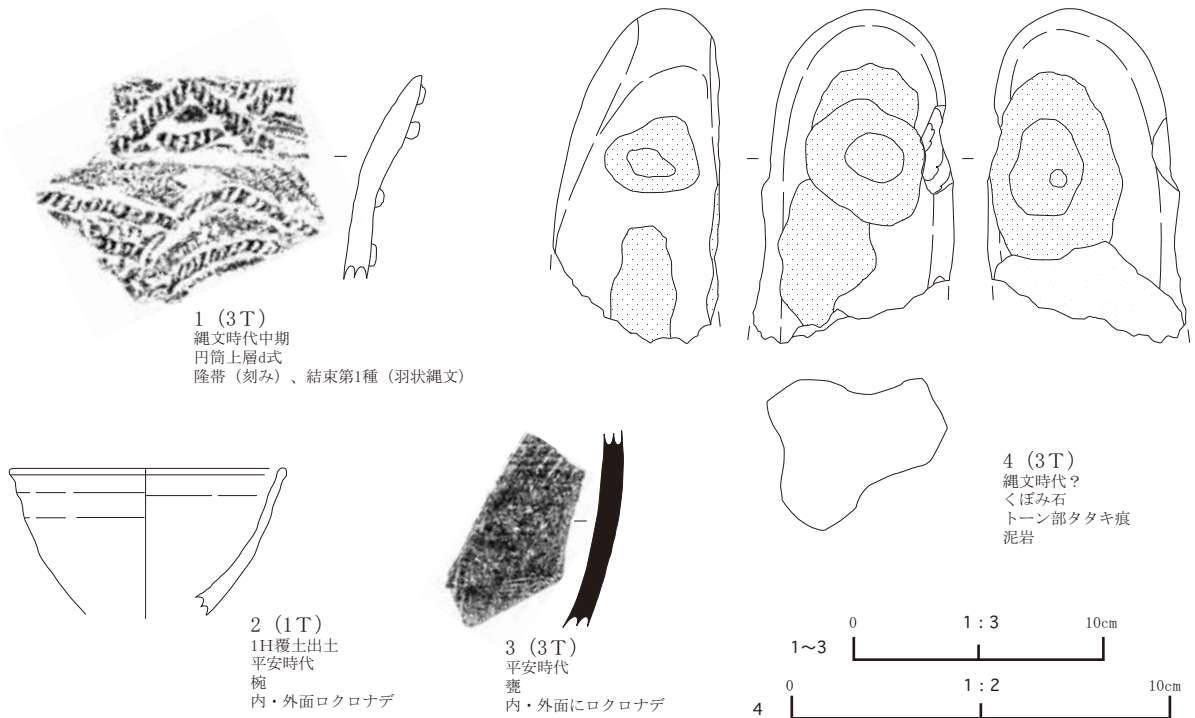
写真7 1T 土坑 (左) と竪穴住居跡 (2H)



写真8 3T 完掘状況



写真9 4T 完掘状況



第11図 赤坂遺跡出土遺物

第6節 三内丸山（8）遺跡

調査対象等

1. 調査地：青森市大字三内字丸山45-13
2. 開発行為：道路建設
3. 調査期間：平成15年12月22日

調査に至る経緯

青森市道路建設課との埋蔵文化財に関する事前協議に基づき、都市計画道路3・4・15号里見丸山線の道路建設事業に伴う遺跡の有無確認を目的とした試掘調査を実施した。

調査方法

開発予定地内（500㎡）に任意にトレンチを2地点設定し、重機による掘削及び必要に応じて鋤簾がけを行った。調査面積は30㎡である。

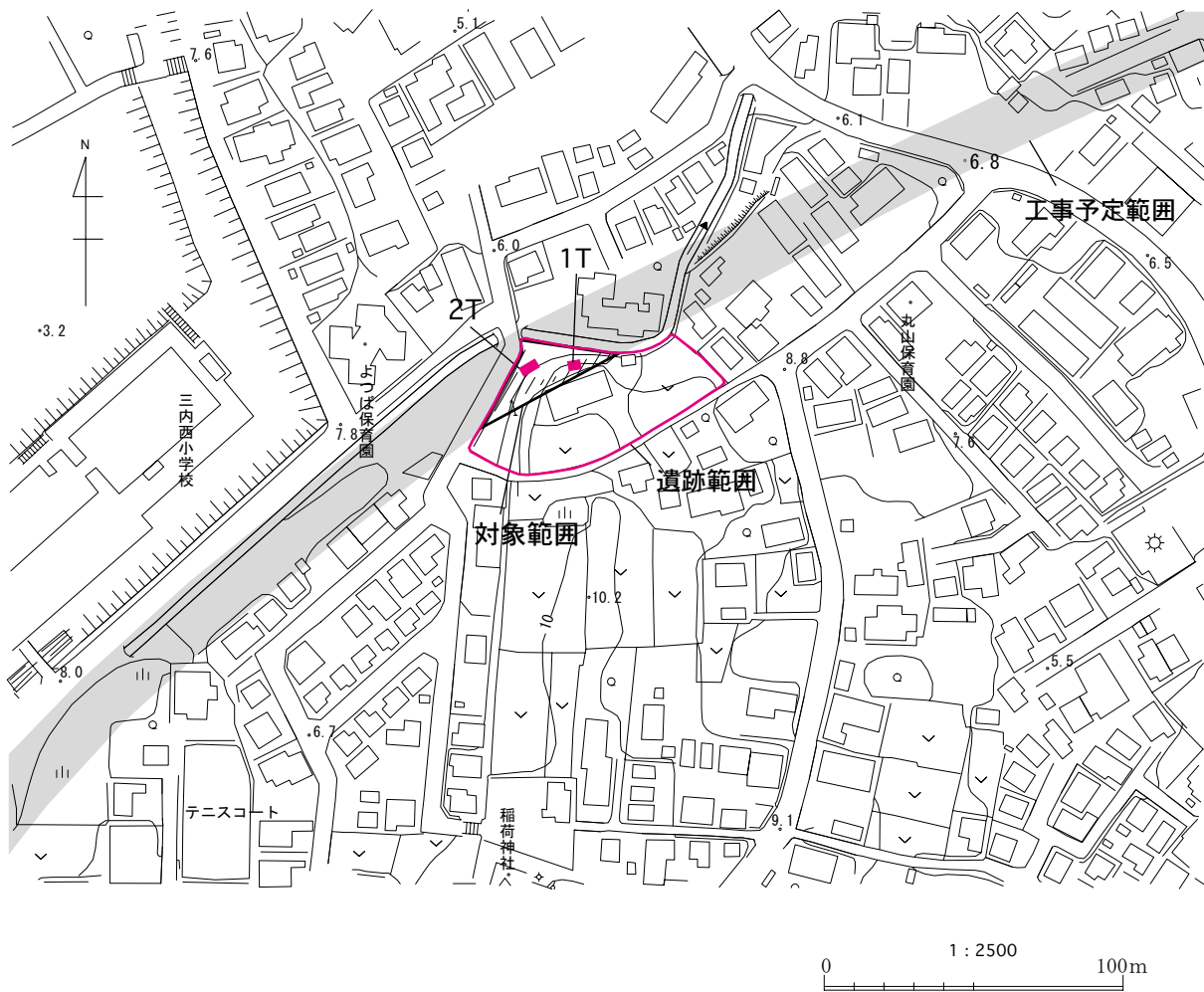
調査結果

調査した2地点の地山までの深さは、1T=40cm、2T=30cmで、開発地が部分的に削平されていた。遺構は、地山残存部より検出し、平安時代の竪穴住居跡1軒を検出した。遺物は、平安時代の土師器を中心に縄文土器片が出土した。

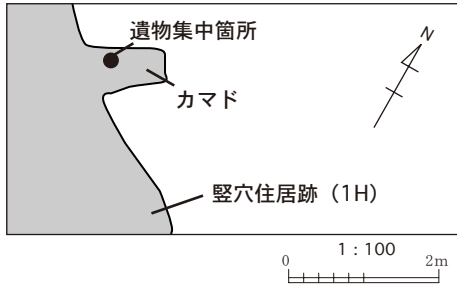
調査の結果、調査区一帯が平安時代を主体とする遺跡であることが判明した。また、調査後には、県文化財保護課と協議し、遺跡名を三内丸山（8）遺跡（青森県遺跡台帳番号01315）として新規登録した。

発掘調査については、着工スケジュールを調整した上で、来年度以降に実施する予定となっている。

（児 玉）



第12図 調査区位置図



第13図 2T 遺構確認状況



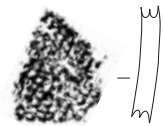
写真10 1T 完掘状況



写真11 2T 完掘状況・竪穴住居跡確認



写真12 2T 竪穴住居跡 カマドの遺物出土状況



1 (2T)
縄文時代後期～晩期
RL縄文



2 (2T)
縄文時代後期
十腰内I式
沈線



3 (2T)
1Hカマド上面出土
平安時代
甕
外面 ヘラケズリ
内面 ヘラナデ
底面 スダレ状圧痕



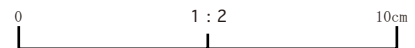
4 (2T)
1Hカマド上面出土
平安時代
甕
外面 ヘラナデ
内面 ナデ



5 (2T)
1Hカマド上面出土
平安時代
甕
外面 ヘラナデ
内面 ナデ



6 (1T)
平安時代
椀
外面 ナデ



第14図 三内丸山 (8) 遺跡出土遺物

第Ⅳ章 発掘調査

宮田館遺跡（青市教委第2次調査）

1. 調査地：青森市大字宮田字玉水 304-1・304-5
2. 開発行為：個人敷地造成
3. 調査対象面積：400㎡
4. 調査期間：平成15年4月24日～5月30日

調査に至る経緯と経過

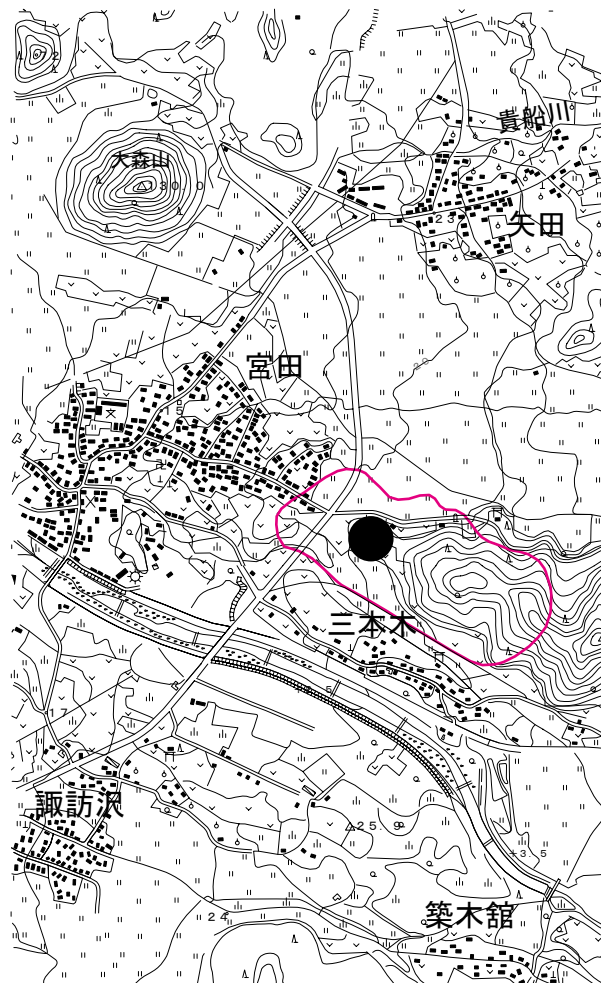
平成12年度に青森県埋蔵文化財調査センター（以下埋文センター）により調査が実施された青森環状野内線道路建設事業に係る玉水（2）遺跡（平成13年度に遺跡統合により宮田館遺跡に変更）の調査の際、発掘調査区の隣接地に個人住宅建設の計画があることを調査担当者が聞きつけ当委員会への協議の必要性を開発予定者に示唆した。その後、当委員会と開発予定者との間で協議を何度か重ね、発掘調査実施の方向性になり、開発予定者側から漠然とした掘削範囲の提示はあったが、遺跡の破壊が懸念される掘削範囲等がわかる設計図の完成をもって発掘調査必要面積等の割り出しを行うこととなった。同時に開発予定地が青森農業振興地域整備計画地に該当する畑地であったこともあり、除外認定等の手続きを別途進めながら状況の推移を見守ることとした。平成13年度に農業振興地域整備計画の除外申請が実施されたが、具体的設計図等の提示がなされないまま建設計画の時期が平成14年の8月頃着工という期限が提示されたのみであった。

平成14年度に入り、ようやく設計図等の提示があり発掘届が提出されたが、折しも本調査へ至る経緯となった青森環状野内線の拡幅工事に関して市道の付け替えが必要とされる部分が生じており、その工事施工の結果（工事施工部分の本調査は埋文センターで平成14年度に本調査）本開発予定地を島状に残す形で行われることが判明し、宅地の開発面そのものも付け替え工事により新たにできる路盤まで下げきった面まで全面掘削し、住宅が建設される予定であることが発覚した。それによって、本調査必要範囲は900㎡に上り、単年度では予算措置上で対応できないことが判明した。

そこで、再度開発予定者と協議し、第1年次の発掘調査を平成14年5月13日～6月10日の期間で実施した。第2年次の発掘調査は平成15年4月24日～5月30日の期間で実施することとした。

遺跡の位置（第1図参照）

遺跡は、青森市の東部の宮田地区に所在する。



第1図 宮田館遺跡位置図

既往の調査

昨年度の報告でも触れたが本遺跡は平成12年度時点では玉水(2)遺跡と宮田館遺跡という2つの遺跡名で登録されており、本調査区周辺は玉水(2)遺跡と登録されていた。統合前後を含めた調査は、青森県埋蔵文化財調査センターにより県道の青森環状野内線関連で2次分(平成12・14年度)、県の公共施設関連は3次分(平成12～14年度)調査が実施されている。また、当委員会では前述のとおり昨年度調査を実施している。

調査方法

開発予定地400㎡に対して重機により表土処理を実施したのち鋤簾による遺構確認し、確認後、遺構掘り下げおよび精査を行うこととした。グリッドは昨年度実施のグリッドを調査区内に復元し、必要に応じて展開した。平面図作成および遺物取り上げで点上げしたものは簡易遣り方測量およびトータルステーションによる測量で行った。写真撮影はデジタルカメラを使用した。

遺構と遺物

発掘調査の結果、竪穴住居跡3軒(縄文1・平安2)、土坑6基、溝跡4条、ピット226基、その他の遺構3基を検出した。紙面の関係で詳述できない箇所もあるため、調査結果の遺構・遺物の計測値やその他の情報については各々の観察表を参照されたい。

(木 村)

A. 竪穴住居跡

S I - 0 7 (第5～11図)

前年度の南西部分に引き続き本年度は北東部分の調査を実施した。グリッドI T・II A・II B-45・46で検出した。前年度の調査時にS D-01及びS X-04との重複が確認されており本遺構の方が古い。また、前年度調査時に既に確認されている隧道状の自然流路が住居跡の南壁から北西に掛けて縦断しており、この流路天井部の崩落の影響による沈下面が床面上に確認されている。昨年度も報告しているが、本遺構の廃絶時点でこの流路は存在しなかったものと判断される。規模は南壁が一部攪乱されているため長軸幅については現存値ではあるが、残存部で675×(710)×66(81)cm、床面積は42.644㎡を測る。平面形は方形を呈し断面形はほぼ垂直に立ち上がる形状である。北壁は壁溝のみ確認されている。東壁は月見野火山灰層の地山を壁面とし、上面は黒色土を主体に壁面としているが、一部の側面の掘り方に月見野火山灰層の地山土と黒色土の混合土が充填された貼壁が確認されている。また、東壁の南隅には立て掛けるような状態で板状の礫が出土している。壁溝はほぼ全周しているが、カマド付近の壁溝は一部断続し、構築時にやや幅広に掘り込まれており、充填土中に土師器片が多量混入している。廃絶時点には再度掘り込みが行われている。また、壁溝のみの確認であるが北壁斜面下方の西隅に張り出し部が検出されており、張り出し部の住居外の黒色土上には小範囲ではあるが硬化面が確認されている。

ピットについては昨年度7基検出しており、本年度は38基検出し、合計45基検出した。ピットのうちP i t 8・9・13は壁柱穴である。また、それ以外でもカマド付近の壁溝内にも柱穴状の掘り込みが確認されている。支柱穴と考えられるピットは北東側から1基確認された(P i t 22)。北西に対応する支柱穴痕と考えられる痕跡が確認されたが、流路により覆土が攪乱されていたため床面での確認のみとなり、明確な支柱配置は確認していない。床面は北壁側に掘り込みを持ち前述の貼壁と同等の充填土を貼床としている。それ以外は月見野火山灰層の地山土を床面としている。カマド付近の床面にはかなり広い範囲で赤化面が検出されている。

カマドは東壁に新旧2基検出しており、南側の方が古く北側の方が新しい。カマド(新)の構造は半地下式で主軸方向はN-92°-Eである。袖幅は47cmで煙道長は53cmを測る。煙道部の天井は崩落

した形状で残され、煙出も確認された。芯材として使用された板状の礫が両袖から確認されているが、検出時点で前庭部及びに袖脇からも礫が出土しており、袖以外に天井部等にも芯材として礫が使用された可能性がある。右袖部は左袖部に比べ残りが良く、根元部分に芯材の外側を覆う粘土が残存して検出した。

検出状況について①左袖の芯材の一部と考えられる礫が内側に倒されていたこと、②右袖の外側にカマドの一部の粘土が崩落していること、③残された煙出し部の上層に住居覆土4層が確認されていることから、このカマドは前庭部を中心に右袖方向から左袖方向に人為的に壊されたものと考えられる。また、カマド燃焼部の右袖寄りの部分から支脚と考えられる土器(第30図-38)が1点出土しているが、前述の破壊等の影響や崩落した天井部の粘土の痕跡と燃焼部の大きさや支脚の偏った配置状況から見て左袖側にも支脚があり、二つの掛け口を持つカマドであった可能性が考えられる。火床面下の掘り込み部分の充填土下には上面の被熱と異なる被熱面が確認され、火床面から煙道部にかけても再構築の跡(27層~32層)が見られることから本カマドは改築されていると判断される。カマドの芯材に使用されている礫の基部は、古い火床面層まで達していないことから、一度全体的に作り変えられたものと考えられる。

カマド(旧)の構造は半地下式で主軸方向はN-82°-Eである。煙道部と燃焼部のみ検出されている。煙道長は残存部で(125)cmである。両袖部と考えられる位置に芯材の抜き取り痕や芯材に使用されたと考えられる礫の破片が残存していることから、カマド(新)同様に礫を埋め込み芯材として使用していたものと考えられる。

出土遺物はカマド付近に特に多く見られ、床直及び覆土4層を主体に土師器・須恵器の破片が多量に出土している。また、少数ではあるが鉄製品・鉄滓も床直、覆土、攪乱層から出土している。

(内 田)

S I - 0 8 (第12~14図)

グリッドII A-47の黒色土層中から検出した。精査時にS I - 0 9との重複を確認している。また、壁際部分にはS P - 1 4 9およびS P - 2 6 6との重複を確認しており、新旧関係についてはS I - 0 9 < S I - 0 8 < S P - 1 4 9・2 6 6の関係である。

東西軸で平面形は長方形を呈し、規模は296×233×38cm、面積は5.646㎡を測る。壁は垂直に近い形で立ち上がる箇所が多く、一部内傾しながら立ち上がる箇所がある。壁面はS I - 0 9の埋土を壁としている箇所が多く脆弱である。床面はS I - 0 9の埋土部分を掘り込み月見野火山灰層と黒色土の混合土を充填しており、堅さに欠ける。ピットは14基検出したが、柱穴と考えられるピットは壁隅に位置するP i t 3・1 0・1 1・1 4、西側床面上検出したP i t 2・9・1 3である。西壁寄りに位置するP i t 7は西寄りに傾斜した形で掘り込まれており、仮に柱が据えられていたとすれば南東方向に向かって斜めに据えられていたことになる。壁溝は西壁側を主体に検出しているが断続的であり、東壁側はカマドの左袖側から検出した。廃絶後の埋土は第1~5層にあたり、床面直上の住居中央に堆積している第5層は焼土ブロック等を含む焼土の廃棄層にあたる。

カマドは東壁の中央よりやや南寄りの位置(N63:S37)から検出した。構造は半地下式で、袖部幅50cm、煙道長96cmを測る。住居の主軸よりもやや北寄りに煙道が延びており主軸方位はN-88°-Eである。S I - 0 7カマド(新)と同様で燃焼部左袖部分が欠落し、燃焼部右袖~煙道部にかけて上部構造の構築材が崩落した状況で確認した。燃焼部の天井は一部欠落しているが、月見野火山灰層主体のロームによる構築で、芯材は出土していない。火床面は被熱が弱く、また支脚相当位置からは土製棒状支脚(第33図-83)が出土しており、浅い掘り込み痕を検出した。この浅い掘り込み痕については支脚設置痕である可能性がある。

出土遺物は重複するS I - 09の影響で一部縄文土器・石器の混入が見られたが、黒色土器碗を主体とする食膳具、土師器ロクロ系甕を主体とする煮沸具、須恵器長頸瓶等の貯蔵具、鉄製品の刀装具、前述の土製支脚等が出土している。床面部分からの出土は少なく埋土から主に出土している。

S I - 09 (第14～17図)

グリッドII A - 47の黒色土中から検出した。S I - 08の精査時に確認しており、中央はS I - 08の掘り込み時点で破壊されており、壁面についても調査時の黒色土掘削時点で、明瞭な壁面を検出できずに土層を除去したため、詳細な規模等は不明である。平面形は不整楕円形を呈していたものと考えられ、残存部分での規模については510×390×67cm、面積は12.533㎡を測る。また、精査時点で最終的に検出した柱穴配置は若干北側に広がる形で延びており、(600)×(443)程度の広さを有していた可能性もある。ピットは壁際を中心に49基検出した。主に壁柱穴として機能したと考えられ、北東側を中心に軸線が二重になっている箇所もあることから前述の部分については拡張された範囲である可能性を有している。堆積層は住居周辺の堆積土も含めて14層分層したが、基本層序(第19図参照)第VIII層に比較できる第お層を掘りこむ形で構築されており、廃絶時点で第VIII層起源の土層により埋没が開始し、基本層序第VII層に比較できる第う層により埋没のほとんどが完了している。

炉跡は住居中央よりやや南西寄りの部分から地床炉の可能性のある施設を1基検出したが焼土範囲が明瞭でなく焼土ブロックが若干混入していたのみであった。

出土遺物は円筒下層d₁式を主体とする縄文土器が壁際を中心に出土している。

B. 土坑

S K - 04 (第17図) グリッドII A - 48で検出した。S P - 174・183・184と重複している。平面形は不整楕円形で、規模は80(長軸幅)×65(短軸幅)×43(深さ)cmを測る。底面にやや凹凸を持ち、壁は壁上部の一部で緩やかに立ち上がっている。第2層からB-Tm火山灰を粒状に検出した。

S K - 05 (第17図) グリッドII A - 46で検出した。平面形は隅丸方形で、規模は114×90×25cmを測る。底面にやや凹凸を持ち、壁は垂直に近い形で立ち上がる。覆土中から縄文土器片1点が出土している。

S K - 06 (第17図) グリッドII B - 46で検出した。平面形は不整楕円形で、規模は62×48×22cmを測る。底面は擂鉢状に緩やかな立ち上がりを持ち、壁は底面からの緩やかな立ち上がりが続いている。

S K - 07 (第17・18図) グリッドI T - 47で検出した。平面形は隅丸方形で、規模は106×100×43cmを測る。断面形は壁上部の一部で緩やかな立ち上りを有しており、北壁側を主体に袋状を呈する箇所がある。本遺構は構築時の掘削の際排出された土が北側の斜面下方から確認されており、土層についてはS I - 09のセクション上で第a層と取り扱った土層である。よって本遺構の構築時期は第VII層上面以降ということになる。検出状況から本遺構は焼成坑であると認定できるが、炭化した植物種子(トチ)なども出土しており、焼成粘土塊は出土しておらず、土器焼成に使用されたとは限定できない。堆積途中で2面(第17層・第22層)の焼成面が確認されており、各面とも橙色・明赤褐色等の被熱による変色が生じている。遺物は堆積土中からハジケが生じた土師器碗や礫等が出土している。また、本遺構の西側から52×50cmの範囲で焼土粒・ブロックを混入する面を検出した。

S K - 08 (第18図) グリッドII A - 48で検出した。S X - 06と重複しており、本遺構の方が新しい。土層確認用のサブトレンチにより破壊されたため全体形等の詳細は不明であるが、残存部分から不整形を呈していたものと考えられ、規模は(68)×54×38cmを測る。残存部の床面～壁面は擂鉢状

を呈し緩やかに立ち上がっている。底面直上に被熱痕が確認され、堆積土中にも焼土粒・炭化物等の検出があったことからSK-07同様な遺構でも焼成が行われたものと認定できる。

SK-09 (第18図) グリッドIC-48で検出した。平面形は楕円形で、規模は95×55×24cmを測る。底面は斜面下方に向かって傾斜しており、壁は緩やかに立ち上がる。埋土は6層に分層したが、壁際の部分はIV層起源の黒色地山土の崩落が生じており、比較的新しい段階の構築物であることが考えられる。

(木 村)

C. ピット (第22～27図)

総数226基を検出した。遺構番号はSP-126～357まで使用したが、SP-182・199・200・217・227～229・268・269・292・297～309は欠番となっている。調査区内の北西から北東方向に傾斜する地点から数多く検出した。全体的に径が小さく浅いピットが多いが、ある程度の大きさと深さを持ち柱穴として機能した可能性が考えられるピットは、主に調査区東側に多い。ここでは個別に取り扱わず、配列関係の認められるものについて掘立柱建物はSB、柵列として機能したものはSAの記号を付し別記記述している。

D. 掘立柱建物跡

6棟検出した。それ以外にピット群には掘立柱建物の柱穴の可能性のあるピットも含まれているが、柱列配置が明瞭でないため建物跡として認定することが出来なかった。一部は調査区外に延び建物の規模が大きくなる可能性も考えられるが、現時点ではいずれも倉庫等の小規模な建物跡と思われる。柱穴から出土した遺物については平安時代の須恵器や土師器の破片資料主体で、他に縄文土器や石器などの混入についても認められるが、中近世に帰属する遺物の出土は認められない。周辺の遺構同様流動等による混入についても否定できないため、遺物から帰属時期については特定しないこととした。

SB-01 (第22図)

調査区北東に位置する。調査時のピットはSP-126a・129f・177・312が該当する。主軸方位はN-79°-E。桁行1間×梁行1間の東西棟建物である。桁行寸法3.6m(12尺)、梁行2.8m(9.3尺)を測る。掘り方の平面形は不整形を呈し、長径36～56cm、短径30～55cmを測る。深さは南側の柱穴が72～74cmと深く、他は40～46cmを測る。SP-177が黒色土、他は黒色土と黒褐色土が混合する堆積土で、パミス、ローム粒、ロームブロック、炭化粒が混入する。SP-177およびSP-312の第1層からB-Tm火山灰粒を検出した。基本層序部分で検出されたSP-312と基本層序の堆積状況との関係から、ある程度廃絶時期が特定できる。基本層序のV層以前に本遺構が廃絶し、V層は10世紀以降に堆積した可能性が考えられる。SB-02・03と重複している。本遺構のSP-126aがSB-02のSP-126bとSB-03のSP-126cを切っており、本遺構が一番新しい。

SB-02 (第22図)

調査区北東に位置する。調査時のピットはSP-126b・129h・145・325が該当する。主軸方位はN-74°-E。桁行1間×梁行1間の東西棟建物である。桁行寸法は3.6m(12尺)、梁行は3.2m(10.6尺)を測る。掘り方の平面形は楕円・不整形を呈している。西南隅のみが長径95cm×短径66cmと大きい。他は長径33～44cm、短径26～40cm、深さ12～40cmを測る。SP-126bが黒褐色土を主体とする堆積土、他は黒色土と黒褐色土が混合する堆積土で、パミス、ローム粒が混入する。SB-01・03と重複している。本遺構のSP-126bがSB-01

のSP-126aに切られ、本遺構のSP-145がSB-03のSP-146に切られていることから、本遺構が一番古い。

SB-03 (第22図)

遺跡北東に位置する。調査時のピットはSP-126c・142・146・147・196が該当する。主軸方位はN-88°-E。桁行2間×梁行2間の東西棟建物である。北東側は調査区外へ延びる。桁行3.2m(10.6尺)、梁行3.0m(10尺)を測る。桁行側の柱間はいずれも1.6m(5.3尺)、梁行側の柱間は1.5m(5尺)を測る。掘り方の平面形は円・楕円・不整形を呈している。北西隅のみが長径98cm×短径43cmと大きい。他は長径38~43cm、短径17~38cm、深さは22~45cmを測る。掘り方内のピット径から20cm台の柱が想定される。SP-127cが黒色土を主体とする堆積土、他は黒色土と黒褐色土が混合する堆積土で、パミス、ローム粒、ロームブロック、焼土・炭化粒が混入する。SP-146の第①・②層からB-Tm火山灰粒を検出した。SB-01・02と重複している。本遺構のSP-126cがSB-01のSP-126aに切られ、本遺構のSP-146がSB-02のSP-145を切っていることから、SB-01より古くSB-02より新しい。また、本遺構の主軸方位と本遺構の南西側に位置するSI-08のカマドの主軸は同一であり、関連性が考慮される。

SB-04 (第22図)

調査区北東に位置する。調査時のピットはSP-127b・129d・144が該当する。主軸方位はN-80°-E。桁行1間×梁行1間の東西棟建物である。桁行3.3m(11尺)、梁行2.6m(8.6尺)を測る。掘り方の平面形は切り合いにより明瞭でない。長径52~80cm、短径22~53cm、深さは55~76cmを測る。黒色土と黒褐色土が混合する堆積土でローム粒、ロームブロック、焼土粒が混入する。SP-127bの第1・2層およびSP-144の第1層からB-Tm火山灰粒を検出した。SB-01と重複している。本遺構のSP-129dがSB-01のSP-129fを切っており本遺構が新しい。

SB-05 (第22図)

調査区北側に位置する。調査時のピットはSP-133・218・254・255・256・259・(261)・262・263が該当する。主軸方位はN-87°-W。桁行3間×梁行2間の東西棟建物である。桁行4.0m(13.3尺)、梁行3.2m(10.6尺)を測る。桁行側の柱間は西側から1.2m(4尺)、1.6m(5.3尺)、1.2m(4尺)となっており、梁行側の柱間はいずれも1.6m(5.3尺)である。南側柱列3本がSI-08と重複し消失している他、北東隅の柱穴を欠いている。掘り方の平面形は円・楕円形を呈している。長径20~28cm、短径18~26cm、深さ7~18cmを測る。SB-01~04と比較して柱穴の径が小さく浅い。黒褐色土を主体とする堆積土と、黒色土と黒褐色土、あるいは黒褐色土と暗褐色土が混合する堆積土である。ローム粒、ロームブロックが混入する他、一部のピットに砂粒が混入している。本遺構の桁行の軸線は南側に位置するSI-08の軸線と、ほぼ同じであることから関連性も考えられる。その場合南側柱列3本が消失したのではなくもともとなかったものと考え、竪穴住居跡の北側に掘立柱建物が取り付くような建物跡も想定出来るが、掘立柱建物跡として報告された青森県の事例のいずれも、掘立柱部分が竈側にあることから断定は出来ない。柱穴の径が小さく掘り込みが浅いことから他に、SI-08北壁寄りの柱穴がL字状を呈し柵列等として機能する可能性も考えられる。

SB-06 (第25図)

SI-07の東側に位置する。調査時のピットはSP-134・181・204・208・213・225・357が該当する。主軸方位はN-88°-W。桁行3間×梁行1間の東西棟建物

である。桁行寸法は5.1m(17尺)、梁行2.0m(6.6尺)を測る。桁行側の柱間は東側から2.15m(7.1尺)、1.85m(6.1尺)、1.1m(3.8尺)である。掘り方の平面形は楕円・円形を呈し、長径26～39cm、短径24～34cm、深さ14～28cmを測る。SB-01～04と比較して柱穴の径が小さく浅い。黒褐色土、黒色土を主体とする堆積土と、黒褐色土と黒色土、あるいは黒色土と暗褐色土が混合する堆積土で、パミス、ローム・炭化粒、ロームブロックが混入する。SP-213の第1・3層とSP-134の第3層からB-Tm火山灰粒を検出した。南西隅の柱穴はSD-05と重複している。南側中央の柱穴はSK-07と重複しており消失している。

E. 柵列跡

2列検出した。柱穴として機能したと考えられるピットが、一定の法則性を持ち直線上に並ぶものを柵列とした。柱穴が軸線からずれるもの、直線上に並ぶが柱間が一定でないものは偶然性もあり得ると考え認定していない。

SA-01 (第26図)

SI-07北側に位置する。調査時のピットはSP-155・157・(158)・(164)・(166)・167・(170)・237・249が該当する。主軸方位はN-81°-W。総長8.4m(28尺)である。東西方向に3間延びる。柱間は2.8m(9.3尺)である。掘り方の平面形は円・楕円・小判・不整形と一貫性がない。長径20～36cm、短径16～36cm、深さは9～28cmを測る。黒褐色土を主体とする堆積土と黒褐色土と暗褐色が混合する堆積土でパミスが混入する他、一部のピットに砂粒がみられる。同じ軸線上に他に4本並ぶが間隔は一定でない。その軸に直交する形で更に南に1本が延びるが柱間は1.2m(4尺)と異なっている。黒褐色土あるいは黒色土を主体とする堆積土で、パミス、ローム粒が混入する。

SA-02 (第25図)

SI-07の東側に位置する。調査時のピットはSP-201・226・215が該当する。真北を南北方向に2間延びる。総長6.0m(20尺)である。柱間はいずれも3.0m(10尺)である。掘り方の平面形は楕円・不整形を呈し、長径22～32cm、短径12～28cm、深さは10～15cmを測る。黒褐色土、にぶい黄褐色土を主体とする堆積土で、パミス、ローム・焼土・炭化粒が混入する。その他同じ軸線上のSP-226付近に2本柱穴が並ぶ。黒褐色土を主体とする堆積土でローム・焼土粒が混入する。

(松 橋)

F. 溝跡

SD-02(第18図)調査時点で昨年度精査したSD-02の延長部と判断して精査したが、最終的な位置図の合成で、SD-02より北側に走る溝跡であり、昨年度のSD-02と連続する溝跡はSD-04となることが判明した。記述に際しては今年度の調査時の番号を優先する。

グリッドII B-44から検出した。全長(375)cm、最大幅30cm、深さ27cmを測る。東西軸で黒色土主体の堆積土であった。

SD-04(第18図)昨年度調査のSD-02の延長部にあたる。グリッドII B-44付近では全長218cm、最大幅36cm、深さ14cmを測る。また、グリッドII B-47付近では全長(60)cm、最大幅18cm、深さ10cmの幅で確認しており、調査時にはSD-04bとして取り扱っている。東西軸で今年度調査のSD-02と平行している。

SD-05 (第18図) グリッドIT-46で検出した。南北軸で、全長158cm、最大幅50cm、深さ17cmを測る。2基のピットが重複しており、平面形がややいびつな形状を呈している。

SD-06 (第18図) グリッドIIA-46で検出した。南北軸で、全長150cm、最大幅26cm、深さ14cmを測る。SD-05とほぼ類似した軸線ではあるが、軸線の延長線上に位置しないため別々の取扱いとした。斜面下方の部分がやや深さを有している。

G. その他

SX-04 (第19図) グリッドIT-45で検出した。平面形は円形で、規模は106×(102)×23cmを測る。底面は凹凸が激しく、北側の部分が落ち込んだ形状を呈している。壁は垂直に近い形で立ち上がる箇所と緩やかに立ち上がる箇所が見られる。

SX-05 (第19図) グリッドIIB-45で検出した。平面形は楕円形で、規模は88×60×28cmを測る。底面は緩やかな凹凸を持ち、壁は垂直に近い形で立ち上がる。

SX-06 (第19図) グリッドIT-47で検出した。SK-08と重複しており、本遺構の方が古い。平面形は不整形を呈し、規模は143×100×33cmを測る。底面は凹凸を持ち、断面形は段状を呈し、壁上部の一部で緩やかな立ち上がりが見られる。堆積土は中央が柱穴状の堆積状況を呈しており、SP-205等との柱列配置を呈した可能性も検討されるが詳細については不明である。

I. 遺構外出土遺物 (第38図)

152～154が縄文時代(前期～中期)、155～158が平安時代(10世紀前半～中葉主体)の土器で、159は縄文時代の礫石器、160は時期不明の鉄製品(釘)である。

小結

昨年度の調査に引き続き今年度は新たに住居跡2軒、土坑6基、ピット226基(うち掘立柱6棟、柵列2列)、溝跡3条、その他の遺構3基を検出した。

今年度は昨年度の調査区の東側部分に相当する位置であったが、縄文時代前期末円筒下層d₁式の住居跡1軒が検出しており、昨年度検出した縄文時代に帰属する住居跡1軒(SI-04・05)との比較が考えられる。

また、平安時代については昨年度調査のSI-07についてカマド設置壁側の部分について精査し、カマド2基を検出した。約8m東方に今年度新たにSI-08を検出し、双方のカマドは廃絶時点で同様の破壊を行っていることが判明した。

昨年度の調査区でも多数検出したピットについて、今年度の調査区内からは平安時代の遺構の掘り込み面とほぼ同一面と考えられる部分から掘り込まれているピットも多数検出しており、掘立柱建物跡や柵列として認定した遺構も検出した。掘立柱建物跡については複数の切り合い関係が認められるSB-01～04部分については東西軸で調査区外へ延びる可能性が高いため部分的な認定にとどまったが、切り合い関係等から複数回建て替え等が行われたものと考えられる。

当委員会が実施した2年間の発掘調査での総検出遺構数は、竪穴住居跡7軒(縄文2・平安5)、竪穴遺構1基、土坑9基、溝跡6条、掘立柱建物跡6棟、柵列5列、焼土状遺構2基、ピット286基、その他の遺構6基である。

遺跡の発掘調査は、今年度で対象地点については全て終了した。なお、本報告に掲載できなかった資料および2カ年にわたる調査のまとめについては次年度報告する予定である。

(木 村)

第1表 宮田館遺跡 竪穴住居跡観察表

図版番号	遺構番号	位置	重複	規模 (cm)			面積 (㎡)	平面形	断面形	柱穴	ビット	土坑	壁溝	その他	堆積土層	埋土	火山灰	備考
				長軸	短軸	深さ												
第5～11図	SI-07	IT・IIA・IIA-45・46	SX-04 SD-01	675	(710)	66 (81)	42.644	方形	a	-	39	2	全周	隧道により沈下	13	3	-	カマド2基,カマド1作り変え(2度使用),貼壁
第12～14図	SI-08	IIA-47	SI-09 SP-149	296	233	38	5.646	長方形	a	-	13	-	一部	-	12	5	B-Tm	SI-09 < SI-08?SP-149
第14～17図	SI-09	IIA-47	SI-08	510 (600)	390 (443)	67	12.533	不整形	a	-	49	-	-	-	16	9	-	SI-09 < SI-08, 縄文住居 (炉有)

第2表 宮田館遺跡土坑観察表

図版番号	遺構番号	位置	重複	規模 (cm)			平面形	断面形	特記事項	備考
				長軸	短軸	深さ				
第17図	SK-04	IIA-48	SP-174・183・184	80	65	43	e	c		B-Tm
第17図	SK-05	IIA-46	-	114	90	25	c	d		
第17図	SK-06	IIA-46	-	62	48	22	e	h		
第17・18図	SK-07	IT-47	-	106	100	43	c	c・f	焼成坑	B-Tm
第18図	SK-08	IIA-48	SX-06	(68)	54	38	e	h	焼成坑	
第18図	SK-09	IIC-48	-	95	55	24	f	d		

第3表 宮田館遺跡ビット観察表

図版番号	遺構番号	位置	重複	規模 (cm)			平面形	断面形	備考
				長軸	短軸	深さ			
第22図	SP-126a	IIA-48	SP-126b,c,SP-127e	(56.0)	55.0	72.0	e	a	SB-01 SP-126c < SP-126a > SP-126b,SP-127e < SP-126a
第22図	SP-126b	IIA-48	SP-126a	44.0	(28.0)	40.0	x	d	SB-02 SP-126b < SP-126a
第22図	SP-126c	IIA-48	SP-126a	40.0	(17.0)	22.0	x	a	SB-03 SP-126c < SP-126a
第22図	SP-127a	IIA-48 IIB-48	SP-127b,c,d,e	(55.0)	(45.0)	26.0	x	g	SP-127a > SP-127d > SP-127b > SP-127c > SP-127e
第22図	SP-127b	IIA-48 IIB-48	SP-127a,c,e	(66.0)	(53.0)	76.0	x	x	SB-04 SP-127a > SP-127b > SP-127c > SP-127e
第22図	SP-127c	IIB-48	SP-127a,b	(50.0)	(47.0)	54.0	x	c	SP-127c < SP-127b < SP-127a
第22図	SP-127d	IIA-48	SP-127a	53.0	(26.0)	74.0	x	j	SP-127a > SP-127d
第22図	SP-127e	IIA-48	SP-126a,SP-127a,b	(27.0)	(17.0)	7.0	x	x	SP-126a > SP-127e < SP-127b < SP-127a
第22図	SP-128	IIB-48		24.0	23.0	30.0	h	g	
第22・23図	SP-129a	IIB-48	SP-129c,d,e,f,SP-141	(55.0)	(40.0)	43.0	x	a	SP-129d > SP-129e > SP-129a > SP-129f > SP-129c,SP-129a > SP-141
第22・23図	SP-129b	IIB-48	SP-129c,d,g	95.0	(66.0)	46.0	x	d	SP-129d > SP-129b > SP-129c,SP-129b > SP-129g
第22・23図	SP-129c	IIB-48	SP-129a,b,d,f,g,SP-141	(58.0)	(42.0)	55.0	x	x	SP-129d > SP-129a > SP-129f > SP-129b > SP-129c,SP-129c > SP-129g,SP-129c ? SP-141
第22・23図	SP-129d	IIB-48	SP-129a,b,c,f,h	52.0	22.0	55.0	x	x	SB-04 SP-129d > SP-129a > SP-129f > SP-129c,SP-129d > SP-129b,SP-129d > SP-129h
第22・23図	SP-129e	IIB-48	SP-129a,f	(59.0)	43.0	37.0	x	x	SP-129e > SP-129a > SP-129f
第22・23図	SP-129f	IIB-48	SP-129a,c,d,e,h	(36.0)	(30.0)	40.0	x	x	SB-01 SP-129d > SP-129e > SP-129a > SP-129f > SP-129c > SP-129h
第22・23図	SP-129g	IIB-48	SP-129b,c,SP-141	(56.0)	(53.0)	50.0	x	x	SP-129b > SP-129g < SP-129c,SP-129g ? SP-141
第22・23図	SP-129h	IIB-48	SP-129d,f	(42.0)	40.0	30.0	x	x	SB-02 SP-129d > SP-129f > SP-129h
第22・23図	SP-129i	IIB-48	SP-129a,c	37.0	20.0	8.0	f	x	SP-129a・SP-129i > SP-129c ※SP-129iはSP-129aの柱痕跡
第25図	SP-130	IIA-48		83.0	53.0	48.0	e	i	
第22・23図	SP-131	IIB-47 IIB-48	SP-139	85.0	23.0	17.0	e	h	SP-139 < SP-131
第22・23図	SP-132	IIA-48		23.0	20.0	15.0	h	h	
第22・23図	SP-133	IIB-48		28.0	26.0	14.0	h	h	SB-05
第25図	SP-134	IT-47 IIA-47		37.0	33.0	28.0	f	h	SB-06
第22・23図	SP-135	IIA-49		24.0	23.0	6.0	e	i	
第22・23図	SP-136	IIA-49	SP-317	25.0	23.0	14.0	h	h	SP-136 > SP-317
第22・23図	SP-137	IIA-49	SP-175,SP-318	54.0	35.0	4.0	f	d	SP-137 > SP-318,SP-137 ? SP-175

図版番号	遺構番号	位置	重複	規模 (cm)			平面形	断面形	備考
				長軸	短軸	深さ			
第22・23図	SP-138	IIA-48	SP-332,333,334,335,336	73.0	57.0	8.0	e	i	SP-334 < SP-335 < SP-336 < SP-333 < SP-332 < SP-138
第22・23図	SP-139	II B-47 II B-48	SP-131	(38.0)	(34.0)	15.0	x	x	SP-139 < SP-131
第22・23図	SP-140	II B-48	SP-142	93.0	62.0	38.0	e	g	SP-142 < SP-140
第22・23図	SP-141	II B-48	SP-129a,c,g, SP-142	(90.0)	(70.0)	47.0	x	x	SP-141 > SP-142,SP-129a > SP-141,SP-141 ? SP-129c, SP-141 ? SP-129g
第22・23図	SP-142	II B-48	SP-140 SP-141	(98.0)	(43.0)	45.0	x	x	SB-03 SP-142 < SP-141,SP-142 < SP-140
第22・23図	SP-143	II B-49	SP-144	(47.0)	(40.0)	24.0	x	x	SP-143 < SP-144
第22・23図	SP-144	II B-49	SP-143,SP-145	(80.0)	(50.0)	65.0	x	e	SB-04 SP-144 > SP-143,SP-144 ? SP-145
第22・23図	SP-145	II B-49	SP-144,SP-146 SP-177	37.0	32.0	26.0	f	x	SB-02 SP-145 ? SP-144,SP-145 < SP-146, SP-145 ? SP-177
第22・23図	SP-146	II A-49 II B-49	SP-145,SP-177	40.0	38.0	26.0	(h)	(j)	SB-03 SP-146 > SP-145,SP-146 ? SP-177
第22・23図	SP-147	II A-49	SP-148,SP-174	(43.0)	(35.0)	33.0	e	(a)	SB-03 SP-148 < SP-147,SP-147 ? SP-174
第22・23図	SP-148	II A-49	SP-147	(32.0)	(32.0)	20.0	x	x	SP-148 < SP-147
第25図	SP-149	II A-47		(37.0)	(25.0)	67.0	x	j	
第26図	SP-150	II A-45		38.0	32.0	17.0	f	a	
第26図	SP-151	II A-45 II B-45	SP-232	52.0	31.0	24.0	e	a	SP-151 > SP-232
第26図	SP-152	II A-45		55.0	40.0	34.0	e	a	
第26図	SP-153	II B-45	SP-275	54.0	38.0	13.0	f	a	SP-153 > SP-275
第26図	SP-154	II A-46		16.0	16.0	17.0	h	a	
第26図	SP-155	II A-46		20.0	20.0	28.0	e	a	SA-01
第26図	SP-156	II A-46 II B-46		25.0	22.0	20.0	h	j	
第26図	SP-157	II B-46		30.0	23.0	22.0	f	g	SA-01
第26図	SP-158	II B-46		28.0	16.0	12.0	g	h	SA-01
第26図	SP-159	II B-46		96.0	32.0	18.0	e	i	
第26図	SP-160	II A-46 II B-46		14.0	13.0	13.0	h	h	
第26図	SP-161	II B-46		25.0	19.0	11.0	f	h	
第26図	SP-162	II B-46		30.0	26.0	25.0	e	h	
第26図	SP-163	II B-46		20.0	14.0	27.0	e	h	
第26図	SP-164	II B-46		34.0	27.0	15.0	e	j	SA-01
第26図	SP-165	II B-46	SP-283	26.0	16.0	14.0	f	d	SP-283 < SP-165
第26図	SP-166	II B-45 II B-46		36.0	36.0	9.0	h	d	SA-01
第26図	SP-167	II B-45		20.0	18.0	18.0	h	h	SA-01
第26図	SP-168	II B-45		30.0	23.0	18.0	f	d	
第26図	SP-169	II B-45	SP-281	28.0	27.0	15.0	h	h	SP-281 < SP-169
第26図	SP-170	II B-45		23.0	23.0	14.0	h	h	SA-01
第22・23図	SP-171	II A-48	SP-172	(54.0)	32.0	30.0	(f)	x	SP-172 < SP-171
第22・23図	SP-172	II A-48	SP-171,SP-173 SP-332	(33.0)	(25.0)	32.0	x	a	SP-332 < SP-172 < SP-171 < SP-173
第22・23図	SP-173	II A-48	SP-172,SP-332 SP-327	47.0	35.0	27.0	(f)	(a)	SP-332 < SP-327 < SP-172 < SP-173
第22・23図	SP-174	II A-48 II A-49	SK-04,SP-147	45.0	(40.0)	26.0	x	x	SP-174 < SK-04,SP-174 ? SP-147
第22・23図	SP-175	II A-49	SP-137	24.0	(21.0)	7.0	(h)	h	SP-175 ? SP-137
第22・23図	SP-176	II A-49		33.0	32.0	12.0	h	h	
第22・23図	SP-177	II A-49 II B-49	SP-145,SP-146	(38.0)	(36.0)	74.0	x	e	SB-01 SP-177 ? SP-145,SP-177 ? SP-146
第25図	SP-178	II A-48		27.0	24.0	14.0	f	h	

図版番号	遺構番号	位置	重複	規模 (cm)			平面形	断面形	備考
				長軸	短軸	深さ			
第 25 図	SP-179	IT-48 IIA-48		35.0	30.0	16.0	f	d	
第 25 図	SP-180	IT-48		30.0	22.0	13.0	e	d	
第 25 図	SP-181	IT-48		29.0	24.0	15.0	f	h	SB-06
欠番	SP-182								
第 22・23 図	SP-183	IIA-48	SK-04	44.0	(42.0)	31.0	x	x	SP-183 < SK-04
第 22・23 図	SP-184	IIA-48 IIA-49	SK-04	(18.0)	(16.0)	20.0	x	a	SP-184 < SK-04
第 22・23 図	SP-185	IIA-49		23.0	23.0	16.0	h	a	
第 22・23 図	SP-186	IIA-49		70.0	51.0	43.0	f	i	
第 22・23 図	SP-187	IIA-49		36.0	34.0	34.0	h	d	
第 22・23 図	SP-188	IIA-49		53.0	42.0	32.0	f	h	
第 22・23 図	SP-189	IIA-48		46.0	41.0	13.0	f	h	
第 22・23 図	SP-190	IIA-48		50.0	42.0	(13.0)	f	(e)	
第 22・23 図	SP-191a	IIA-48 IIA-49	SP-191b	(45.0)	(40.0)	24.0	(f)	x	SP-191a < SP-191b
第 22・23 図	SP-191b	IIA-48	SP-191a	(40.0)	(28.0)	30.0	(h)	(h)	SP-191a < SP-191b
第 22・23 図	SP-192	IIA-49		25.0	23.0	14.0	h	h	
第 22・23 図	SP-193	IIA-48 IIA-49	SP-194	30.0	30.0	16.0	h	h	SP-194 < SP-193
第 22・23 図	SP-194	IIA-48 IIA-49	SP-193	25.0	(23.0)	7.0	(h)	h	SP-194 < SP-193
第 25 図	SP-195	IIA-48		58.0	53.0	23.0	h	d	
第 22・23 図	SP-196	IIA-48	SP-326a,326b	38.0	30.0	24.0	f	d	SB-03 SP-326b < SP-326a < SP-196
第 22・23 図	SP-197	IIA-48		26.0	18.0	9.0	h	h	
第 22・23 図	SP-198	IIA-49		67.0	49.0	15.0	f	i	
欠番	SP-199								
欠番	SP-200								
第 25 図	SP-201	IT-46 IT-47		32.0	25.0	10.0	f	i	SA-02
第 25 図	SP-202	IT-46	SI-07 カマド 2	(26.0)	(25.0)	30.0	x	i	SI-07 カマド 2 ? SP-202
第 25 図	SP-203	IT-46	SI-07 カマド 2	(41.0)	(20.0)	7.0	x	d	SI-07 カマド 2 ? SP-203
第 25 図	SP-204	IT-46 IIA-46		38.0	34.0	17.0	f	i	SB-06
第 25 図	SP-205	IT-47		29.0	26.0	16.0	h	h	
第 25 図	SP-206	IT-46	SP-226	12.0	10.0	12.0	h	h	SP-206 > SP-226
第 25 図	SP-207	IT-46 IT-47		28.0	22.0	17.0	f	h	
第 25 図	SP-208	IT-47 IIA-47		26.0	26.0	14.0	h	h	SB-06
第 25 図	SP-209	IT-47		18.0	15.0	10.0	f	j	
第 25 図	SP-210	IIA-47		27.0	25.0	12.0	h	h	
第 25 図	SP-211	IIA-47		40.0	32.0	38.0	f	g	
第 25 図	SP-212	IIA-47		26.0	23.0	13.0	f	h	
第 25 図	SP-213	IT-48		39.0	25.0	16.0	e	a	SB-06
第 25 図	SP-214	IIA-46		20.0	12.0	12.0	g	a	
第 25 図	SP-215	IIA-46 IIA-47		30.0	28.0	15.0	h	h	SA-02
第 22・23 図	SP-216	IIA-47	SP-356	22.0	18.0	30.0	h	g	SP-356 < SP-216
欠番	SP-217								
第 22・23 図	SP-218	IIA-48		25.0	24.0	18.0	h	i	SB-05
第 25 図	SP-219	IIA-47		(26.0)	(15.0)	17.0	x	h	
第 25 図	SP-220	IS-46		24.0	23.0	16.0	e	g	

図版番号	遺構番号	位置	重複	規模 (cm)			平面形	断面形	備考
				長軸	短軸	深さ			
第 25 図	SP-221	I T-47		26.0	22.0	17.0	f	h	
第 25 図	SP-222	I T-47		(35.0)	(35.0)	9.0	x	h	
第 25 図	SP-223	I T-46	SD-05	(22.0)	(15.0)	8.0	(h)	h	SD-05 ? SP-223
第 25 図	SP-224	I T-46		18.0	15.0	6.0	h	h	
第 25 図	SP-225	I T-47		28.0	25.0	14.0	f	d	SB-06
第 25 図	SP-226	I T-46 I T-47	SP-206	(22.0)	(12.0)	10.0	x	d	SA-02 SP-226 < SP-206
欠番	SP-227								
欠番	SP-228								
欠番	SP-229								
第 26 図	SP-230	IIA-45		20.0	16.0	25.0	e	g	
第 26 図	SP-231	II B-45		35.0	20.0	17.0	g	h	
第 26 図	SP-232	IIA-45 II B-45	SP-151	(15.0)	(15.0)	22.0	(g)	d	SP-232 < SP-151
第 26・27 図	SP-233	II B-45	SP-275	24.0	16.0	7.0	f	h	SP-233 > SP-275
第 26・27 図	SP-234	IIA-45 II B-45		52.0	38.0	38.0	c	j	
第 26・27 図	SP-235	II B-45		18.0	12.0	12.0	g	h	
第 26・27 図	SP-236	II B-45		22.0	15.0	10.0	f	h	
第 26・27 図	SP-237	II B-45		32.0	22.0	12.0	f	h	SA-01
第 26・27 図	SP-238	II B-45		28.0	25.0	14.0	f	i	
第 26・27 図	SP-239	II B-45		25.0	25.0	20.0	h	g	
第 26・27 図	SP-240	II B-45		18.0	18.0	5.0	h	d	
第 26・27 図	SP-241	II B-44 II B-45		35.0	18.0	7.0	f	i	
第 26・27 図	SP-242	IIA-45 II B-45		42.0	35.0	14.0	h	h	
第 26・27 図	SP-243	II B-44		22.0	21.0	11.0	h	h	
第 26・27 図	SP-244	II B-44		30.0	28.0	14.0	h	h	
第 26・27 図	SP-245	II B-44		40.0	32.0	13.0	f	h	
第 26・27 図	SP-246	II B-44		31.0	23.0	12.0	f	d	
第 26・27 図	SP-247	II B-44		36.0	35.0	13.0	f	h	
第 26・27 図	SP-248	II B-44		25.0	20.0	16.0	f	h	
第 26・27 図	SP-249	II B-44		30.0	22.0	11.0	f	a	SA-01
第 26・27 図	SP-250	II B-44		26.0	24.0	10.0	h	h	
第 26・27 図	SP-251	II B-44		50.0	36.0	33.0	f	e	
第 26・27 図	SP-252	IIA-45		34.0	30.0	16.0	h	h	
第 22・23 図	SP-253	II B-46 II B-47		38.0	27.0	30.0	e	j	
第 22・23 図	SP-254	II B-47		26.0	25.0	13.0	h	i	SB-05
第 22・23 図	SP-255	II B-47	SP-290	25.0	24.0	12.0	h	d	SB-05 SP-290 < SP-255
第 22・23 図	SP-256	II B-47		25.0	21.0	10.0	h	a	SB-05
第 22・23 図	SP-257	II B-47		26.0	25.0	11.0	h	d	
第 22・23 図	SP-258	II B-47		30.0	30.0	38.0	h	i	
第 22・23 図	SP-259	II B-47		21.0	18.0	14.0	h	a	SB-05
第 22・23 図	SP-260	II B-47		16.0	14.0	12.0	h	h	
第 22・23 図	SP-261	II B-47		24.0	18.0	18.0	f	d	SB-05
第 22・23 図	SP-262	II B-47		20.0	16.0	7.0	f	h	SB-05
第 22・23 図	SP-263	II B-47		25.0	21.0	15.0	h	h	SB-05
第 22・23 図	SP-264	IIA-48		35.0	30.0	17.0	f	i	
第 22・23 図	SP-265a	IIA-48	SP-265b	(26.0)	(24.0)	17.0	(h)	h	SP-265b < SP-265a
第 22・23 図	SP-265b	IIA-48	SP-265a	(24.0)	(21.0)	13.0	x	x	SP-265b < SP-265a
第 22・23 図	SP-266	IIA-47	SP-267,SP-338	(45.0)	(20.0)	65.0	x	d	SP-267 < SP-266 ? SP-338
第 22・23 図	SP-267	IIA-47	SP-266,SP-338	26.0	(15.0)	8.0	(h)	d	SP-267 < SP-266 ? SP-338

図版番号	遺構番号	位置	重複	規模 (cm)			平面形	断面形	備考
				長軸	短軸	深さ			
欠番	SP-268								
欠番	SP-269								
第25図	SP-270	IT-49		45.0	39.0	12.0	h	d	
第26・27図	SP-271	IIA-44		42.0	(35.0)	16.0	(h)	a	
第26・27図	SP-272	IIA-45		42.0	40.0	12.0	h	d	
第26・27図	SP-273	IIA-45		30.0	24.0	16.0	f	h	
第26・27図	SP-274	IIA-45		24.0	24.0	13.0	h	h	
第26・27図	SP-275	IIA-45	SP-153,SP-233	(45.0)	40.0	15.0	(f)	i	SP-275 < SP-153,SP-233
第26・27図	SP-276	IIA-45		27.0	26.0	10.0	h	d	
第26・27図	SP-277	IIA-46		26.0	22.0	16.0	f	h	
第26・27図	SP-278	IIA-45 IIA-46		20.0	15.0	10.0	f	h	
第26・27図	SP-279	IIA-45 IIA-46		35.0	32.0	16.0	h	h	
第26・27図	SP-280	IIA-45		25.0	22.0	12.0	h	d	
第26・27図	SP-281	IIA-45 IIA-46	SP-169	47.0	36.0	13.0	f	d	SP-281 < SP-169
第26・27図	SP-282	IIA-46		25.0	23.0	18.0	h	g	
第26・27図	SP-283	IIA-46	SP-165	25.0	22.0	20.0	(h)	a	SP-283 < SP-165
第26・27図	SP-284	IIA-46		34.0	28.0	15.0	f	h	
第26・27図	SP-285	IIA-46		38.0	30.0	21.0	f	a	
第26・27図	SP-286	IIA-46		45.0	36.0	22.0	e	h	
第22・23図	SP-287	IIA-47		50.0	43.0	5.0	e	d	
第22・23図	SP-288	IIA-47		35.0	32.0	7.0	h	h	
第22・23図	SP-289	IIA-47		20.0	16.0	8.0	e	h	
第22・23図	SP-290	IIA-47	SP-255	26.0	(12.0)	12.0	(e)	i	SP-290 < SP-255
第22・23図	SP-291	IIA-47		30.0	25.0	17.0	e	i	
欠番	SP-292								
第22・23図	SP-293	IIA-47		24.0	24.0	8.0	e	h	
第22・23図	SP-294	IIA-47 IIA-48		45.0	42.0	10.0	e	h	
第22・23図	SP-295	IIA-47 IIA-48	SP-341	38.0	36.0	10.0	h	d	SP-341 < SP-295
第26・27図	SP-296	IIA-45		(26.0)	(16.0)	5.0	(f)	d	
欠番	SP-297								
欠番	SP-298								
欠番	SP-299								
欠番	SP-300								
欠番	SP-301								
欠番	SP-302								
欠番	SP-303								
欠番	SP-304								
欠番	SP-305								
欠番	SP-306								
欠番	SP-307								
欠番	SP-308								
欠番	SP-309								
第22・23図	SP-310	IIA-48	SP-339	70.0	27.0	33.0	e	i	SP-310 < SP-339
第22・23図	SP-311	IIA-48		22.0	20.0	17.0	c	h	
第22図	SP-312	IIA-49	SP-340	(56.0)	(40.0)	46.0	x	h	SB-01 SP-312 ? SP-340
第22・23図	SP-313	IIA-49		35.0	32.0	23.0	h	h	
第22・23図	SP-314	IIA-49		42.0	33.0	26.0	f	h	
第22・23図	SP-315	IIA-49		20.0	14.0	15.0	f	a	

図版番号	遺構番号	位置	重複	規模 (cm)			平面形	断面形	備考
				長軸	短軸	深さ			
第22・23図	SP-316	IIA-49		21.0	15.0	12.0	f	a	
第22・23図	SP-317	IIA-49	SP-136	16.0	15.0	14.0	h	g	SP-317 < SP-136
第22・23図	SP-318	IIA-49	SP-137	24.0	(16.0)	6.0	(h)	i	SP-318 < SP-137
第25図	SP-319	IIA-49		36.0	35.0	10.0	h	d	
第22・23図	SP-320	IIA-49		30.0	23.0	14.0	f	g	
第22・23図	SP-321	IIA-49		25.0	21.0	8.0	f	h	
第22・23図	SP-322	IIIB-48		21.0	20.0	7.0	h	h	
第22・23図	SP-323	IIIB-48		50.0	45.0	37.0	h	j	
第22・23図	SP-324	IIIB-48		34.0	32.0	11.0	h	d	
第22・23図	SP-325	IIIB-49		33.0	26.0	12.0	f	i	SB-02
第22・23図	SP-326a	IIIB-48	SP-196,SP-326b	(32.0)	(17.0)	16.0	x	x	SP-326b < SP-326a < SP-196
第22・23図	SP-326b	IIIB-48	SP-196,SP-326a	(26.0)	(22.0)	22.0	x	x	SP-326b < SP-326a < SP-196
第22・23図	SP-327	IIA-48	SP-173	(43.0)	(35.0)	8.0	e	i	SP-327 < SP-173
第22・23図	SP-328a	IIIB-48	SP-328b,SP-329	(30.0)	(20.0)	20.0	x	x	SP-329 < SP-328b < SP-328a
第22・23図	SP-328b	IIIB-48	SP-328a,SP-329	(32.0)	(30.0)	14.0	x	x	SP-329 < SP-328b < SP-328a
第22・23図	SP-329	IIIB-48	SP-328a,SP-328b	(32.0)	(30.0)	15.0	x	x	SP-329 < SP-328b < SP-328a
第22・23図	SP-330	IIA-48 IIIB-48		30.0	30.0	10.0	h	d	
第22・23図	SP-331	IIA-48		21.0	20.0	8.0	h	d	
第22・23図	SP-332	IIA-48	SP-138,SP-172,SP-173	33.0	32.0	8.0	h	h	SP-332 < SP-172 < SP-173 < SP-138
第22・24図	SP-333	IIA-48	SP-138	(18.0)	(15.0)	12.0	(h)	a	SP-333 < SP-138
第22・24図	SP-334	IIA-48	SP-138,SP-335	(40.0)	(40.0)	18.0	(h)	x	SP-334 < SP-335 < SP-138
第22・24図	SP-335	IIA-48	SP-138,SP-334,SP-336	(28.0)	(20.0)	17.0	(h)	x	SP-334 < SP-335 < SP-336 < SP-138
第22・24図	SP-336	IIA-48	SP-138,SP-335	(35.0)	(33.0)	15.0	(h)	x	SP-335 < SP-336 < SP-138
第25図	SP-337	IT-48		18.0	12.0	9.0	f	h	
第22・24図	SP-338	IIA-47	SP-266,SP-267	(53.0)	(27.0)	70.0	(f)	d	SP-267 < SP-266 ? SP-338
第22・24図	SP-339	IIA-48	SP-310	(24.0)	(10.0)	12.0	(f)	a	SP-339 > SP-310
第22図	SP-340	IIIB-49	SP-312	(26.0)	(20.0)	8.0	x	x	SP-340 ? SP-312
第22・24図	SP-341	IIIB-48	SP-295,SP-342	(38.0)	(23.0)	15.0	(f)	x	SP-342 < SP-341 < SP-295
第22・24図	SP-342	IIIB-48	SP-341,SP-343	(45.0)	(40.0)	23.0	(f)	(a)	SP-343 < SP-342 < SP-341
第22・24図	SP-343	IIIB-48	SP-342	56.0	(38.0)	20.0	(f)	(d)	SP-343 < SP-342
第22・24図	SP-344	IIIC-48		15.0	15.0	7.0	h	h	
第26・27図	SP-345	IIIB-46	SP-346	(35.0)	30.0	20.0	(f)	(h)	SP-345 < SP-346
第26・27図	SP-346	IIIB-46	SP-345	21.0	20.0	14.0	h	(h)	SP-345 < SP-346
第26・27図	SP-347	IIIC-46		26.0	20.0	12.0	f	d	
第26・27図	SP-348	IIIB-46		20.0	18.0	14.0	h	d	
第26・27図	SP-349	IIIB-49	SP-350	(10.0)	(10.0)	5.0	x	x	SP-349 < SP-350
第26・27図	SP-350	IIIB-46	SP-349	18.0	16.0	7.0	h	(h)	SP-349 < SP-350
第26・27図	SP-351	IIIB-46 IIIC-46		30.0	30.0	14.0	h	h	
第26・27図	SP-352	IIIB-46		45.0	42.0	12.0	h	i	
第22・24図	SP-353	IIIB-47		28.0	26.0	13.0	h	j	
第22・24図	SP-354	IIIB-47 IIIC-47		23.0	18.0	6.0	f	d	
第22・24図	SP-355	IIA-47		(15.0)	(10.0)	10.0	x	a	
第22・24図	SP-356	IIA-47	SP-216	(12.0)	(12.0)	8.0	(h)	a	SP-356 < SP-216
第25図	SP-357	IT-46	SD-05	50.0	48.0	18.3	h	x	SB-06 SP-357?SD-05

第4表 宮田館遺跡溝跡観察表

図版番号	遺構番号	位置	重複	規模 (cm)			断面形	特記事項	備考
				全長	最大幅	深さ			
第18図	SD-02	ⅡB-44	-	(375)	30	27	a		
第18図	SD-04	ⅡB-44	SP-271	218	36	14	c		H14 調査 SD-02 の延長部に相当
第18図	SD-04b	ⅡB-47	-	(60)	18	10	d		
第18図	SD-05	ⅠT-46	SP-223・357	158	50	17	h		
第18図	SD-06	ⅡA-46	-	150	26	14	d		

第5表 宮田館遺跡その他の遺構観察表

図版番号	遺構番号	位置	重複	規模 (cm)			平面形	断面形	備考
				長軸	短軸	深さ			
第19図	SX-04	ⅠT-45	-	106	(102)	23	e	i	
第19図	SX-05	ⅡB-45	-	88	60	28	f	i	
第19図	SX-06	ⅠT-47	SK-08	143	100	33	e	c・i	

第6表 宮田館遺跡出土土器観察表

図版番号	番号	遺構番号	層位	種別	器種	口径	器高	底径	色調外面	色調内面	焼成	礫	砂	骨	赤	遺存率 (口縁)	遺存率 (底部)	外面調整	内面調整	底部調整	備考	整理番号
第28図	1	SI-07	床直 P-271	須恵器	坏	14.0	-	-	5YR6/6 5Y5/1	5YR6/6 5Y5/1	良	微	微	-	微	1/12		ロクロナデ	ロクロナデ		重ね焼き痕、火 押痕有、D-43,44 と同質、須恵器 酸化焼成坏	K-8
第28図	2	SI-07	4層 P-16.5層一括	黒色土器	椀	12.2	-	-	10YR7/3	7.5Y2/1	並	-	微	-	多	1.5/12		ロクロナデ	ヘラミガキ		黒色処理	D-37
第28図	3	SI-07	3層 P-41	黒色土器	椀	12.8	-	-	7.5YR5/4	N1.5/0	良	-	微	-	-	1.5/12		ロクロナデ/ヘラミガキ	ヘラミガキ		黒色処理	D-36
第28図	4	SI-07	2層焼土 P-277.279	土師器	椀	12.2	-	-	7.5YR5/1	10YR5/1	良	-	微	-	-	1.2/12		ロクロナデ	ロクロナデ		スス付着、付着 物有	D-33
第28図	5	SI-07	床直 P-171	土師器	椀	11.4	-	-	7.5YR6/3	5YR7/6	良	-	少	-	微	2/12		ロクロナデ	ロクロナデ		スス付着	D-31
第28図	6	SI-07	カマド1フク5層 P-25	土師器	椀	11.0	-	-	7.5YR6/6	7.5YR6/6	良	-	微	-	微	1.5/12		ロクロナデ	ロクロナデ		二次被熱	K-2
第28図	7	SI-07	4層 P-151	土師器	椀	13.8	-	-	7.5YR7/4	7.5YR7/4	良	-	微	-	微	1/12		ロクロナデ	ロクロナデ		02 宮田館 SI- 07/T-45 5層 P-X,D-99 と同 一物体	D-61
第28図	8	SI-07	5層 P-141	土師器	椀	-	-	4.4	7.5YR7/4	7.5YR8/4	並	微	少	微	多	12/12		ロクロナデ	ロクロナデ	右回転糸切/ヘラオコシ		D-76
第28図	9	SI-07	3層 P-34	土師器	椀	-	-	4.8	10YR8/3	7.5YR8/4	良	-	微	-	少	2/12		ロクロナデ	ロクロナデ	回転糸切のちナデ		D-75
第28図	10	SI-07	床直 P-130	土師器	椀	-	-	4.8	10YR8/4	7.5YR6/6	良	-	多	-	少	12/12		ロクロナデのちヘラ	ロクロナデ	左回転糸切		D-74
第28図	11	SI-07	3層 P-10	土師器	椀	-	-	6.0	5Y5/1	5Y5/1	良	微	少	-	微	2.5/12		ロクロナデ	ロクロナデ	右回転糸切		D-77
第28図	12	SI-07	カマド1フク5層 P-13.27, カマド1フク16層 P-60, カマド1フク23層 P-55, カマド1フク4層ソデP-1, カマド1ソデP-108	土師器	甕	24.2	-	-	7.5YR5/3	5YR6/6	並	中	少	-	少	2.5/12		ナデ/ヘラのちナデ	ナデ/ヘラ		スス付着、D-65 と同一物体	D-81
第28図	13	SI-07	カマド1床直 P-29,カマド1 床直ブロック2下 P-X	土師器	甕	24.2	-	-	5YR6/8	5YR6/6	並	多	少	-	少	0.9/12		ナデ/ヘラのちナデ	ナデ/ヘラ		粘土付着、指 頭圧痕、輪積痕 有、D-81 と同 一物体	D-65
第28図	14	SI-07	4層 P-2	土師器	甕	(20.8)	-	-	5YR6/4	7.5YR6/6	並	-	微	-	中	0.8/12		ナデ/ヘラ	ナデ/ヘラ		スス付着、煮炊痕有	D-54
第28図	15	SI-07	東オチ P-312	土師器	甕	20.4	-	-	5YR6/4	5YR6/4	並	中	少	-	中	2.3/12		ナデ/ヘラ	ナデ/ヘラ		粘土付着、二次被熱、 指頭圧痕有、D-58 と 同一物体	D-56
第28図	16	SI-07	カマド1床直ブロック2 下 P-X,床直、カマド1床 直 P-7.33.36.71.76.78, P-34(1.5.6 ~ 13.15.18 ~ 20.22 ~ 25.27 ~ 29.32.33).3層 P-32.5層 P-38.39	土師器	小甕	15.6	19.8	9.2	7.5YR3/2	10YR4/2	並	微	少	-	微	10.5/12	12/12	ナデ/ヘラのちナデ	ヘラ	ヘラナデ	二次被熱、KA-3 と KA-4 と接合	KA-3 KA-4
第28図	17	SI-07	東オチ2層 P-328	土師器	甕	18.0	-	-	5YR7/6	5YR6/6	良	中	少	-	少	1/12		ナデ/ヘラ	ナデ/ヘラ+ナデ			D-52
第28図	18	SI-07	北カク、床直 P-87	土師器	甕	(17.2)	-	-	7.5YR5/4	7.5YR5/3	並	微	少	-	微	0.6/12		ナデ/ヘラ+ナデ	ナデ/ヘラ+ナデ			D-53
第28図	19	SI-07	カマド1床直 P-81	土師器	甕	19.4	-	-	7.5YR6/4	7.5YR7/4	良	微	中	微	少	1.2/12		ナデ/ヘラ	ナデ/ヘラ			D-47
第28図	20	SI-07	焼土範囲下 P-298	土師器	小甕	15.8	-	-	2.5YR6/6	2.5YR5/6	並	少	少	-	微	1.5/12		ナデ/ヘラ	ナデ/ヘラ		輪積痕有、 スス付着	D-62
第29図	21	SI-07	カマド1床直 P-40,カマド 2オチ P-219.5層 P-195.201 ~ 204.P-X,床直 P-238	土師器	甕	20.0	24.5	11.8	10YR7/4	10YR8/2	並	少	多	-	微	11/12	10/12	ヘラ	ヘラ	木葉痕	02 宮田館 D-18.D-114 と接合	KA-6
第29図	22	SI-07	カマド1フク3層 P-5	土師器	甕	19.6	-	-	10YR5/4	10YR6/4	並	微	少	-	微	3/12		ナデ/ヘラのちナデ	ナデ/ヘラ		輪積痕有	KA-5-2
第29図	23	SI-07	ⅠT-46フク3層 P-24	土師器	甕	-	-	9.8	7.5YR5/3	10YR5/3	並	微	少	-	微	2/12		ヘラ/ナデ	ヘラ	?		KA-5-1
第29図	24	SI-07	4層 P-47.115.5層 P-215.一 括、床直 P-218,壁溝 P-218 下	土師器	甕	-	-	8.0	10YR4/3	5YR5/6	並	中	少	-	微	7.5/12		ヘラ	ヘラ	砂底	炭化物付着、 付着物有	KA-2

第IV章 発掘調査

図版番号	番号	遺構番号	層位	種別	器種	口径	器高	底径	色調外面	色調内面	焼成	礫	砂	骨	赤	遺存率(口縁)	遺存率(底部)	外面調整	内面調整	底部調整	備考	整理番号
第29図	26	SI-07	5層P-119.204.02宮田館SI-07IT-46フク5層P-5.IS-45フク5層P-X	土師器	甕	-	-	-	7.5YR5/3	7.5YR4/2	並	微	少	微	中			ナデ	ヘラ		02 宮田館 D-46と接合	D-76
第29図	27	SI-07	カマド1フク1層P-4.カマド1フク4層P-23.カマド1フク16層P-10.カマド1フク21層P-53.68.100.カマド1フク24層.ソデP-22.70.カマド1住フク4層P-6.7.4層P-60.02宮田館SI-07IT-47フク4層P-X	土師器	甕	22.8	-	-	7.5YR7/4	7.5YR5/2	並	多	多	-	少	5.5/12		ナデ/ヘラのちナデ	ヘラのちナデ		輪積痕.指頭圧痕.付着物有	D-80
第29図	28	SI-07	カマド1フク4層P-6.カマド1フク21層P-99.カマド1フク23層P-96	土師器	甕	19.4	-	-	7.5YR4/3	7.5YR3/2	並	微	中	-	中	3.4/12		ナデ/ヘラケズリ	ナデ/ヘラナデ			D-69
第29図	29	SI-07	カマド1住フク4層P-27	土師器	甕	(17.4)	-	-	7.5YR6/6	7.5YR6/6	良	中	少	-	微	0.8/12		ナデ	ナデ			K-12
第30図	30	SI-07	壁溝P-218下.東オチ一括	土師器	甕	21.6	-	-	7.5YR7/4	7.5YR7/4	良	微	少	-	中	1/12		ナデ/ヘラ	ナデ/ヘラ			D-50
第30図	31	SI-07	4層P-160	土師器	甕	21.3	-	-	7.5YR7/4	7.5YR6/3	並	多	中	-	-	0.9/12		ナデ/ヘラケズリ	ヘラ+ナデ			D-67
第30図	32	SI-07	東オチ2層P-330	土師器	甕	21.0	-	-	5YR6/6	5YR6/6	並	微	少	-	少	1.2/12		ナデ/ヘラ	ナデ/ヘラ+ナデ		輪積痕有.針状礫石	D-51
第30図	33	SI-07	カマド1フク4層P-54.カマド1フク21層P-5.58	土師器	甕	19.6	-	-	2.5YR7/8	7.5YR6/4	良	多	多	-	多	1/12		ナデ/ヘラ	ナデ/ヘラ			D-49
第30図	34	SI-07	カマド1フク4層P-140.カマド1フク5層P-65.67.69.カマド1フク14層P-101.カマド1フク24層ソデP-106	土師器	甕	21.0	-	-	7.5YR6/6	5YR6/8	並	少	多	-	少	5.5/12		ナデ+ヘラ/ヘラケズリ	ナデ/ヘラナデ		スス附着.付着物有.全体的に二次被熱強	K-1
第30図	35	SI-07	床直P-218	土師器	甕	22.2	-	-	5YR7/6	5YR7/6	並	中	中	-	中	2.5/12		ナデ/ヘラ	ナデ		02 宮田館 SI-07IT-45. SK-01 上面P-Xと同一個体	D-110
第30図	36	SI-07	東オチP-316	土師器	甕	23.4	-	-	5YR5/6	5YR5/6	良	少	中	-	少	1.3/12		ナデ/ヘラケズリ	ナデ/ヘラナデ			K-11
第30図	37	SI-07	東オチP-322.焼土範囲1下P-305	土師器	甕	-	-	7.0	5YR6/6	2.5YR7/8	並	多	多	-	中		3/12	ヘラ	ヘラ	ヘラ		D-79
第30図	38	SI-07	カマド1住フク4層P-16	土師器	小甕	13.9	15.0	7.8	7.5YR6/3	7.5YR6/4	良	少	少	-	微	11/12		ナデ/ヘラ+ナデ	ナデ/ヘラ	木葉痕(平行脈)		D-29
第30図	39	SI-07	カマド1住フク4層P-50.3層P-25	土師器	小甕	13.4	-	-	5YR6/6	5YR6/6	良	微	中	-	微	3.2/12		ナデ/ヘラケズリ	ナデ			K-10
第30図	40	SI-07	床直P-256	土師器	小甕	13.8	-	-	7.5YR6/3	7.5YR6/4	良	微	少	-	微	1.5/12		ロクロナデ	ロクロナデ		煮炊痕有	D-48
第30図	41	SI-07	床直P-92	土師器	甕	-	-	6.4	7.5YR6/4	7.5YR7/4	並	多	少	-	中	12/12		ナデ/ヘラ	ナデ/ヘラ	砂底		D-40
第30図	42	SI-07	東オチP-308	土師器	甕	18.2	-	-	7.5YR6/3	7.5YR6/3	並	微	少	-	中	2.5/12		ナデ/ヘラ	ナデ/ヘラ+ナデ		粘土附着	D-57
第30図	43	SI-07	4層P-229	土師器	小甕	-	-	7.0	10YR8/3	2.5YR8/2	並	-	微	-	少	2.5/12		ヘラ	ヘラ/ナデ	菌網痕	輪積痕有	D-38
第30図	44	SI-07	カマド2フク15層P-X.3層P-33	土師器	小甕	-	-	6.4	10YR5/2	10YR7/4	良	微	少	微	少	3/12		ヘラ	ヘラのちナデ	ヘラ		D-78
第31図	45	SI-07	4層P-120	須恵器	甕	-	-	-	7.5Y5/1	5Y6/1	並	少	微	微	微			タタキ	ナデ(当て具痕)			C-11
第31図	46	SI-07	4層P-182	須恵器	甕	-	-	-	7.5Y5/1	N4/0	良	微	中	少	微			タタキ	ナデ(当て具痕)		02 宮田館 SI-07フク3層P-25と同一個体	C-12
第31図	47	SI-07	3層P-29.49.4層P-58.粘土オチP-220	須恵器	鉢	-	-	5.8	2.5YR6/8	2.5Y6/2	良	微	少	-	多	12/12		ロクロナデのちヘラ	ロクロナデ	ヘラ	火摩痕有(底)	D-73
第31図	48	SI-07	東オチP-118.P-X	縄文	深鉢	-	-	-	7.5YR7/4	7.5YR6/4	並	微	微	-	微			LR	ナデ			Y-6
第31図	49	SI-07	カマド1フク5層P-59	縄文	深鉢	-	-	-	10YR4/1	10YR6/4	良	少	微	-	微			RL/沈線	ナデ			Y-8
第31図	50	SI-07	3層P-16	縄文	深鉢	-	-	-	2.5YR7/6	5YR4/1	良	少	中	-	-			RL/沈線	ナデ			Y-5
第31図	51	SI-07	フクP-223	縄文	深鉢	-	-	-	2.5YR6/5	7.5YR6/3	良	微	微	-	微			RL	ナデ		底部にヘラ?	Y-7
第32図	62	SI-08	2層P-13	黒色土器	椀	14.5	6.5	5.8	5YR6/6	N1.5/0	良	微	微	-	微	10/12	12/12	ヘラミガキ/ロクロナデ/ヘラ	ヘラミガキ	右回転糸切/ヘラオコシ/指頭圧痕	黒色処理.指でココナデ	D-39
第32図	63	SI-08	カマドP-78	黒色土器	椀	14.0	5.8	5.9	7.5YR6/4	N2/0	良	微	少	多	微	6/12	9/12	ヘラミガキ/ロクロナデ/ヘラケズリ	ヘラミガキ	ヘラ	黒色処理.油痕有	D-71
第32図	64	SI-08	カマドP-58	黒色土器	椀	12.4	5.0	4.8	7.5YR6/4	N1.5/0	良	微	少	-	微	12/12	12/12	ヘラミガキ/ナデ	ヘラミガキ	右回転糸切/ヘラオコシ	黒色処理.指紋有.礫大.赤色粗大(発色せず)	D-34
第32図	65	SI-08	床直P-99.100	黒色土器	椀	13.6	-	-	10YR6/3	10YR1.7/1	並	-	少	-	-	1/12		ヘラミガキ	ヘラミガキ		黒色処理	K-3
第32図	66	SI-08	2層P-X	黒色土器	椀	13.0	-	-	7.5YR7/4	7.5YR2/1	良	-	微	-	微	1.2/12		ヘラミガキ	ヘラミガキ		黒色処理.油痕有	D-35
第32図	67	SI-08	2層P-16	黒色土器	高台椀	-	-	7.6(高台)	10YR6/3	N1.5/0	並	-	少	-	微	1/12		ロクロナデ	ヘラミガキ	回転糸切/ナデ	黒色処理.黒斑(底面)	K-5
第32図	68	SI-08	床直P-110	黒色土器	椀	14.0	-	-	7.5YR6/6	N1.5/0	並	-	微	-	微	1/12		ヘラミガキ/ロクロナデ	ヘラミガキ		黒色処理.ユビ痕.色調コロシ.スレ.平滑面有.一部ヘラミガキつづられている	K-4
第32図	69	SI-08	2層P-X(焼土範囲1下P).口)3層P-56	黒色土器	椀	12.8	4.8	5.6	10YR7/4	10Y2/1	やや不良	-	-	-	中	1/12	1/12	ロクロナデ	ロクロナデ	回転糸切	黒色処理.ピッチ附着.付着物有	K-6
第32図	70	SI-08	2層P-44	土師器	椀	-	-	6.6	7.5YR7/4	7.5YR7/6	並	少	微	-	中	3/12		ロクロナデ	ロクロナデ	回転糸切.ヘラケズリ	使用痕有	K-7
第32図	71	SI-08	2層P-X.②.④.3層P-X.④.⑥.3層P-X	土師器	小甕	-	-	7.8	5YR6/6	5YR6/4	並	中	少	-	微	2/12		ナデ	ナデ	砂底	輪積痕有.スス附着(被熱)	D-30
第32図	72	SI-08	カマド3層P-60.4.6層P-X.④.⑥.3層P-X	土師器	甕	-	-	8.2	7.5YR6/3	7.5YR6/4	不良	多	少	-	中	5/12		ナデ	ナデ/ヘラ		粘土.スス附着	D-59
第32図	73	SI-08	8層P-33.7層P-7	土師器	甕	21.6	-	-	10YR7/4	10YR8/4	並	微	多	-	微	1.5/12		ロクロナデ	ロクロナデ/ナデ		スス.炭化物.粘土附着.付着物有.被熱.一部剥離(内面)	K-9
第32図	74	SI-08	カマドP-69.71.2層P-12	土師器	甕	18.8	-	-	10YR8/4	10YR4/3	並	微	少	-	微	3/12		ヘラ/ナデ	ナデ/ヘラ		ヘラ痕.輪積痕有	KA-7

市内遺跡発掘調査報告書 12

図版番号	番号	遺構番号	層位	種別	器種	口径	器高	底径	色調外面	色調内面	焼成	磁	砂	骨	赤	遺存率(口縁)	遺存率(底部)	外面調整	内面調整	底部調整	備考	整理番号	
第32図	75	SI-08	カマド1フク2層P-1.2.3.2層P-X,床面P-39	土師器	甕	20.4	-	-	5YR6/6	5YR7/6	並	-	少	微	少	2/12		ナデ/ヘラ	ナデ/ヘラ		粘土付着,二次焼熱D-56と同一個体	D-58	
第32図	76	SI-08	火床面上P-103	土師器	小甕	15.6	(15.1)	7.6	10YR5/3	10YR6/3	並	少	中	-	多	4.5/12	(2/12)	ロクロナデ/ハラケズリ	ロクロナデ	ヘラミガキ	スス付着,煮炊痕,付着物有,二次焼熱,炭化による剥離有	KA-1	
第32図	77	SI-08 SP-149	2層P-17.3.5.a.b層P-X,SP-149フク4.6層P-X	須恵器	壺	-	-	8.1	N4/0	N4/0	良	微	少	微	-	5/12		ロクロナデ/ヘラ	ロクロナデ/ナデ	ヘラ	D-32Bと同一個体(図上復元)	D-32 + D-32B	
第33図	78	SI-08	カマドP-70.91.94.2層P-6,3層P-2.6層P-X,フクP-9	土師器	甕	21.0	-	-	10YR7/6	10YR8/4	並	少	中	-	多	4/12		ロクロナデ/ヘラ	ロクロナデ		D-72.SP-157 1層P-X,SI-07 D-68と同一個体	KA-9	
第33図	79	SI-08	南壁P-X	縄文	深鉢	-	-	-	10YR8/4	5YR6/6	並	微	微	-	-			RL	ナデ			J-12	
第33図	80	SI-08	北壁P-112	縄文	深鉢	-	-	-	5YR5/6	5YR5/4	並	微	微	-	-			LR	ナデ			J-13	
第33図	81	SI-08 09	2層P-25.31.3.5.a.b層P-X,掘り方P-X,西壁トレンチ,SI-09フクP-X	縄文	深鉢	-	-	-	5YR7/6	5YR7/6	並	微	微	-	微			(口)LR押圧/RL/LR	ナデ			J-14	
第34図	87	SI-09	カマド1フク2層P-307.47.2.474.509.516.522.559.560.561,フク520.523.534.537	縄文	深鉢	17.8	-	-	10YR7/6	10YR4/2	不良	少	中	-	少	4.5/12		RL/LR/複節RLR	ナデ			D-84	
第34図	88	SI-08 09	フクP-1.46.55.64.142.P.X,床P-3.4層P-X,SI-08フク2層①P-X,3層P-122.P-135,ピット12フクP-1	縄文	深鉢	(16.8)	23.6	10.4	10YR6/3	10YR5/3	並	少	中	-	少	4.5/12	12/12	複節RLR	ナデ			D-83	
第34図	89	SI-09	フクP-121.128.140.282	縄文	深鉢	10.0	14.3	6.2	10YR4/2	2.5YR5/2	並	微	少	-	微	5/12	12/12	RL+LR(付加条)/複節LRL	ナデ			D-82	
第34図	90	SI-08 09	2層P-557.571.574.576.586.588.590,フクP-279.371.376~378.382~385.388.389.39.4397.411.SI-08壁1層ピット8P-X	縄文	深鉢	17.0	-	-	10YR5/3	10YR6/4	並	微	少	多	少	10/12		(口)単節LR/単節RL/複節RLR	ナデ			D-87	
第34図	91	SI-09	フクP-234.236.237.239.24.5.246.250.251.255.261.263~265.270.283	縄文	深鉢	-	-	11.2	10YR6/4	10YR6/3	並	少	中	-	少		12/12	複節RLR	ナデ			D-86	
第35図	92	SI-09	フクP-131.181.191.192.194.199.203~205.209~212.216~218.419	縄文	深鉢	-	-	-	10YR3/1	10YR5/4	不良	微	多	-	微				複節RLR	ナデ	摩滅		D-85
第35図	93	SI-09	フクP-34.36.44.132.133.14.5.148	縄文	深鉢	-	-	-	2.5Y7/2	2.5Y5/3	不良	少	中	-	微			(口)LR押圧/RL	ナデ			C-14	
第35図	94	SI-09	フクP-X	縄文	深鉢	-	-	-	10YR6/4	10YR4/2	並	微	中	-	微			(口)LR押圧/隆帯RL	ナデ			C-15	
第35図	95	SI-09	フクP-450.467.468.471.47.6.477.503	縄文	深鉢	-	-	-	7.5YR5/3	7.5YR4/3	良	微	中	-	-			(口)LR押圧/RL	ナデ			N-9	
第35図	96	SI-08 09	フクP-156.157.361.363.364.SI-08フク1層壁P-X	縄文	深鉢	-	-	-	10YR3/1	10YR6/4	良	少	微	-	微			(口)単節LR押圧/RL	ナデ			Y-14	
第35図	97	SI-09	フクP-165.173.312.316.317.320.324.325.327.329.330.P-X	縄文	深鉢	-	-	-	7.5YR5/3	10YR3/2	良	微	中	-	-			(口)単節LR押圧/RL	ナデ			N-10	
第35図	98	SI-09	フクP-481	縄文	深鉢	-	-	-	10YR7/4	7.5YR3/1	良	微	微	-	微			(口)LR押圧/RL	ナデ			Y-16	
第35図	99	SI-09	フクP-284	縄文	深鉢	-	-	-	10YR6/3	2.5Y6/2	並	微	微	-	微			RL	ナデ	補修孔有		Y-15	
第35図	100	SI-09	フクP-345.355.356.365.366.367.389.396.P-X	縄文	深鉢	-	-	-	10YR3/2	10YR4/3	良	微	中	-	-			(口)単節LR押圧/RL	ナデ			Y-13	
第35図	101	SI-09	フク	縄文	深鉢	-	-	-	10YR5/3	10YR6/5	並	-	微	-	微			LR押圧	ナデ			N-12	
第35図	102	SI-09	P-X	縄文	深鉢	-	-	-	10YR7/4	7.5YR5/4	良	微	微	-	微			RL	ナデ			N-11	
第37図	108	SK-05	確認面一括	縄文	深鉢	-	-	-	2.5Y8/3	2.5Y8/3	並	微	多	-	微			RL	ナデ			Y-9	
第37図	109	SK-07	9層P-10.12層P-5.6.14層P-7.22層P-13	土師器	甕	14.0	6.0	6.0	10YR4/2	10YR4/1	並	微	微	-	極微	3/12	12/12	ロクロナデ	ロクロナデ	右回転糸切	底面剥離(色調違う)	KA-8	
第37図	110	SP-126	フクP-X	須恵器	甕	-	-	-	5Y5/1	5Y6/1	並	微	微	微	微			タタキ	ナデ			C-13	
第37図	111	SP-127	フクP-X	須恵器	坏	12.0	-	-	2.5YR6/8	2.5YR5/2	良	少	-	-	少	1/12		ロクロナデ/ヘラ	ロクロナデ		D-43と同質	D-44	
第37図	112	SP-128	P-X	黒土器	甕	10.8	-	-	7.5YR5/2	N1.5/0	並	-	少	-	微			ロクロナデ	ヘラミガキ		黒色処理	D-45	
第37図	113	SP-129	トレンチ	縄文	深鉢	-	-	-	10YR7/4	7.5YR7/6	並	微	少	-	微			絡条体5条圧痕	ナデ			J-4	
第37図	114	SP-129a	フク	土師器	甕	-	-	-	10YR7/2	10YR8/3	並	微	少	-	微			ハラケズリ	ナデ			J-1	
第37図	115	SP-129b	フク	土師器	甕	-	-	-	7.5YR6/6	7.5YR5/4	良	微	少	-	微			ハラケズリ	ナデ			J-2	
第37図	116	SP-129b	1層	土師器	甕	-	-	-	5YR5/6	5YR6/4	良	微	少	-	少			ロクロナデ	ロクロナデ			D-60	
第37図	117	SP-129b	4層	縄文	深鉢	-	-	-	10YR8/2	10YR8/2	並	微	少	-	微			RL	ナデ			J-6	
第37図	118	SP-129b	フク	縄文	深鉢	-	-	-	7.5YR5/4	7.5YR5/6	良	微	微	-	微			LR押圧/LR	ナデ			J-7	
第37図	119	SP-129b	1層	縄文	深鉢	-	-	-	7.5YR5/3	7.5YR7/6	良	微	微	-	微			RL	ナデ			J-5	
第37図	120	SP-129h	1層,包含層P-23	縄文	深鉢	-	-	9.2	10YR6/4	10YR7/4	並	微	多	-	微	9/12		LR	ナデ			J-10	
第37図	121	SP-129c	フク	縄文	深鉢	-	-	-	2.5YR5/8	10YR7/3	不良	微	中	-	微			RL	ナデ			J-8	
第37図	122	SP-129c	フク	縄文	深鉢	-	-	-	2.5Y6/1	2.5Y6/1	並	微	少	-	微			RL	ナデ			J-9	
第37図	123	SP-130	フク	土師器	甕	-	-	-	10YR8/4	10YR8/3	並	微	少	-	微			ハラケズリ	ナデ			J-3	
第37図	124	SP-131	2層	縄文	深鉢	-	-	-	10YR4/3	10YR3/3	良	微	微	-	-			RL	ナデ			J-11	
第37図	125	SP-131	2層	土師器	小甕	-	-	-	5YR5/6	5YR5/6	並	-	微	-	微			ナデ	ナデ			C-1	
第37図	126	SP-131	2層	土師器	甕	-	-	-	7.5YR5/6	7.5YR4/3	良	微	中	-	微			ハラケズリ	ナデ			C-2	
第37図	127	SP-136	1層	土師器	甕	-	-	-	7.5YR4/2	7.5YR3/3	並	中	少	-	-			ハラケズリ	ナデ	スス付着		Y-1	
第37図	128	SP-140	1層	縄文	深鉢	-	-	-	10YR6/4	5YR6/5	並	微	多	-	多			RL	ナデ			N-4	
第37図	129	SP-144	3層P-X	土師器	甕	-	-	-	10YR6/3	10YR6/2	良	微	微	-	微			ヘラ	ナデ			Y-3	
第37図	130	SP-144	フクP-X	土師器	甕	-	-	-	10YR7/4	7.5YR6/4	並	微	微	-	中			ヘラナデ	ナデ			Y-4	
第37図	131	SP-144 SP-129a	7層P-X,SP-129aフク	土師器	甕	-	-	-	7.5YR5/4	7.5YR7/6	並	微	微	-	微			ロクロナデ	ヘラミガキ			C-5	
第37図	132	SP-145	3層P-X	土師器	甕	-	-	-	7.5YR5/4	7.5YR6/4	並	微	少	-	微			ハラケズリ	ナデ	スス付着		N-1	
第37図	133	SP-145	3層P-X	縄文	深鉢	-	-	-	10YR4/1	10YR6/3	良	微	微	-	-			ナデ	ナデ			N-5	
第37図	134	SP-149	壁P-X	縄文	深鉢	-	-	-	7.5YR3/1	7.5YR4/2	並	-	微	-	-			(口)LR/RL	ナデ			N-6	
第37図	135	SP-156	1層P-X	土師器	甕	-	-	-	10YR1.7/1	7.5YR6/4	並	微	微	-	微			ハラケズリ	ナデ			N-2	
第37図	136	SP-172	2層P-X	縄文	深鉢	-	-	-	10YR7/4	2.5YR7/3	並	微	微	-	微			LR	ナデ			N-8	
第37図	137	SP-253	フクP-X	縄文	深鉢	-	-	-	10YR5/4	10YR8/4	良	微	微	-	中			LR/沈着/剥突	ナデ			C-6	
第37図	138	SP-159	3層P-X	土師器	甕	-	-	-	5YR6/5	10YR5/3	良	微	少	-	少			ハラケズリ	ヘラミガキ			N-7	
第37図	139	SP-174	フクP-X	土師器	甕	-	-	-	7.5YR6/5	7.5YR6/4	良	-	少	-	微			ハラケズリ	ナデ			N-3	
第37図	140	SP-257	フクP-X	縄文	深鉢	-	-	-	10YR5/3	10YR6/2	並	微	微	-	微			RL	ナデ			C-7	
第37図	141	SP-265	P-X	土師器	甕	-	-	-	10YR7/4	10YR6/6	並	中	少	-	微			ハラケズリ	ヘラナデ			C-3	
第37図	142	SP-265	フクP-X	須恵器	坏	11.8	-	-	7.5YR6/6	7.5YR5/3	良	微	少	-	微	1.8/12		ロクロナデ	ロクロナデ		火押痕有,SI-07床直P-27(03507)が同一(1.12).D-44と同質	D-43	
第37図	143	SP-316	フクP-X	土師器	甕	-	-	-	7.5YR5/4	7.5YR5/3	並	微	少	-	微								

第IV章 発掘調査

図版番号	番号	遺構番号	層位	種別	器種	口径	器高	底径	色調外面	色調内面	焼成	礫	砂	骨	赤	遺存率(口縁)	遺存率(底部)	外面調整	内面調整	底部調整	備考	整理番号
第38図	151	遺構外	包含層 II B-48P-X	縄文	深鉢	-	-	-	10YR4/2	10YR4/1	良	微	微	-	-	-	-	絡糸体圧痕	ナデ			Y-11
第38図	152	遺構外	表土	縄文	深鉢	-	-	-	10YR4/4	10YR6/4	良	微	少	-	-	-	-	LR	ナデ			Y-12
第38図	153	遺構外	包含層 P-19.24	縄文	深鉢	-	-	-	10YR3/1	2.5YR7/2	良	微	少	-	-	-	-	LR	ナデ			Y-10
第38図	154	遺構外	II A-44 包含層 P-X	土師器	椀	-	-	6.2	10YR8/3	10YR7/3	並	微	少	-	-	12/12	12/12	ロクロナデ	ロクロナデ	右回転系切	摩滅、剥離	D-42
第38図	155	遺構外	包含層 P-X	土師器	甕	20.4	-	-	5YR5/6	5YR5/6	良	少	中	-	微	0.7/12	-	ナデ	ナデ		粘土付着、煮沸痕有	K-13
第38図	156	遺構外	SP-137 付近 包含層	土師器	甕	-	-	-	7.5YR6/5	7.5YR7/4	並	中	微	-	多	-	-	ナデ	ナデ		剥離	Y-2
第38図	157	遺構外	包含層 P-11	土師器	甕	(18.0)	-	-	7.5YR6/3	10YR6/2	並	-	少	-	微	0.8/12	-	ナデ/ヘラ	ナデ		炭化物付着、付着物有	D-55

第7表 宮田館遺跡出土石器観察表

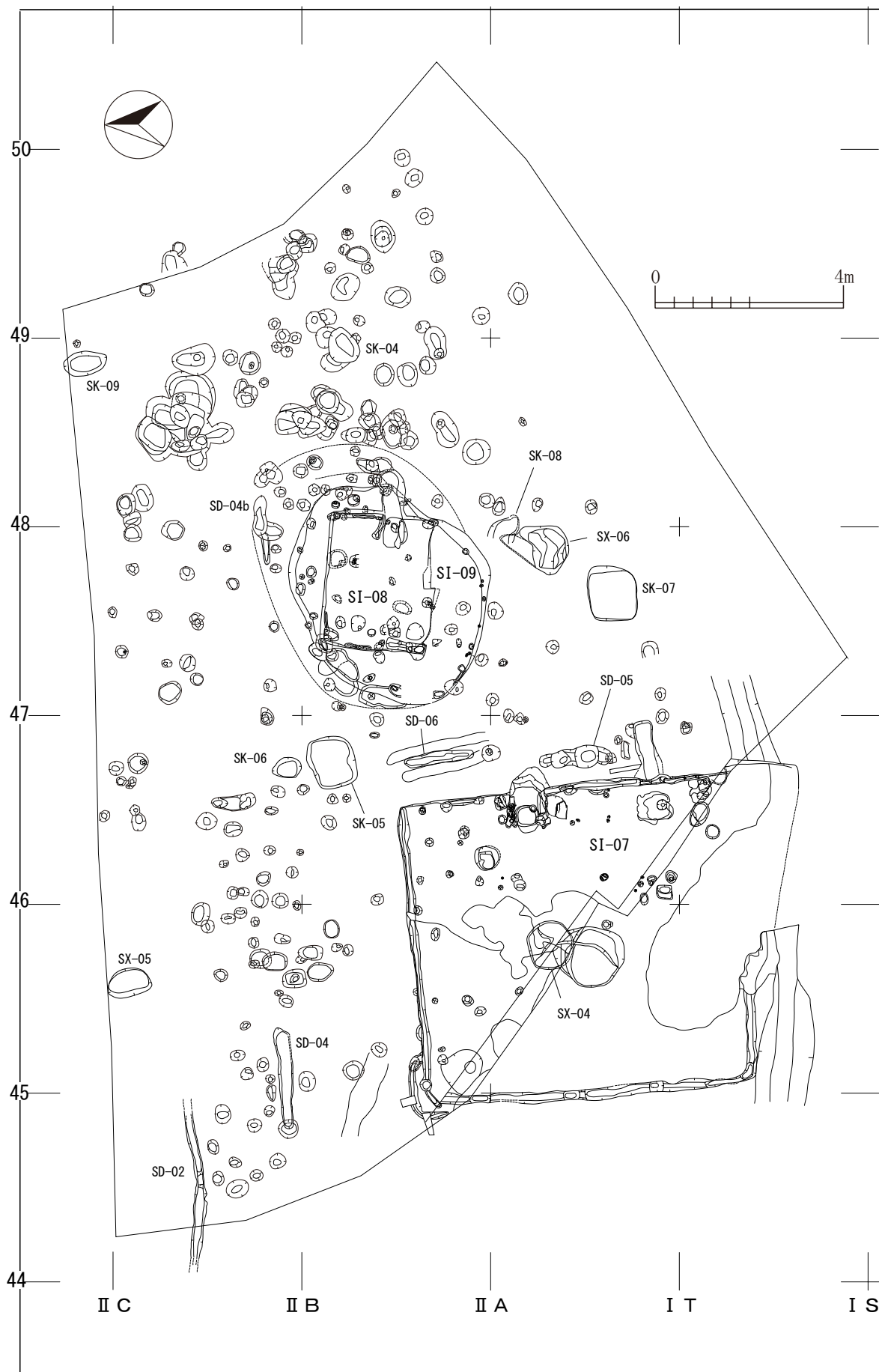
図版番号	番号	調査年度	遺構名	層位	器種	計測値				石質	備考	整理番号
						長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)			
第33図	84	H15	SI-08	床直 S-1	石鏃	28	14	4	1.0	珪質頁岩	アスファルト付着	O-4
第33図	85	H15	SI-08	2層 S-12	敲磨類	162	68	42	476.0	安山岩		K-2
第33図	86	H15	SI-08	2層 S-11	敲磨類	178	62	35	556.0	石英安山岩		K-6
第36図	103	H15	SI-09	フク S-X	横形石匙	39	40	10	7.8	珪質頁岩		O-1
第36図	104	H15	SI-09	フク S-2	敲磨類	249	58	44	916.0	石英安山岩		K-5
第36図	105	H15	SI-09	フク S-19	磨製石斧	125	38	30	228.6	輝緑凝灰岩	擦切痕有	K-9
第36図	106	H15	SI-09 炉	2層 S-17	敲磨類	53	128	29	320.0	安山岩		K-10
第36図	107	H15	SI-09	フク S-7	半円状扁平打製石斧	182	86	50	928.0	安山岩		K-8
第37図	146	H15	SP-129f	4層	敲磨類	(66)	52	24	89.6	砂岩		K-1
第38図	158	H15	II B-47	包含層	敲磨類	104	74	44	353.9	安山岩		K-7

第8表 宮田館遺跡出土土製品観察表

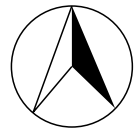
図版番号	番号	調査年度	遺構名	層位	器種	法量(cm)			色調		焼成	礫	砂	骨	赤	雲母	残存率	調整		備考	整理番号
						口径	器高	底径	外面	内面								外面	内面		
第29図	25	H15	SI-07	床直 P-101	製塩土器	-	-	-	5YR7/3	7.5YR8/3	並	微	微	-	微	少	9/12	ナデ	剥落	貫通孔、輪積痕、ヒッチ微量付着	S-23
第33図	83	H15	SI-08・カマド	支脚	土製支脚	-	-	-	10YR6/3 7.5YR6/6	2.5YR6/6	良	少	多	-	少	微	-	ユビ ナデ	ユビ ナデ	指頭汗痕、輪積痕、上面砂粒付着	S-30

第9表 宮田館遺跡出土鉄製品・鉄滓観察表

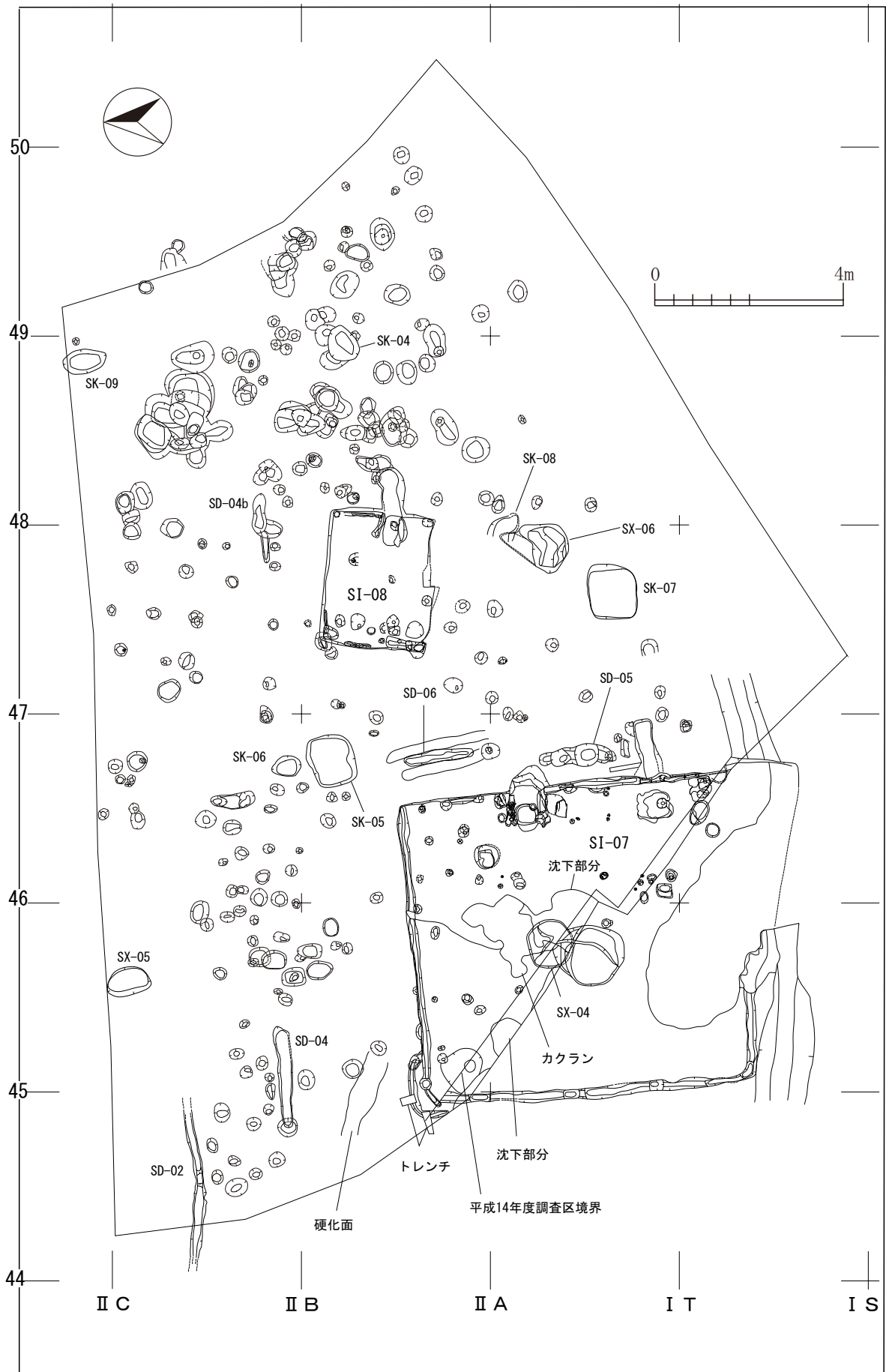
図版番号	番号	調査年度	遺構名	層位	種別	長さ×幅×厚さ(mm)	重量(g)	磁着度	メタル度	備考	整理番号
第31図	52	H15	SI-07	床直	鉄製品	40×4×4	2.5	3	△		S-7
第31図	53	H15	SI-07	4層	鉄製品	42×4×4	2.8	5	△		S-8
第31図	54	H15	SI-07 カマド 1	住4層	鉄製品	48×4×4	2.8	4	△		S-9
第31図	55	H14	SI-07	カクラン	刀子	45×6×3	4.0	2	△		
第31図	56	H15	SI-07	5層	刀子	68×7.5×4	7.3	4	△		S-10
第31図	57	H15	SI-07 カマド 1	住フク	刀子	19×14×3.5	5.9	5	○		S-11
第31図	58	H14	SI-07	カクラン	椀形鍛冶滓(大)	68×54×48	227.0	4	●		
第31図	59	H14	SI-07SK-01	上面	椀形鍛冶滓(含鉄)	50×64×19	76.0	2	△		
第31図	60	H15	SI-07	床直	含鉄鉄滓	30×38×20	24.1	5	△		S-13
第31図	61	H15	SI-07	東落	鉄滓	19×15×19	4.0	1	△		S-14
第33図	82	H15	SI-08	床面	刀装具	46.5×9.5×2.5	9.0	4	△		S-12
第37図	147	H14	SI-01	2層	刀子	84×10×3	10.0	3	△		
第37図	148	H14	SI-01	8層	刀子	86×11×5	8.0	2	△	F-2・3 接合	
第37図	149	H14	SI-03 カマド	住1層	鉄製品	16×2.5×2.5	0.4	2	△		S-19
第37図	150	H14	SP-71	フク 1下層	釘	34×2.5×2.5	1.4	4	△		S-20
第38図	159	H14	IQ-42	カクラン	釘	21×2×2	0.6	3	△		S-21



第2図 宮田館遺跡平成15年度調査遺構配置図1

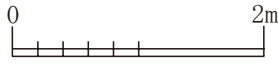
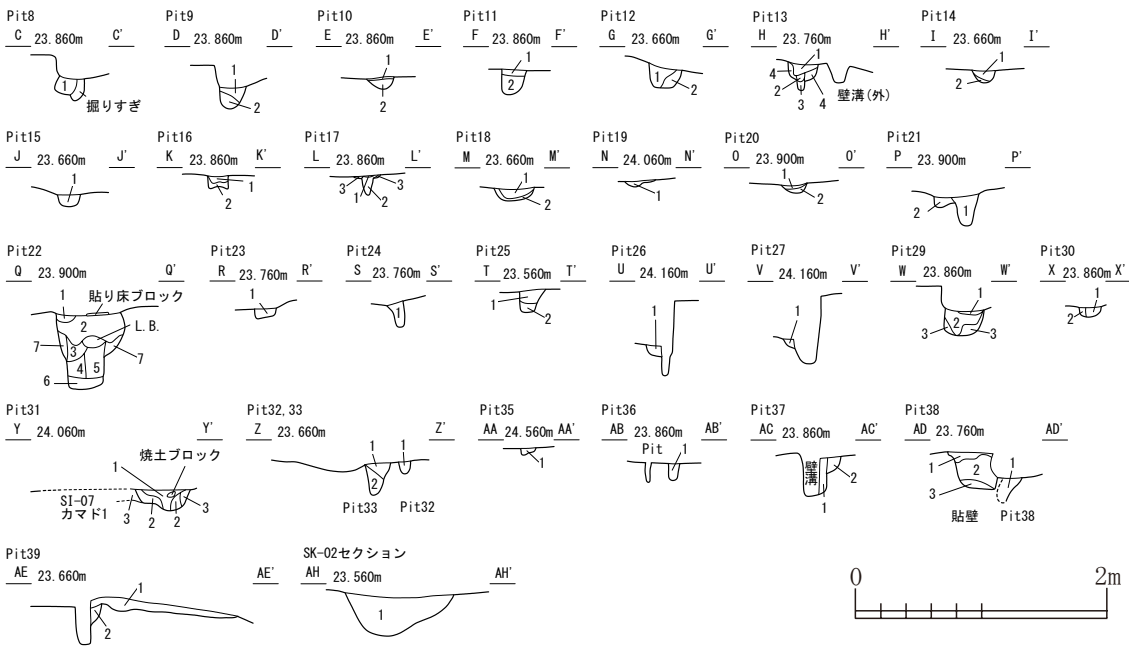
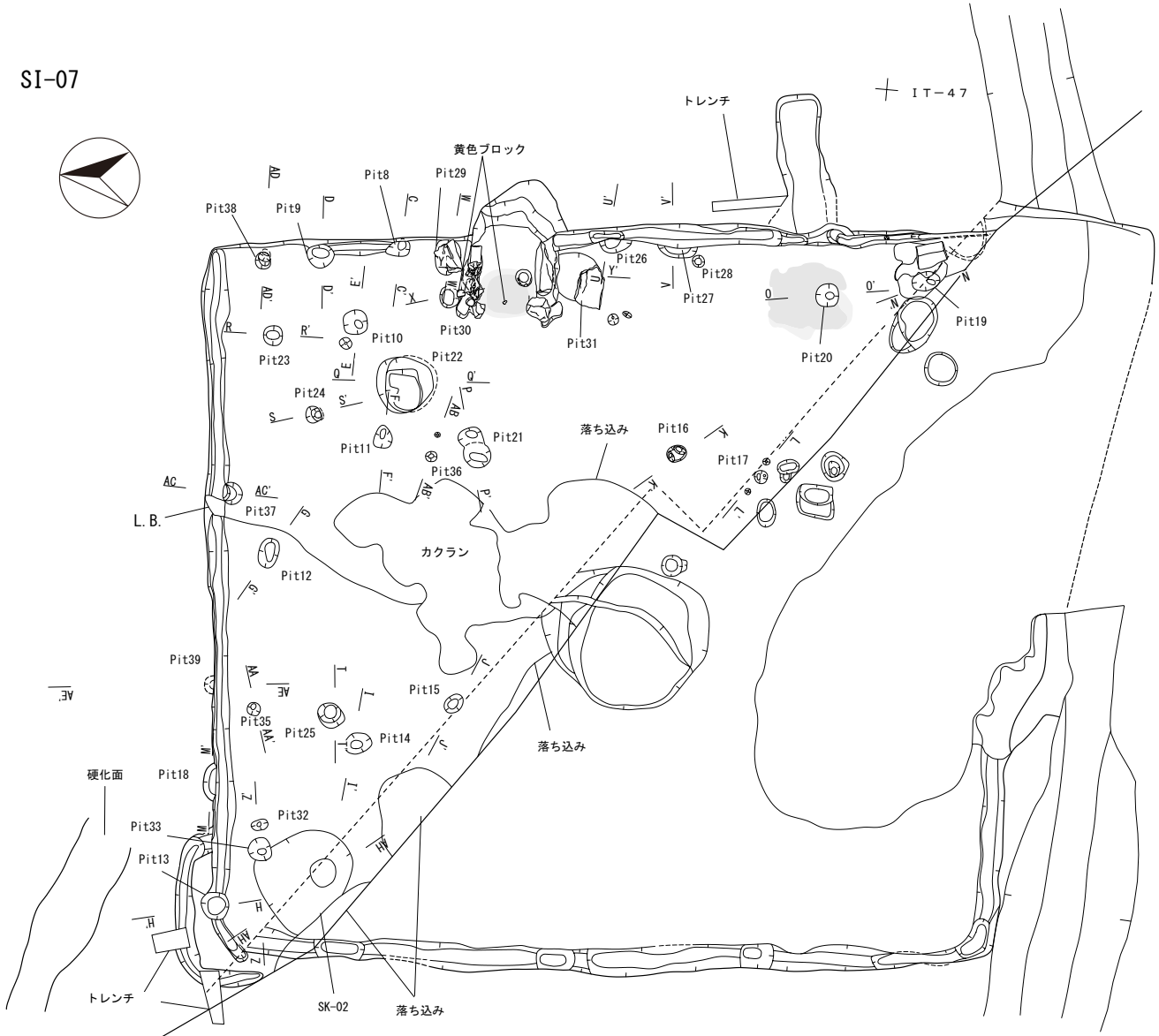


第3図 宮田館遺跡平成14・15年度青森市教育委員会調査遺構配置図



第4図 宮田館遺跡平成15年度調査遺構配置図2

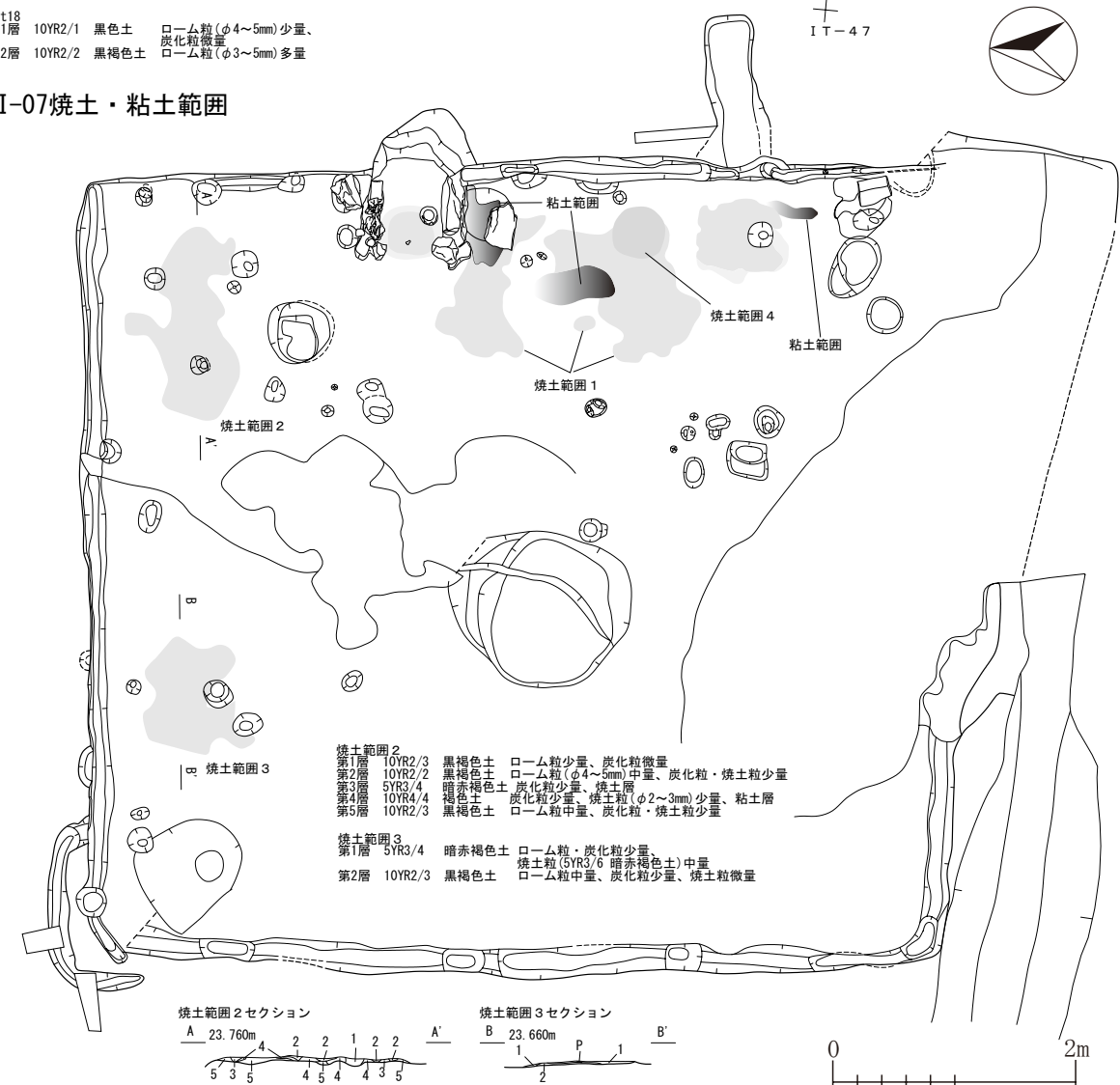
SI-07



第5図 SI-07 ①

SI-07内Pit Pit18 柱穴 第1層 10YR2/2 黒褐色土	ローム粒中量、 SI-07覆土4層と同等	Pit19 第1層 10YR2/2 黒褐色土	ローム粒(φ5~9mm)中量、 SI-07覆土4層と同等	Pit30 第1層 10YR2/3 黒褐色土	バミス粒(φ5mm)微量、 焼土粒(φ1mm)少量、 バミス粒・ブロック(φ1~20mm)多量
Pit9 柱穴 第1層 10YR2/2 黒褐色土	ローム粒中量、 SI-07覆土4層と同等	Pit20 第1層 10YR2/3 黒褐色土	ローム粒中量、炭化粒少量、 焼土粒(φ2~4mm)中量	Pit31 第1層 10YR2/2 黒褐色土	バミス粒・ブロック(φ1~30mm)中量、 焼土粒(φ1~9mm)少量、 焼土・ブロック(φ50~60mm)微量、 ロームブロック(φ50~100mm)中量、 バミスブロック(φ20~30mm)少量、 バミス粒(φ1mm)少量
第2層 10YR2/2 黒褐色土	ローム粒(φ3~6mm)中量、 SI-07覆土4層と同等	第2層 10YR2/2 黒褐色土	ローム粒中量、炭化粒少量	第2層 10YR2/3 黒褐色土	バミスブロック(φ10~30mm)少量
Pit10 第1層 10YR2/2 黒褐色土	ローム粒・炭化粒少量、 焼土粒微量	Pit21 第1層 10YR2/2 黒褐色土	ローム粒・炭化粒少量、 SI-07覆土4層と同等	第3層 10YR3/2 黒褐色土	バミスブロック(φ10~30mm)少量
第2層 10YR2/3 黒褐色土	ローム粒(φ4~5mm)中量、 炭化粒少量	第2層 10YR2/1 黒色土	ローム粒・炭化粒少量、 焼土粒微量	Pit32 第1層 10YR2/2 黒褐色土	バミス粒(φ5mm)少量
Pit11 第1層 10YR2/2 黒褐色土	ローム粒・炭化粒少量	Pit22 第1層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ4~5mm)中量、 炭化粒少量	Pit33 第1層 10YR2/2 黒褐色土	バミスブロック(φ20mm)少量
第2層 10YR2/1 黒色土	ローム粒中量、炭化粒少量	第2層 10YR2/2 黒褐色土	ローム粒中量、炭化粒少量	第2層 10YR2/1 黒色土	バミス粒(φ1mm)少量
Pit12 第1層 10YR2/2 黒褐色土	ローム粒(φ3~4mm)中量、 SI-07覆土4層と同等	第3層 10YR2/3 黒褐色土	ローム粒中量、炭化粒少量	Pit34 第1層 10YR2/2 黒褐色土	バミス粒・ブロック中量、炭化粒 (φ1~5mm)微量、焼土粒(φ2mm)少量
第2層 10YR2/1 黒色土	ローム粒少量	第4層 10YR2/2 黒褐色土	ローム粒中量、炭化粒少量	第2層 10YR2/1 黒色土	バミス粒(φ1mm)中量
Pit13 柱穴 第1層 10YR2/2 黒褐色土	ローム粒(φ5~9mm)中量、 SI-07覆土4層と同等	第5層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ5~9mm)中量、 炭化粒少量	Pit35 第1層 10YR2/2 黒褐色土	バミス粒(φ1mm)微量
第2層 10YR2/3 黒褐色土	ローム粒(φ3~4mm)多量	第6層 10YR2/3 黒褐色土	ローム粒(φ5~9mm)多量、 炭化粒少量	Pit36 第1層 10YR2/2 黒褐色土	バミス粒(φ1mm)微量
第3層 10YR2/3 黒褐色土	ローム粒中量、炭化粒少量	第7層 10YR2/2 黒褐色土	ローム粒少量	Pit37 第1層 10YR2/2 黒褐色土	バミス粒(φ1mm)少量
第4層 10YR2/3 黒褐色土	ローム粒(φ4~5mm)多量、 炭化粒少量	Pit23 第1層 10YR2/3 黒褐色土	ローム粒(φ4~5mm)中量、 SI-07覆土4層と同等	第2層 10YR2/2 黒褐色土	バミス粒(φ1~5mm)少量、 バミスブロック(φ30mm)中量
Pit14 第1層 10YR2/2 黒褐色土	ローム粒(φ5~9mm)中量、 炭化粒少量、焼土粒微量、 SI-07覆土4層と同等	Pit24 第1層 10YR2/2 黒褐色土	ローム粒中量、 SI-07覆土4層と同等	Pit38 第1層 10YR2/2 黒褐色土	バミス粒(φ1~9mm)少量
第2層 10YR2/1 黒色土	ローム粒少量	Pit25 第1層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ3~4mm)少量	SI-07貼壁 第1層 10YR2/3 黒褐色土	バミス粒(φ1~3mm)微量
Pit15 第1層 10YR2/1 黒色土	ローム粒・炭化粒少量	第2層 10YR2/2 黒褐色土	ローム粒中量、炭化粒少量	第2層 10YR2/2 黒褐色土	バミス粒・ブロック(φ1~20mm)中量
Pit16 第1層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ4~8mm)中量、 SI-07覆土5層と同等	Pit26 第1層 10YR2/3 黒褐色土	バミス粒(φ1~9mm)少量、 バミスブロック(φ10~30mm)中量	第3層 10YR2/1 黒色土	バミス粒・ブロック(φ3~15mm)少量
第2層 10YR2/2 黒褐色土	ローム粒中量、炭化粒少量	Pit27 第1層 10YR2/3 黒褐色土	バミス粒(φ1~9mm)少量、 バミスブロック(φ10~30mm)中量	Pit39 第1層 10YR2/3 黒褐色土	バミス粒(φ1~3mm)微量
Pit17 第1層 10YR5/8 黄褐色土	粘床の一部	Pit29 第1層 10YR2/3 黒褐色土	ロームブロック(φ30mm前後)多量、 バミス粒・ブロック(φ1~30mm)多量	第2層 10YR2/2 黒褐色土	バミス粒・ブロック(φ2~20mm)少量
第2層 10YR2/1 黒色土	ローム粒中量、 バミス粒(φ2~3mm)少量、 炭化粒・焼土粒少量、 SI-07覆土5層と同等	第2層 10YR2/2 黒褐色土	バミス粒・ブロック(φ5~20mm)多量	SI-07内SK-02 第1層 10YR2/3 黒褐色土	バミス粒・ブロック(φ1~50mm)多量、 炭化粒(φ1~9mm)中量
第3層 10YR2/2 黒褐色土	ローム粒少量	第3層 10YR2/3 黒褐色土	バミス粒(φ1mm)微量		
Pit18 第1層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ4~5mm)少量、 炭化粒微量				
第2層 10YR2/2 黒褐色土	ローム粒(φ3~5mm)多量				

SI-07焼土・粘土範囲

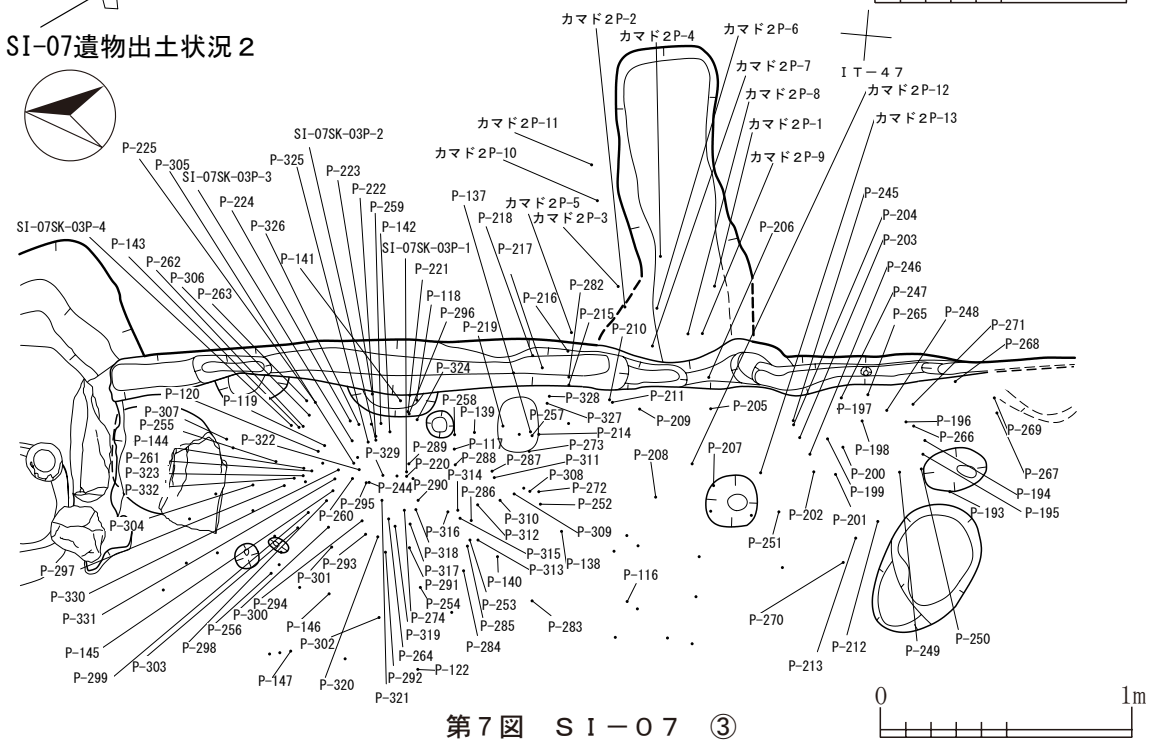


第6図 SI-07 ②

SI-07遺物出土状況 1

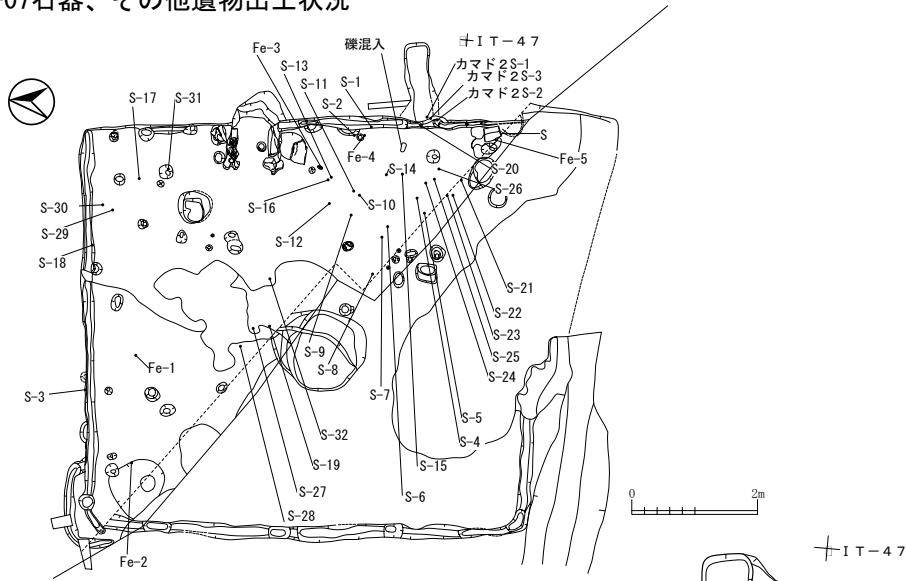


SI-07遺物出土状況 2



第7図 SI-07 ③

SI-07石器、その他遺物出土状況



SI-07掘り方



Pit40 掘り方 AF 23.560m AF' Pit41 掘り方 AG 23.560m AG' 東側落ち込みセクション a 23.960m a' 東側落ち込み掘り方セクション b 24.060m b'

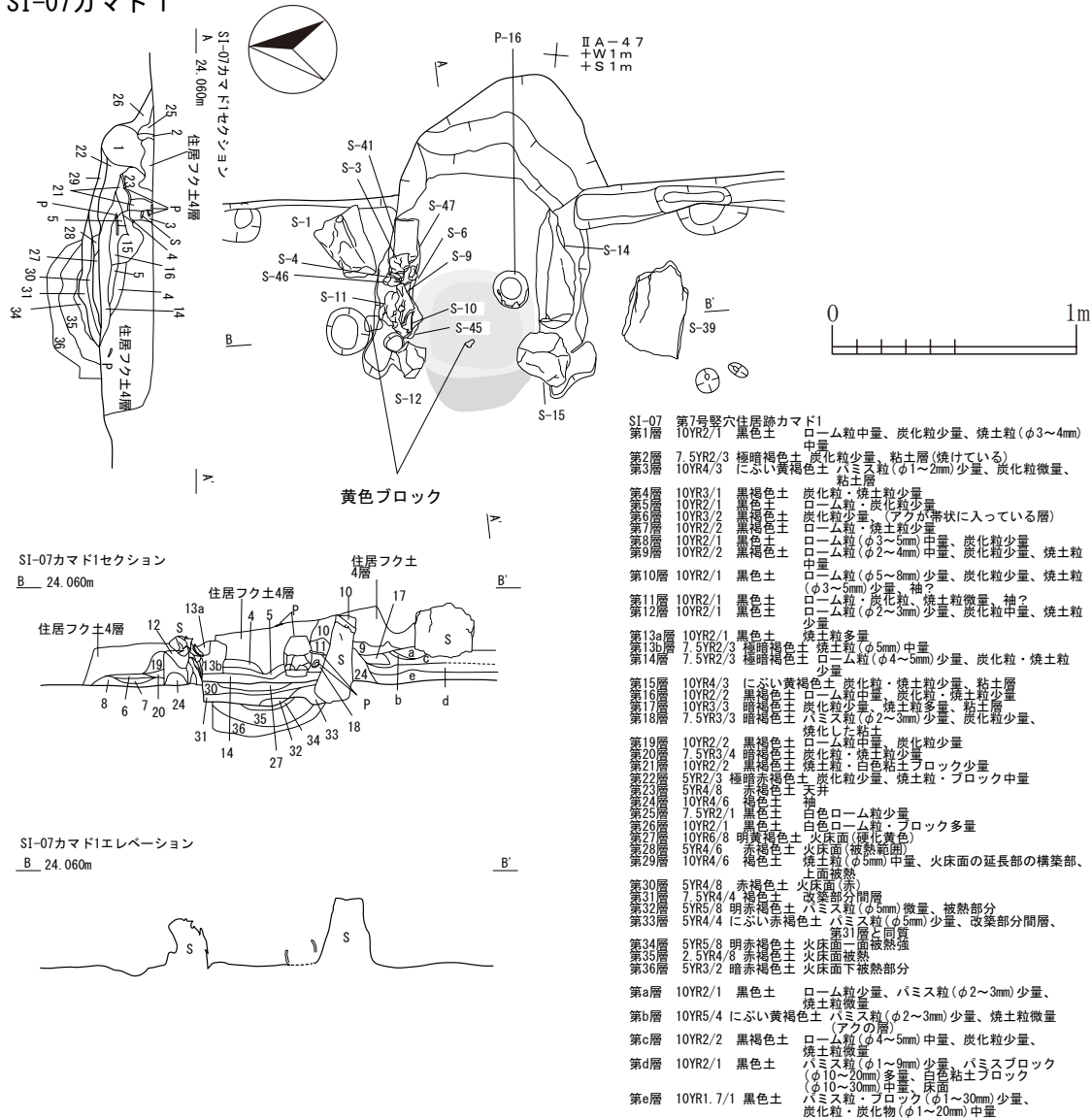
Pit40 掘り方 第1層 10YR2/3 黒褐色土 バミスブロック(φ10~20mm)多量
 Pit41 掘り方 第1層 10YR2/3 黒褐色土 バミス粒(φ1mm前後)少量
 第2層 10YR2/3 黒褐色土 バミスブロック(φ10~20mm)多量

東側落ち込みセクション
 第1層 10YR2/1 黒色土 炭化粒・炭化物(φ1~30mm)多量、
 焼土粒多量、
 焼土ブロック(φ50~70mm)多量、
 カマド構築土の残葉
 第2層 10YR5/3 にぶい黄褐色土 バミス粒・ブロック(φ1~100mm)多量、
 炭化粒・炭化物(φ1~20mm)多量、
 焼土粒・ブロック(φ1~200mm)多量
 第3層 10YR4/6 褐色土 バミス粒・ブロック(φ1~20mm)、
 炭化物粒(φ1~9mm)微量
 第4層 10YR3/3 暗褐色土 炭化物粒・ブロック(φ1~30mm)中量、
 第5層 10YR2/3 黒褐色土 バミス粒・ブロック(φ1~30mm)中量、
 炭化粒(φ5mm)少量、元々のPit埋土
 第6層 10YR3/2 黒褐色土 混入物なし

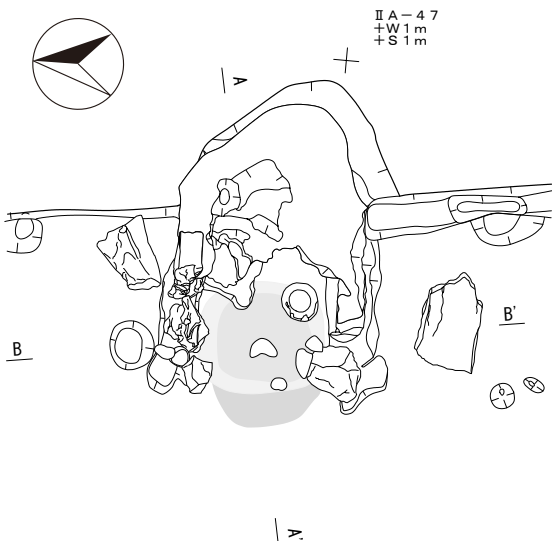
東側落ち込み掘り方セクション
 第1層 10YR2/2 黒褐色土 バミスブロック(φ50mm)微量

第8図 SI-07 ④

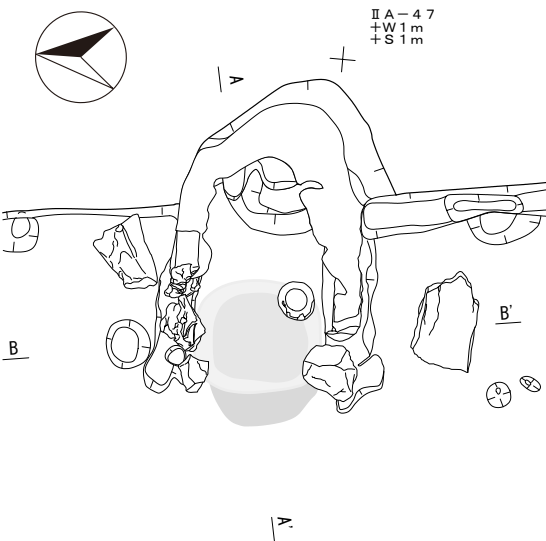
SI-07カマド1



SI-07カマド1 焼土、構築土範囲 1

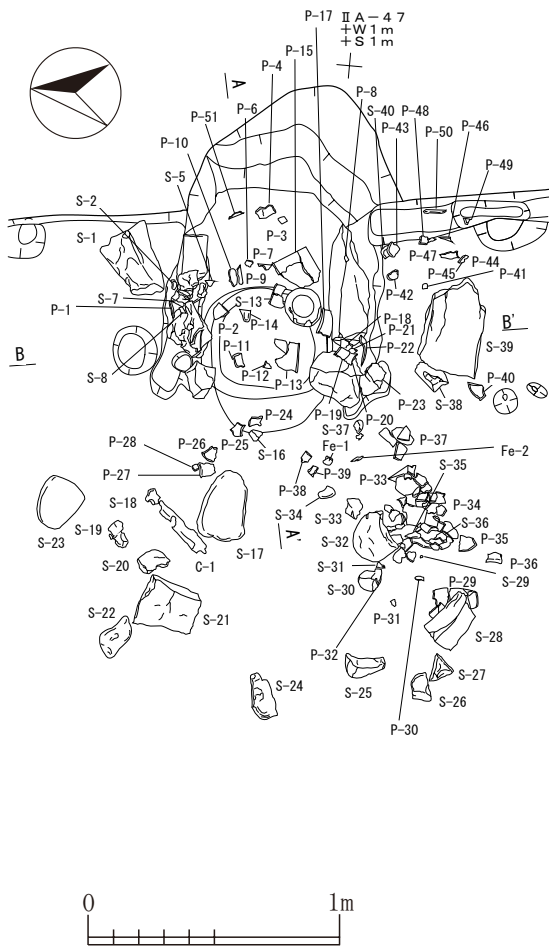


SI-07カマド1 焼土、構築土範囲 2

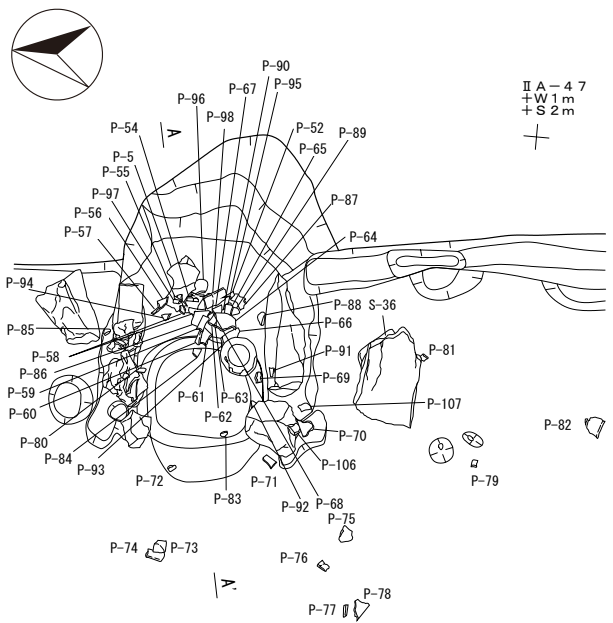


第9図 SI-07 ⑤

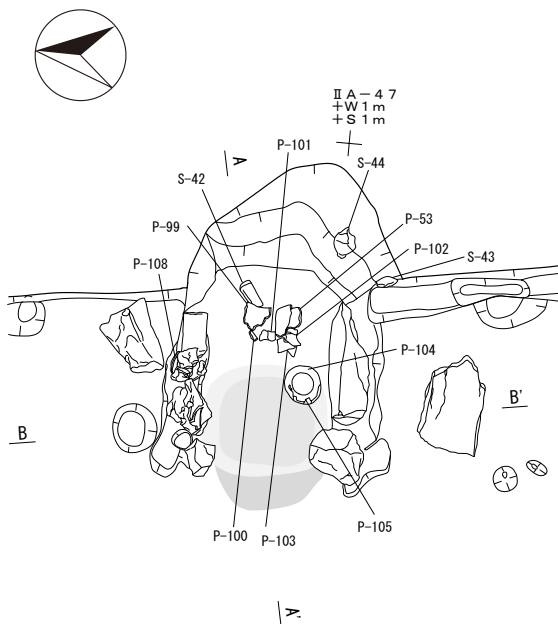
SI-07カマド1 遺物出土状況 1



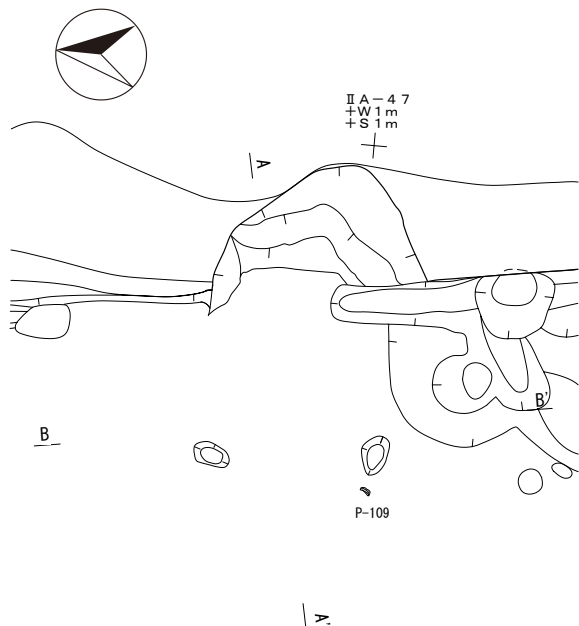
SI-07カマド1 遺物出土状況 2



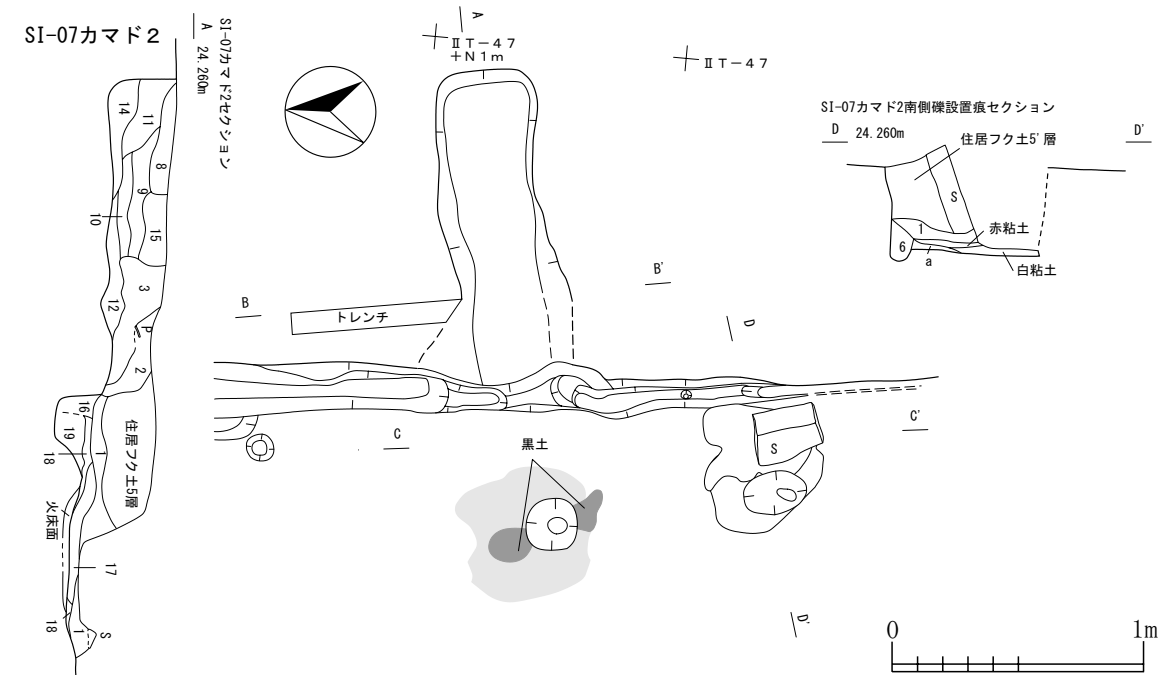
SI-07カマド1 遺物出土状況 3



SI-07カマド1 掘り方



第10図 SI-07 ⑥



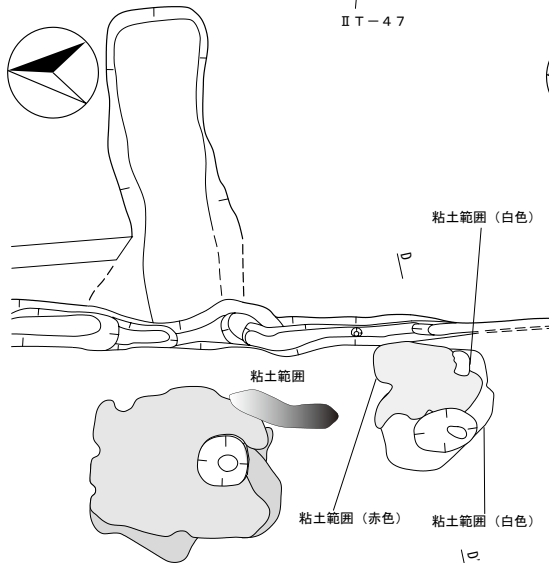
SI-07カマド2南側設置痕セクション
D 24.260m

SI-07カマド2セクション
B 24.260m

SI-07カマド2セクション
C 24.260m

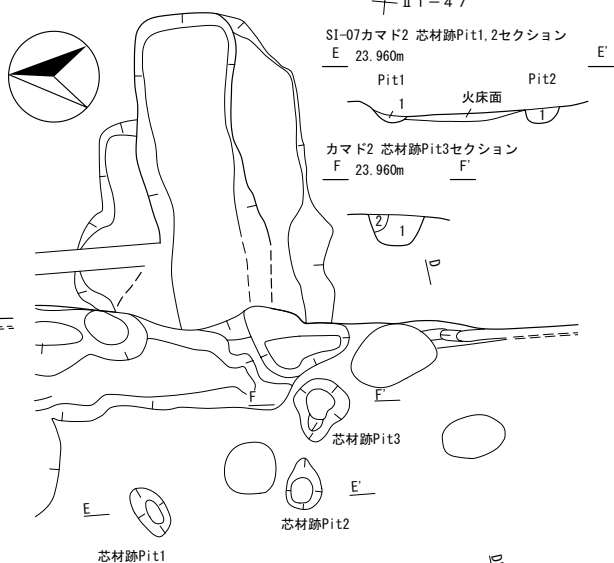
層	土質	特徴
第1層	10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ1~5mm)微量、炭化粒(φ1~9mm)少量、焼土粒(φ1~9mm)少量
第2層	10YR2/3 黒褐色土	パミスブロック(φ15mm)極微量、炭化粒(φ5mm)少量、焼土粒(φ1~9mm)少量、焼土ブロック(φ20mm)微量
第3層	10YR2/2 黒褐色土	炭化粒(φ1mm)多量、焼土粒・ブロック(φ1~30mm)多量、白色粘土粒・ブロック(φ1~50mm)多量
第4層	10YR3/3 暗褐色土	ローム粒(φ1~5mm)微量、焼土粒(φ1~9mm)少量
第5層	10YR2/2 黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)微量
第6層	10YR2/2 黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)微量
第7層	10YR2/3 黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)中量
第8層	7.5YR2/3 極暗褐色土	焼土粒・ブロック(φ1~20mm)中量、白色粘土粒・ブロック(φ1~20mm)中量
第9層	10YR2/2 黒褐色土	ローム粒(φ5mm)微量
第10層	7.5YR2/2 黒褐色土	混入物なし
第11層	7.5YR1/7 黒褐色土	パミス粒(φ1mm)微量
第12層	10YR3/1 暗褐色土	パミス粒(φ5mm)少量
第13層	10YR3/2 暗褐色土	混入物なし
第14層	10YR2/1 黒褐色土	混入物なし
第15層	10YR2/2 黒褐色土	焼土粒(φ1mm)微量
第16層	10YR2/1 黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)中量、パミスブロック(φ10~20mm)中量
第17層	5YR5/6 明赤褐色土	炭化粒(φ5mm)少量、焼土粒・ブロック(φ1~50mm)中量、元々のカマドの構材
第18層	10YR2/1 黒褐色土	パミス粒・ブロック(φ1~20mm)少量
第19層	10YR1/7 黒褐色土	パミス粒・ブロック(φ1~30mm)多量、掘り方埋土
火床面	5YR5/8 明赤褐色土	月見野火山灰層の地山土
第a層	10YR2/1 黒褐色土	パミス粒(φ5mm)少量、カマドの1層と同質
前1	10YR3/2 暗褐色土	砂土
赤粘土	5YR4/3 に近い赤褐色土	パミスブロック(φ10~20mm)中量、炭化粒(φ1~5mm)少量
白粘土	10YR8/3 浅黄橙色土	焼土ブロック、粘質土、黒褐色土パミスブロック混じり、粘質土

SI-07カマド2焼土、粘土範囲



SI-07 カマド2
芯材跡Pit1
第1層 5YR3/2 暗赤褐色土 炭化粒(φ1~5mm)少量、焼土粒(φ1~5mm)少量
芯材跡Pit2
第1層 7.5YR2/2 黒褐色土 パミス粒・ブロック(φ1~30mm)中量、炭化粒(φ5mm)少量、焼土粒・ブロック(φ1~30mm)多量

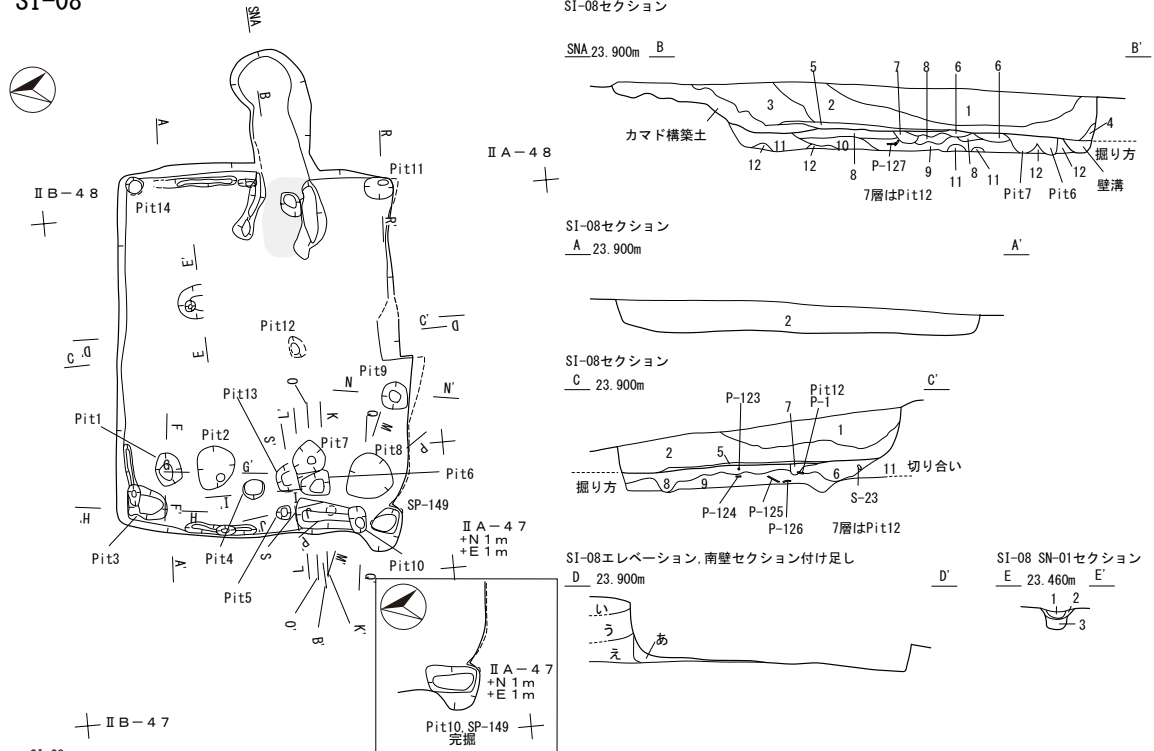
SI-07カマド2掘り方



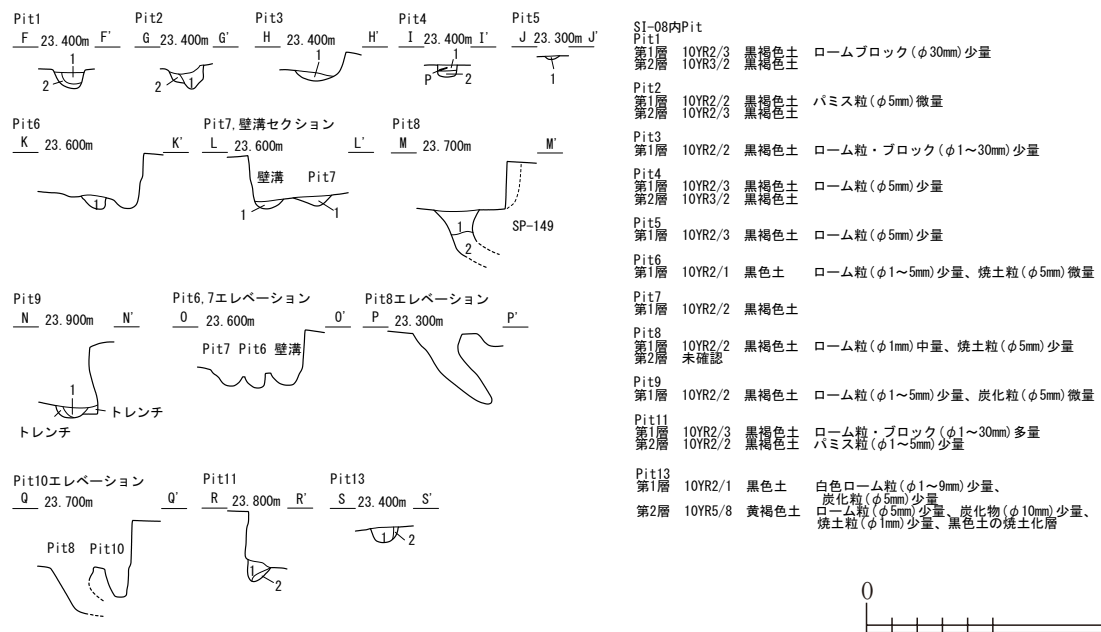
SI-07カマド2 芯材跡Pit1,2セクション
E 23.960m
Pit1 火床面 Pit2
カマド2 芯材跡Pit3セクション
F 23.960m
芯材跡Pit1
芯材跡Pit3
第1層 10YR2/3 黒褐色土 パミス粒・ブロック(φ1~20mm)多量
第2層 10YR3/3 暗褐色土 パミス粒(φ5mm)少量、パミスブロック(φ10~50mm)多量

第11図 SI-07 ⑦

SI-08

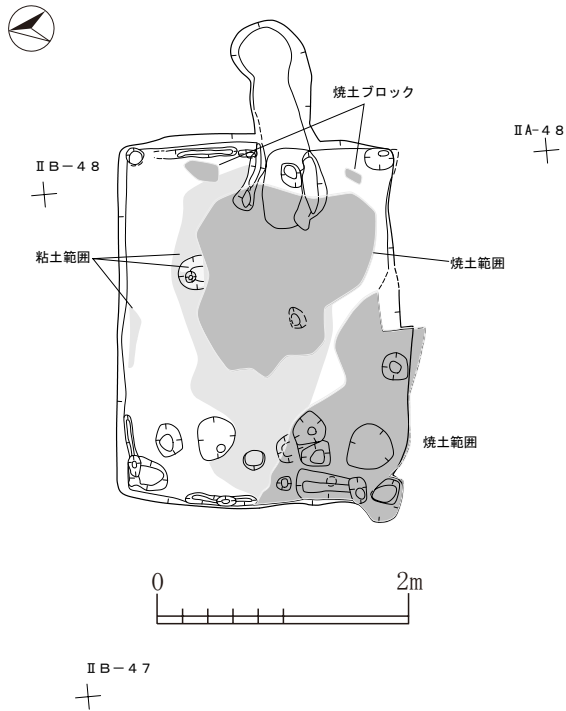


SI-08 第1層	10YR2/2	黒褐色土	ローム粒・ロームブロック(φ1~50mm)多量、特に西壁寄りに大きめのブロックが多量に見られ、東壁にいくにしたがい、混入度合いは少なくなる。炭化粒(φ3mm)少量、層上部に焼土粒(φ5mm)少量、下部に薄い層状の焼土(7.5YR5/8明赤褐色土)、B-1mブロック(φ10~15mm)少量
第2層	10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ5mm)少量、灰白色混入物(φ5mm)
第3層	10YR2/2	黒褐色土	ローム粒・ロームブロック(φ~30mm)多量、焼土屑の直上層
第4層	10YR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ5mm)少量
第5層	5YR4/8	赤褐色土、5YR5/8 明赤褐色土	炭化土、3層の土色の混合土、炭化土の焼土屑層
第6層	10YR2/2	黒褐色土	白色ローム粒(φ1mm)微量、バミスブロック(φ10mm)少量、炭化粒(φ1~5mm)少量、焼土粒(φ1~9mm)少量
第7層	10YR2/1	黒色土	白色ローム粒(φ1~9mm)少量、炭化粒(φ5mm)少量、Pit?
第8層	10YR5/8	黄褐色土	ローム粒(φ5mm)少量、炭化物(φ10mm)少量、焼土粒(φ1mm)少量、黒色土の焼土化層
第9層	10YR3/3	暗褐色土	炭化粒・焼土粒・ブロック(φ1~30mm)少量、縄文住居覆土?
第10層	10YR3/2	黒褐色土	炭化粒(φ5mm)少量、縄文住居覆土?
第11層	10YR4/3	にぶい黄褐色土	バミス、黒色ブロックと焼土ブロック混合、縄文住居覆土?
第12層	10YR3/3	暗褐色土	ロームブロック少量
SI-08南壁 第1層	10YR2/3	黒褐色土	バミス粒(φ1mm)微量、炭化粒(φ5mm)少量、焼土粒(φ1~5mm)少量
第2層	10YR1.7/1	黒色土	上面に7.5YR2/3極暗褐色土あり、炭化粒(φ5mm)微量
第3層	10YR2/2	黒褐色土	炭化粒(φ5mm)微量
第4層	10YR2/3	黒褐色土	炭化粒(φ5mm)微量
SI-08壁溝 第1層	10YR2/2	黒褐色土	焼土粒・ブロック(φ1~30mm)少量
SI-08内SN-01 第1層	10YR2/1	黒色土	炭化粒(φ1~5mm)層下面で多量、焼土粒(φ1~9mm)少量、灰中量
第2層	7.5YR2/2	黒褐色土	焼土粒(φ10mm)微量
第3層	7.5YR2/3	極暗褐色土	焼土粒・ブロック(φ1~30mm)微量

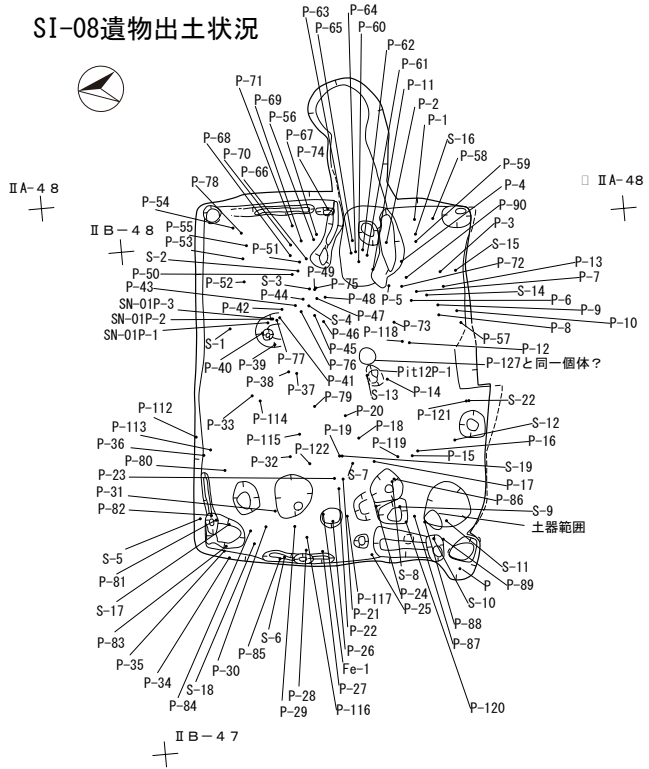


第12図 SI-08 ①

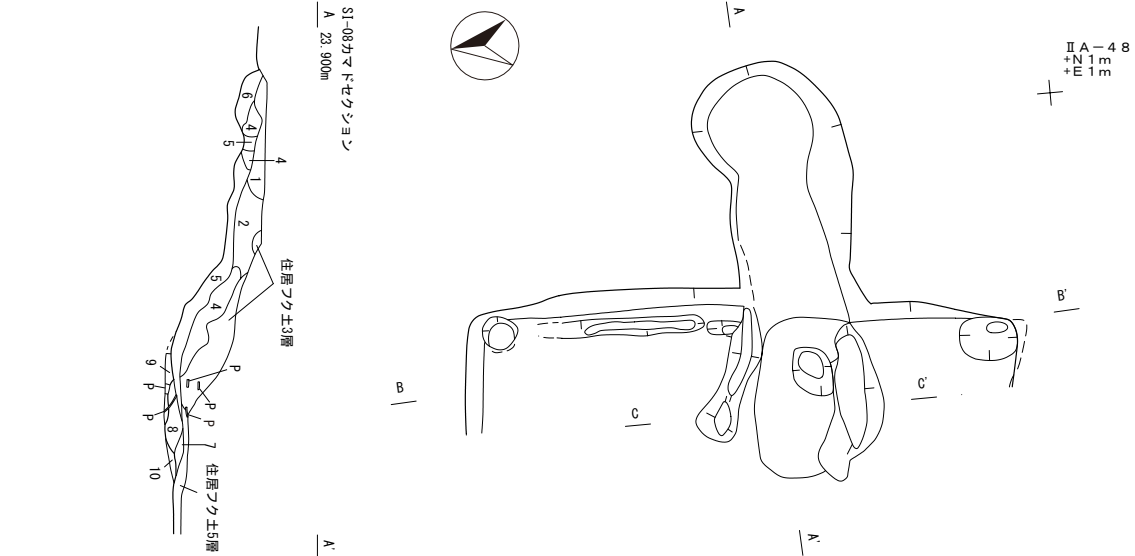
SI-08焼土、粘土範囲



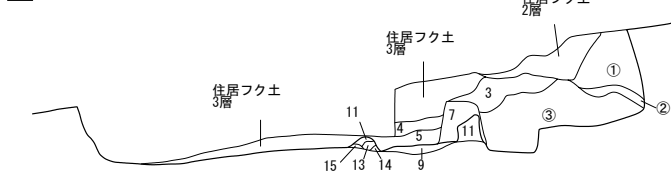
SI-08遺物出土状況



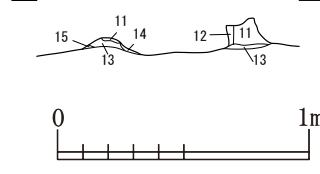
SI-08カマド



SI-08カマドセクション
B 23.900m



SI-08カマド袖セクション
C 23.500m



SI-08カマド

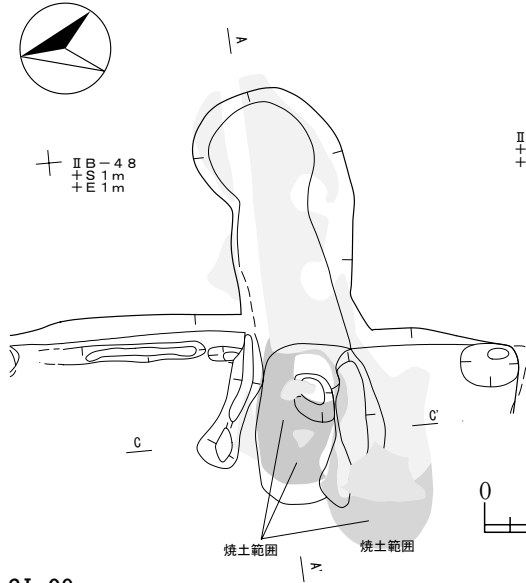
第1層	10YR2/1	黒褐色土	ローム粒微量
第2層	10YR3/2	黒褐色土	ローム粒・フロック多量、天井崩落土
第3層	10YR3/2	黒褐色土	ローム粒・焼土粒少量、灰白色混入物やや多量
第4層	10YR5/6	赤褐色土	ローム・焼土少量、カマド天井部のローム
第5層	10YR2/2	黒褐色土	ローム粒やや多量、焼土粒・フロックやや多量
第6層	10YR2/2	黒褐色土	層上部にローム粒少量、焼土粒少量
第7層	7.5YR6/8	褐色土	ローム
第8層	7.5YR4/6	褐色土	ローム・シルト混合層、焼土粒(φ5mm)中量
第9層	5YR3/4	暗赤褐色土	焼土粒・フロック(φ1~20mm)多量、炭化粒(φ1~20mm)少量
第10層	7.5YR4/4	褐色土	ローム・シルト混合層、焼土粒(5mm)中量、黒色土の影響により濃度に差

第11層	10YR6/4	にぶい黄橙色土	ローム・バミスの混合土、袖
第12層	5YR4/6	赤褐色土	ローム・バミスの混合土、袖の焼熱部分
第13層	10YR1.7/1	黒色土	ローム粒・フロック(φ1~30mm)少量
第14層	5YR4/6	赤褐色土	第12層の崩落層
第15層	10YR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)多量、焼土粒(φ1mm)少量

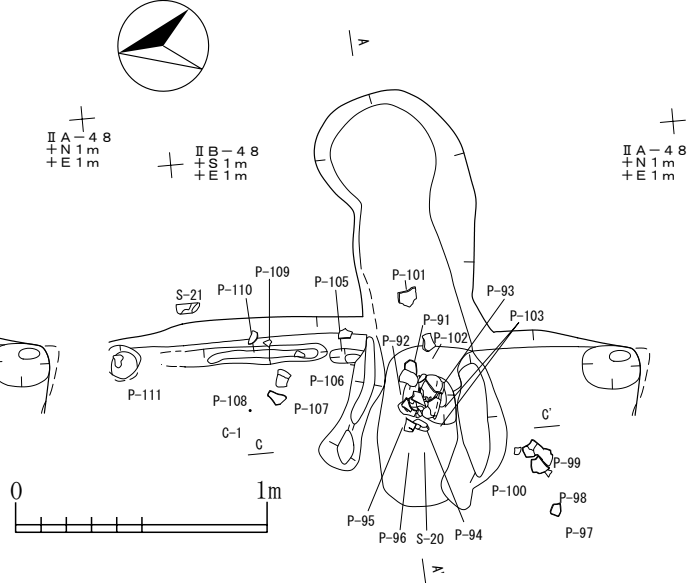
第①層 10YR1.7/1 黒色土 灰白色混入物少量
 第②層 流砂層
 第③層 10YR2/1 黒色土 ローム粒少量、層状に流砂を含む

第13図 SI-08 ②

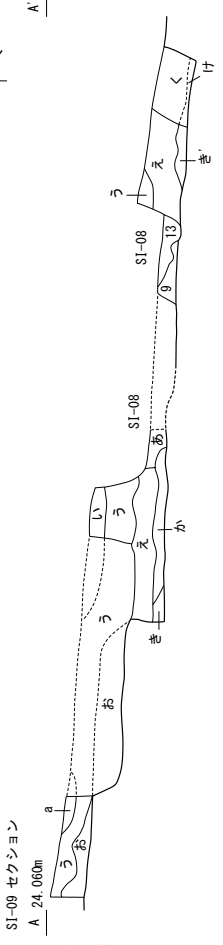
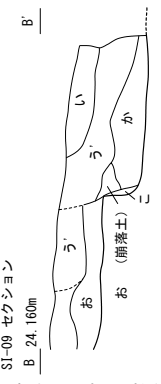
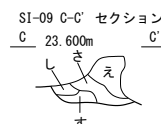
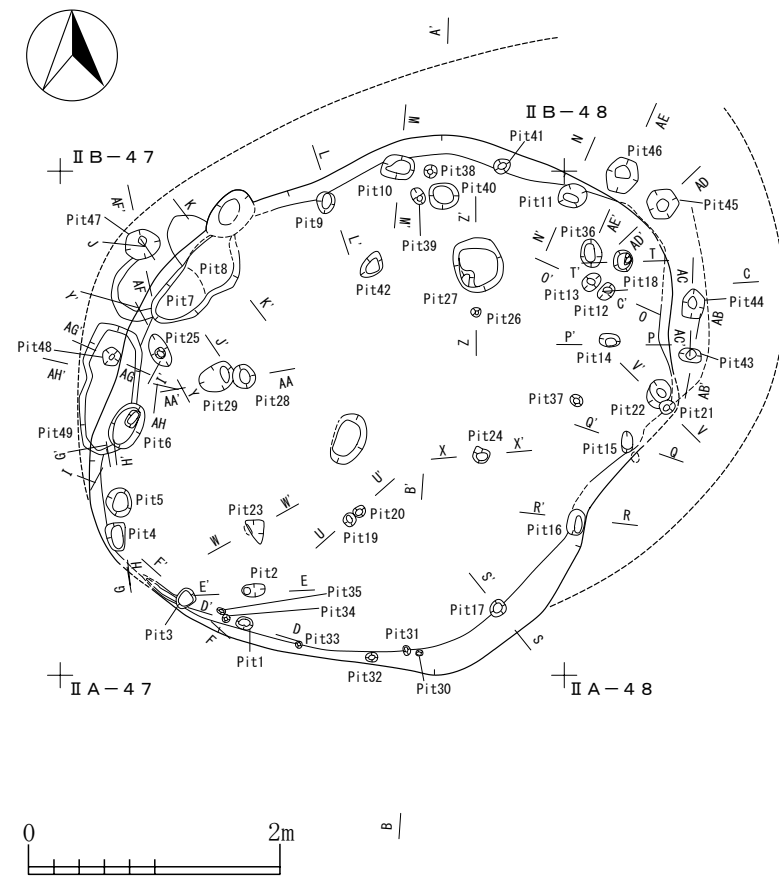
SI-08カマド構築土、焼土範囲



SI-08カマド遺物出土状況

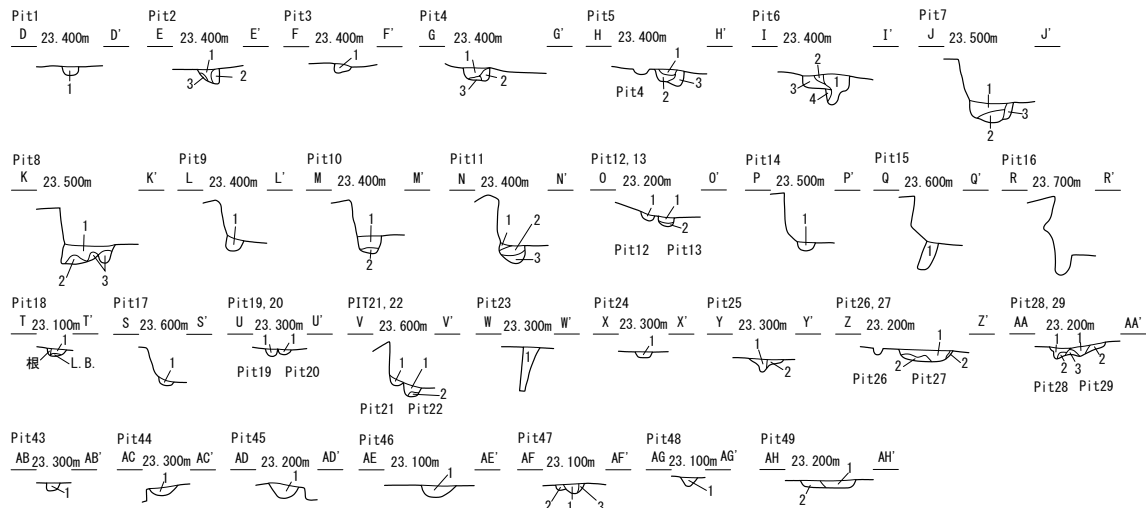


SI-09



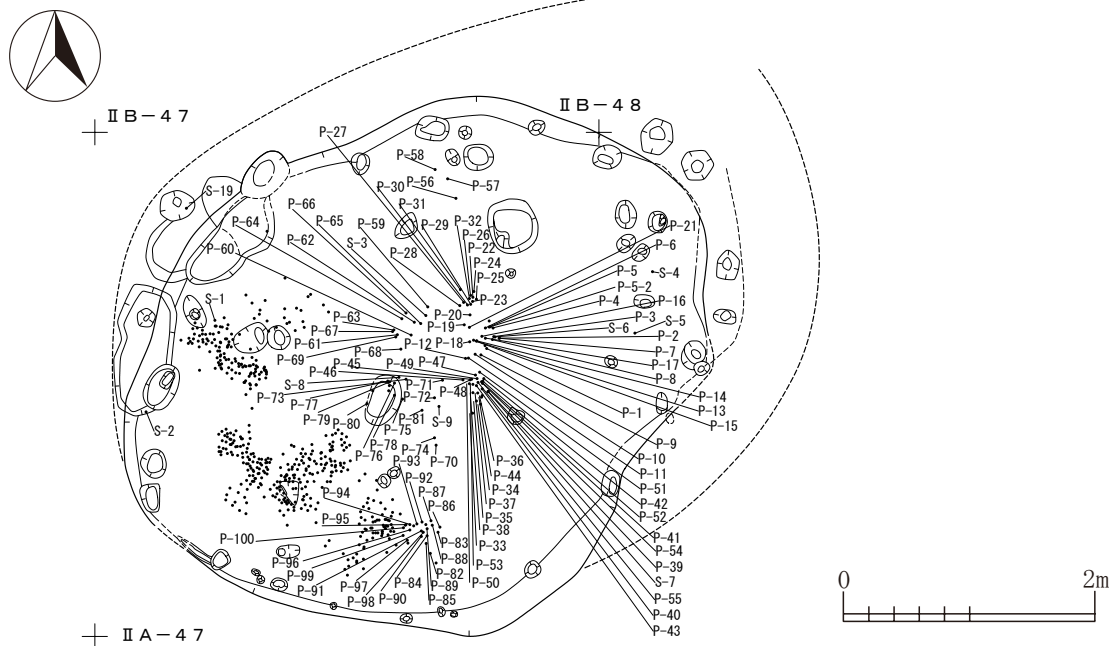
SI-09 第a層	10YR2/3	黒褐色土	SK-07の構築の際の掘削、地山堆積土	第く層	10YR2/2	黒褐色土	パミス粒(φ1~5mm)中量
第あ層	10YR2/3	黒褐色土	パミス粒(φ1mm)微量、炭化粒(φ5mm)少量、焼土粒(φ1~5mm)少量	第け層	10YR2/1	黒褐色土	パミス粒(φ1~5mm)少量
第い層	10YR1.7/1	黒色土	上面に7.5YR2/3極暗褐色土あり、炭化粒(φ5mm)微量	第さ層	10YR1.7/1	暗褐色土	パミス粒(φ1~5mm)少量
第う層	10YR2/2	黒褐色土	炭化粒(φ5mm)微量(基本層序第七層ベース)	第び層	10YR3/3	暗褐色土	パミス粒(φ1~9mm)・ロームブロック(φ10~30mm)少量
第え層	10YR2/3	黒褐色土	炭化粒(φ5mm)微量	第し層	10YR4/3	にぶい黄褐色土	パミス粒(φ1~9mm)少量
第お層	10YR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~9mm)少量、ロームブロック(φ10~40mm)少量、(基本層序第八層)	第す層	10YR3/2	黒褐色土	パミス粒(φ1~5mm)少量
第か層	10YR2/1	黒色土	パミス粒(φ1mm)微量				ロームブロック(φ20mm)少量
第き層	10YR2/3	黒褐色土	ロームブロック(φ50mm)微量				
第ぎ層	10YR2/3	黒褐色土	ロームブロック(φ20~50mm)少量、パミス粒(φ1~5mm)少量				

第14図 SI-08 ③・SI-09 ①



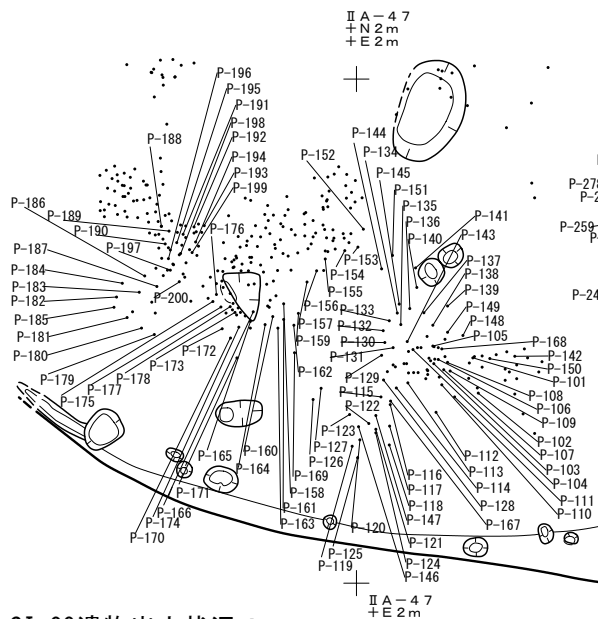
<p>SI-09内Pit</p> <p>Pit1 第1層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1~5mm)少量</p> <p>Pit2 第1層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1~5mm)少量 第2層 10YR4/3 にぶい黄褐色土 ローム粒・ブロック(φ1~30mm)多量 第3層 10YR5/6 黄褐色土 地山ブロック</p> <p>Pit3 第1層 10YR2/2 黒褐色土 パミス粒(φ1mm)微量</p> <p>Pit4 第1層 10YR2/2 黒褐色土 パミス粒(φ1mm)微量 第2層 10YR4/3 にぶい黄褐色土 ローム粒・ブロック(φ1~30mm)多量 第3層 10YR5/6 黄褐色土 地山ブロック</p> <p>Pit5 第1層 10YR2/2 黒褐色土 パミス粒(φ1mm)微量 第2層 10YR4/3 にぶい黄褐色土 ローム粒・ブロック(φ1~30mm)多量 第3層 10YR3/3 暗褐色土 ローム粒(φ1~5mm)微量</p> <p>Pit6 第1層 10YR3/3 暗褐色土 ローム粒(φ1~5mm)微量 第2層 10YR3/4 暗褐色土 ローム粒(φ1~5mm)少量 第3層 10YR4/3 にぶい黄褐色土 ローム粒・ブロック(φ1~30mm)多量 第4層 10YR4/4 褐色土 ロームブロック層</p> <p>Pit7 第1層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1~5mm)少量 第2層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1~9mm)中量 第3層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~9mm)多量</p> <p>Pit8 第1層 10YR2/2 黒褐色土 パミス粒(φ1mm)微量 第2層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1~9mm)中量 第3層 10YR3/3 暗褐色土 ローム粒(φ1~5mm)微量</p> <p>Pit9 第1層 10YR4/3 にぶい黄褐色土 ローム粒(φ1~9mm)中量</p> <p>Pit10 第1層 10YR3/3 暗褐色土 ローム粒(φ1~5mm)微量 第2層 10YR4/3 にぶい黄褐色土 ローム粒・ブロック(φ1~30mm)多量</p>	<p>Pit11 第1層 10YR2/2 黒褐色土 赤色砂多量 第2層 10YR3/2 黒褐色土 パミス粒(φ1mm)少量 第3層 10YR4/3 にぶい黄褐色土 パミス粒(φ1mm)少量</p> <p>Pit12 第1層 10YR2/2 黒褐色土 ロームブロック(φ10mm)微量</p> <p>Pit13 第1層 10YR2/2 黒褐色土 ロームブロック(φ10mm)微量 第2層 10YR5/6 黄褐色土 ローム・パミス混合土、黒褐色土多量</p> <p>Pit14 第1層 10YR4/3 にぶい黄褐色土 ローム粒(φ1~9mm)少量</p> <p>Pit15 第1層 10YR2/2 黒褐色土 パミス粒(φ5mm)微量</p> <p>Pit17 第1層 10YR4/3 にぶい黄褐色土 ローム粒・ブロック(φ1~30mm)多量</p> <p>Pit18 第1層 10YR2/2 黒褐色土 ロームブロック(φ10mm)微量、ロームブロック(φ30×50mm)1個</p> <p>Pit19 第1層 10YR4/3 にぶい黄褐色土 ローム粒(φ1~9mm)中量</p> <p>Pit20 第1層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1~5mm)少量</p> <p>Pit21 第1層 10YR2/2 黒褐色土 パミス粒(φ1mm)微量</p> <p>Pit22 第1層 10YR2/2 黒褐色土 パミス粒(φ1mm)微量 第2層 10YR4/3 にぶい黄褐色土 ローム粒・ブロック(φ1~30mm)多量</p> <p>Pit23 第1層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1~5mm)少量</p> <p>Pit24 第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~9mm)多量</p>	<p>Pit25 第1層 10YR3/3 暗褐色土 ローム粒(φ1~5mm)微量 第2層 10YR3/2 黒褐色土 パミス粒(φ1mm)少量</p> <p>Pit27 第1層 10YR3/4 暗褐色土 パミス粒(φ1~5mm)少量、炭化物(φ10mm)微量 第2層 10YR4/3 にぶい黄褐色土 ローム粒(φ1~9mm)中量</p> <p>Pit28 第1層 10YR3/2 黒褐色土 パミス粒(φ1~5mm)中量 第2層 10YR5/6 黄褐色土 ローム・パミス混合土、黒褐色土多量</p> <p>Pit29 第1層 10YR3/3 暗褐色土 ローム粒(φ1~5mm)微量 第2層 10YR5/6 黄褐色土 ローム・パミス混合土、黒褐色土多量 第3層 10YR4/3 にぶい黄褐色土 パミス粒(φ1~5mm)中量</p> <p>Pit43 第1層 10YR3/3 暗褐色土 ローム粒(φ1~5mm)少量</p> <p>Pit44 第1層 10YR3/3 暗褐色土 ローム粒(φ1~5mm)少量</p> <p>Pit45 第1層 10YR2/2 黒褐色土 パミス粒・炭化粒(φ1~5mm)微量</p> <p>Pit46 第1層 10YR2/2 黒褐色土 パミス粒・炭化粒(φ1~5mm)微量</p> <p>Pit47 第1層 10YR3/3 暗褐色土 パミス粒(φ1~5mm)微量 第2層 10YR3/4 暗褐色土 ロームブロック(φ10mm)少量 第3層 10YR4/3 にぶい黄褐色土 ローム粒(φ5~9mm)中量</p> <p>Pit48 第1層 10YR4/3 にぶい黄褐色土 パミス粒(φ1~5mm)少量</p> <p>Pit49 第1層 10YR3/3 暗褐色土 パミス粒(φ1~5mm)微量 第2層 10YR4/3 にぶい黄褐色土 パミス粒(φ1~5mm)少量</p>
--	--	---

SI-09遺物出土状況 1

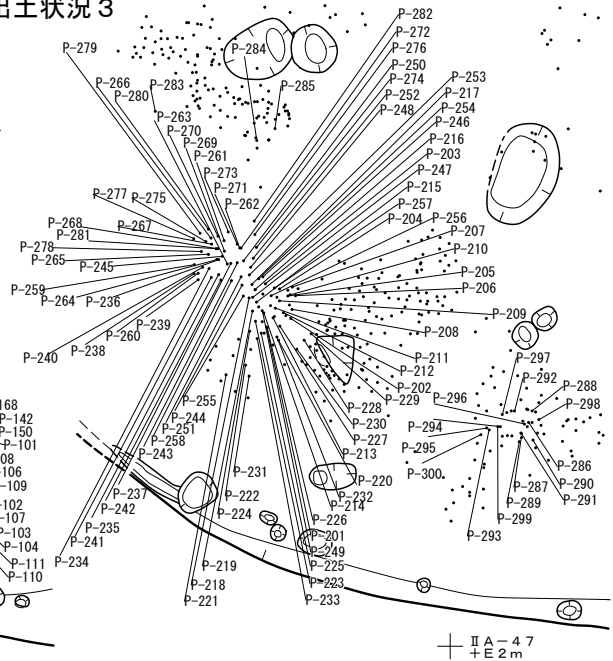


第15図 SI-09 ②

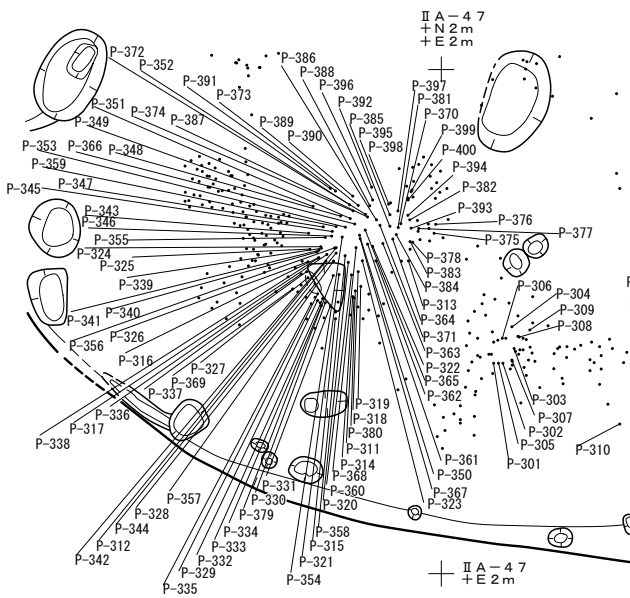
SI-09遺物出土状況 2



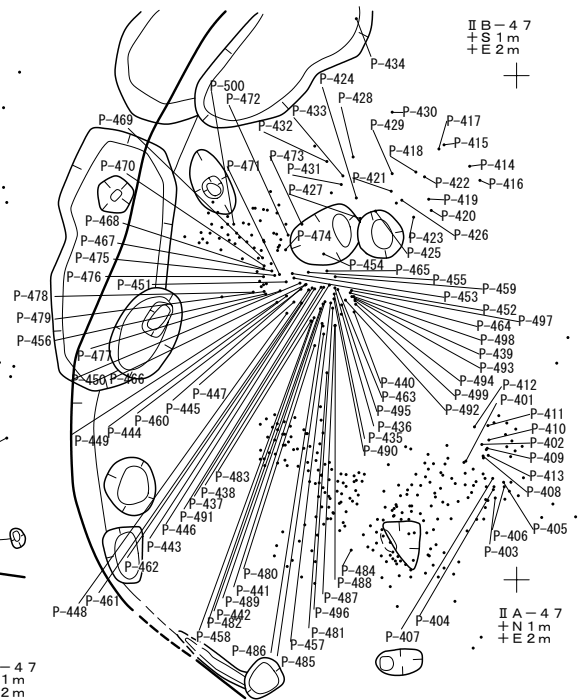
SI-09遺物出土状況 3



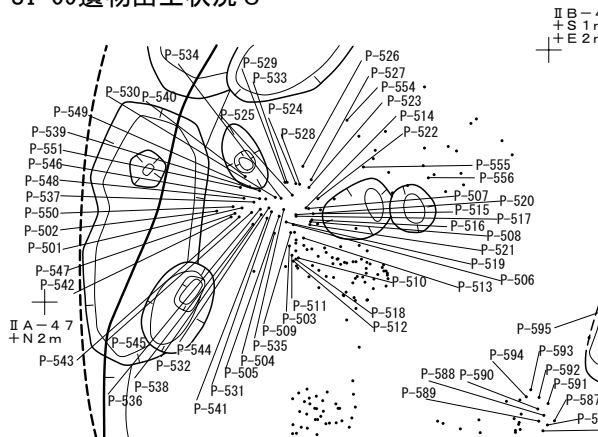
SI-09遺物出土状況 4



SI-09遺物出土状況 5

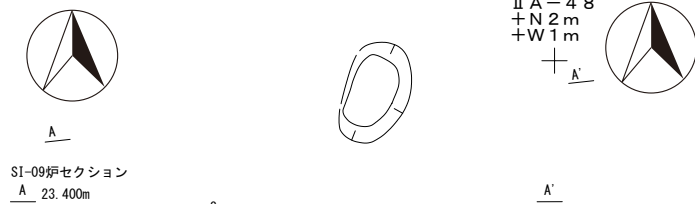


SI-09遺物出土状況 6

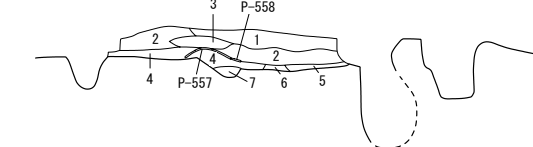


第16図 SI-09 ③

SI-09炉

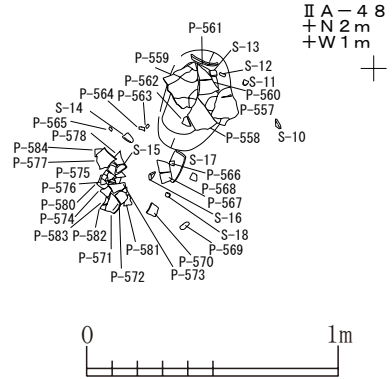


SI-09炉セクション
A 23.400m



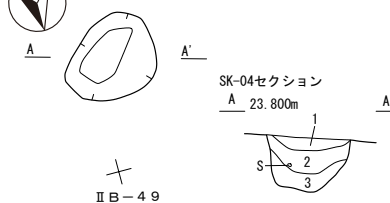
- SI-09炉
- 第1層 10YR5/8 黄褐色土 ロームブロック(φ10~30mm)少量、炭化粒(φ1~5mm)中量、焼土粒(φ1~9mm)中量、焼土ブロック(φ50~100mm)多量
 - 第2層 7.5YR2/3 極暗褐色土 炭化粒(φ5mm)少量、焼土粒(φ1~5mm)中量
 - 第3層 7.5YR3/4 暗褐色土 焼土粒(φ1~5mm)少量
 - 第4層 10YR3/3 暗褐色土 パミス粒(φ1~5mm)少量、炭化粒(φ5mm)少量、焼土ブロック(φ10mm)少量
 - 第5層 10YR4/3 に近い黄褐色土 炭化粒(φ5mm)中量、焼土粒(φ5mm)少量
 - 第6層 10YR4/3 に近い黄褐色土 混入物なし
 - 第7層 10YR3/2 黒褐色土 パミス粒(φ1mm)多量

SI-09炉遺物出土状況



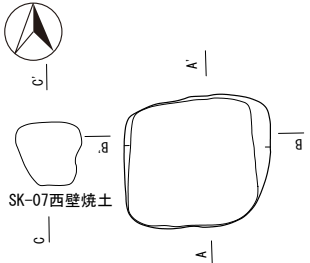
0 1m

SK-04

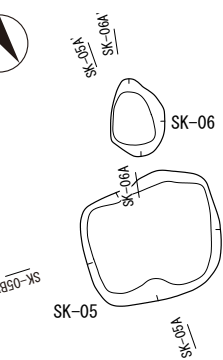


- SK-04
- 第1層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(10YR6/8明黄褐色土)少量
 - 第2層 10YR2/1 黒色土 1層に含まれるローム粒中量、S1-08に含まれるB-1m少量
 - 第3層 10YR2/2 黒褐色土 1・2層に含まれるローム粒極微量

SK-07

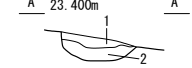


SK-07西壁焼土



- SK-05
- 第1層 10YR2/3 黒褐色土 パミス粒(φ5mm)少量、7.5YR2/3極暗褐色土ブロック(φ20~50mm)中量
 - 第2層 10YR2/2 黒褐色土 パミス粒(φ5mm)少量、赤色砂層状に混入
- SK-06
- 第1層 10YR2/3 黒褐色土 パミス粒(φ5mm)少量、7.5YR2/3極暗褐色土ブロック(φ20~50mm)中量
 - 第2層 10YR2/2 黒褐色土 パミス粒(φ5mm)少量、赤色砂層状に混入

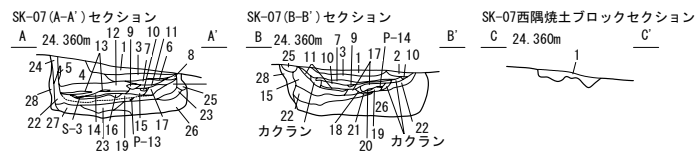
SK-06セクション



SK-05セクション



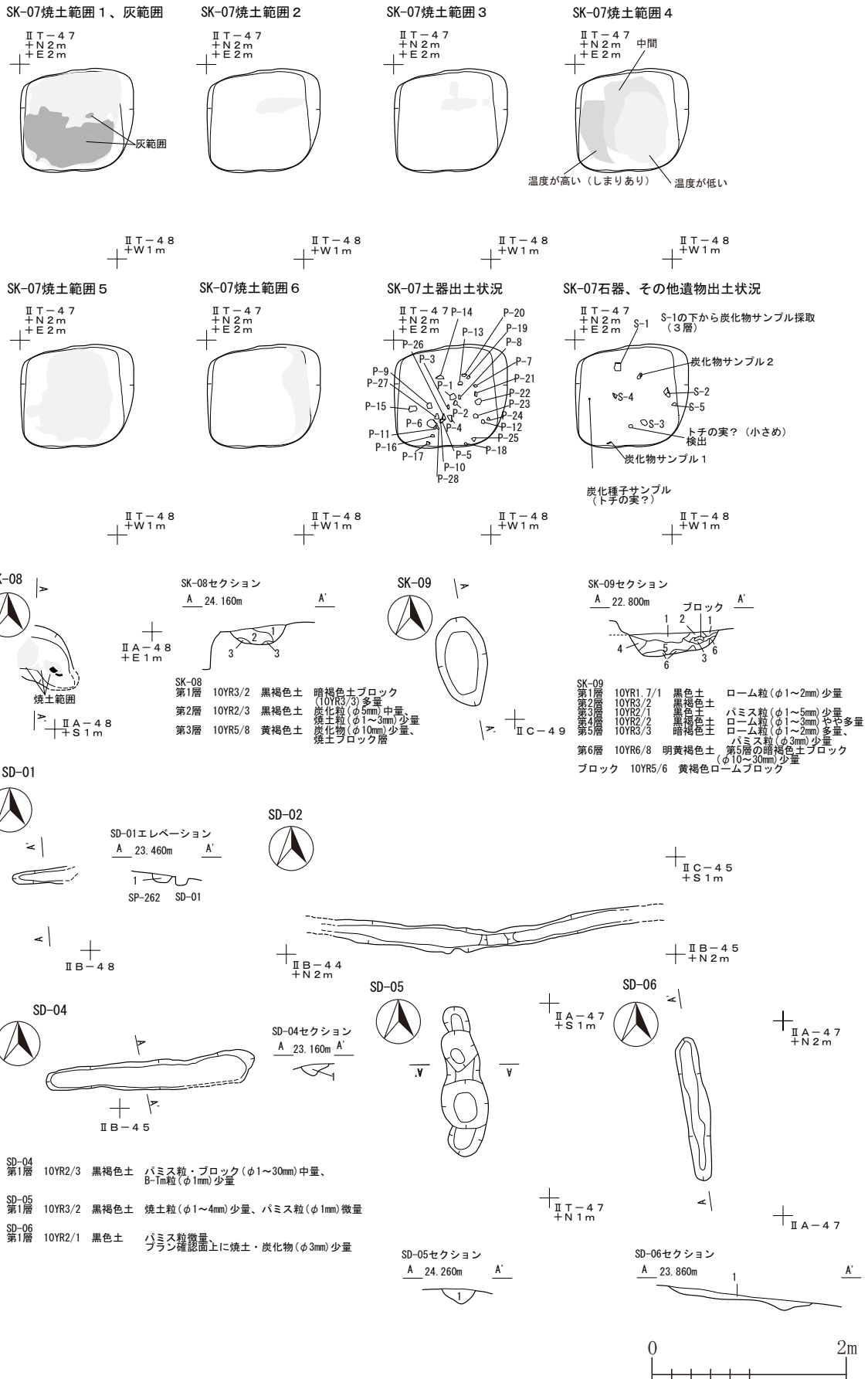
SK-07セクション



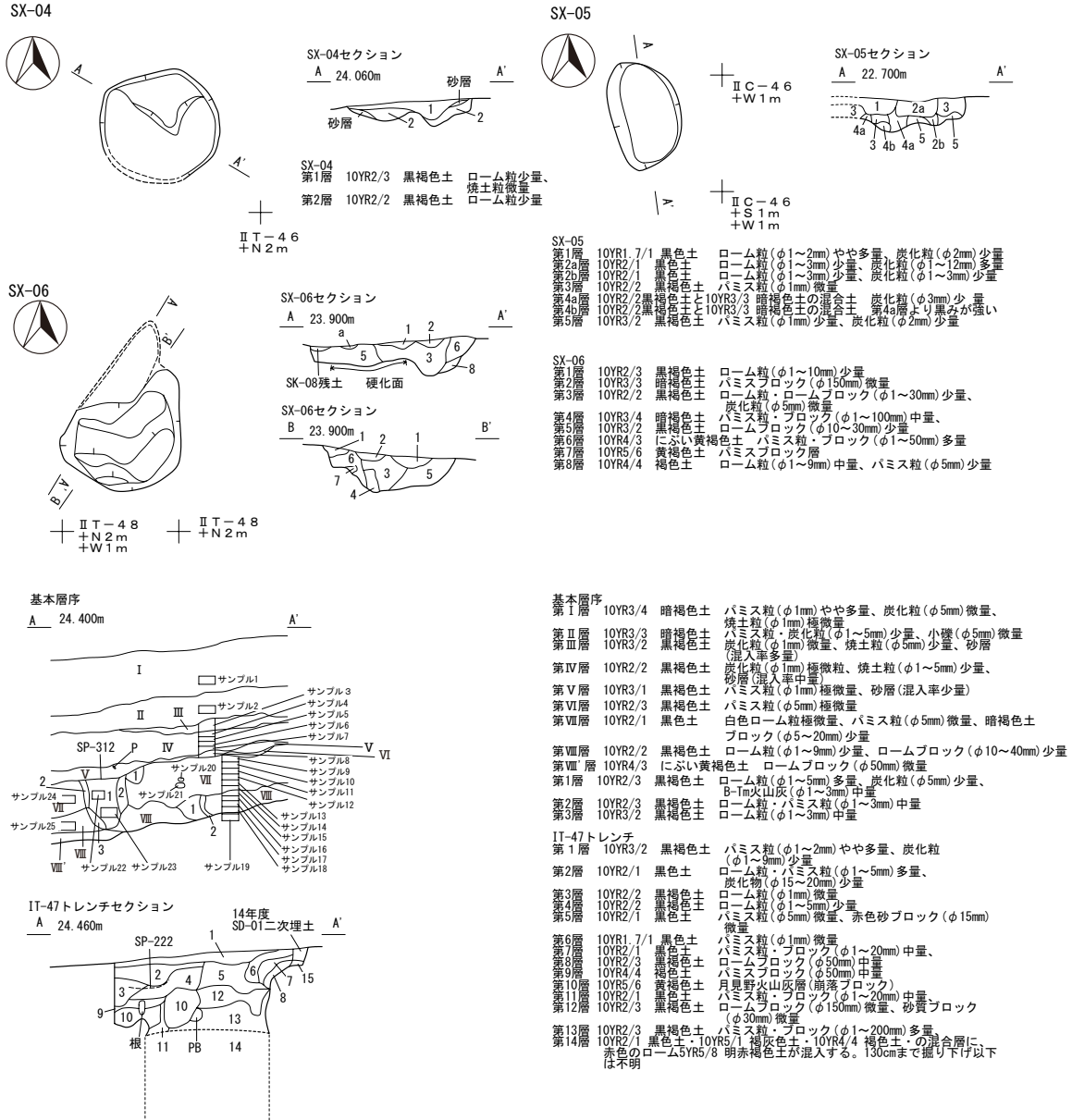
- SK-07
- 第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒・パミス粒・炭化粒(φ1~5mm)少量、B-1m火山灰粒(φ1mm)微量
 - 第2層 7.5YR2/2 黒褐色土 炭化粒(φ3mm)微量、焼土(7.5YR5/8明褐色土)粒・ブロック(φ1~30mm)多量
 - 第3層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1mm)極微量、炭化粒・物(φ1~15mm)中量、焼土粒(φ1mm)微量
 - 第4層 10YR1.7/1 黒色土 炭化粒(φ1~5mm)少量、焼土(7.5YR5/8明褐色土)粒(φ1mm)中量、灰(φ1mm)微量
 - 第5層 7.5YR5/8 明褐色土 10YR2/3 黒褐色土のブロックと混入。壁の崩落の一部
 - 第6層 7.5YR2/1 黒褐色土 焼土粒・ブロック(φ1~30mm)少量、炭化粒(φ5mm)微量、底部からのまくり上がり
 - 第7層 7.5YR5/8 明褐色土 炭化粒(φ1~9mm)中量、炭化物(φ60mm)微量、10YR2/2 黒褐色土ブロック混入
 - 第8層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ5mm)少量
 - 第9層 5YR6/8 暗褐色土 炭化粒(φ5mm)少量
 - 第10層 7.5YR5/8 明褐色土 炭化粒(φ1~5mm)中量、焼土粒(φ5mm)少量
 - 第11層 5YR5/8 明褐色土 焼土ブロックの層
 - 第12層 2.5Y3/1 黒褐色土 炭化粒(φ5mm)微量、焼土粒(φ5mm)多量、炭(黒褐色土)混入多量
 - 第13層 2.5Y2/1 黒色土 炭化粒(φ1~5mm)少量
 - 第14層 7.5YR3/2 黒褐色土 炭化粒(φ5mm)中量、焼土粒(φ1~9mm)多量、焼土ブロック(φ10~30mm)中量

- 第15層 10YR3/4 暗褐色土 焼土粒(φ1mm)極多量、焼土ブロック(φ20~30mm)多量
 - 第16層 7.5YR2/2 黒褐色土 焼土粒(φ1mm)多量、焼土ブロック(φ30mm)少量
 - 第17層 7.5YR6/8 暗褐色土 炭化粒(φ5mm)少量、焼土ブロック(φ1~30mm)多量
 - 第18層 7.5YR3/2 黒褐色土 焼土粒・ブロック(φ1~30mm)多量
 - 第19層 7.5YR2/1 黒色土 焼土粒(φ1mm)微量
 - 第20層 10YR2/1 黒色土 炭化物混入層
 - 第21層 10YR2/1 黒色土 炭化物混入層
 - 第22層 5YR5/6 明褐色土 炭化粒(φ5mm)少量、焼土粒(φ1~5mm)中量、灰混じり
 - 第23層 5YR2/1 黒褐色土 炭化粒(φ5mm)少量、焼土粒(φ1~5mm)中量
 - 第24層 7.5YR2/1 黒褐色土 混入物なし
 - 第25層 10YR2/2 黒褐色土 焼土粒(φ1~9mm)中量
 - 第26層 10YR2/2 黒褐色土 ロームブロック(φ10~30mm)少量、炭化粒・物(φ5~20mm)少量
 - 第27層 10YR2/1 黒色土 ロームブロック(φ50mm)微量、炭化粒(φ5~20mm)微量
 - 第28層 10YR1.7/1 黒色土 ロームブロック(φ10mm)微量
- SK-07西壁焼土ブロック
- 第1層 10YR2/3 黒褐色土 焼土粒・ブロック(φ1~20mm)多量

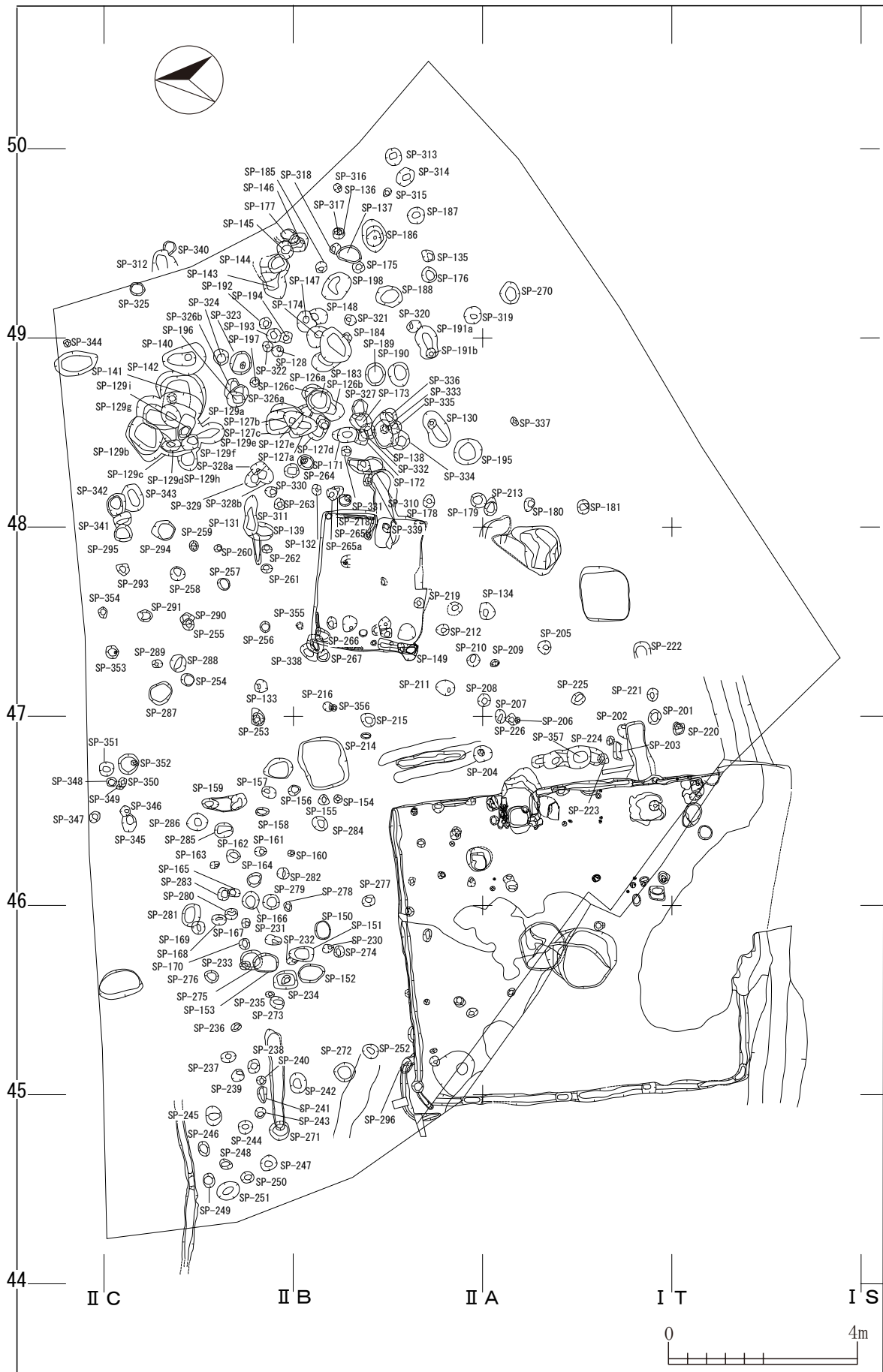
第17図 SI-09 ④・SK ①



第18図 SK②・SD



第19図 SX・基本層序

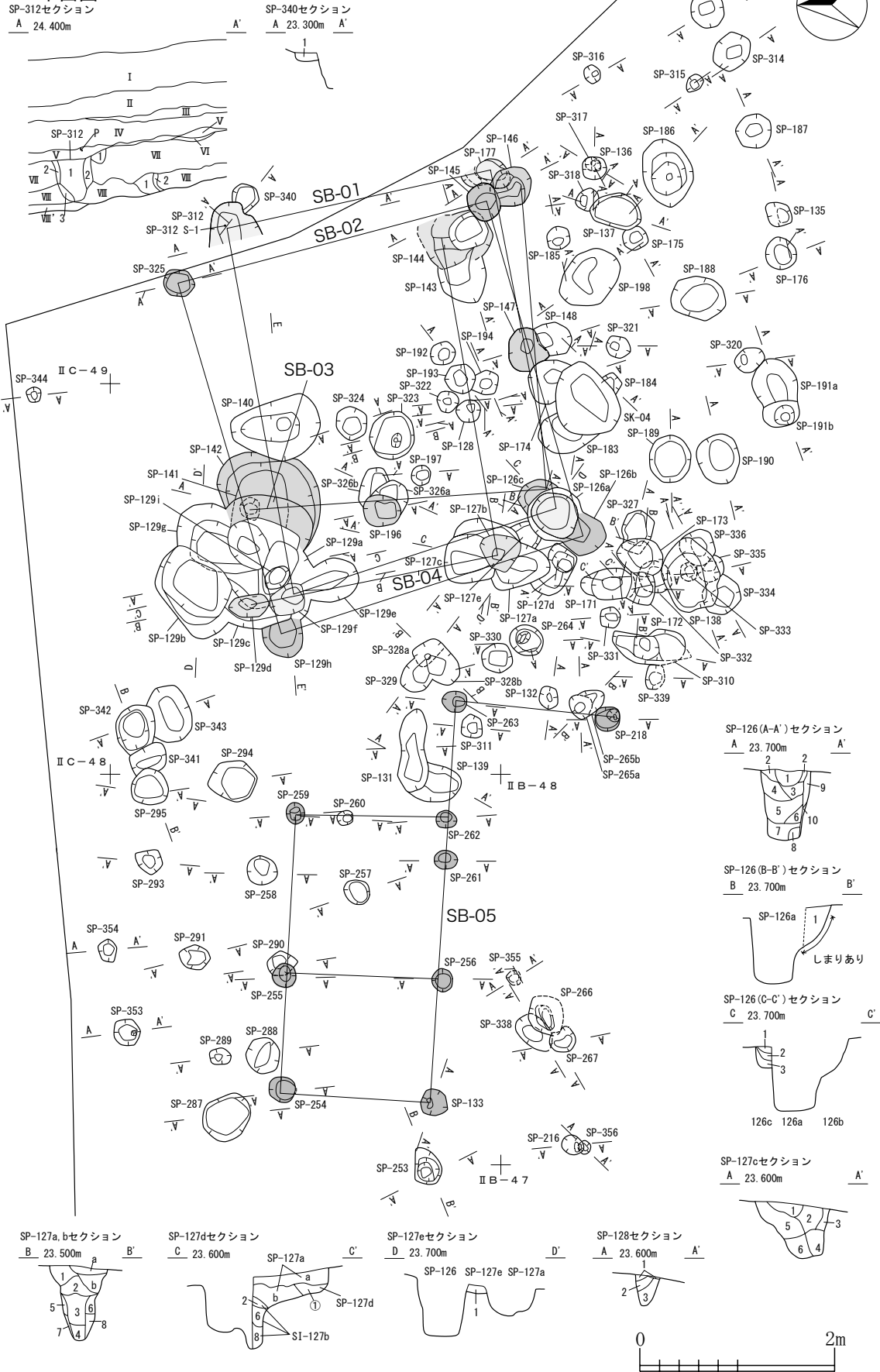


第20図 ピット配置図 ①

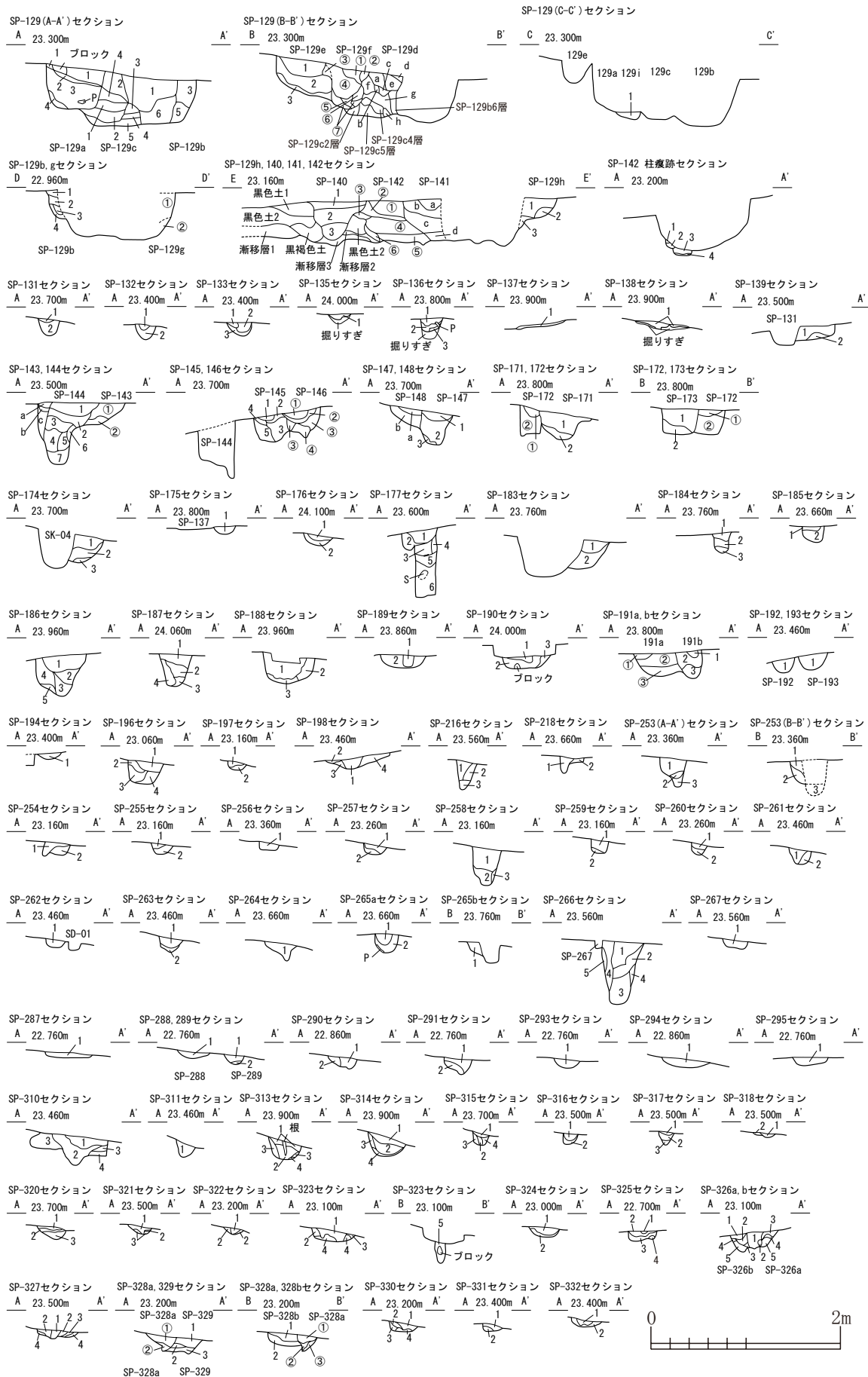


第21図 ピット配置図 ②

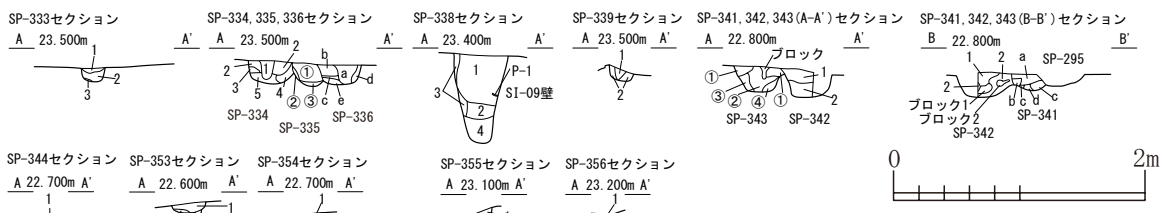
Pit平面図 1



第22図 ピット① (SB)



第23図 ピット②



第24図 ピット③

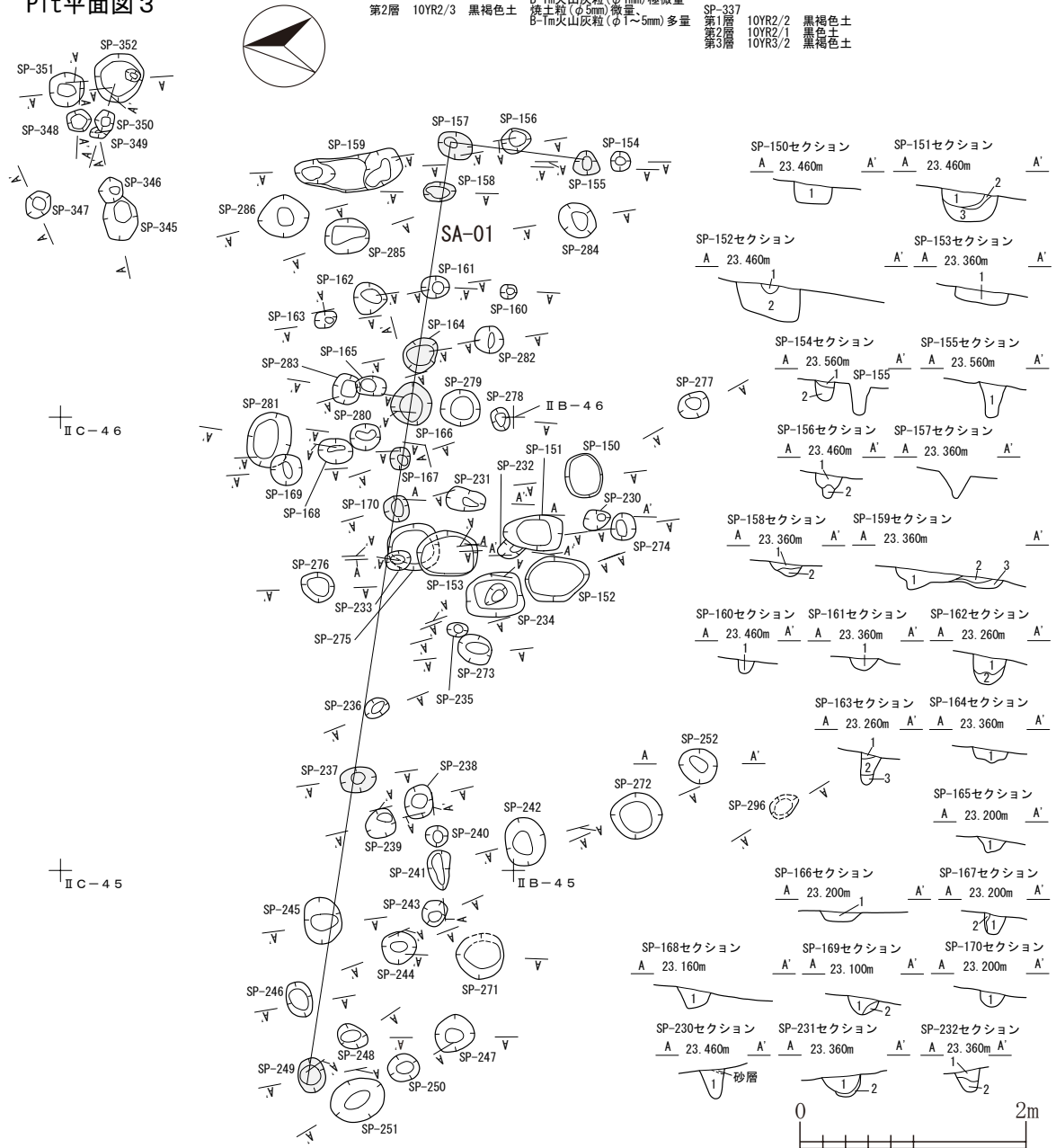
Section	Layer	Soil Color	Soil Description
SP-126a	第1層	10YR2/2	黒褐色土
	第2層	10YR2/2	黒褐色土
	第3層	10YR2/1	黒褐色土
	第4層	10YR1.7/1	黒褐色土
	第5層	10YR2/2	黒褐色土
	第6層	10YR1.7/1	黒褐色土
	第7層	10YR2/2	黒褐色土
	第8層	10YR1.7/1	黒褐色土
	第9層	10YR2/2	黒褐色土
	第10層	10YR2/2	黒褐色土
※ 2~10層に混入するロームは1層に含まれるものと同じ種類			
SP-126b	第1層	10YR2/3	黒褐色土
SP-126c	第1層	10YR2/1	黒色土
	第2層	10YR2/2	黒褐色土
	第3層	10YR2/1	黒褐色土
SP-127a	第a層	10YR2/3	黒褐色土
	第b層	10YR2/2	黒褐色土
SP-127b	第1層	10YR2/3	黒褐色土
	第2層	10YR2/2	黒褐色土
	第3層	10YR2/1	黒褐色土
	第4層	10YR1.7/1	黒褐色土
	第5層	10YR2/1	黒褐色土
	第6層	10YR2/2	黒褐色土
	第7層	10YR2/1	黒褐色土
	第8層	10YR2/2	黒褐色土
SP-127c	第1層	10YR2/2	黒褐色土
	第2層	10YR2/2	黒褐色土
	第3層	10YR2/2	黒褐色土
	第4層	10YR1.7/1	黒褐色土
	第5層	10YR2/1	黒褐色土
SP-127d	第1層	10YR2/1	黒色土
SP-127e	第1層	10YR2/1	黒色土
SP-128	第1層	10YR2/3	黒褐色土
	第2層	10YR2/1	黒褐色土
	第3層	10YR2/2	黒褐色土
SP-129a	第1層	10YR2/3	黒褐色土
	第2層	10YR2/1	黒褐色土
	第3層	10YR2/3	黒褐色土
	第4層	10YR3/2	黒褐色土
SP-129b	第1層	10YR2/3	黒褐色土
	第2層	10YR2/2	黒褐色土
	第3層	10YR2/2	黒褐色土
	第4層	10YR3/2	黒褐色土
	第5層	10YR2/1	黒褐色土
SP-129c	第1層	10YR3/2	黒褐色土
	第2層	10YR2/1	黒褐色土
	第3層	10YR3/2	黒褐色土
	第4層	10YR3/2	黒褐色土
SP-129d	第a層	10YR2/1	黒褐色土
	第b層	10YR3/2	黒褐色土
	第c層	10YR1.7/1	黒褐色土
	第d層	10YR2/2	黒褐色土
	第e層	10YR2/2	黒褐色土
	第f層	10YR2/2	黒褐色土
	第g層	10YR2/2	黒褐色土
SP-129e	第1層	10YR1.7/1	黒褐色土
	第2層	10YR2/1	黒褐色土
	第3層	10YR2/2	黒褐色土
SP-129f	第1層	10YR3/2	黒褐色土
	第2層	10YR3/2	黒褐色土
	第3層	10YR1.7/1	黒褐色土
	第4層	10YR1.7/1	黒褐色土
	第5層	10YR3/2	黒褐色土
	第6層	10YR3/2	黒褐色土
	第7層	10YR3/2	黒褐色土
	第8層	10YR3/2	黒褐色土
	第9層	10YR3/2	黒褐色土
	第10層	10YR3/2	黒褐色土
	第11層	10YR3/2	黒褐色土
	第12層	10YR3/2	黒褐色土
	第13層	10YR3/2	黒褐色土
	第14層	10YR3/2	黒褐色土
	第15層	10YR3/2	黒褐色土
	第16層	10YR3/2	黒褐色土
	第17層	10YR3/2	黒褐色土
	第18層	10YR3/2	黒褐色土
	第19層	10YR3/2	黒褐色土
	第20層	10YR3/2	黒褐色土
	第21層	10YR3/2	黒褐色土
	第22層	10YR3/2	黒褐色土
	第23層	10YR3/2	黒褐色土
	第24層	10YR3/2	黒褐色土
	第25層	10YR3/2	黒褐色土
	第26層	10YR3/2	黒褐色土
	第27層	10YR3/2	黒褐色土
	第28層	10YR3/2	黒褐色土
	第29層	10YR3/2	黒褐色土
	第30層	10YR3/2	黒褐色土
	第31層	10YR3/2	黒褐色土
	第32層	10YR3/2	黒褐色土
	第33層	10YR3/2	黒褐色土
	第34層	10YR3/2	黒褐色土
	第35層	10YR3/2	黒褐色土
	第36層	10YR3/2	黒褐色土
	第37層	10YR3/2	黒褐色土
	第38層	10YR3/2	黒褐色土
	第39層	10YR3/2	黒褐色土
	第40層	10YR3/2	黒褐色土
	第41層	10YR3/2	黒褐色土
	第42層	10YR3/2	黒褐色土
	第43層	10YR3/2	黒褐色土
	第44層	10YR3/2	黒褐色土
	第45層	10YR3/2	黒褐色土
	第46層	10YR3/2	黒褐色土
	第47層	10YR3/2	黒褐色土
	第48層	10YR3/2	黒褐色土
	第49層	10YR3/2	黒褐色土
	第50層	10YR3/2	黒褐色土
	第51層	10YR3/2	黒褐色土
	第52層	10YR3/2	黒褐色土
	第53層	10YR3/2	黒褐色土
	第54層	10YR3/2	黒褐色土
	第55層	10YR3/2	黒褐色土
	第56層	10YR3/2	黒褐色土
	第57層	10YR3/2	黒褐色土
	第58層	10YR3/2	黒褐色土
	第59層	10YR3/2	黒褐色土
	第60層	10YR3/2	黒褐色土
	第61層	10YR3/2	黒褐色土
	第62層	10YR3/2	黒褐色土
	第63層	10YR3/2	黒褐色土
	第64層	10YR3/2	黒褐色土
	第65層	10YR3/2	黒褐色土
	第66層	10YR3/2	黒褐色土
	第67層	10YR3/2	黒褐色土
	第68層	10YR3/2	黒褐色土
	第69層	10YR3/2	黒褐色土
	第70層	10YR3/2	黒褐色土
	第71層	10YR3/2	黒褐色土
	第72層	10YR3/2	黒褐色土
	第73層	10YR3/2	黒褐色土
	第74層	10YR3/2	黒褐色土
	第75層	10YR3/2	黒褐色土
	第76層	10YR3/2	黒褐色土
	第77層	10YR3/2	黒褐色土
	第78層	10YR3/2	黒褐色土
	第79層	10YR3/2	黒褐色土
	第80層	10YR3/2	黒褐色土
	第81層	10YR3/2	黒褐色土
	第82層	10YR3/2	黒褐色土
	第83層	10YR3/2	黒褐色土
	第84層	10YR3/2	黒褐色土
	第85層	10YR3/2	黒褐色土
	第86層	10YR3/2	黒褐色土
	第87層	10YR3/2	黒褐色土
	第88層	10YR3/2	黒褐色土
	第89層	10YR3/2	黒褐色土
	第90層	10YR3/2	黒褐色土
	第91層	10YR3/2	黒褐色土
	第92層	10YR3/2	黒褐色土
	第93層	10YR3/2	黒褐色土
	第94層	10YR3/2	黒褐色土
	第95層	10YR3/2	黒褐色土
	第96層	10YR3/2	黒褐色土
	第97層	10YR3/2	黒褐色土
	第98層	10YR3/2	黒褐色土
	第99層	10YR3/2	黒褐色土
	第100層	10YR3/2	黒褐色土

市内遺跡発掘調査報告書 12

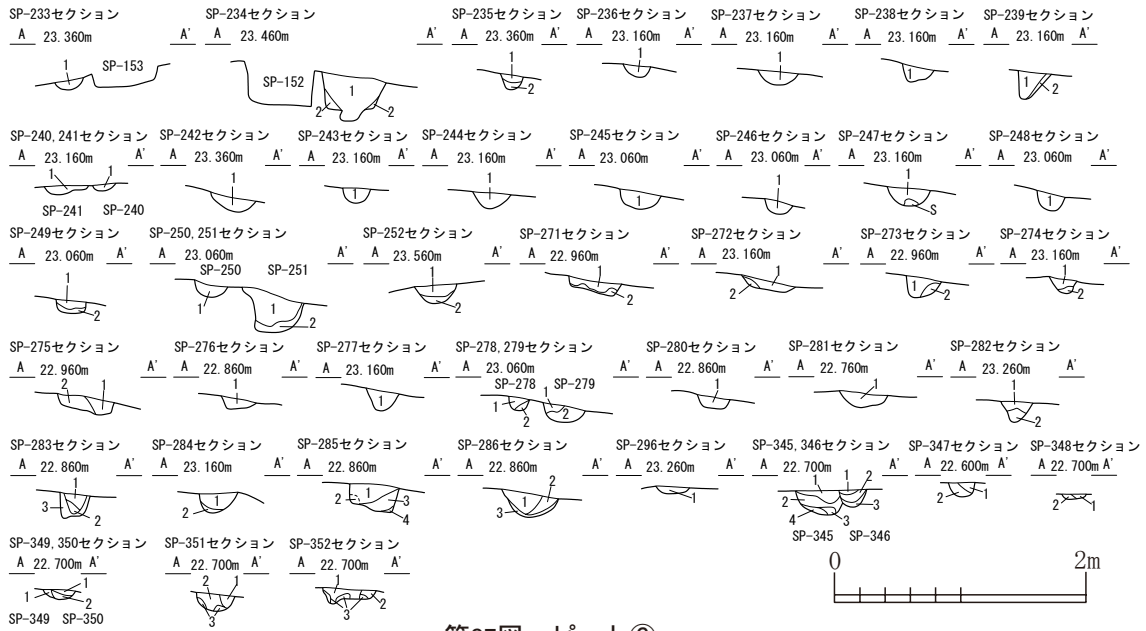
SP-193 第1層 10YR2/1 黒色土	プラン確認面上に パミス粒(φ1mm)少量、 ローム粒(φ1mm)微量	SP-310 第1層 10YR3/2 黒褐色土 第2層 10YR2/2 黒褐色土	ローム粒(φ1mm)微量 暗褐色ブロック(φ30mm)混入 ローム粒(φ1mm)微量	SP-329 第1層 10YR2/2 黒褐色土 第2層 10YR2/1 黒色土 第3層 10YR4/3 にぶい黄褐色土	パミス粒(φ1~2mm)少量 ローム土 第1層の黒褐色土粒 やや多量混入
SP-194 第1層 10YR1.7/1 黒色土	ローム粒(φ1mm)微量	第3層 10YR3/3 暗褐色土 第4層 10YR4/3 にぶい黄褐色土	パミス粒(φ1mm)少量 ロームブロック (φ20mm)中量	SP-330 第1層 10YR2/1 黒色土 第2層 10YR3/2 黒褐色土 第3層 10YR3/2 黒褐色土 第4層 10YR3/2 黒褐色土	黒褐色土(10YR3/2)の混合土 ローム粒(φ1mm)微量 ローム粒(φ1~5mm)少量 パミス粒(φ1~3mm)少量 褐色土粒(10YR4/4)多量混入
SP-196 第1層 10YR2/3 黒褐色土 第2層 10YR3/2 黒褐色土 第3層 10YR3/2 黒褐色土 第4層 10YR5/6 黄褐色土	ローム粒(φ1~5mm)中量 ロームブロック(φ50mm)微量 ローム粒(φ1~9mm)少量 ブロック(φ10~30mm)多量	SP-311 第1層 10YR2/3 黒褐色土 SP-312 第1層 10YR2/3 黒褐色土	赤砂(φ1~10mm)層状に混入 ローム粒(φ1~5mm)多量、 炭化粒(φ5mm)少量、B-Tm 火山灰(φ1~3mm)中量 ローム粒・パミス粒(φ1~3mm)中量 ローム粒(φ1~3mm)中量	SP-331 第1層 10YR2/2 黒褐色土 第2層 10YR2/3 黒褐色土 第3層 10YR2/3 黒褐色土 第4層 10YR4/4 褐色土	ローム粒(φ1~2mm)パミス粒 (φ1~2mm)微量 ローム粒(φ1~2mm)少量 ローム粒(φ1~2mm)少量 ローム粒(φ1~2mm)少量
SP-197 第1層 10YR3/2 黒褐色土 第2層 10YR4/3 にぶい黄褐色土	ローム粒(φ1mm)微量 ローム粒(φ1~5mm)少量	第2層 10YR2/3 黒褐色土 第3層 10YR3/2 黒褐色土 SP-313 第1層 10YR2/1 黒褐色土 第2層 10YR2/2 黒褐色土 第3層 10YR2/2 黒褐色土 第4層 10YR4/4 褐色土	ローム粒(φ1mm)微量 ローム粒(φ1mm)少量 ローム粒(φ1mm)少量 第3層の黒褐色土粒少量混入	SP-332 第1層 10YR2/2 黒褐色土 第2層 10YR2/3 黒褐色土	ローム粒(φ1~2mm)少量 ローム粒(φ1~2mm)少量
SP-198 第1層 10YR3/2 黒褐色土 第2層 10YR3/3 暗褐色土 第3層 10YR3/4 暗褐色土 第4層 10YR3/3 暗褐色土	ローム粒(φ1mm)微量 ローム粒(φ1mm)少量 ロームブロック(φ15mm)微量	SP-314 第1層 10YR2/1 黒色土 第2層 10YR2/2 黒褐色土 第3層 10YR2/2 黒褐色土 第4層 10YR2/2 黒褐色土	ローム粒(φ2mm)少量、 炭化粒微量 ローム粒(φ1mm)少量 第1層の黒色土粒や多く混入 黄褐色ローム粒(φ1~5mm)少量	SP-333 第1層 10YR2/1 黒色土 第2層 10YR2/2 黒褐色土 第3層 10YR4/4 褐色土	ローム粒(φ1mm)微量 ローム粒(φ1mm)少量 ローム粒(φ1mm)少量
SP-216 第1層 10YR2/3 黒褐色土 第2層 10YR3/2 暗褐色土 第3層 10YR3/3 暗褐色土	パミス粒(φ5mm)微量 B-Tm火山灰粒(φ5~9mm)中量	第2層 10YR2/2 黒褐色土 第3層 10YR2/2 黒褐色土 第4層 10YR2/2 黒褐色土	ローム粒(φ1mm)少量 ローム粒(φ1mm)少量 ローム粒(φ1mm)少量	SP-334 第1層 10YR2/1 黒色土 第2層 10YR2/2 黒褐色土 第3層 10YR2/2 黒褐色土 第4層 10YR3/3 暗褐色土	ローム粒(φ1~3mm)少量 ローム土 第2層よりやや黒みが強い ローム粒(φ10mm)やや多量 黒褐色土粒を少量混入
SP-218 第1層 10YR3/2 黒褐色土 第2層 10YR3/2 黒褐色土	ローム粒(φ1mm前後)少量	SP-315 第1層 10YR1.7/1 黒色土 第2層 10YR2/2 黒褐色土 第3層 10YR2/2 黒褐色土 第4層 10YR2/2 黒褐色土	ローム粒(φ1mm)・ B-Tm火山灰粒(φ1mm)やや多量 ローム粒(φ1~3mm)少量 ローム粒(φ1~3mm)少量	SP-335 第1層 10YR2/1 黒色土 第2層 10YR2/2 黒褐色土 第3層 10YR5/6 黄褐色土	ローム土 10YR2/1 黒色土の混合土 ローム粒(φ1mm)微量 ローム土 10YR2/1 黒色土の混合土
SP-253 第1層 10YR2/3 黒褐色土 第2層 10YR2/2 黒褐色土 第3層 10YR2/2 黒褐色土	パミス粒微量 B-Tm火山灰粒(φ1~9mm)中量	SP-316 第1層 10YR2/1 黒褐色土 第2層 10YR2/2 黒褐色土	黒褐色土粒(φ5mm)少量 黒褐色土	SP-336 第1層 10YR2/2 黒褐色土 第2層 10YR2/2 黒褐色土 第3層 10YR2/2 黒褐色土 第4層 10YR2/2 黒褐色土	黒褐色土 黒褐色土 黒褐色土 黒褐色土
SP-254 第1層 10YR2/3 黒褐色土 第2層 10YR2/2 黒褐色土	ロームブロック(φ20mm)多量、 砂中量	SP-317 第1層 10YR2/2 黒褐色土 第2層 10YR2/1 黒褐色土 第3層 10YR2/2 黒褐色土	にぶい黄褐色土ローム粒 (φ5mm)少量 黒褐色土 黒褐色土	SP-337 第1層 10YR2/2 黒褐色土 第2層 10YR2/1 黒褐色土 第3層 10YR3/2 黒褐色土 第4層 10YR3/2 黒褐色土	黒褐色土 黒褐色土 黒褐色土 黒褐色土
SP-255 第1層 10YR2/3 黒褐色土 第2層 10YR2/2 黒褐色土	パミス粒微量	SP-318 第1層 10YR2/1 黒褐色土 第2層 10YR2/2 黒褐色土	ローム粒(φ1mm)微量 ローム粒(φ1mm)微量	SP-338 第1層 10YR2/2 黒褐色土	パミス粒(φ1mm)やや多量 炭化粒(φ1~15mm)中量、 礫(φ10mm)微量 上面にB-Tm火山灰 ローム・パミスが面的に確認 ロームブロック(φ10mm)中量
SP-256 第1層 10YR2/3 黒褐色土	パミス粒微量	SP-320 第1層 10YR3/1 黒褐色土 第2層 10YR2/2 黒褐色土 第3層 10YR2/3 黒褐色土	パミス粒(φ1~5mm)少量 パミス粒(φ1~2mm)微量 ローム粒・パミス粒 (φ2~4mm)微量	第2層 10YR2/3 黒褐色土 第3層 7.5YR2/3 黒褐色土 第4層 10YR3/2 黒褐色土	黒褐色土 黒褐色土 黒褐色土
SP-257 第1層 10YR2/3 黒褐色土 第2層 10YR2/2 黒褐色土	パミス粒微量	SP-321 第1層 10YR2/2 黒褐色土 第2層 10YR2/3 黒褐色土 第3層 10YR3/2 黒褐色土	パミス粒(φ1mm)少量 ロームブロック(φ10mm)少量 ローム粒(φ1~3mm)少量	SP-339 第1層 10YR2/1 黒色土 第2層 10YR2/1 黒色土	プラン確認面に褐色土粒少量混入 炭化粒(φ3mm)少量、 第1層よりやや北側黒みが強い
SP-258 第1層 10YR2/3 黒褐色土 第2層 10YR2/2 黒褐色土 第3層 10YR2/2 黒褐色土	パミス粒微量 B-Tm火山灰粒(φ1~9mm)中量	SP-322 第1層 10YR3/2 黒褐色土 第2層 10YR2/2 黒褐色土	ローム粒・炭化粒 (φ1~2mm)少量 ローム粒(φ1~2mm)微量	SP-340 第1層 10YR1.7/1 黒色土	プラン確認面上に ローム粒(φ2mm)微量
SP-259 第1層 10YR2/3 黒褐色土 第2層 10YR2/3 暗褐色土	パミス粒微量 砂粒少量	SP-323 第1層 10YR2/3 黒褐色土 第2層 10YR3/2 黒褐色土 第3層 10YR2/2 黒褐色土 第4層 10YR3/3 暗褐色土 第5層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ1~2mm)多量、 炭化粒(φ1mm)微量 ローム粒(φ1mm)多量 ローム粒・ブロック (φ1~10mm)多量 ローム粒・ブロック (φ1~2mm)少量 第1層の黒色土粒との混合土	SP-341 第1層 10YR2/2 黒褐色土 第2層 10YR3/2 黒褐色土 第3層 10YR2/1 黒褐色土 第4層 10YR2/2 黒褐色土	ローム土 10YR2/1 黒色土の混合土 黒褐色土 黒褐色土 黒褐色土 黒褐色土
SP-260 第1層 10YR2/3 黒褐色土 第2層 10YR3/3 暗褐色土	パミス粒微量 砂粒少量	SP-324 第1層 10YR2/2 黒褐色土 第2層 10YR4/3 にぶい黄褐色土	ローム粒・ブロック (φ2~30mm)多量 パミス粒(φ2~9mm)少量 ローム粒(φ1~3mm)多量	SP-342 第1層 10YR2/1 黒色土 第2層 10YR3/2 黒褐色土	ローム土 10YR2/1 黒色土の混合土 ローム土 10YR3/2 黒褐色土の混合土 ローム土 10YR2/1 黒色土の混合土
SP-261 第1層 10YR2/3 黒褐色土 第2層 10YR2/2 黒褐色土	暗褐色土ブロック(φ30mm)中量	SP-325 第1層 10YR3/1 黒褐色土 第2層 10YR2/1 黒褐色土 第3層 10YR2/2 黒褐色土 第4層 10YR2/3 黒褐色土	ローム粒(φ1~2mm)多量 ローム粒(φ1~3mm)少量 ローム粒(φ1~2mm)多量 ローム粒(φ1mm)多量、根?	SP-343 第1層 10YR2/2 黒褐色土 第2層 10YR3/2 黒褐色土 第3層 10YR4/3 にぶい黄褐色土 第4層 10YR2/2 黒褐色土	パミス粒(φ2mm)微量、 炭化粒(φ2mm)少量 ローム粒(φ1~8mm)やや多量、 パミス粒(φ1mm)少量 パミス粒(φ1mm)少量 黒褐色土粒(φ1~5mm)少量 パミス粒(φ2mm)微量、 炭化粒(φ2mm)少量
SP-262 第1層 10YR2/3 黒褐色土	パミス粒微量	SP-326a 第1層 10YR3/3 暗褐色土 第2層 10YR6/8 明黄褐色土 第3層 10YR2/2 黒褐色土 第4層 10YR5/6 黄褐色土 第5層 10YR2/3 暗褐色土	ローム粒・ブロック (φ1~20mm)多量 ロームブロック(φ40mm) ローム粒(φ1~3mm)多量、 パミス粒(φ1~2mm)少量 黒褐色土 黒褐色土 黒褐色土 黒褐色土	SP-344 第1層 10YR1.7/1 黒色土	ローム土 10YR1.7/1 黒色土の混合土 ローム土 10YR1.7/1 黒色土の混合土 ローム土 10YR1.7/1 黒色土の混合土
SP-263 第1層 10YR2/3 黒褐色土 第2層 10YR3/3 暗褐色土	パミス粒微量 砂粒少量	SP-326b 第1層 10YR2/3 黒褐色土 第2層 10YR3/2 黒褐色土 第3層 10YR2/3 黒褐色土 第4層 10YR3/3 暗褐色土 第5層 10YR5/6 黄褐色土	ローム粒(φ1mm)多量 ローム粒(φ1~2mm)多量、 パミス粒(φ2mm)微量 ローム粒(φ1~2mm)多量 ローム粒(φ1~2mm)多量 ローム粒・ブロック (φ1~20mm)多量	SP-345 第1層 10YR2/2 黒褐色土 第2層 10YR2/3 黒褐色土 第3層 10YR3/3 暗褐色土	ローム土 10YR2/2 黒褐色土の混合土 ローム土 10YR2/3 黒褐色土の混合土 ローム土 10YR3/3 暗褐色土の混合土
SP-264 第1層 10YR2/3 黒褐色土	パミス粒微量	SP-327 第1層 10YR2/2 黒褐色土 第2層 10YR2/2 黒褐色土 第3層 10YR2/2 黒褐色土 第4層 10YR2/3 黒褐色土	ローム土 10YR2/2 黒褐色土の混合土 ローム土 10YR2/2 黒褐色土の混合土 ローム土 10YR2/2 黒褐色土の混合土 ローム土 10YR2/3 黒褐色土の混合土	SP-346 第1層 10YR1.7/1 黒色土 第2層 10YR2/1 黒色土	ローム土 10YR1.7/1 黒色土の混合土 ローム土 10YR2/1 黒色土の混合土
SP-265a 第1層 10YR2/3 黒褐色土 第2層 10YR2/2 黒褐色土	パミス粒(φ1mm)多量、 B-Tm火山灰粒(φ1~5mm)中量 パミス粒(φ1mm)微量	SP-328a 第1層 10YR2/1 黒色土 第2層 10YR2/2 黒褐色土 第3層 10YR3/2 黒褐色土	ローム土 10YR2/1 黒色土の混合土 ローム土 10YR2/2 黒褐色土の混合土 ローム土 10YR3/2 黒褐色土の混合土	SP-347 第1層 10YR1.7/1 黒色土 第2層 10YR2/1 黒色土	ローム土 10YR1.7/1 黒色土の混合土 ローム土 10YR2/1 黒色土の混合土
SP-265b 第1層 10YR2/3 黒褐色土	炭化粒(φ3mm)・ B-Tm火山灰ブロック (φ10mm)少量	SP-328b 第1層 10YR2/1 黒色土 第2層 10YR2/2 黒褐色土	ローム土 10YR2/1 黒色土の混合土 ローム土 10YR2/2 黒褐色土の混合土	SP-348 第1層 10YR2/1 黒色土 第2層 10YR2/2 黒褐色土	ローム土 10YR2/1 黒色土の混合土 ローム土 10YR2/2 黒褐色土の混合土
SP-266 第1層 10YR2/3 黒褐色土 第2層 10YR2/3 黒褐色土 第3層 10YR2/2 黒褐色土 第4層 10YR3/2 黒褐色土 第5層 10YR2/2 黒褐色土	パミス粒(φ1mm)多量、 B-Tm火山灰粒(φ1~5mm)中量 ローム粒(φ3mm)微量 ローム粒(φ1~5mm)少量 ロームブロック(φ10mm)微量 パミス粒(φ1mm)少量	SP-329 第1層 10YR2/2 黒褐色土 第2層 10YR2/2 黒褐色土 第3層 10YR2/2 黒褐色土 第4層 10YR2/3 黒褐色土	ローム土 10YR2/2 黒褐色土の混合土 ローム土 10YR2/2 黒褐色土の混合土 ローム土 10YR2/2 黒褐色土の混合土 ローム土 10YR2/3 黒褐色土の混合土	SP-349 第1層 10YR2/2 黒褐色土 第2層 10YR2/3 黒褐色土 第3層 10YR3/3 暗褐色土	ローム土 10YR2/2 黒褐色土の混合土 ローム土 10YR2/3 黒褐色土の混合土 ローム土 10YR3/3 暗褐色土の混合土
SP-267 第1層 10YR2/3 黒褐色土	パミス粒微量	SP-330 第1層 10YR2/2 黒褐色土 第2層 10YR2/2 黒褐色土 第3層 10YR2/2 黒褐色土 第4層 10YR2/2 黒褐色土	ローム土 10YR2/2 黒褐色土の混合土 ローム土 10YR2/2 黒褐色土の混合土 ローム土 10YR2/2 黒褐色土の混合土 ローム土 10YR2/2 黒褐色土の混合土	SP-350 第1層 10YR2/2 黒褐色土 第2層 10YR2/3 黒褐色土 第3層 10YR3/3 暗褐色土	ローム土 10YR2/2 黒褐色土の混合土 ローム土 10YR2/3 黒褐色土の混合土 ローム土 10YR3/3 暗褐色土の混合土
SP-268 第1層 10YR2/3 黒褐色土	ローム粒(φ5mm)微量	SP-331 第1層 10YR2/2 黒褐色土 第2層 10YR2/2 黒褐色土 第3層 10YR2/2 黒褐色土 第4層 10YR2/2 黒褐色土	ローム土 10YR2/2 黒褐色土の混合土 ローム土 10YR2/2 黒褐色土の混合土 ローム土 10YR2/2 黒褐色土の混合土 ローム土 10YR2/2 黒褐色土の混合土	SP-351 第1層 10YR3/2 黒褐色土 第2層 10YR2/2 黒褐色土	ローム土 10YR3/2 黒褐色土の混合土 ローム土 10YR2/2 黒褐色土の混合土
SP-269 第1層 10YR2/3 黒褐色土 第2層 10YR4/3 にぶい黄褐色土	ローム粒(φ5mm)微量 にぶい黄褐色土	SP-332 第1層 10YR2/2 黒褐色土 第2層 10YR2/2 黒褐色土 第3層 10YR2/2 黒褐色土 第4層 10YR2/3 黒褐色土	ローム土 10YR2/2 黒褐色土の混合土 ローム土 10YR2/2 黒褐色土の混合土 ローム土 10YR2/2 黒褐色土の混合土 ローム土 10YR2/3 黒褐色土の混合土	SP-352 第1層 10YR4/3 にぶい黄褐色土 第2層 10YR5/6 黄褐色土	ローム土 10YR4/3 にぶい黄褐色土の混合土 ローム土 10YR5/6 黄褐色土の混合土
SP-290 第1層 10YR2/3 黒褐色土 第2層 10YR3/3 暗褐色土	ローム粒(φ1~5mm)少量・ 炭化物(φ30mm)少量	SP-333 第1層 10YR2/2 黒褐色土 第2層 10YR2/2 黒褐色土 第3層 10YR2/2 黒褐色土 第4層 10YR2/3 黒褐色土	ローム土 10YR2/2 黒褐色土の混合土 ローム土 10YR2/2 黒褐色土の混合土 ローム土 10YR2/2 黒褐色土の混合土 ローム土 10YR2/3 黒褐色土の混合土	SP-353 第1層 10YR1.7/1 黒色土 第2層 10YR2/1 黒色土	ローム土 10YR1.7/1 黒色土の混合土 ローム土 10YR2/1 黒色土の混合土
SP-291 第1層 10YR2/3 黒褐色土 第2層 10YR3/3 暗褐色土	ローム粒(φ1~5mm)・ 炭化物(φ30mm)少量	SP-334 第1層 10YR2/2 黒褐色土 第2層 10YR2/2 黒褐色土 第3層 10YR2/2 黒褐色土 第4層 10YR2/3 黒褐色土	ローム土 10YR2/2 黒褐色土の混合土 ローム土 10YR2/2 黒褐色土の混合土 ローム土 10YR2/2 黒褐色土の混合土 ローム土 10YR2/3 黒褐色土の混合土	SP-354 第1層 10YR1.7/1 黒色土 第2層 10YR2/1 黒色土	ローム土 10YR1.7/1 黒色土の混合土 ローム土 10YR2/1 黒色土の混合土
SP-293 第1層 10YR2/3 黒褐色土	炭化物(φ10mm)微量	SP-335 第1層 10YR2/2 黒褐色土 第2層 10YR2/2 黒褐色土 第3層 10YR2/2 黒褐色土 第4層 10YR2/3 黒褐色土	ローム土 10YR2/2 黒褐色土の混合土 ローム土 10YR2/2 黒褐色土の混合土 ローム土 10YR2/2 黒褐色土の混合土 ローム土 10YR2/3 黒褐色土の混合土	SP-355 第1層 10YR1.7/1 黒色土 第2層 10YR2/1 黒色土	ローム土 10YR1.7/1 黒色土の混合土 ローム土 10YR2/1 黒色土の混合土
SP-294 第1層 10YR2/3 黒褐色土	炭化物(φ10mm)微量	SP-336 第1層 10YR2/2 黒褐色土 第2層 10YR2/2 黒褐色土	ローム土 10YR2/2 黒褐色土の混合土 ローム土 10YR2/2 黒褐色土の混合土	SP-356 第1層 10YR1.7/1 黒色土 第2層 10YR2/1 黒色土	ローム土 10YR1.7/1 黒色土の混合土 ローム土 10YR2/1 黒色土の混合土
SP-295 第1層 10YR2/3 黒褐色土	ローム粒(φ2~5mm)・ 炭化粒(φ5mm)微量	SP-337 第1層 10YR2/2 黒褐色土 第2層 10YR2/2 黒褐色土	ローム土 10YR2/2 黒褐色土の混合土 ローム土 10YR2/2 黒褐色土の混合土	SP-357 第1層 10YR1.7/1 黒色土 第2層 10YR2/1 黒色土	ローム土 10YR1.7/1 黒色土の混合土 ローム土 10YR2/1 黒色土の混合土

SP-181 第1層 10YR3/2 黒褐色土	にぶい黄棕色土(10YR6/4)・ローム粒(φ1~9mm)・ブロック(φ10~15mm)多量(φ1~5mm)少量	SP-206 第1層 10YR3/2 黒褐色土	ローム粒(φ1~9mm)少量、焼土粒(φ5mm)微量	SP-220 第1層 10YR2/3 黒褐色土	ロームブロック(φ10mm)微量
第2層 10YR2/1 黒色土		第2層 10YR2/3 黒褐色土	炭化粒(φ1~5mm)少量 パミス粒(φ1mm)微量	第2層 10YR2/3 黒褐色土	ローム粒(φ1~9mm)少量 ロームブロック(φ10~30mm)・砂粒多量 焼土・ロームブロック(φ10~30mm)中量
SP-195 第1層 10YR2/2 黒褐色土	パミス粒(φ1~3mm)微量、フロン確認面上にB-1m粒(φ1~3mm)少量	SP-207 第1層 10YR3/2 黒褐色土	炭化粒(φ1~5mm)少量	SP-221 第1層 10YR3/2 黒褐色土	ロームブロック(φ30mm)微量
第2層 10YR1.7/1 黒色土	パミス粒(φ1mm)微量	第2層 10YR2/3 黒褐色土	炭化粒(φ1~5mm)少量 パミス粒(φ1mm)微量	第2層 10YR3/3 暗褐色土	ローム粒(φ10mm)少量
第3層 10YR1.7/1 黒色土	パミス粒(φ1mm)微量	SP-209 第1層 10YR3/2 黒褐色土	炭化粒(φ1~5mm)少量	SP-222 第1層 10YR2/1 黒色土	炭化粒(φ1mm)少量
第4層 10YR2/1 黒色土	パミス粒(φ1mm)微量	第2層 10YR2/3 黒褐色土	パミス粒(φ1mm)微量	第2層 10YR3/3 暗褐色土	ロームブロック(φ10mm)中量
SP-201 第1層 10YR3/2 黒褐色土	パミス粒(φ1mm)少量 炭化粒(φ1mm)・焼土粒やや多量	SP-210 第1層 10YR3/2 黒褐色土	炭化粒(φ1~5mm)少量	SP-223 第1層 10YR4/4 褐色土	パミス粒(φ1~9mm)中量
SP-202 第1層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ2mm)・パミス粒(φ1mm)少量	第2層 10YR2/3 黒褐色土	炭化粒(φ1~5mm)少量	第2層 10YR2/3 黒褐色土	パミス粒(φ1~9mm)少量
第2層 10YR3/2 黒褐色土	第1層の黒色土をブロック状に混入する	第3層 10YR2/2 黒褐色土	ローム粒(φ5~9mm)微量 根による攪乱	SP-224 第1層 10YR2/1 黒色土	パミス粒(φ1~9mm)微量
第3層 10YR3/2 黒褐色土	炭化粒・焼土粒(φ1mm)少量	SP-212 第1層 10YR3/2 黒褐色土	パミス粒(φ1mm)少量	SP-225 第1層 10YR3/2 黒褐色土	パミス粒(φ5mm)微量
SP-203 第1層 10YR3/2 黒褐色土	パミス粒(φ1mm)・焼土粒(φ1~3mm)少量	第2層 10YR2/3 黒褐色土	パミス粒(φ1mm)少量	第2層 10YR2/3 黒褐色土	パミス粒(φ1~9mm)少量
SP-204 第1層 10YR1.7/1 黒色土	パミス粒(φ1~5mm)少量	SP-213 第1層 10YR2/3 黒褐色土	B-1m火山灰粒(φ1~9mm)少量	第3層 10YR4/3 にぶい黄褐色土	ロームブロック(φ50mm)中量 パミス粒(φ1~5mm)少量
SP-205 第1層 10YR3/2 黒褐色土	炭化粒(φ1~5mm)少量	第2層 10YR2/1 黒褐色土	B-1m火山灰粒(φ1~5mm)・ブロック(φ10~20mm)中量	SP-270 第1層 10YR2/3 黒褐色土	ローム粒(φ1mm)微量
第2層 10YR2/3 黒褐色土	パミス粒(φ1mm)微量	SP-214 第1層 10YR2/3 黒褐色土	パミス粒(φ5mm)微量	第2層 10YR3/2 黒褐色土	ロームブロック(φ20~30mm)中量

Pit平面図 3

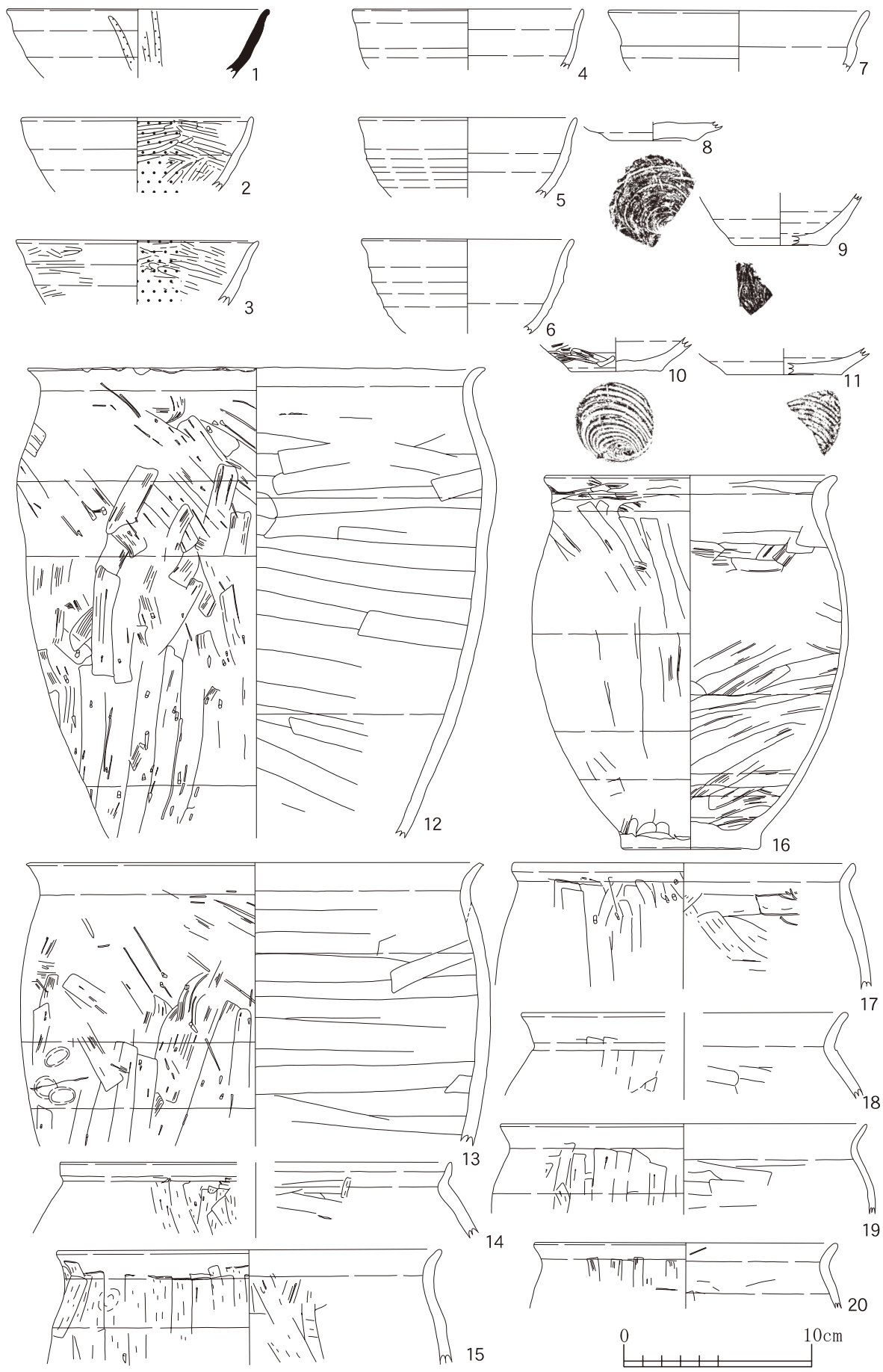


第26図 ピット⑤ (SA)

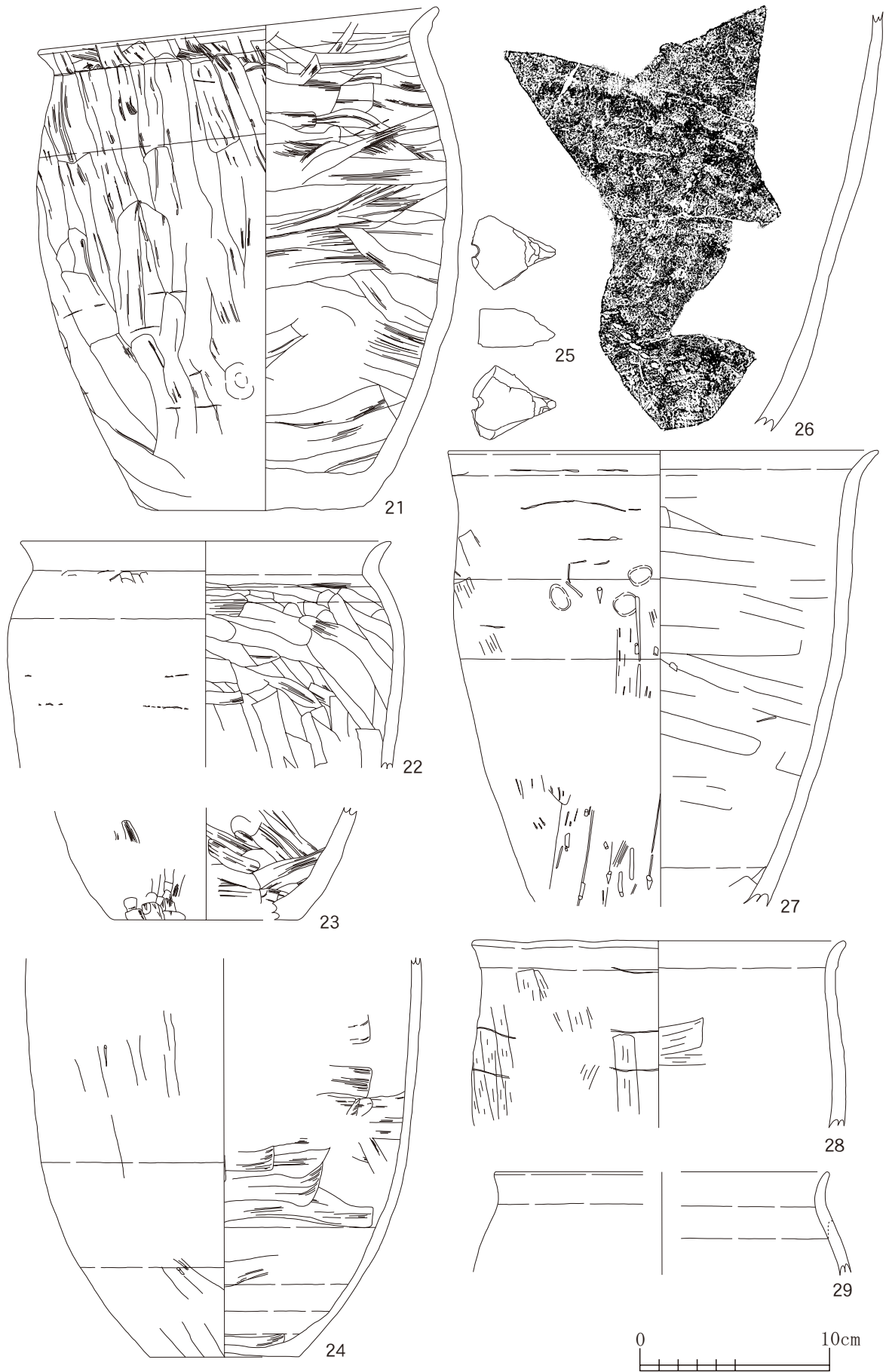


第27図 ピット⑥

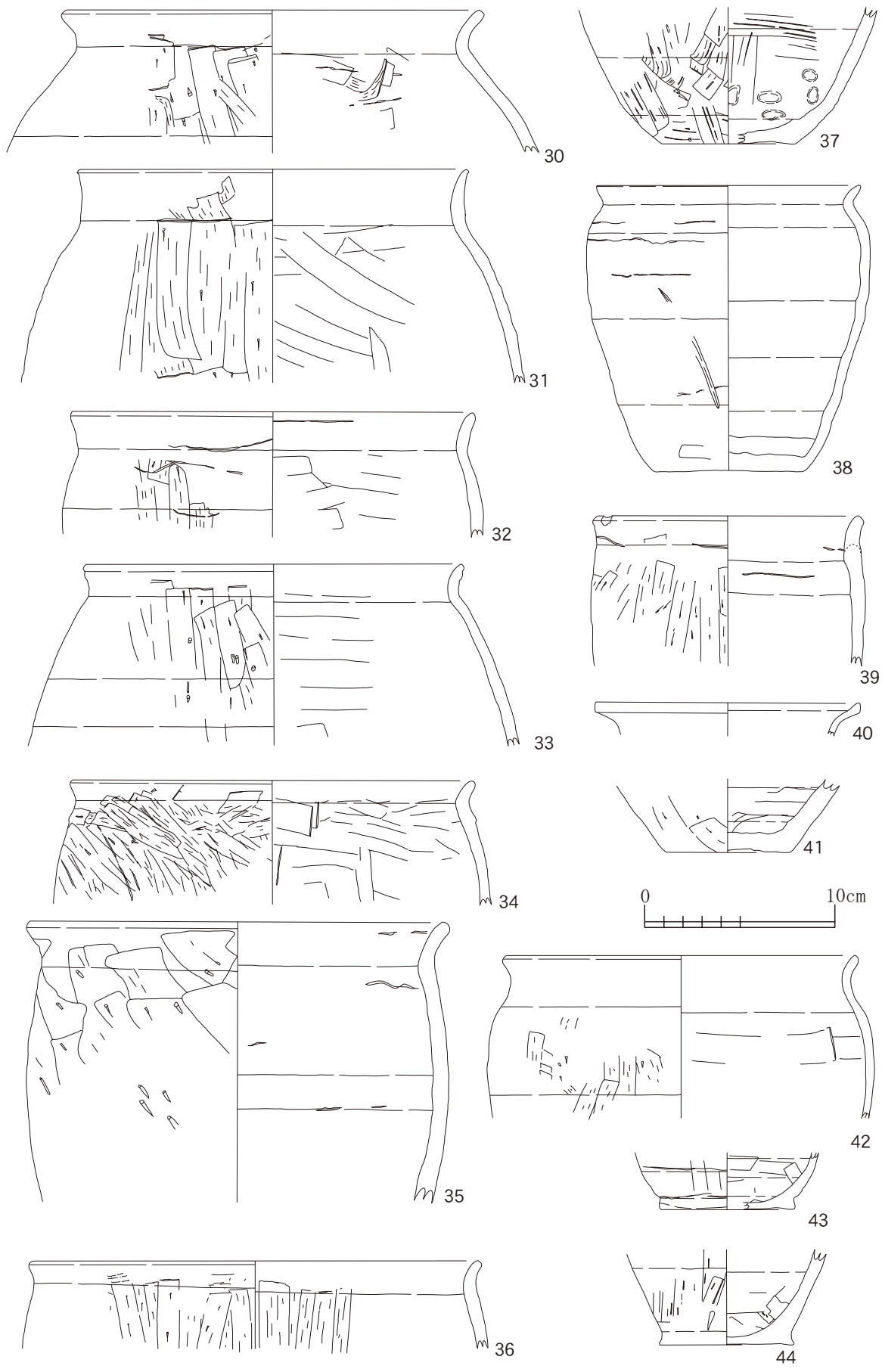
SP-150 第1層 10YR2/1 黒色土 ローム粒・炭化粒微量	SP-170 第1層 10YR2/3 黒褐色土 バミス粒(φ5mm)少量・ 極暗褐色土(7.5YR2/3)ブロック	SP-275 第1層 10YR3/2 黒褐色土 バミス粒(φ1mm)微量
SP-151 第1層 10YR1.7/1 黒色土 ローム粒微量、炭化粒少量	SP-230 第1層 10YR2/1 黒色土 暗褐色土ブロック少量	SP-276 第1層 10YR2/3 黒褐色土 バミス粒(φ1~5mm)微量
第2層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒・B-1m火山灰少量	SP-231 第1層 10YR2/1 黒色土	SP-277 第1層 10YR2/3 黒褐色土 バミス粒(φ1~5mm)微量
第3層 10YR2/1 黒色土 ローム粒・炭化粒少量、 焼土粒微量	第2層 10YR2/2 黒褐色土	SP-278.279 第1層 10YR2/3 黒褐色土 バミス粒(φ1~5mm)微量
SP-152 第1層 10YR3/1 黒褐色土 炭化粒・B-1m火山灰少量	SP-232 第1層 10YR2/1 黒色土 暗褐色土ブロック少量	第2層 10YR2/3 黒褐色土 バミス粒(φ1~5mm)微量
第2層 10YR2/1 黒色土 ローム粒・炭化粒微量	SP-233 第1層 10YR2/3 黒褐色土 バミス粒(φ1mm)中量	SP-280 第1層 10YR2/2 黒褐色土
SP-153 第1層 10YR2/1 黒色土 ローム粒少量、炭化粒微量、 焼土粒少量	SP-234 第1層 10YR2/1 黒色土 暗褐色土ブロック少量	SP-281 第1層 10YR2/2 黒褐色土
SP-154 第1層 10YR4/2 灰黄褐色土 バミス粒(φ1~9mm)、 ブロック(φ10~20mm)中量	第2層 10YR2/2 黒褐色土 バミス粒(φ5mm)少量 極暗褐色土(7.5YR2/3)ブロック (φ20~50mm)中量	SP-282 第1層 10YR2/3 黒褐色土 バミス粒(φ1~5mm)微量
第2層 10YR2/3 黒褐色土 バミス粒(φ5mm)少量 極暗褐色土(7.5YR2/3)ブロック (φ20~50mm)中量	SP-235 第1層 10YR2/3 黒褐色土 ローム粒(φ1mm)少量	第2層 10YR4/3 にぶい黄褐色土 ローム粒(φ1~5mm)多量
SP-155 第1層 10YR2/3 黒褐色土 灰黄褐色土ブロック(φ50mm)微量	第2層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1mm)微量	SP-283 第1層 10YR2/3 黒褐色土 バミス粒(φ1~5mm)微量
SP-156 第1層 10YR3/3 暗褐色土 ローム粒(φ1~5mm)中量	SP-236 第1層 10YR2/3 黒褐色土 バミス粒(φ1mm)微量	第2層 10YR4/3 にぶい黄褐色土 ローム粒(φ1~5mm)多量
第2層 10YR3/2 黒褐色土 バミス粒(φ5mm)中量	SP-237 第1層 10YR2/3 黒褐色土 バミス粒(φ1mm)微量	SP-284 第1層 10YR3/2 黒褐色土 ローム粒(φ1mm)微量
SP-158 第1層 10YR2/3 黒褐色土 赤色ローム粒(φ1~9mm)多量	第2層 10YR2/3 黒褐色土 バミス粒(φ1mm)微量	第2層 10YR2/3 黒褐色土
第2層 10YR3/2 黒褐色土 バミス粒(φ5mm)少量	SP-238 第1層 10YR2/3 黒褐色土 バミス粒(φ1mm)微量	SP-285 第1層 10YR3/2 黒褐色土
SP-159 第1層 10YR4/2 灰黄褐色土 バミス粒(φ5mm)微量	第2層 10YR2/2 黒褐色土 バミス粒(φ1mm)微量	第2層 10YR2/3 黒褐色土
第2層 10YR3/3 暗褐色土 バミスブロック(φ20mm)微量	SP-239 第1層 10YR2/3 黒褐色土 バミス粒(φ1mm)微量	第3層 10YR3/3 暗褐色土
第3層 10YR4/3 にぶい黄褐色土 砂粒(φ1~9mm)多量	第2層 10YR2/2 黒褐色土 バミス粒(φ1mm)微量	第4層 10YR4/3 にぶい黄褐色土
SP-160 第1層 10YR2/3 黒褐色土 バミス粒(φ1mm)少量	SP-240 第1層 10YR2/3 黒褐色土 バミス粒(φ1mm)微量	SP-286 第1層 10YR3/2 黒褐色土
SP-161 第1層 10YR2/3 黒褐色土 バミス粒(φ1mm)少量	SP-241 第1層 10YR2/3 黒褐色土 バミス粒(φ1mm)微量	第2層 10YR3/3 暗褐色土
SP-162 第1層 10YR2/3 黒褐色土 バミス粒(φ5mm)少量、 極暗褐色土(7.5YR2/3)ブロック (φ20~50mm)中量	SP-242 第1層 10YR2/3 黒褐色土 バミス粒(φ1mm)微量	第3層 10YR4/3 にぶい黄褐色土
第2層 10YR2/2 黒褐色土 バミス粒(φ5mm)少量、 赤色砂層状に混入	SP-243 第1層 10YR2/3 黒褐色土	SP-296 第1層 10YR4/3 にぶい黄褐色土 ローム粒(φ1~5mm)多量
SP-163 第1層 10YR3/2 黒褐色土 赤色ローム粒(φ5mm)微量	第2層 10YR2/3 黒褐色土 バミス粒(φ1mm)微量	SP-345 第1層 10YR2/3 黒褐色土 ローム粒(φ1~5mm)少量、 バミス粒(φ10mm)微量
第2層 10YR2/3 黒褐色土 バミス粒(φ5mm)少量、 極暗褐色土(7.5YR2/3)ブロック (φ20~50mm)中量	SP-244 第1層 10YR2/3 黒褐色土 バミス粒(φ1mm)微量	第2層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~9mm)、 ブロック(φ10mm)少量
第3層 10YR2/2 黒褐色土 バミス粒(φ5mm)少量、 極暗褐色土(7.5YR2/3)ブロック (φ20~50mm)中量	SP-245 第1層 10YR2/3 黒褐色土 赤色砂粒(φ5mm)中量	第3層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1mm)微量
SP-164 第1層 10YR2/3 黒褐色土 バミス粒(φ5mm)少量、 極暗褐色土(7.5YR2/3) 赤色砂層状に混入	SP-246 第1層 10YR2/3 黒褐色土	第4層 10YR2/2 黒褐色土 ブロック(φ10mm)微量
SP-165 第1層 10YR2/3 黒褐色土 バミス粒(φ5mm)少量、 極暗褐色土(7.5YR2/3)ブロック (φ20~50mm)中量	SP-247 第1層 10YR2/3 黒褐色土 バミス粒(φ5mm)少量	SP-346 第1層 10YR2/2 黒褐色土 バミス粒(φ1~2mm)微量
第2層 10YR2/3 黒褐色土 バミス粒(φ5mm)少量、 極暗褐色土(7.5YR2/3)ブロック (φ20~50mm)中量	SP-248 第1層 10YR2/3 黒褐色土	第2層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~3mm)微量、 黒褐色土(10YR3/2)ブロック (φ30mm)混入
SP-166 第1層 10YR2/3 黒褐色土 赤色砂少量混入	SP-249 第1層 10YR3/2 黒褐色土 バミス粒(φ1mm)少量	第3層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1mm)少量
第2層 10YR3/2 黒褐色土 バミス粒(φ5mm)少量、 極暗褐色土(7.5YR2/3)ブロック (φ20~50mm)中量	第2層 10YR3/3 暗褐色土 バミス粒(φ1~5mm)少量	SP-347 第1層 10YR2/2 黒褐色土
SP-167 第1層 10YR2/3 黒褐色土 バミス粒(φ5mm)少量、 極暗褐色土(7.5YR2/3)ブロック (φ20~50mm)中量	SP-250.251 第1層 10YR2/3 黒褐色土 バミス粒(φ5mm)少量	第2層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1mm)微量
第2層 10YR3/2 黒褐色土 バミス粒(φ5mm)少量、 極暗褐色土(7.5YR2/3)ブロック (φ20~50mm)中量	第2層 10YR3/2 黒褐色土 バミス粒(φ1~9mm)、 ブロック(φ10~20mm)中量	SP-348 第1層 10YR2/3 黒褐色土 ローム粒(φ1mm)・ バミス粒(φ1mm)微量
SP-168 第1層 10YR2/3 黒褐色土 バミス粒(φ5mm)少量、 極暗褐色土(7.5YR2/3)ブロック (φ20~50mm)中量	SP-252 第1層 10YR2/3 黒褐色土 バミス粒(φ5mm)少量	第2層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1mm)微量
SP-169 第1層 10YR2/3 黒褐色土 バミス粒(φ5mm)少量、 極暗褐色土(7.5YR2/3)ブロック (φ20~50mm)中量	第2層 10YR2/2 黒褐色土 バミス粒(φ10mm)少量	SP-351 第1層 10YR2/3 黒褐色土 ローム粒(φ1mm)少量、 バミス粒(φ1mm)微量
第2層 10YR3/2 黒褐色土 バミス粒(φ5mm)少量、 極暗褐色土(7.5YR2/3)ブロック (φ20~50mm)中量	SP-271 第1層 10YR2/3 黒褐色土 バミス粒(φ1mm)微量	第2層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1mm)・ 炭化粒微量
SP-272 第1層 10YR2/3 黒褐色土 バミス粒(φ1~5mm)微量	第2層 10YR3/3 暗褐色土 ローム粒(φ5mm)少量	第3層 10YR2/3 黒褐色土 ローム粒(φ1mm)少量、 バミス微量
SP-273 第1層 10YR2/3 黒褐色土 バミス粒(φ1~5mm)微量	SP-274 第1層 10YR2/3 黒褐色土 バミス粒(φ1~5mm)微量	SP-352 第1層 10YR1.7/1 黒色土 ローム粒(φ1mm)少量、 バミス粒(φ3mm)微量、 炭化粒(φ1mm)微量、 バミス粒(φ1mm)少量
第2層 10YR3/3 暗褐色土 ローム粒(φ5mm)少量	第2層 10YR2/1 黒色土 バミス粒(φ1mm)少量	第3層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1mm)少量

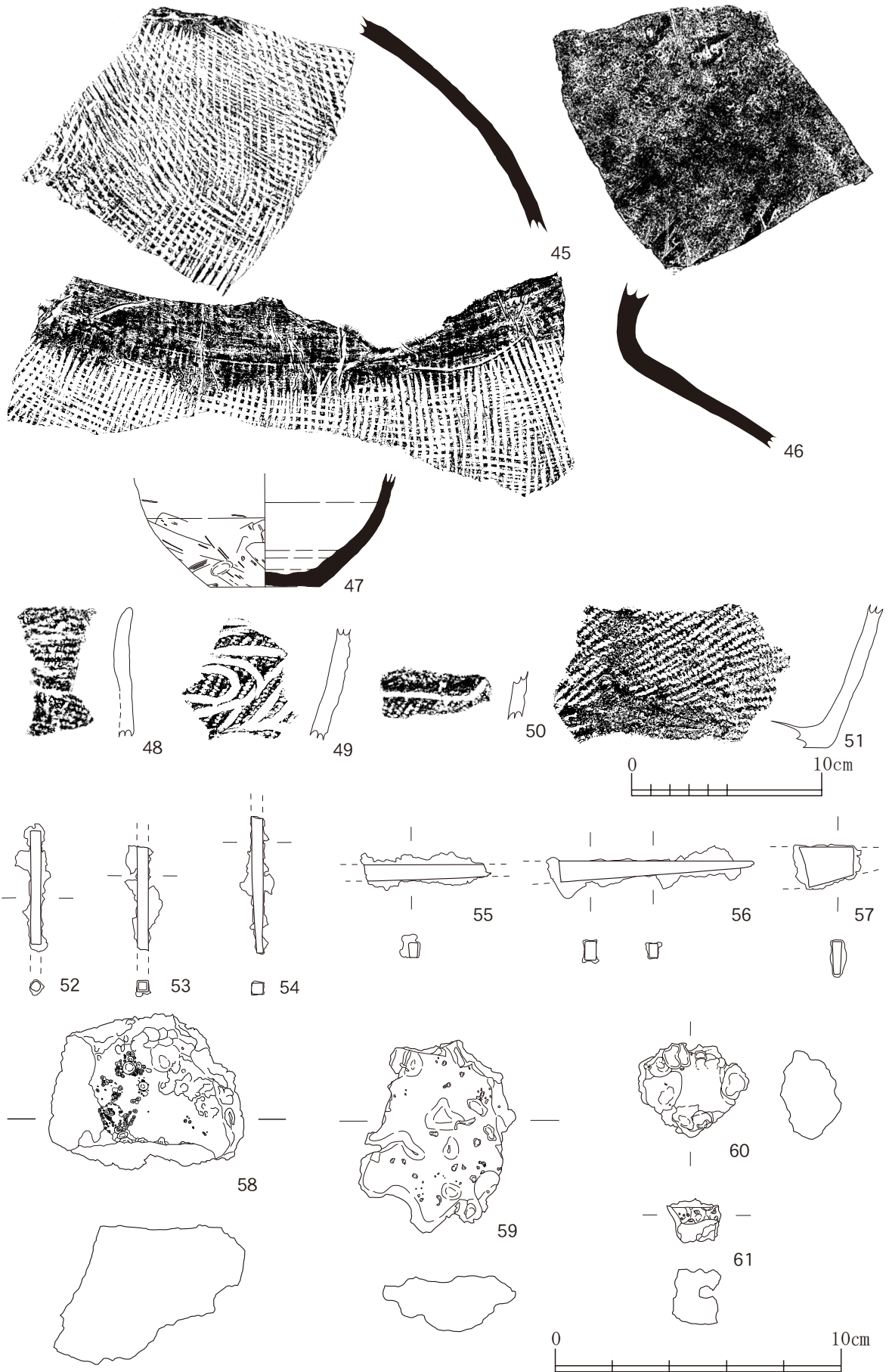


第28図 SI-07-1

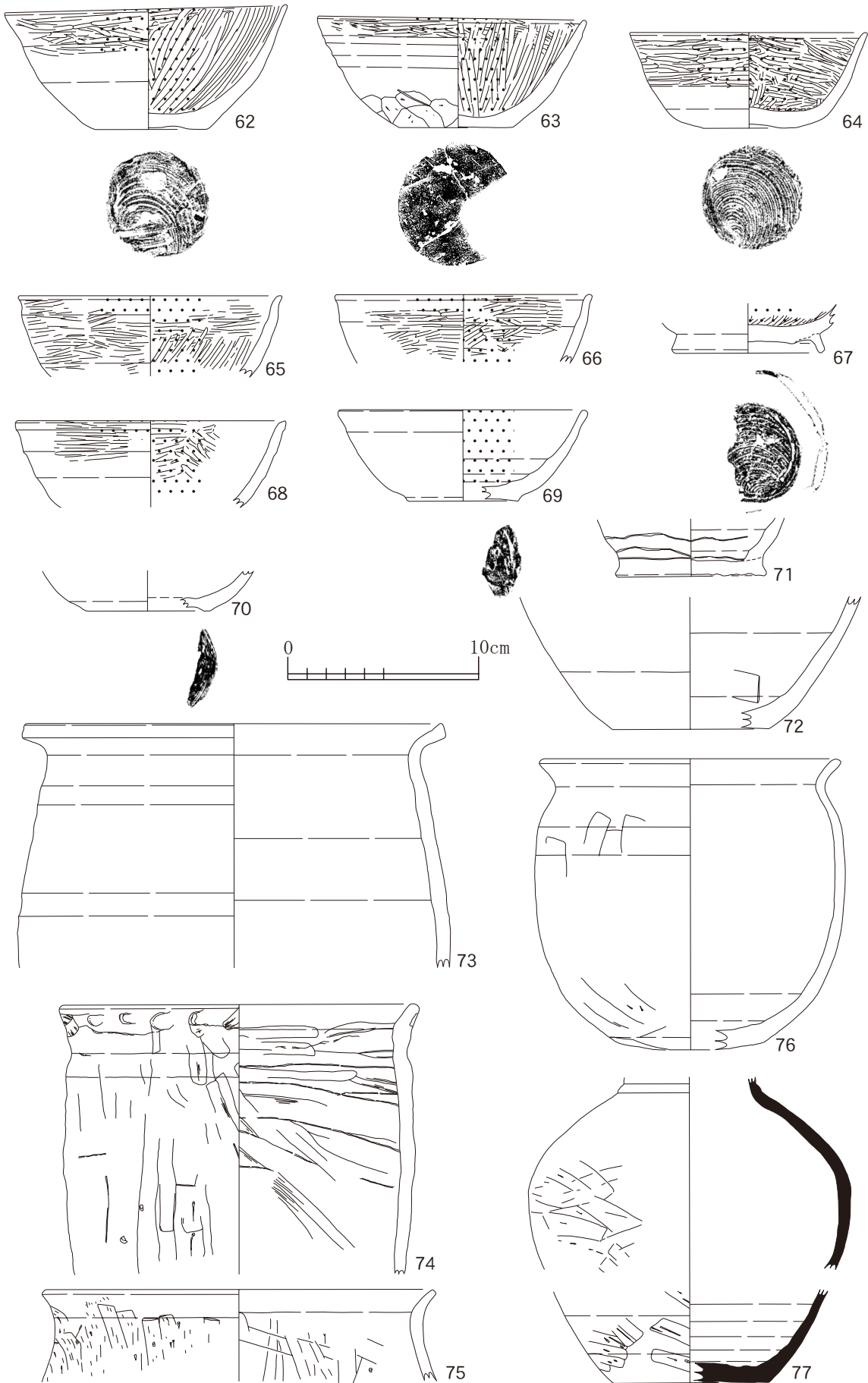


第29図 SI-07-2

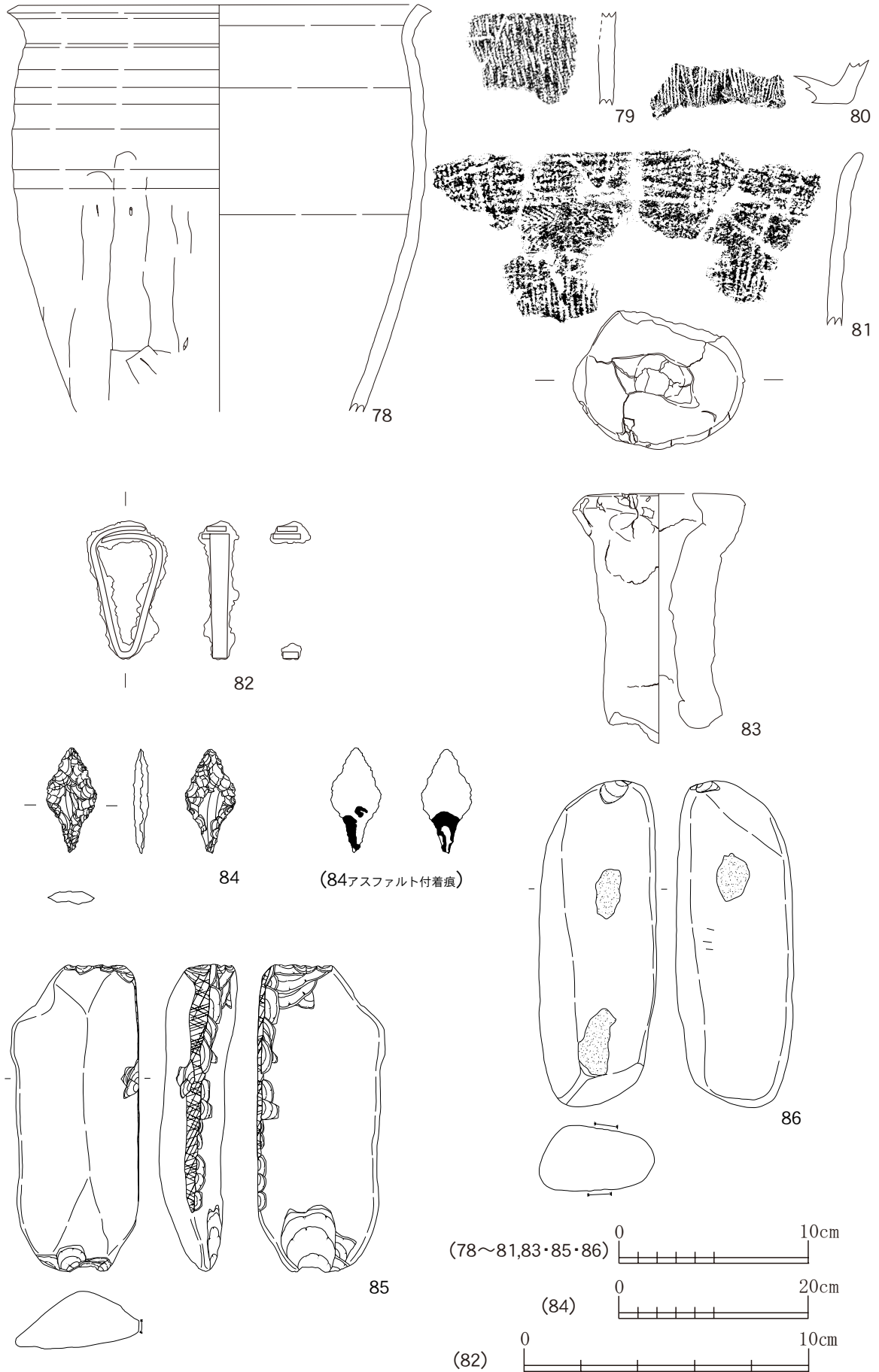




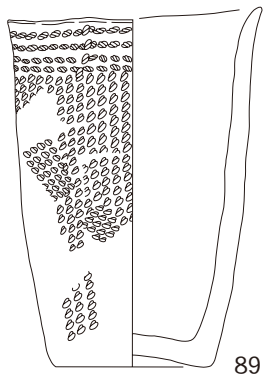
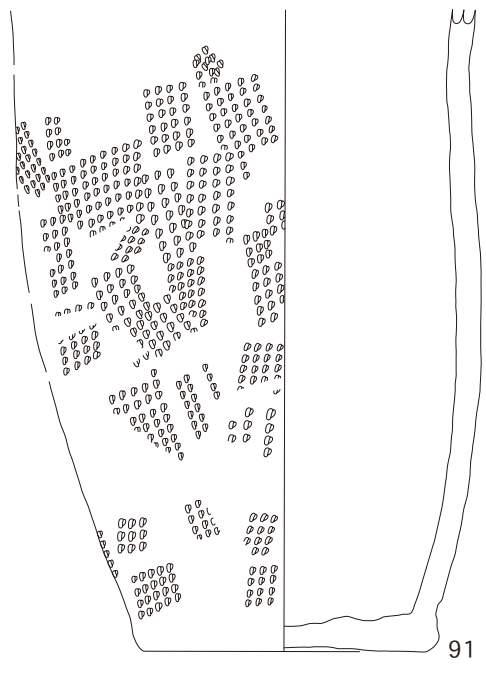
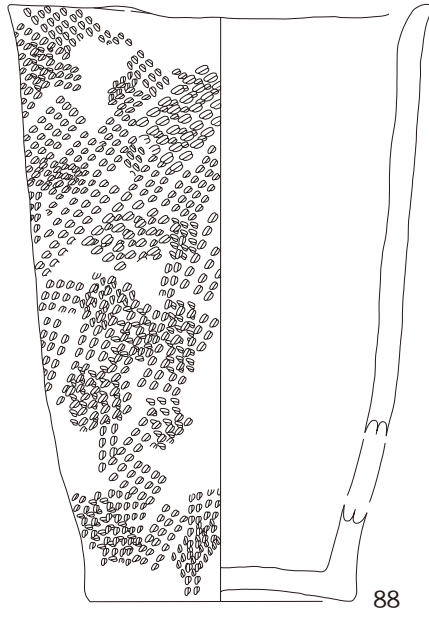
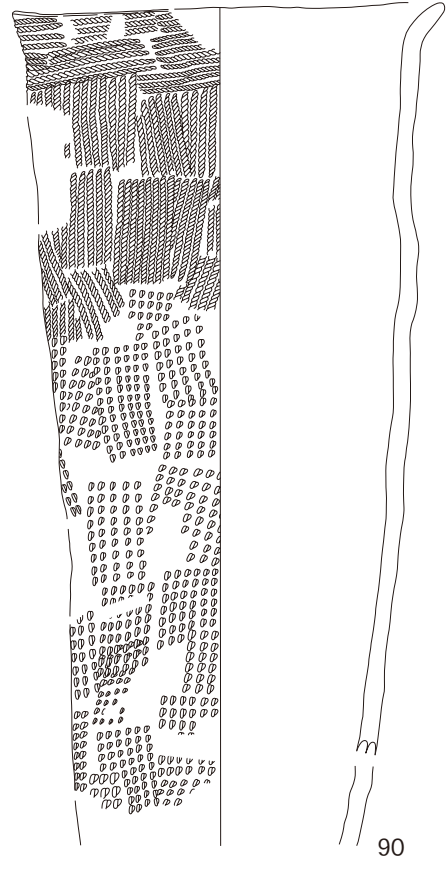
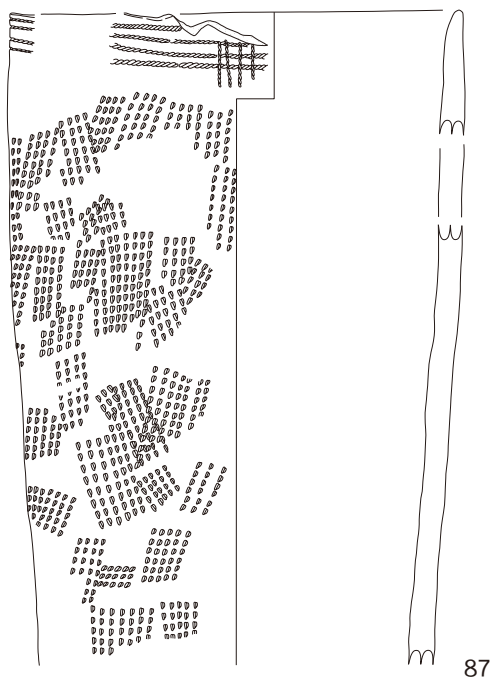
第31図 SI-07-4



第32図 SI-08-1



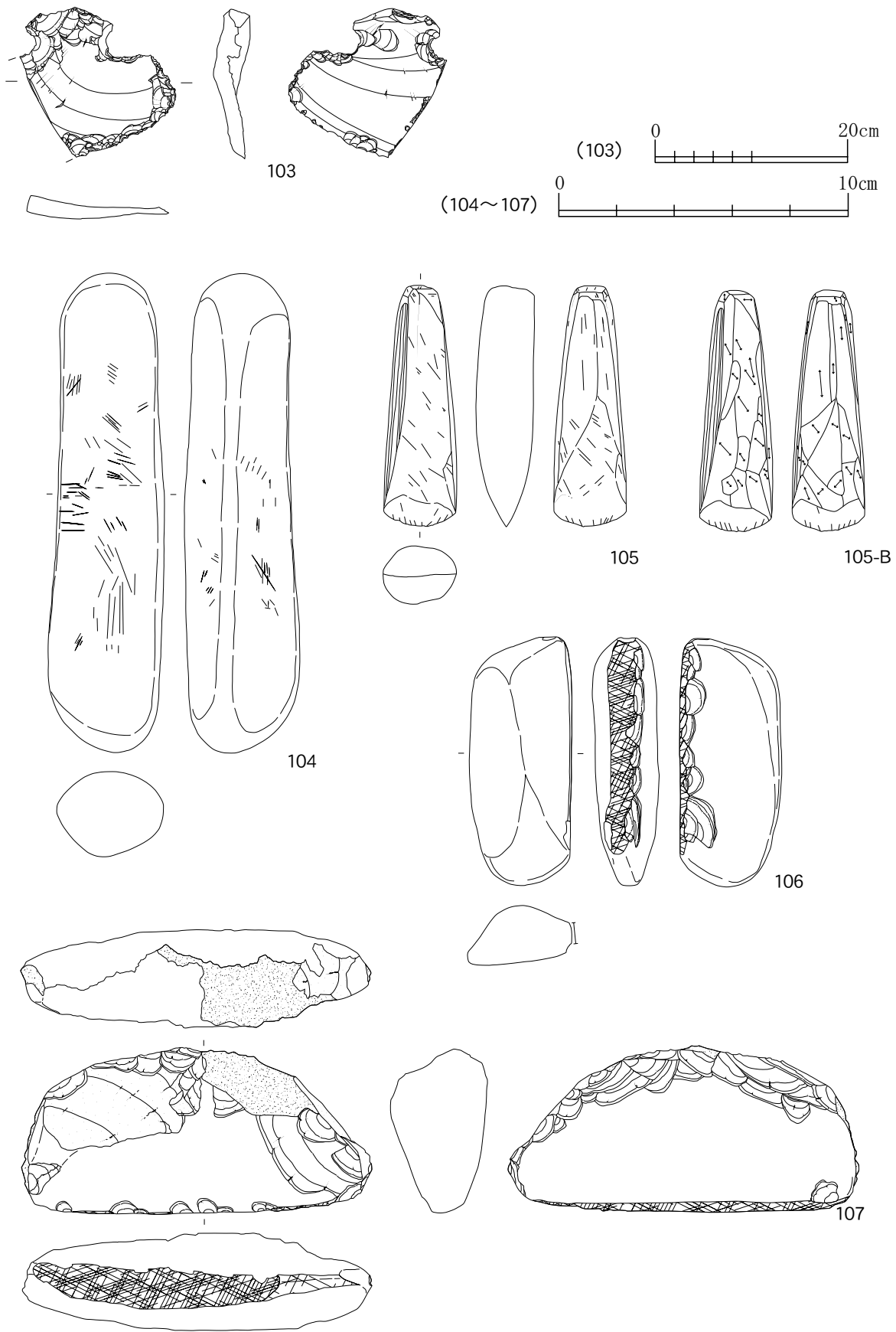
第33図 SI-08-2



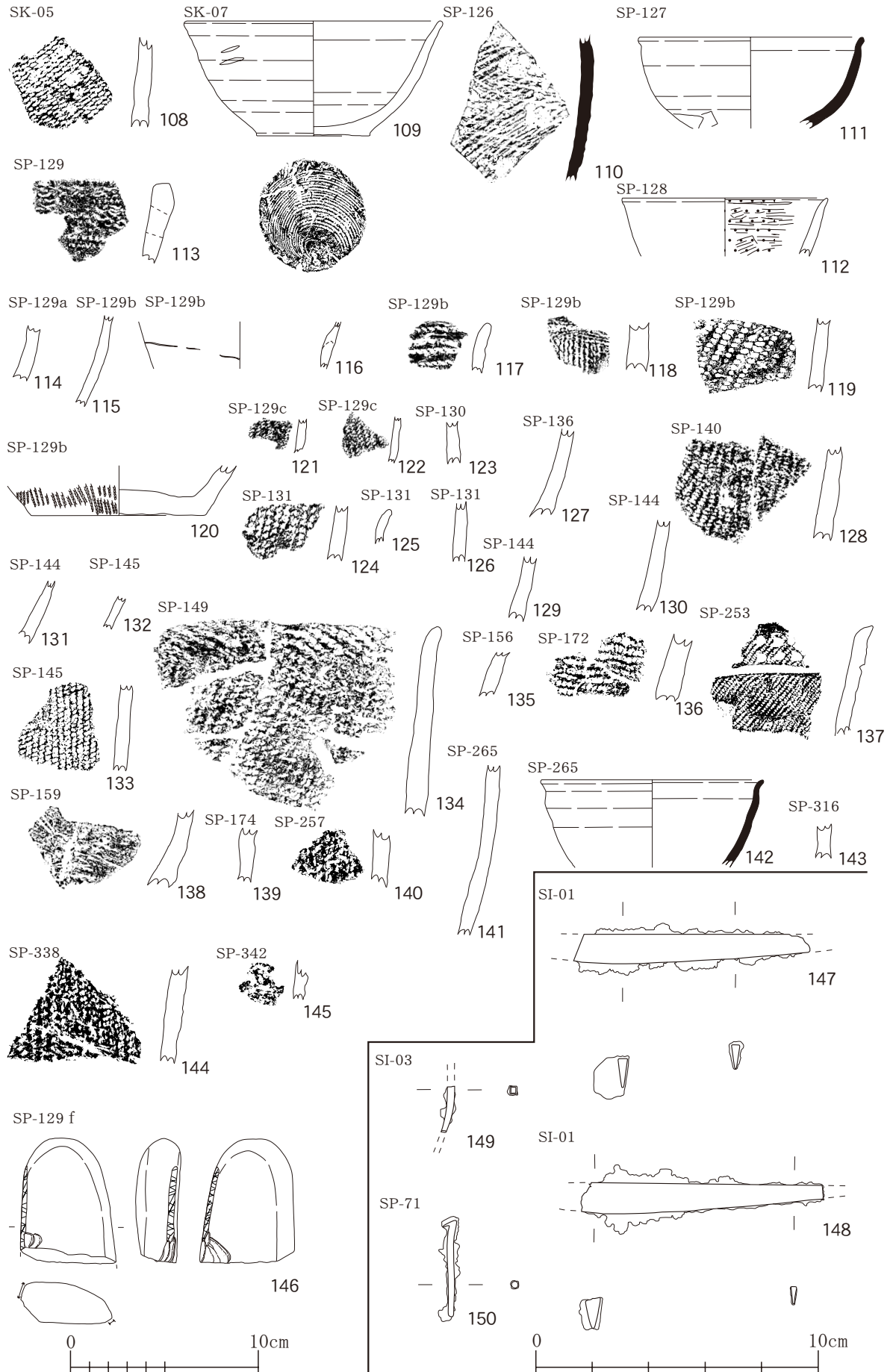
第34図 SI-09-1



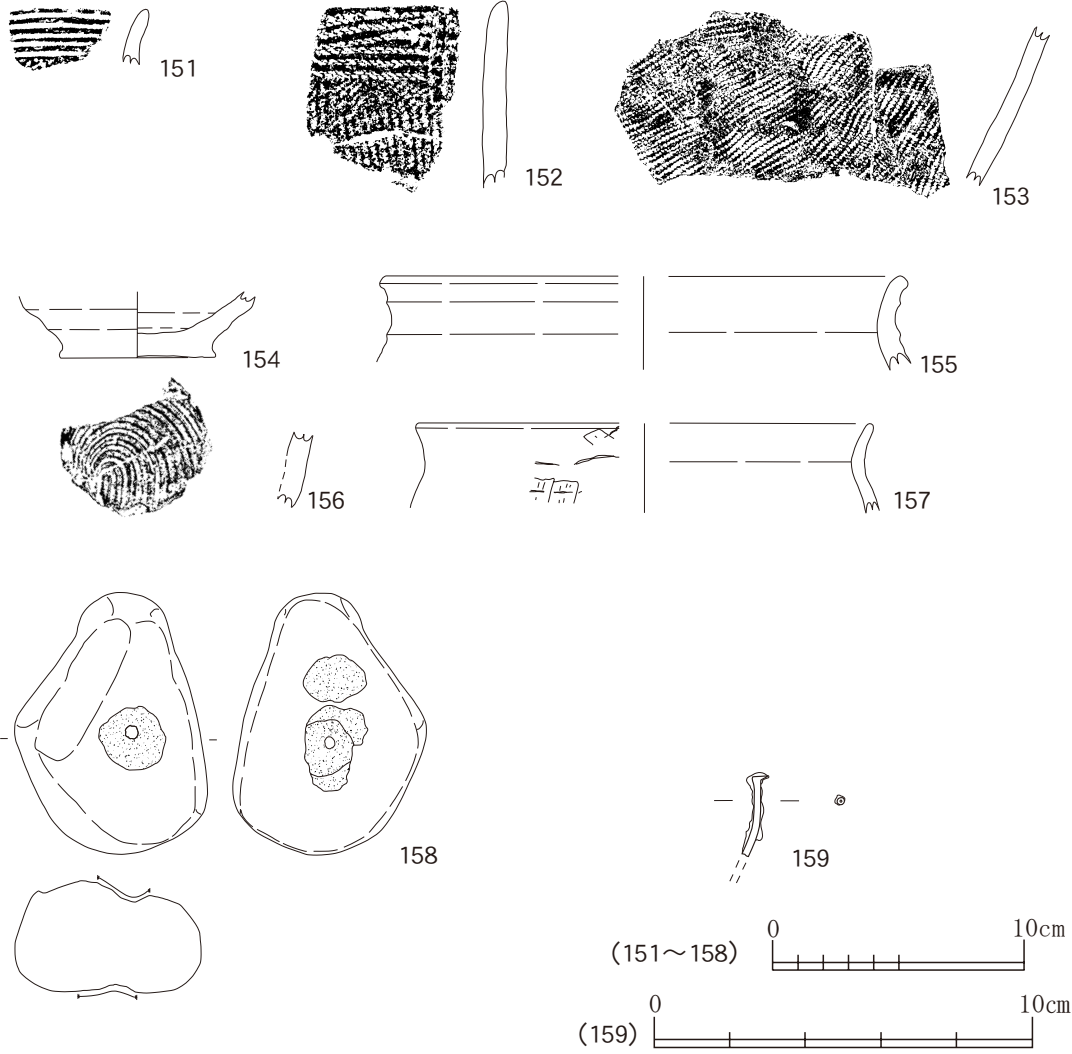
第35図 SI-09-2



第36図 SI-09-3



第37図 SK・SP・平成14年度調査遺構内追加資料



第38図 遺構外出土遺物



SI-07北東隅貼壁セクション(N→)



SI-07カマド1東西セクション(N→)



SI-07カマド1南北セクション(W→)



SI-07カマド1粘土・遺物出土状況(W→)



SI-07カマド1完掘(W→)



SI-07カマド1完掘(W→)



SI-07カマド1芯材・火床面(W→)



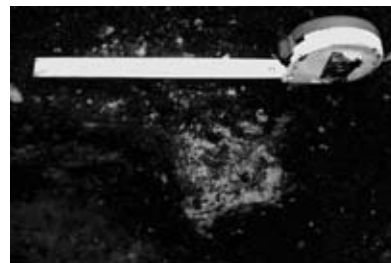
SI-07カマド2セクション(N→)



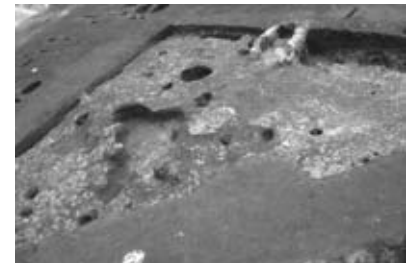
SI-07カマド2セクション(W→)



SI-07カマド2完掘(W→)



SI-07Pit31焼土検出状況



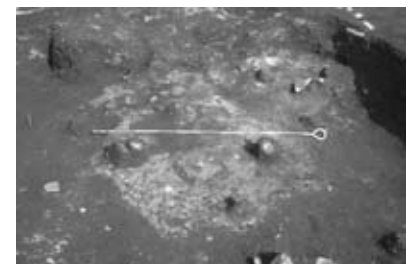
SI-07完掘(W→)



SI-08東西セクション(N→)



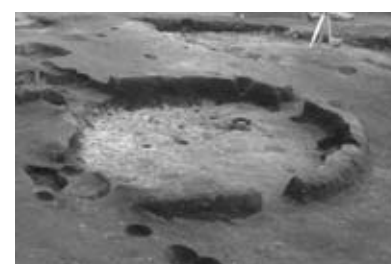
SI-08南北セクション(W→)



SI-08焼土検出状況



SI-08完掘(W→)



SI-09完掘(NE→)



SK-04セクション

写真1 宮田館遺跡



SI-07カマド2セクション(W→)



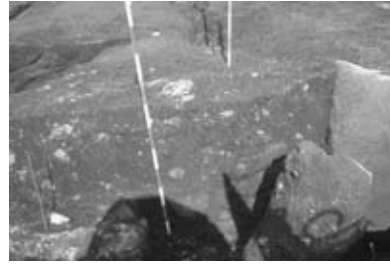
SI-07カマド2セクション(W→)



SI-07カマド2セクション



SI-07カマド2セクション



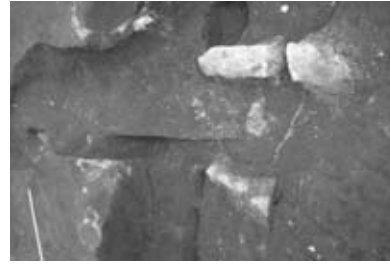
SI-07カマド2セクション(W→)



SI-07カマド2セクション(W→)



SI-07カマド2セクション完掘(W→)



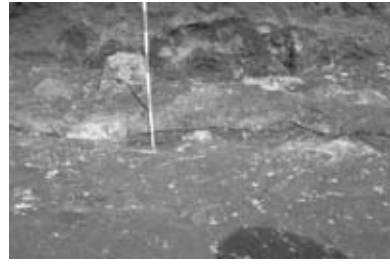
SI-07カマド2袖セクション(W→)



SI-07カマド2袖セクション(W→)



SI-07カマド2袖セクション(W→)



SI-07カマド側落ち込みセクション(E→)



SI-07カマド側落ち込みセクション(N→)



SI-07粘土・焼土範囲



SI-07落ち込み



SI-07落ち込み



SI-07遺物出土状況(S→)



SI-08P1外セクション(N→)



SI-08P2外セクション(W→)

写真 2 宮田館遺跡



写真3 出土遺物1

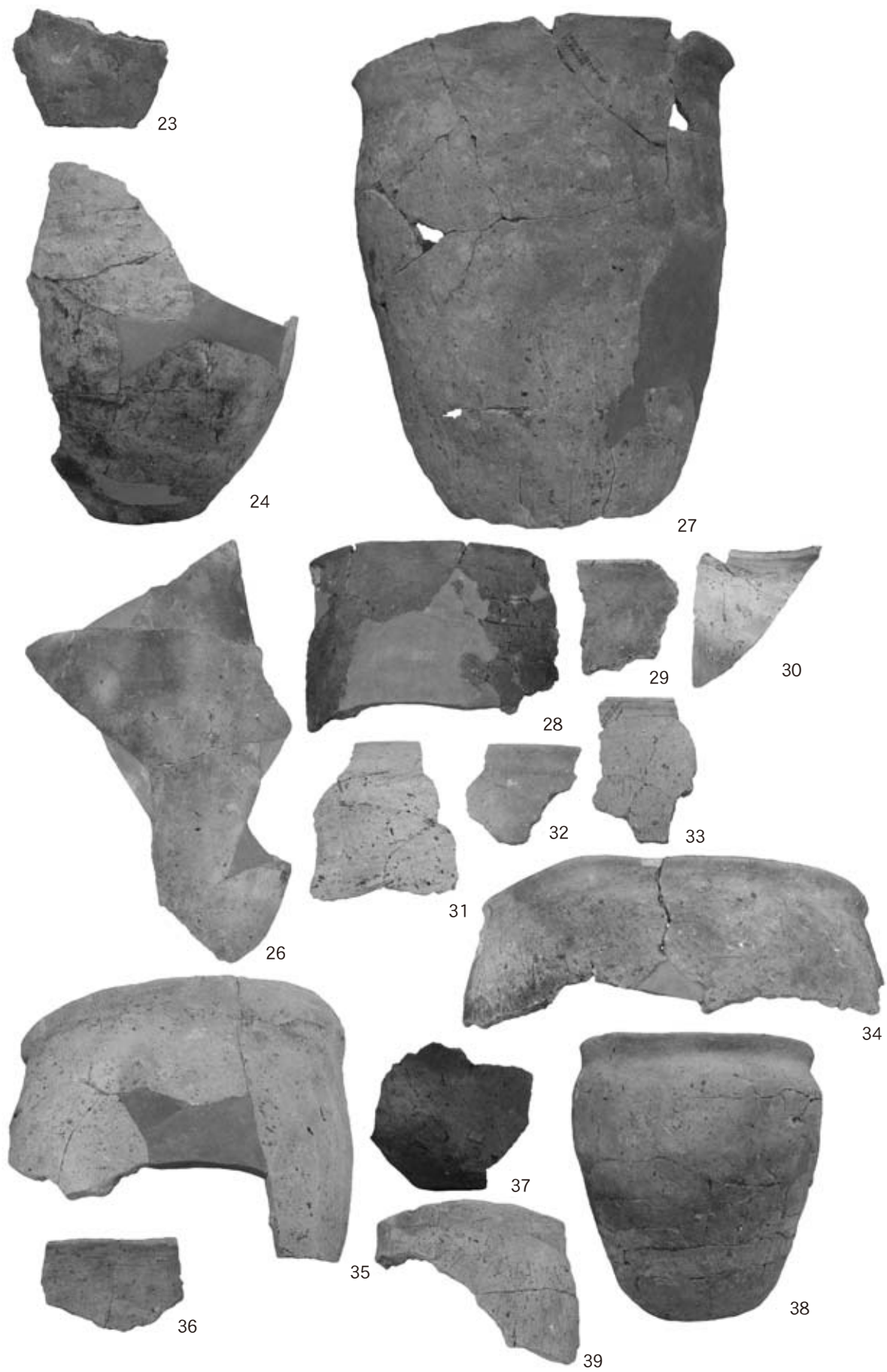


写真4 出土遺物2

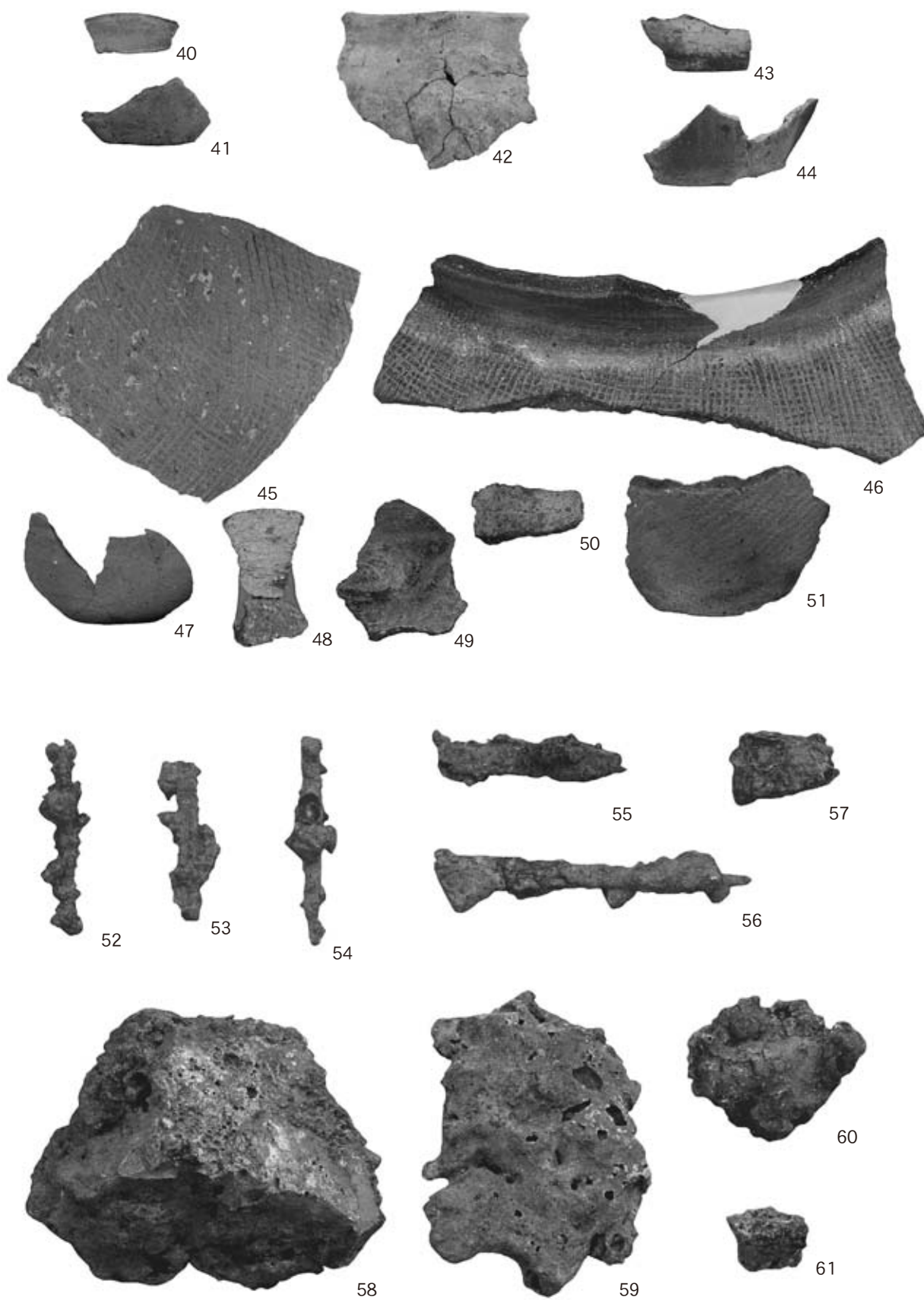


写真5 出土遺物3



写真6 出土遺物4



87



88



89



90



91

写真7 出土遺物5

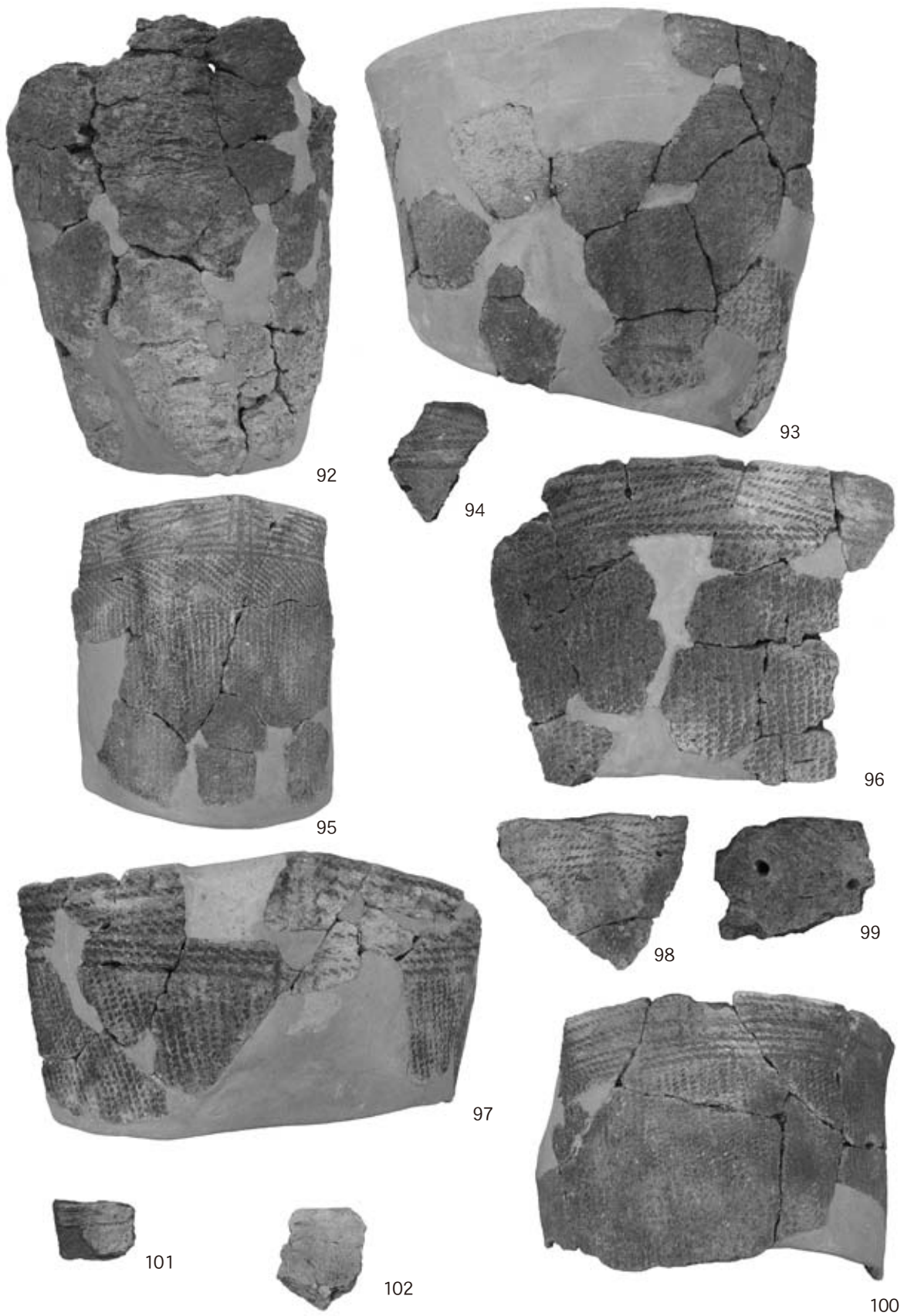


写真 8 出土遺物6

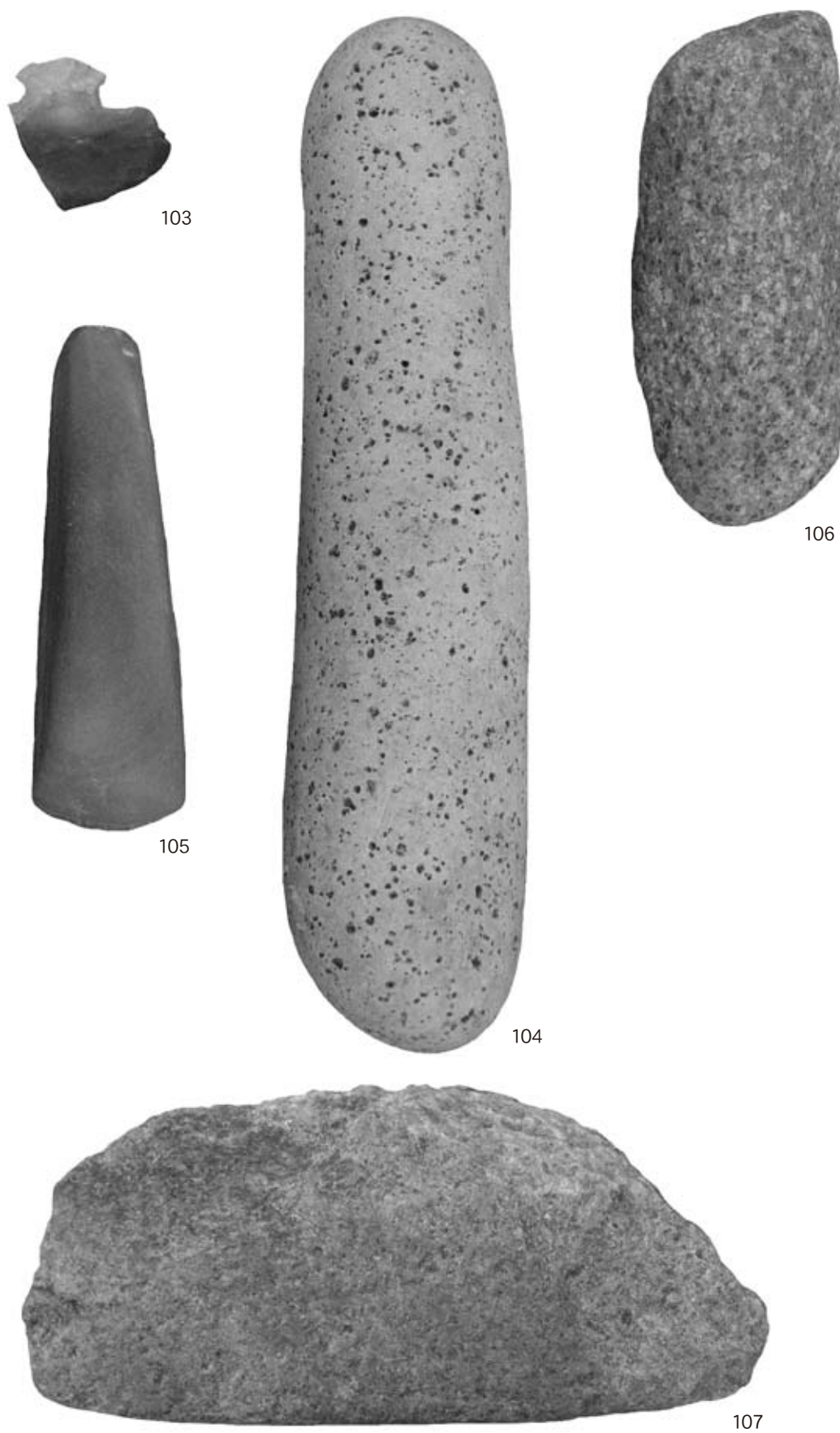


写真9 出土遺物7

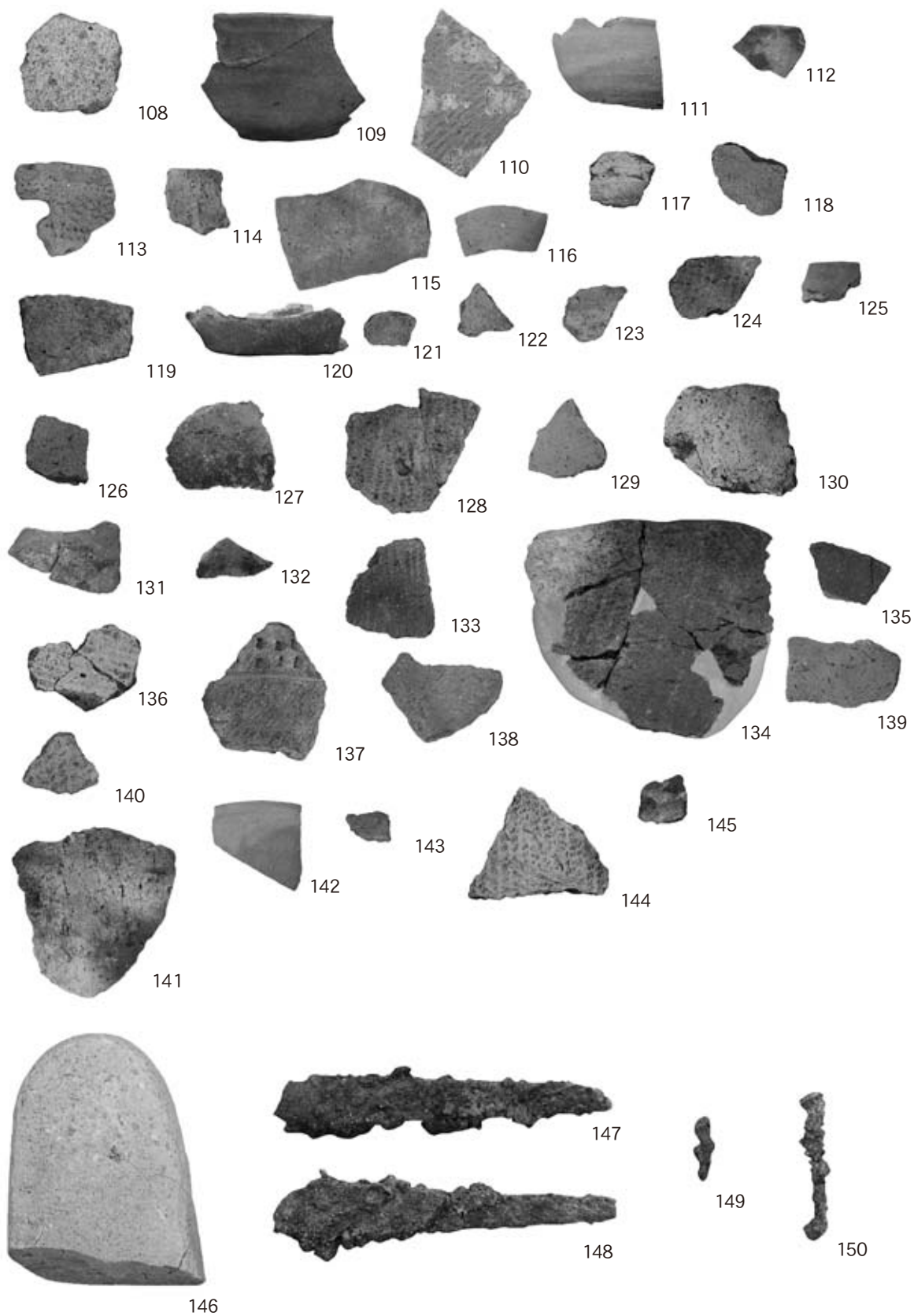


写真10 出土遺物8

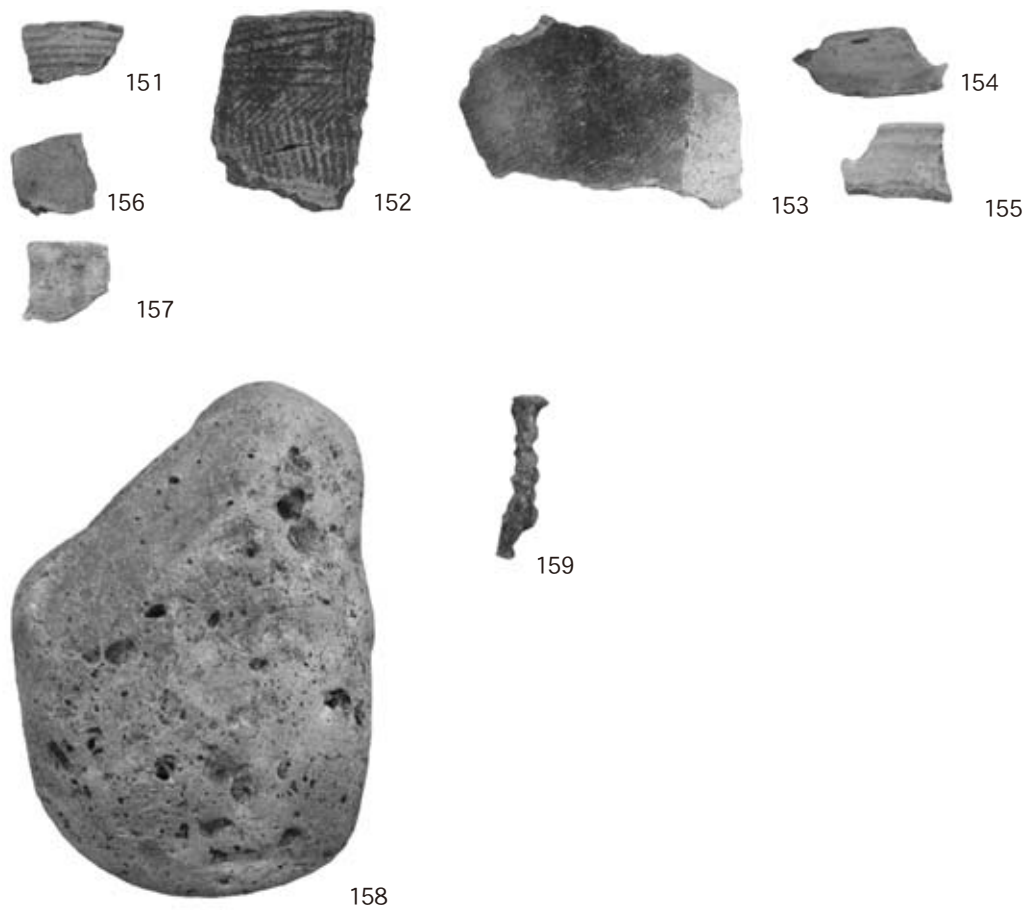


写真11 出土遺物9

ま と め

今年度、当委員会が実施した市内遺跡発掘調査事業は、昨年度調査した個人住宅の本調査を引き続き実施し、開発協議6件に対する試掘・確認調査を実施した。またこの試掘調査によって1遺跡の新規登録遺跡が加わり、青森県教育委員会実施の試掘・確認調査によって1遺跡の遺跡範囲変更が行われた。平成16年3月31日現在、市内には302カ所の周知の埋蔵文化財包蔵地が登録されている。

昨年度当委員会で作成した遺跡地図（数値地図）は、PDF化した状態で当課ホームページである「いにしえ青森オンライン版」で公開し、それに伴い開発協議の手続きの方法等についてもホームページ上で紹介し、発掘に関する届出書や遺跡の照会文書などをダウンロード可能な状態にしている。

今年度数値地図については、既存の調査区等の入力や遺跡範囲の再検討という次のステップへ移行している。これにより、次年度以降周知の埋蔵文化財包蔵地に対する再検討の成果は順次公開されていくことになるであろう。

市内の開発行為については、昨年度から開始した市内一斉照会によって、開発協議が行われるケースが増えており、今年度登録の新規遺跡についてはこの協議からの成果である。また、全庁LANによる地理情報システム（GIS）において遺跡地図の閲覧が容易な形となった。

平成15年1月から法改正が運用された不動産鑑定法に係る埋蔵文化財の有無の確認は、来課による照会件数の著しい増加を招き、それに伴い事務作業量の増加となったが、その反面開発行為と連動しないようなケースと開発行為に連動するケースの判別が混在した形となり、遺跡破壊の未然の防止という意味ではやや混乱をきたした一年であった。

（担当者一同）

報告書抄録

ふりがな	しないいせきはつくつちょうさほうこくしょじゅうに							
書名	市内遺跡発掘調査報告書 12							
副書名								
巻次								
シリーズ名	青森市埋蔵文化財調査報告書							
シリーズ番号	第74集							
編著者名	木村淳一、児玉大成、設楽政健、松橋智佳子、内田祐子							
編集機関	青森市教育委員会							
所在地	〒030-8555 青森県青森市中央一丁目22-5 TEL 017-734-1111							
発行年月日	西暦2004年3月31日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯 (JGD2000)	東経 (JGD2000)	調査期間	調査 面積 (m ²)	調査 原因
		市町村	遺跡 番号					
えど 江渡	あおもりしおおあざ 青森市大字 いしえあざえど 石江字江渡 104-2 ほか	02201	163	40° 49' 16"	140° 41' 64"	20030416 ～ 20030418	783	分譲宅地 造成
のぎわ 野木和 (11)	あおもりしおおあざは 青森市大字羽 じろあざのぎわ 白字野木和	02201	099	40° 51' 19"	140° 40' 16"	20030728 . 20030804	57	畑地造成
さんないまるやま ちく 三内丸山地区	あおもりしおおあざさん 青森市大字三 ないあざまるやま 内字丸山 278-1	02201		40° 47' 55"	140° 42' 33"	20030802 ～ 20030803	520	駐車場 建設
おかまち ちく 岡町地区	あおもりしおおあざは 青森市大字羽 じろあざとみた 白字富田 190-4 ほか	02201		40° 50' 41"	140° 40' 59"	20030811	150	施設建設
あかさか 赤坂	あおもりしおおあざと 青森市大字戸 やまあざあかさか 山字赤坂 482-1 ほか	02201	053	40° 48' 01"	140° 40' 59"	20031126	500	分譲宅地 造成
さんないまるやま 三内丸山 (8)	あおもりしおおあざ 青森市大字 さんないあざまるやま 三内字丸山 45-13	02201	315	40° 49' 02"	140° 42' 28"	20031222	280	道路建設
みやた だて 宮田館	あおもりしおおあざ 青森市大字 みやたあざたまみず 宮田字玉水 304-1 ほか	02201	190	40° 50' 09"	140° 50' 26"	20030424 ～ 20030530	400	個人敷地 造成

既刊埋蔵文化財関係報告書一覧

青森市の文化財	1	1962	『三内霊園遺跡調査概報』	”	第38集	1998	『野木遺跡発掘調査報告書』
”	2	1965	『四ツ石遺跡調査概報』	”	第39集	1998	『市内遺跡詳細分布調査報告書』
”	3	1967	『玉清水遺跡調査概報』	”	第40集	1998	『小牧野遺跡発掘調査報告書Ⅲ』
”	4	1970	『三内丸山遺跡調査概報』	”	第41集	1998	『野木遺跡発掘調査概報』
”	5	1971	『野木和遺跡調査報告書』	”	第42集	1998	『熊沢遺跡発掘調査概報』
”	6	1971	『玉清水Ⅲ遺跡発掘調査報告書』	”	第43集	1999	『市内遺跡詳細分布調査報告書』
”	7	1971	『大浦遺跡調査報告書』	”	第44集	1999	『葛野(2)遺跡発掘調査報告書Ⅱ』
”	8	1973	『孫内遺跡発掘調査報告書』	”	第45集	1999	『小牧野遺跡発掘調査報告書Ⅳ』
		1979	『蛭沢遺跡』	”	第46集	1999	『新町野・野木遺跡発掘調査概報』
		1983	『四戸橋遺跡調査報告書』	”	第47集	1999	『稲山遺跡発掘調査概報』
青森市の埋蔵文化財		1983	『山野峠遺跡』	”	第48集	2000	『熊沢遺跡発掘調査報告書』
”		1985	『長森遺跡発掘調査報告書』	”	第49集	2000	『稲山遺跡発掘調査概報Ⅱ』
”		1986	『田茂木野遺跡発掘調査報告書』	”	第50集	2000	『小牧野遺跡発掘調査報告書Ⅴ』
”		1987	『横内城跡発掘調査報告書』	”	第51集	2000	『桜峯(1)・雲谷山吹(3)遺跡発掘調査報告書』
”		1988	『三内丸山Ⅰ遺跡発掘調査報告書』	”	第52集	2000	『大矢沢野田(1)遺跡調査報告書』
青森市埋蔵文化財調査報告書				”	第53集	2000	『市内遺跡発掘調査報告書』
”	第16集	1991	『山吹(1)遺跡発掘調査報告書』	”	第54集	2001	『新町野遺跡発掘調査報告書Ⅱ・野木遺跡発掘調査報告書Ⅱ』
”	第17集	1992	『埋蔵文化財出土遺物調査報告書』	”	第55集	2001	『小牧野遺跡発掘調査報告書Ⅵ』
”	第18集	1993	『三内丸山(2)遺跡発掘調査概報』	”	第56集	2001	『稲山遺跡発掘調査報告書Ⅰ』
”	第19集	1993	『市内遺跡発掘調査報告書』	”	第57集	2001	『稲山遺跡発掘調査概報Ⅲ』
”	第20集	1993	『小牧野遺跡発掘調査概報』	”	第58集	2001	『大矢沢野田(1)遺跡発掘調査概報Ⅱ』
”	第21集	1994	『市内遺跡詳細分布調査報告書』	”	第59集	2001	『市内遺跡発掘調査報告書』
”	第22集	1994	『小三内遺跡発掘調査報告書』	”	第60集	2002	『小牧野遺跡発掘調査報告書Ⅶ』
”	第23集	1994	『三内丸山(2)・小三内遺跡発掘調査報告書』	”	第61集	2002	『大矢沢野田(1)遺跡発掘調査報告書』
”	第24集	1995	『横内遺跡・横内(2)遺跡発掘調査報告書』	”	第62集	2002	『稲山遺跡発掘調査報告書Ⅱ』
”	第25集	1995	『市内遺跡詳細分布調査報告書』	”	第63集	2002	『稲山遺跡発掘調査概報Ⅳ』
”	第26集	1995	『桜峯(2)遺跡発掘調査報告書』	”	第64集	2002	『市内遺跡発掘調査報告書』
”	第27集	1996	『桜峯(1)遺跡発掘調査概報』	”	第65集	2003	『雲谷山吹(4)～(7)遺跡発掘調査報告書』
”	第28集	1996	『三内丸山(2)遺跡発掘調査報告書』	”	第66集	2003	『稲山遺跡発掘調査報告書Ⅲ』
”	第29集	1996	『市内遺跡詳細分布調査報告書』	”	第67集	2003	『深沢(3)遺跡発掘調査報告書』
”	第30集	1996	『小牧野遺跡発掘調査報告書』	”	第68集	2003	『近野遺跡発掘調査報告書』
”	第31集	1997	『市内遺跡詳細分布調査報告書』	”	第69集	2003	『市内遺跡発掘調査報告書Ⅷ』
”	第32集	1997	『桜峯(1)遺跡発掘調査概報Ⅱ』	”	第70集	2003	『小牧野遺跡発掘調査報告書Ⅷ』
”	第33集	1997	『新町野遺跡試掘調査報告書』	”	第71集	2004	『稲山遺跡発掘調査報告書Ⅳ』
”	第34集	1997	『葛野(2)遺跡発掘調査報告書』	”	第72集	2004	『稲山遺跡発掘調査報告書Ⅴ』
”	第35集	1997	『小牧野遺跡発掘調査報告書Ⅱ』	”	第73集	2004	『新町野遺跡発掘調査概報』
”	第36集	1998	『桜峯(1)遺跡発掘調査報告書』	”	第74集	2004	『市内遺跡発掘調査報告書Ⅸ』
”	第37集	1998	『新町野遺跡発掘調査報告書』	”	第75集	2004	『江渡遺跡発掘調査報告書』

青森市埋蔵文化財調査報告書第74集

市内遺跡発掘調査報告書 12

発行年月日 平成16年3月31日

発行 青森市教育委員会

〒030-8555 青森市中央一丁目22-5

TEL 017-734-1111

印刷 第一印刷株式会社

〒038-0003 青森市石江字江渡3-1

TEL 017-782-2333